

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 347 集

秋浦 II 遺跡発掘調査報告書

東北新幹線盛岡・八戸間鉄道建設工事関連遺跡発掘調査

(財)岩手県文化振興事業団
埋蔵文化財センター

秋浦 II 遺跡発掘調査報告書

東北新幹線盛岡・八戸間鉄道建設工事関連遺跡発掘調査

序

岩手県には縄文時代の遺跡をはじめとする数多くの埋蔵文化財包蔵地が各地域にあり、平成11年度の岩手県教育委員会のまとめでは10,656箇所を超える遺跡が確認されております。先人の残したこれらの埋蔵文化財を保護し、保存していくことは私たち県民に課せられた重大な責務であります。

一方、本調査の原因となりました東北新幹線鉄道建設工事を例にあげるまでもなく、現代社会を豊かにし、快適な生活を送るための開発事業もまた県民の切実な願いであります。埋蔵文化財の保護・保存と地域開発という、相容れない要素を持つ事業の調和のとれた施策が今日的な課題となっております。

財団法人岩手県文化振興事業団は、埋蔵文化財センターの創設以来、埋蔵文化財保護の立場にたつて、岩手県教育委員会の指導と調整のもとに、開発事業によってやむを得ず消滅する遺跡について発掘調査を行い、その記録保存を残す処置をとってまいりました。

本書は平成10年度に発掘調査を実施しました「東北新幹線盛岡・八戸間鉄道建設工事」に関連した秋浦II遺跡の調査結果をまとめたものであります。遺跡は古館川の河岸段丘上に形成された縄文時代を中心とする遺跡であることが明らかとなりました。中でも縄文時代中期から後期の住居跡群や土坑の発見は、当時の生活を考える上で貴重な資料になるものであります。本書が広く活用され、考古学の研究に寄与するとともに、埋蔵文化財に対する関心と理解を一層深めることに役立つことを切に希望します。

最後になりましたが、これまでの発掘調査および報告書作成にご協力とご援助を賜りました日本鉄道建設公団盛岡支社や岩手町教育委員会をはじめとする多くの関係機関・関係各位に深く感謝申し上げます。

平成12年9月

財団法人 岩手県文化振興事業団
理事長 千葉浩一

例 言

1. 本書は、岩手県岩手郡岩手町大字川口第21地割字高無47番3他に所在する秋浦II遺跡の発掘調査結果を収録したものである。
2. 本遺跡の岩手県遺跡登録台帳の遺跡番号と調査略号は、次のとおりである。
遺跡番号 KE38-0131 調査略号 AU11-98
3. 本遺跡の調査は、東北新幹線盛岡・八戸間鉄道建設工事に伴う緊急調査である。調査は日本鉄道建設公団盛岡支社と岩手県教育委員会事務局文化課との協議を経て、財団法人岩手県埋蔵文化財センターが実施した。
4. 本遺跡の調査成果は、先に『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成10年度分）』（岩埋文311集）に発表しているが、本書の内容が優先するものである。
5. 野外調査の期間と調査面積、調査および整理担当者は次のとおりである。
期 間：平成10年8月17日～11月27日 調査対象面積：2,680m²
調査担当者：佐々木琢・古館貞身・工藤 徹・鈴木浩二・平澤里香・佐々木志麻
6. 室内整理期間及び整理担当者は以下の通りである。
平成10年11月1日～平成11年3月31日 佐々木琢 鈴木浩二
平成11年4月1日～平成12年3月31日 佐々木琢
7. 出土品の鑑定および分析は、次の機関および次の方々へ依頼した。（敬称略）
石器・石製品の材質鑑定：「花崗岩研究会」 火山灰の分析・鑑定：パリオ・サーヴェイ株式会社
炭化材の分析・鑑定：木工舎「ゆい」 剥片石器実測・トレース外注：株式会社アルカ
骨・貝類の分析・鑑定：佐々木務
8. 基準点の測量および空中写真の撮影は、次の機関に委託した。
基準点の測量：株式会社岩手開発測量設計 空中写真撮影：東邦航空株式会社
9. 発掘調査において、次の機関の協力を得た。
岩手町教育委員会、日本鉄道建設公団盛岡支社
10. 発掘調査及び整理・報告書の作成には次の方々への協力・指導をいただいた。（敬称略）
熊谷常正（盛岡大学）、菅原 修（岩手町教育委員会）、高橋昭治
11. 野外調査では、秋浦地区をはじめとする地元作業員の方々の協力をいただいた。また、室内整理においては、当センターの臨時職員の皆様への協力をいただいた。
12. 本遺跡で出土した遺物及び調査資料は、岩手県埋蔵文化財センターが保管している。
13. 本報告書で使用した地形図は国土地理院発行のものであり、図中に図幅名と縮尺を記した。

目 次

序
例言

[本 文]

I. 調査に至る経過	1
II. 遺跡の立地と環境	3
1. 地形・立地・環境	3
2. 周辺の遺跡	3
3. 基本土層	4
III. 調査の方法と室内整理	8
1. 調査の方法	8
2. 室内整理	9
IV. 検出された遺構と遺物	13
1. 竪穴住居跡	13
2. 竪穴状遺構	36
3. 土坑	37
4. 炉・焼土遺構	49
5. 基石・配石遺構	57
6. 埋設土器遺構	58
7. 溝跡	60

8. 貝層	62
9. 掘立柱建物跡	62
10. 柱穴列	63
11. 柱穴群	63
V. 遺構外の出土遺物	152
1. 土器	152
2. 石器	157
3. 石製品	159
4. 土製品	159
5. 古銭・鉄・金属類	159
VI. まとめと考察	250
参考文献	254
VII. 分析・鑑定	255
1. 秋浦II遺跡出土炭化材の樹種	255
2. 秋浦II遺跡の自然化学分析	258
報告書抄録	367

[図 版]

第1図 岩手県全図に見る遺跡の位置	2
第2図 C区基本土層	4
第3図 遺跡周辺地形図	5
第4図 遺跡の位置と周辺の遺跡	6
第5図 遺構・遺物実測凡例	10
第6図 秋浦II遺跡遺構配置図	11
第7図 RA01~03	67
第8図 RA04・05	68
第9図 RA06(1)	69
第10図 RA06(2)	70
第11図 RA07~09	71
第12図 RA10・12	72
第13図 RA13~15	73
第14図 RA16・18	74
第15図 RA19・20	75
第16図 RA21・22・24	76
第17図 RA23・25・26	77
第18図 RA27・28	78
第19図 RA30	79
第20図 RA31・38	80

第21図 RA32・33	81
第22図 RA34	82
第23図 RA35	83
第24図 RA36・37	84
第25図 RA39	85
第26図 RA40・41	86
第27図 1号・2号竪穴住居状遺構	87
第28図 土坑(1) RD01~05	88
第29図 土坑(2) RD06~09	89
第30図 土坑(3) RD11~15	90
第31図 土坑(4) RD16~21	91
第32図 土坑(5) RD22・24~28	92
第33図 土坑(6) RD29~32	93
第34図 土坑(7) RD33・35	94
第35図 炉・焼土(1) RF01~04	95
第36図 炉・焼土(2) RF05~09	96
第37図 炉・焼土(3) RF10~14	97
第38図 炉・焼土(4) RF15・16	98
第39図 炉・焼土(5) RF17~20	99
第40図 炉・焼土(6) RF21~23	100

第41回	炉・焼土(7) RF24~27	101	第85回	RF09・11~13・17・18(1)出土遺物	145
第42回	炉・焼土(8) RF29~32	102	第86回	RF18(2)・19・22・23・26・31出土遺物	146
第43回	集石・配石 RH01・03~05	103	第87回	RH01・03、RP01・02出土遺物	147
第44回	埋設土器(1) RP01~04	104	第88回	RP03~07出土遺物	148
第45回	埋設土器(2) RP05~07	105	第89回	1号溝・2号溝(1)出土遺物	149
第46回	1号溝跡	106	第90回	2号溝(2)出土遺物	150
第47回	2号溝跡	107	第91回	1号・2号孤立柱建物跡、柱穴列、 柱穴跡出土遺物	151
第48回	1号孤立柱建物跡	108	第92回	遺構外出土遺物(土器①)	160
第49回	2号孤立柱建物跡	109	第93回	遺構外出土遺物(土器②)	161
第50回	3号孤立柱建物跡	110	第94回	遺構外出土遺物(土器③)	162
第51回	C区柱穴群・柱穴列	111	第95回	遺構外出土遺物(土器④)	163
第52回	B区柱穴群	112	第96回	遺構外出土遺物(土器⑤)	164
第53回	C区柱穴群(1)	113	第97回	遺構外出土遺物(土器⑥)	165
第54回	C区柱穴群(2)	114	第98回	遺構外出土遺物(土器⑦)	166
第55回	RA01(1)出土遺物	115	第99回	遺構外出土遺物(土器⑧)	167
第56回	RA01(2)・02(1)出土遺物	116	第100回	遺構外出土遺物(土器⑨)	168
第57回	RA02(2)・03・05(1)出土遺物	117	第101回	遺構外出土遺物(土器⑩)	169
第58回	RA05(2)出土遺物	118	第102回	遺構外出土遺物(土器⑪)	170
第59回	RA05(3)・06(1)出土遺物	119	第103回	遺構外出土遺物(土器⑫)	171
第60回	RA06(2)出土遺物	120	第104回	遺構外出土遺物(土器⑬)	172
第61回	RA06(3)~10(1)出土遺物	121	第105回	遺構外出土遺物(土器⑭)	173
第62回	RA10(2)・13(1)出土遺物	122	第106回	遺構外出土遺物(土器⑮)	174
第63回	RA13(2)~16出土遺物	123	第107回	遺構外出土遺物(土器⑯)	175
第64回	RA18~20(1)出土遺物	124	第108回	遺構外出土遺物(土器⑰)	176
第65回	RA20(2)~22(1)出土遺物	125	第109回	遺構外出土遺物(土器⑱)	177
第66回	RA22(2)~25出土遺物	126	第110回	遺構外出土遺物(土器⑲)	178
第67回	RA26(1)出土遺物	127	第111回	遺構外出土遺物(土器⑳)	179
第68回	RA26(2)出土遺物	128	第112回	遺構外出土遺物(土器㉑)	180
第69回	RA27・28・30・31(1)出土遺物	129	第113回	遺構外出土遺物(土器㉒)	181
第70回	RA31(2)出土遺物	130	第114回	遺構外出土遺物(土器㉓)	182
第71回	RA31(3)出土遺物	131	第115回	遺構外出土遺物(土器㉔)	183
第72回	RA32~34(1)出土遺物	132	第116回	遺構外出土遺物(土器㉕)	184
第73回	RA34(2)出土遺物	133	第117回	遺構外出土遺物(土器㉖)	185
第74回	RA35~37出土遺物	134	第118回	遺構外出土遺物(土器㉗)	186
第75回	RA38・39(1)出土遺物	135	第119回	遺構外出土遺物(土器㉘)	187
第76回	RA39(2)出土遺物	136	第120回	遺構外出土遺物(土器㉙)	188
第77回	RA39(3)~41・1号竪穴状遺構(1)出土遺物	137	第121回	遺構外出土遺物(土器㉚)	189
第78回	1号竪穴状遺構(2)出土遺物	138	第122回	遺構外出土遺物(土器㉛)	190
第79回	RD08・09・11・12(1)出土遺物	139	第123回	遺構外出土遺物(土器㉜)	191
第80回	RD12(2)・13(1)出土遺物	140	第124回	遺構外出土遺物(土器㉝)	192
第81回	RD13(2)~18・20出土遺物	141	第125回	遺構外出土遺物(土器㉞)	193
第82回	RD23・25・27・29・30・32出土遺物	142	第126回	遺構外出土遺物(土器㉟)	194
第83回	RD33・35出土遺物	143	第127回	遺構外出土遺物(土器㊱)	195
第84回	RF02~05・08出土遺物	144			

第128回	遺構外出土遺物 (土器㉔)	196
第129回	遺構外出土遺物 (土器㉕)	197
第130回	遺構外出土遺物 (土器㉖)	198
第131回	遺構外出土遺物 (土器㉗)	199
第132回	遺構外出土遺物 (土器㉘)	200
第133回	遺構外出土遺物 (土器㉙)	201
第134回	遺構外出土遺物 (土器㉚)	202
第135回	遺構外出土遺物 (土器㉛)	203
第136回	遺構外出土遺物 (土器㉜)	204
第137回	遺構外出土遺物 (土器器、須惠器、陶器)	205
第138回	遺構外出土遺物 (石鏃、尖頭器、石鏃、石匙①)	206
第139回	遺構外出土遺物 (石匙②、石鏃、異形石器、削・ 掻器①)	207
第140回	遺構外出土遺物 (削・掻器②)	208
第141回	遺構外出土遺物 (削・掻器③)	209
第142回	遺構外出土遺物 (削・掻器④)	210
第143回	遺構外出土遺物 (磨製石斧)	211

第144回	遺構外出土遺物 (磨石①)	212
第145回	遺構外出土遺物 (磨石②、凹石①)	213
第146回	遺構外出土遺物 (凹石②)	214
第147回	遺構外出土遺物 (凹石③、敲石①)	215
第148回	遺構外出土遺物 (敲石②、石鏃、石皿①)	216
第149回	遺構外出土遺物 (石皿②)	217
第150回	遺構外出土遺物 (石皿③)	218
第151回	遺構外出土遺物 (石棒)	219
第152回	遺構外出土遺物 (石製品)	220
第153回	遺構外出土遺物 (土製品①)	221
第154回	遺構外出土遺物 (土製品②)	222
第155回	遺構外出土遺物 (土製品③)	223
第156回	遺構外出土遺物 (土製品④)	224
第157回	遺構外出土遺物 (土製品⑤)	225
第158回	遺構外出土遺物 (土製品⑥)	226
第159回	遺構外出土遺物 (土製品⑦)	227
第160回	遺構外出土遺物 (土製品⑧、古銭、鉄製品)	228

[写真図版]

写真図版1	調査風景	265
写真図版2	調査前風景・土層断面	266
写真図版3	RA01住居跡	267
写真図版4	RA02住居跡	268
写真図版5	RA03住居跡	269
写真図版6	RA04住居跡	270
写真図版7	RA05住居跡	271
写真図版8	RA06住居跡	272
写真図版9	RA06・07住居跡	273
写真図版10	RA08住居跡	274
写真図版11	RA09住居跡	275
写真図版12	RA10住居跡	276
写真図版13	RA12住居跡	277
写真図版14	RA13住居跡	278
写真図版15	RA14住居跡	279
写真図版16	RA15住居跡	280
写真図版17	RA16住居跡	281
写真図版18	RA18住居跡	282
写真図版19	RA19住居跡	283
写真図版20	RA20住居跡	284
写真図版21	RA21住居跡	285
写真図版22	RA22住居跡	286
写真図版23	RA23住居跡	387
写真図版24	RA24住居跡	288

写真図版25	RA25住居跡	289
写真図版26	RA26住居跡	290
写真図版27	RA27住居跡	291
写真図版28	RA28住居跡	292
写真図版29	RA30住居跡	293
写真図版30	RA31住居跡	294
写真図版31	RA32住居跡	295
写真図版32	RA33住居跡	296
写真図版33	RA34住居跡	297
写真図版34	RA35住居跡	298
写真図版35	RA36住居跡	299
写真図版36	RA37住居跡	300
写真図版37	RA38住居跡	301
写真図版38	RA39住居跡	302
写真図版39	RA40住居跡	303
写真図版40	RA41住居跡	304
写真図版41	1号・2号竪穴状遺構	305
写真図版42	RD01~05土坑	306
写真図版43	RD06~08土坑	307
写真図版44	RD09・11~13土坑	308
写真図版45	RD14~18土坑	309
写真図版46	RD19~22土坑	310
写真図版47	RD23~26土坑	311
写真図版48	RD27~31土坑	312

写真図版49	RD32・33・35土坑	313
写真図版50	RF01～04炉・焼土	314
写真図版51	RF05～09炉・焼土	315
写真図版52	RF10～14炉・焼土	316
写真図版53	RF15～18炉・焼土	317
写真図版54	RF19～22炉・焼土	318
写真図版55	RF23～26炉・焼土	319
写真図版56	RF27・29～32炉・焼土	320
写真図版57	RH01・03～05集石・配石	321
写真図版58	RP01～04埋設土器	322
写真図版59	RP05～07埋設土器	323
写真図版60	貝層、1号溝・2号溝	324
写真図版61	遺物出土状況	325
写真図版62	遺構内出土遺物1	326
写真図版63	遺構内出土遺物2	327
写真図版64	遺構内出土遺物3	328
写真図版65	遺構内出土遺物4	329
写真図版66	遺構内出土遺物5	330
写真図版67	遺構内出土遺物6	331
写真図版68	遺構内出土遺物7	332
写真図版69	遺構内出土遺物8	333
写真図版70	遺構内出土遺物9	334
写真図版71	遺構内出土遺物10	335
写真図版72	遺構内出土遺物11	336
写真図版73	遺構内出土遺物12	337
写真図版74	遺構内出土遺物13	338
写真図版75	遺構内出土遺物14	339
写真図版76	遺構内出土遺物15	340
写真図版77	遺構外出土遺物(土器①)	341
写真図版78	遺構外出土遺物(土器②)	342

写真図版79	遺構外出土遺物(土器③)	343
写真図版80	遺構外出土遺物(土器④)	344
写真図版81	遺構外出土遺物(土器⑤)	345
写真図版82	遺構外出土遺物(土器⑥)	346
写真図版83	遺構外出土遺物(土器⑦)	347
写真図版84	遺構外出土遺物(土器⑧)	348
写真図版85	遺構外出土遺物(土器⑨)	349
写真図版86	遺構外出土遺物(土器⑩)	350
写真図版87	遺構外出土遺物(土器⑪)	351
写真図版88	遺構外出土遺物(土器⑫)	352
写真図版89	遺構外出土遺物(土器⑬)	353
写真図版90	遺構外出土遺物(土器⑭)	354
写真図版91	遺構外出土遺物(土器⑮)	355
写真図版92	遺構外出土遺物(石鏃、尖頭器、石錐、石匙)	356
写真図版93	遺構外出土遺物(石鏃、異形石器、削・擦器①)	357
写真図版94	遺構外出土遺物(削・擦器②)	358
写真図版95	遺構外出土遺物(磨製石斧、磨石①)	359
写真図版96	遺構外出土遺物(磨石②、凹石、敲石①)	360
写真図版97	遺構外出土遺物(敲石②、石錘、石皿)	361
写真図版98	遺構外出土遺物(石棒、石製品)	362
写真図版99	遺構外出土遺物(土製品①)	363
写真図版100	遺構外出土遺物(土製品②)	364
写真図版101	遺構外出土遺物(土製品③)	365
写真図版102	遺構外出土遺物(土製品④、古銭、鉄製品、骨貝類)	366

[表]

第1表	周辺の遺跡一覧	7
第2表	遺構配置図一覧表	12
第3表	柱穴表	64
第4表	土器観察表	229
第5表	石器・石製品一覧表	239
第6表	土製品一覧表	246

第7表	金属器一覧表	249
第8表	骨・貝類一覧表	249
第9表	カフシンジュガイ計測値	251
第10表	住居・堅穴状遺構一覧表	252
第11表	土坑一覧表	253

I. 調査に至る経過

秋浦II遺跡は「東北新幹線盛岡・八戸間の建設工事」の施工に伴って、その事業区域内に存することから発掘調査を実施することになったものである。

東北新幹線は昭和48年に盛岡～青森間の整備計画が策定され、平成3年に盛岡～沼宮内間及び八戸～青森間は新幹線鉄道直通線（ミニ新幹線）とし、沼宮内～八戸間は標準軌新線（フル規格新幹線）として実施計画が認可され、同年9月に盛岡～青森間の建設工事に着手した。その後、平成7年に盛岡～沼宮内間がフル規格新幹線に変更になり、現在、盛岡～八戸間96.6kmの新幹線工事が本格的に進められている。

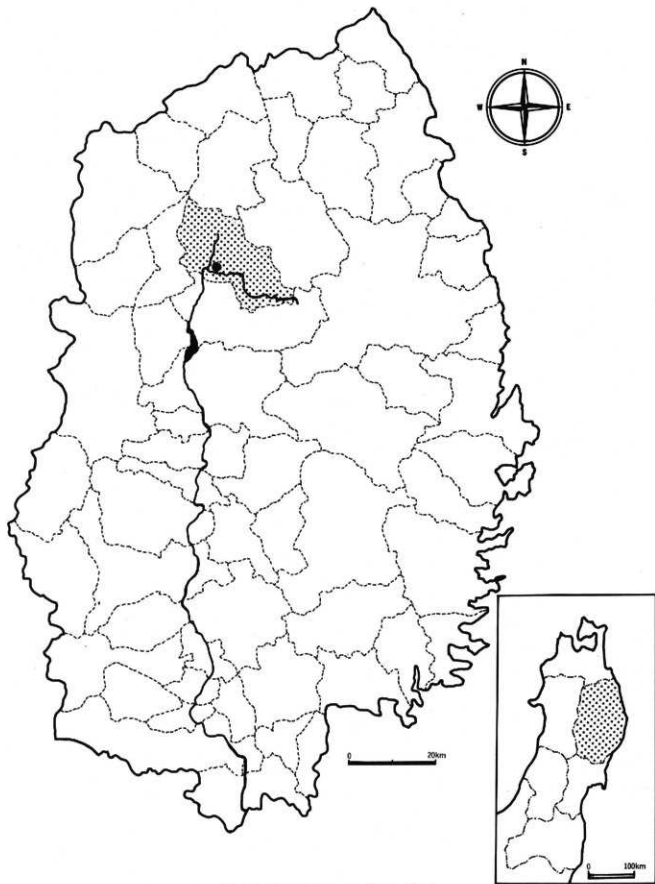
また、八戸～新青森間については、平成10年3月に標準軌新線（フル規格新幹線）として実施計画の認可を受けて同年7月に八甲田トンネル出口の工事に着手している。

盛岡～八戸間の埋蔵文化財包蔵地については、岩手県教育委員会が平成7年度に分布調査を実施し、秋浦II遺跡も確認されている。その結果に基づいて岩手県教育委員会は日本鉄道建設公団盛岡支社に対し、事業について照会した。回答を受けた岩手県教育委員会は日本鉄道建設公団盛岡支社と協議を行い、発掘調査を財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターの受託事業とすることとした。

これにより、岩手県教育委員会は平成10年度事業について、平成10年1月29日付け「教文第902号」により財団法人岩手県文化振興事業団に通知した。

これを受けて、財団法人岩手県文化振興事業団は秋浦II遺跡について同年6月25日付けで委託契約を締結し、8月17日から発掘調査に着手した。

なお、発掘調査は平成10年度で完了し、平成11年度に室内整理作業を行い、平成12年度に報告書を刊行することとした。



第1図 岩手県全図に見る遺跡の位置

II. 遺跡の立地と環境

1. 地形・立地・環境 (第1図・第3図)

秋浦Ⅱ遺跡は、岩手県岩手郡岩手町大字川口第21地割字高栗47番3を中心とする場所に所在し、東日本旅客鉄道東北本線岩手川口駅より約1.6kmに位置する。標高は240.6～241.9mで、北緯39度54分8秒、東経141度12分55秒付近にあたる。古館川との比高は約10m、調査区は南北に細長く、現況は宅地と水田になっている。遺跡の所在する岩手町は、県都盛岡市から北方に28km、岩手郡の北部にある。町の中央部を北上川が南流し、東北本線と国道4号線が南北に縦断している。岩手郡岩手町は昭和30年に沼宮内町を中心として川口村・一方井村・御堂村の一町三村が合併してできた町である。岩手町は岩手郡内では最も北に位置し、北は二戸郡一戸町、東は岩手郡葛巻町、南は岩手郡玉山村、西は岩手郡西根町と隣接し、総面積は360.9km²である。

岩手県は面積の大部分を山地・丘陵で占められており、平野は1割程度である。東側は県の面積の3分の2に当たる北上山地が南北に走り、西側には奥羽山脈が帯状に延びている。この山地間を縦断するように南下する北上川と、北流する馬淵川が低地帯を形成する。北上山地は北西～南東方向に帯状に分布する粘板岩、チャート、砂岩(北部型古生界)及びこれに貫入する花崗岩を切って形成された起伏の小さな山地である。秋浦Ⅱ遺跡は北上山地西縁部に含まれ、起伏量100m～200mの小起伏山地で占められる。中起伏山地は姫神山周辺の花崗岩分布地域に見られる。

調査区の表層地質は、古館川付近では洪積世の段丘堆積物である砂礫である。礫種は花崗岩、火成岩類で、人頭大から小豆くらいの大きさまで様々である。段丘上では、泥岩と珪岩質岩石が分布している。泥岩は、粘板岩・頁岩・千枚岩になっており、層理や節理の発達が見られ、他の古生層より比較的風化が進み細かい岩片となっている。チャート、輝緑凝灰岩、砂岩を挟み、これらと互層することもある。小規模な破壊を起し、崖線作り易い地質となっている。珪岩質岩石は層状のチャートで塊状のものが多くない。層理面は、粘板岩の薄層によって形成されている。

2. 周辺の遺跡 (第4図、第1表)

今回の調査区である秋浦Ⅱ遺跡は古館川下流域にあたり、他に秋浦Ⅰ遺跡や秋浦Ⅲ遺跡、高栗遺跡などが周知の遺跡として登録されている。秋浦地区は昭和31年に岩手町郷土史研究会によって踏査され、その結果秋浦遺跡として登録された。その後、昭和36年に岩手県教育委員会は岩手県全体の遺跡の現状を調査し、基礎資料となる遺跡台帳を作成するために県下67名の遺跡調査委員を委嘱し、このとき岩手町内には74遺跡が報告され、古館川流域では秋浦遺跡が登録されている。その後、高橋昭治氏の研究活動の成果として発行された「岩手町遺物地名表」により秋浦A、秋浦B、秋浦C、秋浦貝塚に細分され、報告されている。昭和53年の新幹線環境調査、文化財パトロールの成果により遺跡は、秋浦Ⅰ・秋浦Ⅱ・秋浦Ⅲに区分された後、秋浦Ⅱ遺跡範囲内において現状変更計画が持ち上がり、岩手県教育委員会は県教委文化課と協議し、遺跡の範囲・内容確認を目的として、岩手町が平成5年度に町内遺跡発掘調査事業の一環として、秋浦Ⅱ遺跡現状変更地域の発掘調査を実施している。

平成11年1月付けの岩手県教育委員会のまとめでは、岩手町内には188カ所の遺跡が登録されている。第4図および第1表には秋浦Ⅰ・Ⅱ遺跡を中心とした周辺地域(岩手町・玉山村)における縄文時代の遺跡分布を示した。

3. 基本土層 (第2図)

調査区内の表層地層は、上位から下位への順で大きく4層に分けられるが、各層は層相によって細分化される。本遺跡は、昭和30年代に大規模な開田事業によって著しく擾乱を受けているため、地点によっては削られたり、動かされていたり、残っていない地層もあるが、基本的な層序は次に述べる形になる。

I層 10YR2/1 黒色土～10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まり中。

表土および田畑の耕作土。層厚は20～40cm。少々固い。調査区全域でみられる。若干の遺物が認められる。

II層

調査区南側と北側では薄く、調査区中央部へ向かっていくにしたがって次第に層が厚くなる。層厚は60～80cmであるが、調査区中央部では1 m50cmほどになる。遺構の検出面であり、遺物を多数包含する。下層部に向かうほど粘性があり、礫を多量に含んでくる。

- ・ II a層 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まり中 礫を含む。
- ・ II b層 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まり弱 礫有り。
- ・ II c層 10YR3/2 暗褐色土 粘性有り 締まり強 礫を含む 炭化物微量。
- ・ II d層 10YR5/4 におい黄褐色土 粘性有り 締まり強。

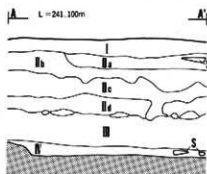
※場所によっては、このII d層は存在しない。また、このII d層とIII層の間に火山灰が認められる部分も存在する。

III層 10YR1.7/1 黒色土 粘性なし 締まり弱 礫含む。

場所によって消失しているが、調査区中央部～南側において確認される。層厚は、30～40cm程である。遺物、遺構を包含していない。

IV層 10YR4/6 褐色土～10YR5/4 黄褐色土 粘性なし 締まり弱 礫を多量に含む。

砂質で小礫を多量に含む礫層である。粘性なく若干柔らかい。遺物は包含していないが、場所においてはこの層を掘り込んで構築された遺構が確認される。また、A区とC区南端部においては、I層除去後、II・III層が存在せず、IV層が確認されている。



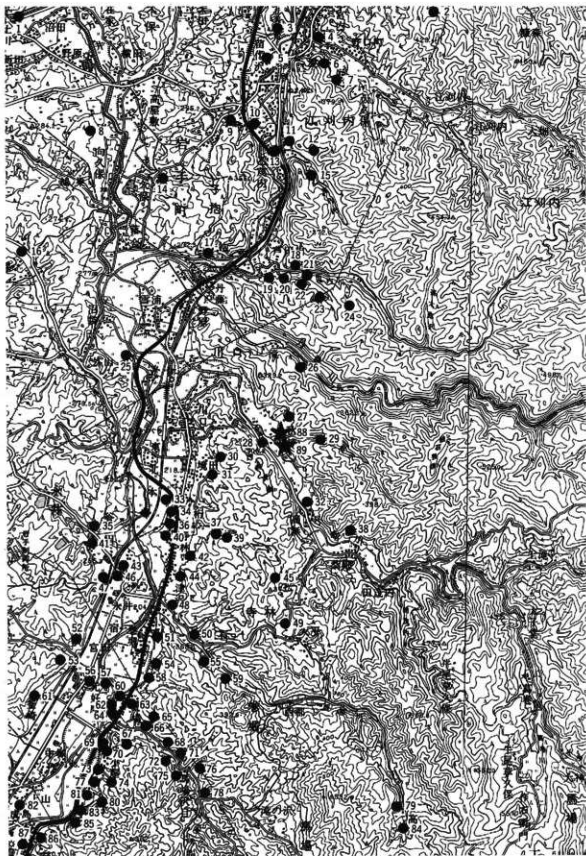
基本土層

- I層 10YR2/1黒色土～10YR2/2黒褐色土 粘性なし 締まり中
- IIa層 10YR2/2黒褐色土 粘性なし 締まり中 礫を含む
- IIb層 10YR2/2黒褐色土 粘性なし 締まり弱 礫あり
- IIc層 10YR3/2暗褐色土 粘性有り 締まり強 礫を含む 炭化物微量
- II d層 10YR5/4におい黄褐色土 粘性有り 締まり強
- III層 10YR1.7/1黒色土 粘性なし 締まり弱 礫含む
- IV層 10YR4/6褐色土～10YR5/4黄褐色土 粘性なし 締まり弱 礫を多量に含む

第2図 C区基本土層



第3圖 遺跡周辺地形図



第4図 遺跡の位置と周辺の遺跡

第1表 周辺の遺跡一覧

番号	遺跡No.	所在地	遺跡名	種別	時代	遺構・遺物	所在地	備考
1	KR11-0170	新市町	芋もくぼ	集落跡	縄文	縄文土器 (後・前期)	人字・舟形(15区)1期前段	
2	KR11-0200	新市町	大野目	集落跡	縄文・弥生	縄文土器 (後期)・弥生土器	大字江原町地区7区7号東	
3	KR11-0135	新市町	石野下目	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
4	KR11-0136	新市町	石野下目	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
5	KR11-0109	新市町	石野下目	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
6	KR11-1136	新市町	江田川1	集落跡	縄文・弥生	二神段(1)土器(前期)・土器(後期)	大字江原町	
7	KR11-1147	新市町	江田川2	集落跡	縄文・弥生	二神段(2)土器(前期)・土器(後期)	大字江原町	
8	KR11-2214	新市町	久保	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
9	KR11-2003	新市町	一木	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
10	KR11-1096	新市町	太郎	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
11	KR11-2122	新市町	一ツ野	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
12	KR11-2144	新市町	乙野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
13	KR11-2059	新市町	乙野内1	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
14	KR11-2063	新市町	乙野内2	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
15	KR11-2144	新市町	乙野内田	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
16	KR11-0185	新市町	樗々久保	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
17	KR11-0492	新市町	千早	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
18	KR11-0492	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
19	KR11-1009	新市町	栗野内1	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
20	KR11-1120	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
21	KR11-1125	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
22	KR11-1127	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
23	KR11-1126	新市町	栗野内V	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
24	KR11-1250	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
25	KR11-2011	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
26	KR11-2009	新市町	坪倉	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
27	KR11-0492	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
28	KR11-0138	新市町	秋津田	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
29	KR11-0492	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
30	KR11-0515	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
31	KR11-1106	新市町	赤松	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
32	KR11-1117	新市町	赤松	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
33	KR11-1145	新市町	下ノ湯田	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
34	KR11-1126	新市町	下ノ湯田	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
35	KR11-1041	新市町	坂平1	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
36	KR11-1041	新市町	坂平1	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
37	KR11-1041	新市町	坂平1	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
38	KR11-0142	新市町	人取田	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
39	KR11-1210	新市町	坂山	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
40	KR11-1176	新市町	岩野田	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
41	KR11-1180	新市町	千手塚	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
42	KR11-2003	新市町	久保	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
43	KR11-2003	新市町	久保	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
44	KR11-2003	新市町	久保	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
45	KR11-1099	新市町	藤下目	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
46	KR11-2011	新市町	千早	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
47	KR11-2017	新市町	赤野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
48	KR11-2017	新市町	赤野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
49	KR11-2010	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
50	KR11-2003	新市町	久保	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
51	KR11-2094	新市町	いぶ谷	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
52	KR11-0515	新市町	赤松	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
53	KR11-0294	新市町	赤松	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
54	KR11-0515	新市町	赤松	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
55	KR11-0515	新市町	赤松	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
56	KR11-0294	新市町	赤松	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
57	KR11-0515	新市町	赤松	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
58	KR11-0515	新市町	赤松	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
59	KR11-0515	新市町	赤松	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
60	KR11-0515	新市町	赤松	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
61	KR11-0515	新市町	赤松	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
62	KR11-0515	新市町	赤松	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
63	KR11-0515	新市町	赤松	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
64	KR11-1009	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
65	KR11-1009	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
66	KR11-1311	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
67	KR11-1340	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
68	KR11-1336	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
69	KR11-1348	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
70	KR11-1380	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
71	KR11-1348	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
72	KR11-1367	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
73	KR11-1277	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
74	KR11-1289	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
75	KR11-1278	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
76	KR11-1040	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
77	KR11-1287	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
78	KR11-1092	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
79	KR11-2009	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
80	KR11-2010	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
81	KR11-2017	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
82	KR11-2128	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
83	KR11-2024	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
84	KR11-2024	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
85	KR11-2024	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
86	KR11-2024	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
87	KR11-2024	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
88	KR11-2024	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	
89	KR11-0131	新市町	栗野内	集落跡	縄文	縄文土器	大字江原町	

III. 調査の方法と室内整理

1. 調査の方法

(1) グリッドの設定と遺構名

グリッドの設定に当たっては平面直角座標系(第X系)にあわせ、 $X=-9,300,000$ 、 $Y=33,145,000$ を基準点1、 $X=-9,350,000$ 、 $Y=33,145,000$ を基準点2とした。この2点を結んだ線を基準線とした。そしてこの基点および基準線を延長し、遺跡全体を一辺20mの大グリッドに区画した。北西隅を基点に東方向へはローマ数字のI~III、南方向へはアルファベットのA~Kを付して、これを組み合わせてA I、B II、C III...というように表示した。小グリッドは大グリッドを16等分して 5×5 mに区画し、北西を隅に1~16の算用数字をつけて設定した。

検出された遺構の命名については下記のとおりに行った。各遺構の遺構番号は、検出順に付しており、欠番となっているものは調査進行中、または整理作業の過程で遺構としての認定から除外したものである。

種 別	遺構名(登録数)	*欠番
竪穴住居跡	: RA01~41 (38)	11, 17, 29
土 抗	: RD01~35 (33)	10, 34
炉・焼土遺構	: RF01~32 (31)	28
集石・配石遺構	: RH01~05 (4)	02
埋設土器	: RP01~07 (7)	
柱 穴	: PP	
遺構内柱穴	: P	

(2) 掘掘りと遺構検出

かつては、遺跡内に民家や田畑があったが、調査開始時にはほとんどが荒地の状態であった。検出面までの深さおよび層序の確認のため調査区内にトレンチを設定した。この結果、調査区北側と南端部においては、表土を除去した時点で露層があらわれ、遺構・遺物の存在は確認されず、調査区中央部~南側において基本層序の第II層が遺構検出面であることが確認された。このため、基本層序第II層上面までの除去には重機を使用した。その後、人力によって遺構の有無を確認しながら第IV層まで掘り下げていった。

(3) 遺構の精査と実測・遺物の取り上げ

検出された遺構は、竪穴住居跡・竪穴住居状遺構については4分法、土坑類については2分法を原則として精査を行ったが、必要に応じてその他の方法も併用した。記録として必要な図面および写真撮影は、精査の各段階において適宜これを行った。実測は溝跡など一部平板実測で平面図を作成した。

実測図の縮尺は1/20を基本とし、平面図と断面図を作成した。

遺構内出土遺物については、埋土では上部・下部に分けて取り上げ、床面や底面出土の遺物は、必要に応じて写真撮影、図面作成の後に取り上げた。遺構外出土遺物については、グリッド毎に出土した層位を記して取り上げるよう努めた。

(4) 写真撮影

野外調査での写真撮影は調査員が担当し、遺構の検出状況・埋土土層断面・遺物の散布状況・完掘状況・炉跡のアップ・断ち割りなど必要に応じてできるだけ多くの状況が把握記録できるようにした。

写真撮影には6×7 cm判カメラ(モノクロ)と35mm判カメラ(モノクロとリバーサルフィルム)を使用し、この他にボラロイドカメラ1台をメモ的な用途として使用した。撮影にあたっては、撮影内容・状況を記載した「撮影カード」を事前に写し、整理時の混乱を防止した。また、遺構の精査が進んだ段階で小型飛行機による空中写真撮影を行った。

2. 室内整理

(1) 作業内容

遺物の処理は遺物の水洗い接合・復元を優先させて行った。次に仕分け・登録・写真撮影・実測・拓本の作成を並行して進めた。実測図は点検の後にトレースを行い、図版・写真図版の作成を順に行った。

(2) 凡例

本報告書内における遺構・遺物の凡例については第5図に示した形となる。

(3) 遺構

遺構配置図は、発掘調査時に作製した図面をもとに1/250の縮尺図を作製し、仕上がり1/500で掲載した(第6図、第2表)。各遺構図面は以下の縮尺を原則としたが、一部に変更もあり、図面には、それぞれスケールを付した。

竪穴住居跡・竪穴状遺構の平・断面図	=1/60
土坑の平・断面図	=1/40
炉・焼土遺構の平・断面図	=1/30
集石・配石遺構の平・断面図	=1/30
埋設土器の平・断面図	=1/15
溝跡	=1/60、1/120
掘立柱建物跡	=1/60
柱穴列	=1/60
柱穴状ピット群の平面図	=1/150

(4) 遺物

遺物は洗浄と出土地点ごとの仕分け作業を行った後、注記・接合・復元・登録・分類作業を行った。報告書掲載の遺物は、登録した中から選択して、実測・拓影・トレース・写真撮影・図版作成と進めた。遺物の掲載選択については以下の基準で行った。

〔土器〕土器は、完形品及び接合復元により実測可能なものについて掲載したが、一部は破片実測して掲載した。破片は、口縁部片及び文様帯が明確なものを、底部は網代痕・木葉痕などの文様が構築されているものを優先した。土器実測図の縮尺は立体、破片とも1/3を基本とし、大きさにより1/4、1/5で掲載した。

〔石器〕 石器については欠損の著しい剥片石器・不定形石器・礫石器の一部を除き、大部分を掲載した。

石器実測図は、剥片石器を1/2、礫石器を1/3とし、礫石器の一部については1/4、1/5とした。

〔土製品・石製品〕 土製品・石製品は大部分を掲載した。

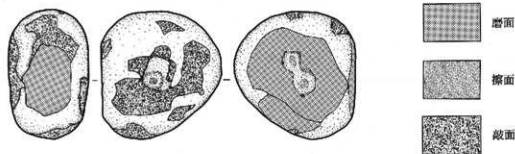
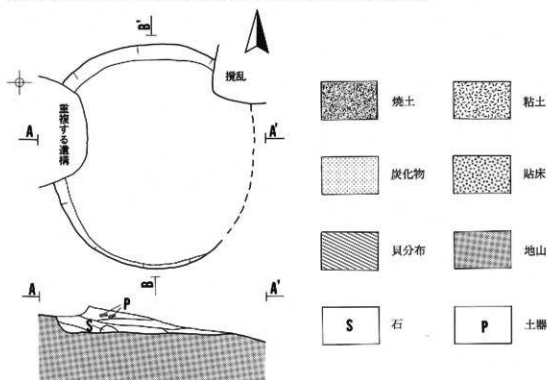
〔古銭・鉄・金属器類〕 古銭・鉄・金属類に関しては全点掲載した。

〔骨類〕 調査区から出土した骨（骨片）類に関しては、分析した結果を遺構内・遺構外とも一括して一覽表にまとめた。出土した骨類のうち、残存状況が比較的良好なものを選び、写真掲載した。

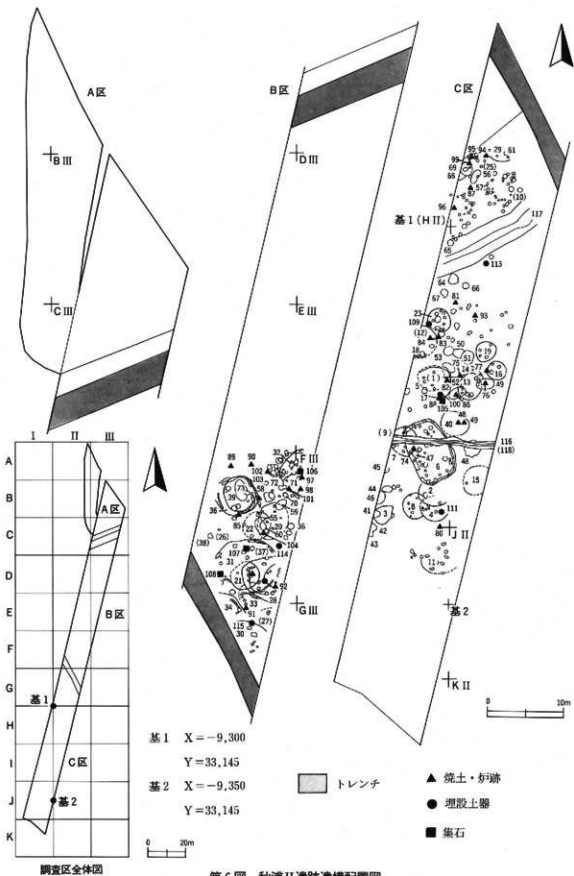
〔貝類〕 貝類の分析結果については、骨類と同じ一覽表に掲載した。また、貝自体は破損状況が激しかったため、残存状況が良好なものの中から選び、写真掲載した。

（5）写真図版

遺構写真は縮尺不定である。遺物の写真図版については各図に縮尺を付した。



第5図 遺構・遺物実測凡例



第2表 遺構配置圖一覽表

	竪穴住居跡	32	RA35	62	RD23	93	RF20
1	RA01	33	RA36	63	RD24	94	RF21
2	RA02	34	RA37	64	RD25	95	RF22
3	RA03	35	RA38	65	RD26	96	RF23
4	RA04	36	RA39	66	RD27	97	RF24
5	RA05	37	RA40	67	RD28	98	RF25
6	RA06	38	RA41	68	RD29	99	RF26
7	RA07		竪穴状遺構	69	RD30	100	RF27
8	RA08	39	1号竪穴状遺構	70	RD31	101	RF29
9	RA09	40	2号竪穴状遺構	71	RD32	102	RF30
10	RA10		土坑	72	RD33	103	RF31
11	RA12	41	RD01	73	RD35	104	RF32
12	RA13	42	RD02		炉・焼土遺構		集石・配石
13	RA14	43	RD03	74	RF01	105	RH01
14	RA15	44	RD04	75	RF02	106	RH03
15	RA16	45	RD05	76	RF03	107	RH04
16	RA18	46	RD06	77	RF04	108	RH05
17	RA19	47	RD07	78	RF05		埋設土器
18	RA20	48	RD08	79	RF06	109	RP01
19	RA21	49	RD09	80	RF07	110	RP02
20	RA22	50	RD11	81	RF08	111	RP03
21	RA23	51	RD12	82	RF09	112	RP04
22	RA24	52	RD13	83	RF10	113	RP05
23	RA25	53	RD14	84	RF11	114	RP06
24	RA26	54	RD15	85	RF12	115	RP07
25	RA27	55	RD16	86	RF13		溝・貝層
26	RA28	56	RD17	87	RF14	116	1号溝
27	RA30	57	RD18	88	RF15	117	2号溝
28	RA31	58	RD19	89	RF16	118	貝層
29	RA32	59	RD20	90	RF17		
30	RA33	60	RD21	91	RF18		
31	RA34	61	RD22	92	RF19		

IV. 検出された遺構と遺物

調査の結果、縄文時代の竪穴住居跡38棟、竪穴状遺構2棟、土坑33基、炉・焼土遺構31基、集石・配石遺構4基、埋設土器7基、溝2条、掘立柱建物跡3基、柱穴列1基、柱穴等が検出された。出土した遺物は縄文土器、土製品、石器、石製品などである。

1. 竪穴住居跡

RA01 (第7図、写真図版3)

〈位置〉 I I 04 グリッドに位置する。

〈検出状況〉 II層中を下げている途中で炉を検出した。住居の貼り床と思われる一部を炉の南側で確認している。断面で住居としての立ち上がりは確認できなかったため、炉・床・柱穴で住居とした。

〈重複関係〉 RA01の下に RA05・RA19、北東方向に RD14、東側に RF09、南側に RP02・RH01が存在している。

〈平面形・規模〉 平面形・規模共に不明。

〈埋土〉 黒褐色土主体で、礫を含む。

〈壁・床面〉 炉南側で固く締まった床を確認した。床面の一部には礫が埋まっている。壁は攪乱をうけたためか確認することはできなかった。

〈柱穴〉 2基検出した。2基とも底に石が埋め込まれている。

〈炉〉 石囲炉を検出した。炉石は部分的に取られている。焼土の発達はあまり良くなく、厚さは4～8cm程度である。焼土の下に大きな礫が存在している。炉の規模は50cm×50cmである。

〈出土遺物〉 縄文土器片を大コンテナ2箱分出土している。NO1は口縁部に2×2単位の突起を持ち、口縁部内・外面に隆線を付している。口縁部外面の隆線は渦巻状に形成され、RLR複節縄文を横位に施し原体圧痕を行っている。また土器体部(胴部)はRLR複節縄文を縦位に施す。NO2は原体圧痕を行った深鉢口縁部。NO3は隆線と原体圧痕を付している深鉢口縁部。NO4は隆・沈線を主体とし、やや外反する深鉢口縁部である。NO5・NO14は波頭部に渦巻文様を持ち、やや外反する口縁部である。NO6は口唇部に刻目文様を持ち、NO7は隆線原体圧痕によって形成された口縁部分である。NO8はやや膨らみを持ち、RL単節縄文と隆線を施した深鉢である。NO9は無文帯に橋状把手と隆線を付した口縁部分であり、地文はLR単節縄文を縦位に施す。NO10は口縁部に突起を持ち、沈線・刻目・LR単節縄文を縦位に施す。NO11は口縁部に隆線にLR単節縄文を横位に施す。NO12は篋状工具による刺突、沈線区画内を無節Lで施している。NO13は口唇部に突起を持ち、沈線を主体に文様を付した深鉢口縁部分である。地文はやや不明確であるが、LR単節縄文の横位回転と思われる。石鏃は2点掲載。このうちNO15は基部に抉入のある凹基無茎鏃、NO16は基部に丸みを持つ凹基鏃である。NO17は尖頭器、NO18は石鏃、NO19は削擦器である。またNO20は、円盤状土製品である。掲載した上記の遺物の他、削擦器3点出土している。

〈時期〉 出土遺物は縄文時代中期中葉～末葉が中心であるが、掘り上げられて入り込んだ可能性が高い。検出面および下位に存在するRA05・RA19との関係から、本住居跡は少なくとも縄文時代中期末葉もしくはそれ以降に属すると考えられる。

RA02 (第7図、写真版4)

〈位置〉 I I 16 グリッドに位置する。

〈検出状況〉 II層中で検出した。当初2つの炉を検出し、それぞれ単独に炉・焼土遺構として登録したが、このうち一方の炉は焼土が存在せず炉石も焼けた様子が明確でなかった点から炉・焼土遺構としての登録を外し、没とした。また、もう一方の炉の周囲において、水のしみ込み具合が異なる部分が住居のプランを形成する様相を呈していたため、住居に伴う炉と考えて精査したところ、炉と同じレベルで柱穴を2基確認し、炉と柱穴の位置的な関係を検討した結果、住居に伴う炉であると判明した。

〈重複関係〉 床面確認の時点で、RA02の北東側・南側下位に別住居プランが存在している。南側はRA04、北東側はRA08である。

〈平面形・規模〉 住居の北側から東側の壁が攪乱を受けたため消失しており、住居としてのプランを検出・精査することができたのはほぼ半分程度であるが、そこからは、平面形は楕円形を呈するものと思われる。規模は直径約4.0mと推定される。

〈埋土〉 黒褐色土主体であり、細かな礫を含む。

〈壁・床面〉 攪乱をうけているため明確に壁を検出したのは南～西側である。壁は緩やかに外傾しており、壁高は16～25cmほどである。床面は固くしまった黄褐色土と黒褐色土である。

〈柱穴〉 2基検出した。

〈炉〉 石囲炉を検出した。炉石が部分的にしか存在せず、焼土は厚さ4cm程度、炉の規模は90cm×70cmである。

〈出土遺物〉 NO21は口縁部分に隆・沈線による渦巻文と区画内にLR単節縄文の横回転によって文様を施した深鉢である。NO22は口唇部と隆帯上に刻目状の原形疋痕と三日月状の原形疋痕を施した深鉢口縁部分である。NO23は突起と隆線を持ち、地文はLR単節縄文を横位に施す。NO24は、隆・沈線で付されている口縁部はLR単節縄文を横位に、また土器体部(胴部)においてはLR単節縄文を縦位に施している。NO25は孔のある波状口縁を持つ深鉢。NO26はRL単節縄文を横位に施した後、隆・沈線を付したと思われる。NO27は両面に磨面を持つ凹石。NO28は石皿を転用したと思われる砥石である。NO29は石製品である。

〈時期〉 出土遺物は縄文時代中期中葉のものと思われるが、下位に存在するRA04、RA08は縄文時代中期後葉のものと思われるため、出土した遺物は投げ込まれた可能性が高く、本住居跡は少なくとも縄文時代中期後葉以降のものと思われる。

RA03 (第7図、写真版5)

〈位置〉 I I 15 グリッド付近に位置している。

〈検出状況〉 II層を段階的に下げ、礫まじりの黄褐色土に砂を含んだ褐色土でプランを検出した。住居の北東部分に出っ張りが存在しており、本住居跡の出入り口と考えられる。

〈重複関係〉 床面確認の時点で、RA03炉西側にRD01が存在する。東側の柱穴PP113に住居のプランが切られている。

〈平面形・規模〉 平面形は楕円形である。規模は2.94m×2.3mである。

〈埋土〉 黒褐色土を埋土としており、礫を含んでいる。中央部分に炭化材を多く含んでいる。

〈壁・床面〉 床は北西部分がややしまっており、ほぼ礫まじりである。壁は外傾しており、壁高は北側と東側で7cm、南側で10cmほどである。

〈柱穴〉2基検出した。2基とも礎を掘り込んで形成されている。

〈炉〉石囲炉を検出した。規模は60cm×55cm、炉石は明確に焼けており、焼土の厚さは約10cmである。

〈出土遺物〉NO30の縄文土器片を1点のみ出土。沈線による渦巻文を施している深鉢口縁部分である。

〈時期〉出土遺物より縄文中期中葉と思われる。

RA04 (第8図、写真図版6)

〈位置〉II 16グリッドに位置している。

〈検出状況〉II層を北側から掘り下げている途中で石囲炉の断片を検出した。地山が北西から南東方向に落ち込んでおり、北西側の一部分はIV層を掘り込んでいるため平面プランを確認できたが、残りの部分は明確でなく推定プランを設定し精査を行った。

〈重複関係〉RA02と重複しているが、本遺構より高いレベルにあるため切りあってはいない。また、RA08と切りあっており、新旧関係は出土遺物を基に判断すると本住居跡が古くRA08が新しい。

〈平面形・規模〉北東部分が攪乱により確認できない上、地山を掘り込んでいる部分しか明確に壁の立ち上がりを確認できなかったため、規模を明確に示すことは難しいが、少なくとも検出された3.7mより大きくなるものと思われる。

〈埋土〉黒色土を主体としており、比較的小礫が多く混じる。

〈壁・床面〉壁は外傾して立ち上がり、壁高は約10cmである。床面は平坦である。北西側の一部分はIV層である黄褐色土を床面・壁としているが、残りはII層の暗褐色土である。一部分ではあるが、確実に床面と思われる硬く締まる部分が存在した。

〈柱穴〉6基検出された。このうちP1、P2、P5の3基が規模径35～42cm、深さ30～35cmであり、主柱穴であると思われる。

〈炉〉石囲炉を検出した。規模は70cm×70cmの正方形で炉石は全て床面を掘り込んで埋められていた。

〈埋設土器〉本住居跡精査終了後、更にII層を掘り下げている途中で検出した。これをRP03として登録した。倒立、更に入れ子の状態で埋設されているが、底部が壊されていた。RP03は床面では検出されなかったが、断面観察により床面から掘り込んで埋設されたことが確認できた点から、RA04に伴うものと考えられる。

〈出土遺物〉本住居跡からは出土遺物はなく、精査終了後に検出した埋設土器だけである。

〈時期〉埋設土器から判断して、縄文時代中期後葉に属すると思われる。

RA05 (第8図、写真図版7)

〈位置〉H 1 16・I 1 04グリッド付近に位置している。

〈検出状況〉RA01 炉を半載した時に、直下25cm位でRA05の炉を検出した。II層中での検出で平面プランを確認することができなかったため、炉の部分を中心として外側に向けて同心円状に締め具合を確認しながら掘り進めた。

〈重複関係〉RA01、RA19と重複。RA05との床面レベルとの差は、RA01床面は約25cm高く、RA19床面は約25cm低い位置に存在する。3つの住居のプランは大部分が重なり、炉も壊されていないことから切り合いはなく、RA19の上にRA05、その上にRA01が建てられたものと考えられる。

〈平面形・規模〉壁を掘りすぎたため、東西・南北ベルトにかかった部分しか残っていないが、これを基にすると3.7m×3.5mで円形または隅丸方形を呈すると思われる。

〈埋土〉 黒褐色土と黒色土を主体としており、礫を多量に含む。

〈壁・床面〉 壁は外傾して立ち上がり、埋土に比べやや暗く締まりがあった。壁高は10～20cmである。床面はほぼ平坦で礫が多く入っている。

〈柱穴〉 検出されなかった。

〈炉〉 それほど鮮明ではない焼土があり石がその周りを囲んでいるが、埋めた痕は見られず、この辺一帯に礫が散布していることから、地形を利用し炉として使用されたものと考えられる。焼土の厚さは2～4 cmほどである。

〈出土遺物〉 NO31とNO33は沈線区画内が無文の深鉢。NO31はLR単節縄文を縦位に、またNO33はRL単節縄文を縦位に施し、鰭状突起を有する。NO32は口縁部に細い原体圧痕を持ち、LR単節縄文を縦位に施している小型深鉢である。NO34、NO35は粗製深鉢で床面部分に木葉痕が存在している。NO36は隆帯上に原体圧痕を行った深鉢口縁部分であり、やや外反する。NO37は隆帯上に隆縁で文様を付けている口縁突起部を特徴とする。NO38は渦巻状の原体側面圧痕を有し、RL単節縄文を縦位に施している。NO39は波頭部に渦巻文様を有し、RL単節縄文縦回転と沈線を施している。NO40の深鉢土器は口縁部にLR単節縄文の横回転、体部に縦回転を行っている。NO42はLR単節縄文を縦位に施した粗製深鉢である。NO43は基部が突出する凸基有蓋器である。NO44は削搔器である。NO45は板状土偶の体部と思われる。NO46はミニチュア土器である。NO47、NO48は土器を二次的に加工し使用した円盤状土製品である。

〈時期〉 出土遺物より縄文時代中期中葉～末葉に属すると考えられる。

RA06 (第9・10図、写真図版8・9)

〈位置〉 I I 07・08・12、I II 09グリッド付近に位置している。

〈検出状況〉 RA06の南端プランを地山IV層上面で検出し、プランを追って北側に広げていった。IV層を掘り込んでいるため平面プランを確認できていたが、掘り進めていくうちに地山が落ち込んでいるのか、別遺構と重複しているのか、この時点では分からなかったためプランが確認できなくなった。そこで南端プランを参考に推定プランを引き、南北と東西にベルトを設定して精査を開始した。この時、5.0m×6.0mの隅丸方形を呈していた。精査終了後、IV層を掘り込んだプランがまだ北側に伸びる様相を呈していたので、更に北側の検出を試みた。II層を数cm下げたところIV層が現れ、RA06北西側の角と思われる部分が検出された。北東はII層が厚く残っていたため、南側から床面レベルで掘り下げながら、壁・周溝を追っていく方法で精査し住居の全景を検出した。

〈重複関係〉 RA09はRA06を切っている。床面はほぼ等しく壊されていない。RA09の上にRA07があり、RA06の埋土が一部削られている。1号溝はこれらの住居を東西に切っている(古い方から、RA06→RA09→RA07→1号溝)。またRD07と重複しており、RA06床面で検出した。

〈平面形・規模〉 住居の規模は8.2m×5.4mで、やや隅丸方形を呈する。

〈埋土〉 黒色土を主体に4層に区分される。3層と4層は周溝埋土である。

〈壁・床面〉 壁はやや直立ぎみに立ち上がり、壁高は20～30cmである。検出面はIV層上面であるが、北端のベルト断面から少なくともII層中から掘り込まれたものと思われる。床面は砂質であり締まりがなく、凹凸がある。IV層を掘り込んでいるため、礫が散乱している。

〈周溝〉 周溝は床面で検出された。東側壁沿いで一部途切れるが、幅20～50cm、深さ3～18cmでほぼ全体に巡る。周溝内には、ほぼ南北対象に柱穴が配置されている。全体的に石が散乱しているが、柱穴によって

は壁に石を組んでいるものもある。

〈炉〉RA06の北側中央部に石囲炉が検出された。RA06は1号溝に切られているが、石囲炉の半分が消失しており、1号溝の上端がちょうど炉上を通ることから、1号溝により壊されたものと思われる。焼土は、黒色土に焼土粒が薄く混じる程度であり、炉石はIV層を掘り込んで埋められていた。また、住居の南西方向の壁際にも炉があったが、床面より約5cm高いレベルにあり、RA06に伴わないものと判断した。

〈柱穴〉床面で検出されたP1～P6は主柱穴である。長軸を中心にP1とP2、P5とP6は対になるように配置されており、柱穴間隔は250cmである。これらの間に位置するP3とP4は軸からややずれており、柱穴間隔は280cmである。P4は壁から上端にかけて石組みをされていた。P7～P23は支柱穴と考えられる。床面上にまばらに配置されているが、P8とP11は主柱穴のやや延長線上に間隔が250cmで配置されている。P24～P39は周溝内にほぼ南北対象に配置されている。

〈出土遺物〉NO49は口縁部の隆帯上に原体圧痕を行い、体部は羽状縄文によって文様を施した深鉢である。NO50は口縁部が外反し、棒状工具による刺突が施された深鉢である。地文はRL単節縄文を横位に施している。NO51は口縁部に沈線、体部にLR単節縄文の横回転を行った深鉢、NO52はL口縁部に4単位の突起を持ち、隆・沈線とLR縦回転を施した深鉢で共に縄文時代中期中葉に属すると考えられる。これとほぼ同時期に属するのはNO55の土器の土器片である。但しこれらは全て埋土中より出土したものであり、本遺構に伴う土器はP2より出土したNO53の粗製土器とP3より出土したNO56の隆線上に刺突を施した後期に属すると考えられる土器片である。NO57は尖頭器、NO59は削搔器、NO60は三日月型の異形石器、NO61は磨製石斧、NO62は磨り石、NO63は窪みを持つ磨り石、NO64は棒状の凹石、NO65は凹盤状土製品である。このほかに、尖頭器1点、削搔器3点出土している。

〈時期〉床面及び床面付近からの出土土器がなく、殆どが埋土からのものであり、本住居跡の時期決定が可能な遺物はP2とP3の柱穴内から出土した土器2点である。P3から出土した土器から判断すると、少なくともRA06は縄文時代後期初頭のものであると考えられる。

RA07（第11図、写真図版9）

〈位置〉I I 07～11グリッドに位置している。

〈検出状況〉IV層上面で検出された。南西側の一部分と北西側の一部分はIV層を掘り込んでいるため、平面プランを確認することはできず、残りの部分はRA06または1号溝の重複により難航した。

〈重複関係〉RA07とRA09はRA06を切っており、RA07はRA09の南壁を一部共有しておりRA09床面から約10cm上に存在する。また1号溝はこれらの住居を東西に切っている。なお、新旧関係はRA06の重複関係の項目に示した通りである。

〈平面形・床面〉1号溝に切られているため、東側の一部、西側の一部を破壊されているが、残存部分より住居の規模は直径3.9mで円形を呈するものと思われる。

〈埋土〉黒褐色土を主体としている。礫を少量含んでいる。

〈壁・床面〉壁は外傾して立ち上がり壁高は4～15cmである。床面はやや平坦であるが南側になだらかに高くなる。北西を南側はIV層を壁、または床面としているが床面南側に貼り床と思われる粘土質の黄褐色土が存在した。

〈柱穴〉床面で4基検出された。P3とP4は本遺構に伴うものであるがP1は他に比べて深すぎ、P2は炉が存在すると思われるところに近すぎるので、伴う可能性は低い。

〈炉〉検出されなかった。RA07の中央を1号溝が東西に切っているため、その時廃棄された可能性があると考えられる。

〈出土遺物〉NO66は隆帯上に刻目を施され沈鉢を持つ深鉢である。NO67はミニチュア土器の底部と思われる、底の器部は十字状に溝が構築されている。

〈時期〉出土した土器片は縄文時代中期中葉のものと考えられるが、RA06・RA09との関係から、投げ込まれた可能性が高く、本住居跡は少なくとも縄文時代後期初頭もしくはそれ以降と思われる。

RA08 (第11図、写真図版10)

〈位置〉I I 15~16グリッド付近に位置している。

〈検出状況〉IV層上面で検出された。地山が北西から南東方向になだらかに落ち込んでおり、大部分はIV層を掘り込んでいるため、平面プランを確認できたが、東側はII層が検出面となるので難航した。焼土粒や炭化材が多く分布しており、またその範囲が限られていたため埋土と認識し平面プランとした。

〈重複関係〉RA02と重複しているが、RA08より高いレベルにあり、切り合っていない。RA04と切り合っており、出土遺物を基にするとRA04が古く、本住居跡が新しいと思われる。

〈平面形・規模〉東側がRA04との切り合いにより明確な壁を検出することができなかったため不明だが、およそ3.4mの円形を呈するものと思われる。

〈埋土〉基本的には黒褐色である。2層、3層は床面付近に分布し、炭化材、焼土粒を多く含んでいることからRA08は焼失住居である可能性が考えられる。

〈壁・床面〉壁はやや直立ぎみに立ち上がり、壁高は北側5cm、南側12cm、西側18cmである。床面は平坦である。南東側はII層を、他はIV層を壁・床面としている。

〈柱穴〉床面で9基検出された。このうち、P2・P4・P6・P9の4本が深さ20~30cmあり、他の柱穴に比べると深くなっているため、主柱穴であると考えられる。

〈炉〉石囲炉が検出された。50×45cmで正方形を呈している。住居プランの南東壁側に位置することから、複式炉の可能性があったため、前庭部を探したが検出されなかった。しかしながら、主柱穴の配置が半径150cmの円上にあること、前庭部と思われるところが少し落ち込んでいることから否定できない。炉石は焼けている様子が観察されたが、焼土は厚さ4cm程度で鮮明さに欠けていた。

〈出土遺物〉NO68は沈鉢区画内が無文で口縁部の一部に貫通孔を持つ深鉢である。地文はLR単節縄文を縦位に施す。NO69もNO68と同様、沈鉢区画内は無文である。口縁無文部分に刺突を有し、内面部分にC字状の文様が付されている。地文はRL単節縄文を縦位に施す。NO70は粗製の小型深鉢、NO71は直線と蛇行する沈鉢で区画した文様を有する。NO72は原体圧痕を口縁部に持ち、沈鉢・LRL複節縄文を施している。NO73は円盤状土製品である。

〈時期〉炉直上で出土した土器から判断すると、縄文時代中期末葉に属すると思われる。

RA09 (第11図、写真図版11)

〈位置〉I I 07グリッド付近に位置している。

〈検出状況〉RA06・RA07の床面検出時にIV層上面で石囲炉を検出した。南西側以外は切り合いなどによって床面に残っているものの壁は検出されなかった。南西側での残存部分についてはIV層を掘り込んでいるため明確にプランの一部が検出できた。

〈重複関係〉 RA07 重複関係記述と同じ。

〈平面形・規模〉 1号溝に切られているため南西側の一部分とベルトにかかる部分しか壁・床面が残っていないので平面形は不明である。規模については、残存部分の2.3mよりは大きくなるものと思われる。

〈埋土〉 単層で部分的に礫を含んでいる。

〈壁・床面〉 壁は外傾して立ち上がり、壁高は6～10cmである。残存部分はIV層を壁または床面としているが、他はII層を掘り込んでいたものと思われる。床面は平坦で砂を含んでいる。

〈柱穴〉 床面で1基検出された。

〈炉〉 石囲炉を検出した。規模は78cm×55cmで正方形状を呈している。炉石は床面に埋められているが、北側の一部分は1号溝により壊されており、抜き取り痕のみが観察された。焼土の厚さは2cm、強変焼土である。

〈出土遺物〉 縄文土器は2点掲載。NO74は、鏃状突起部分で刺突を持つ。NO75は深鉢口縁の一部分で粗製土器と思われる。この他に、石鏃1点出土している。

〈時期〉 縄文時代中期中葉と思われるが、RA06・RA07との関係から出土した土器は投げ込まれた可能性が高く、本住居跡は少なくとも縄文時代後期初頭と考えられる。

RA10 (第12図、写真図版12)

〈位置〉 G II10～14グリッド付近に位置している。

〈検出状況〉 II層中で100cm×70cm位で長方形を呈する石組みとその北隣に焼土が60cm×45cmの範囲で検出された。石組み内には焼土はなかったが石自体は焼けており、廃棄した焼土なのか、双方は関連のないものなのか不明であった。その後これらが住居跡に伴うものかを確認するためプランの検出作業を行った。辛うじて締まりがあり明るい黒褐色土に締まりのない暗い黒褐色土を埋土と判断し、プランを決定した。この時、炉を中心に円形状で半径250cmほどの規模であった。北半部分はすでに焼土検出面まで掘り下げているため検出できなかったが、残存部分のみではあるがベルトを設定し精査を行った。なお、焼土検出面においては柱穴は検出されなかった。その後、石組みおよび焼土を通してセクションを設定し断面を観察したところ、表面に露出していた石が深く埋められており、また焼土上面から30～50cm下に石が並んで存在していた。まだ全貌が明らかになっていないので炉とその周辺を掘り下げたところ、石組みと考えていた部分および焼土が分布していた下の部分にかけて、規模が長径230cm、短径120cmの複式炉が検出された。この点から先に設定されたプランでは炉の規模の割に小規模であり、複式炉をもつ住居プランにしては燃焼部寄りに壁が存在するため、再度住居プランを確認することにしたが、本住居跡の南側に存在する2号溝をすでに掘り上げてしまっていたため、平面による切り合いの確認はできなかった上、南北方向に設定した東側調査区境断面においても明確な住居としての壁が確認されなかったことから、RA10は床面レベルで2号溝まで掘り下げ、柱穴のみ確認することとした。

〈重複関係〉 2号溝と重複しており、本住居跡が古く2号溝が新しい。

〈平面形・規模〉 壁を検出できなかったため平面形・規模共に不明である。

〈埋土〉 黒褐色土主体である。礫を少量含む。

〈壁・床面〉 II層を床面・壁としていると思われるが、壁は検出することができなかった。床面は平坦であり、前庭部周辺に固く締まる部分が存在した。

〈柱穴〉 35基検出された。P1～2は床面で、P3～35はグメ押しによるIV層上面で検出された。主柱穴の配置

を検討したが明確に企画性を読み取ることができなかったが、P1・P2・P3・P25は深さが50～70cmほどあり、他柱穴に比べて深いため、主柱穴の可能性が高い。中でもP2とP25は、炉主軸を中心に左右対称に配置されている。また、規模径20～30cm、深さ10～30cmの小柱穴が炉を囲むようにめぐる。これらの小柱穴およびRA10に伴う主柱穴と考えているもの以外の柱穴には高いレベルに存在するものや調査区外に存在するものと企画性を持つものなどが含まれていると思われる。

〈炉〉Ⅱ層下位で石囲炉と副炉及び前庭部からなる複式炉を検出した。全長は230cm、石囲炉は100cm×80cmの規模で偏平な礎をやや長方形に配している。長辺は南側で65cm×40cm、北側で65cm×70cmの偏平礎を直立に立てている。短辺は礎をやや外傾ぎみに据えている。石囲炉短辺に連続して礎が北西に約120cmに渡り配されており、仕切りの石が存在せず前庭部に至る。偏平礎を直立またはやや外傾ぎみに据えている。副炉内にも底面付近に石が存在するため、底面検出作業を行わなかった。偏平礎が横になっているものがあり、敷石の可能性が高いが、焼けていない。捨てたものとすれば石囲炉同様に最下部分を結んだラインが底面になるとと思われる。副炉底面に焼土は存在しない。石囲炉及び副炉部分は底面に焼土は存在しなかったが、全体的に炉石が赤く焼けているため、燃焼部として使用されたものである。前庭部は副炉底面が北西になだらかに上がった床面上に存在する。掘り込みはないが、硬く縮まりがある。副炉の東側炉石に接して120cm×30cm、厚さ1～3cmの白色粘土が存在した。粘土は硬く縮まっていた。断面により、炉外から炉石の下に入り込む状態が観察され、その下には多量の炭化物が存在した。

〈出土遺物〉NO76は粗製深鉢の底部で、底面は網代痕を施した後、外側を擦り消している。NO77はRL縦回転を行った後、原体瓦痕と隆帯で文様を形成した土器破片である。NO78は隆線による渦巻文を口唇部分にも施している。NO79は隆帯部分に原体瓦痕を行った土器口縁部で円筒上層系に属すると思われる。NO81はRL縦回転を行いさらに沈線で区画した土器口縁部である。NO82もNO81とほぼ同時期に属すると思われるが、口唇部が微妙に外反し、鱗状突起に似た隆線(?)で区画帯を形成している。NO87・NO88・NO89の3点は有蓋釜である。このうちNO87は基部が直線的な加工で形成されている点から平基有蓋釜に属し、NO88・NO89は基部が突出している点から凸基有蓋釜に該当する。NO90～92の3点は削搔器、NO93は凹石、NO94は円盤状土製品である。掲載した以上の遺物の他に、削搔器1点、軽石2点出土している。

〈時期〉床面直上から縄文時代中期前葉～後葉のものが出土しているが、炉掘り込み埋土からは縄文時代中期前葉～中期末葉のものが出土しており、縄文時代中期後葉以降であると思われる。複式炉に伴う住居跡の時期は縄文時代中期後葉～末葉と限られるが、これにあてはまる。RA10は縄文時代中期後葉～末葉に属する。

RA12 (第12図、写真図版13)

〈位置〉J I 04～08グリッド付近に位置している。

〈検出状況〉Ⅳ層を検出しながら北側からⅡ層を掘り下げている途中で石囲炉を検出し、その後ベルト設定した。南側はⅡ層中での検出が可能であったが、プランを確認することができなかったため縮まり具合を観察しながら精査した。

〈重複関係〉なし。

〈平面形・規模〉南北の一部分の掘りすぎに加え、住居プランが調査区外にのびているため、規模を示すことはできない。しかし、残存部分の形態から円形であることが推定できる。

〈埋土〉黒褐色土主体で西側にパミスを微量含む。

〈壁・床面〉壁は南西側しか残っていないが、外傾して立ち上がり、壁高は6～36cmである。壁は埋土に比

べて、締まりがある。II層中を掘り込んでいるが、II層を壁、IV層を床面としている。床面は砂礫層であるため、礫が散乱して凹凸が激しい。

〈柱穴〉床面に12基検出された。位置・深さなどの要因から、P 1・P 5・P10の3基が主柱穴と考えられる。このことから、調査区外に存在する主柱穴との4本柱になる可能性が高い。また柱穴内には礫が入り込んでいた。

〈炉〉石囲炉を検出。60×55cmで正方形を呈する。床面を掘り込んで埋められている。焼土は、強変焼土が若干あり、その下が少し焼けている程度である。焼土の下が穴状になっており、締まりが全く無かった。

〈出土遺物〉なし。

〈時期〉不明。

RA13 (第13図、写真図版14)

〈位置〉H I 12グリッドに位置している。

〈検出状況〉II層中で焼土を検出した。当初、焼土登録していたが土器が埋設されており、周りには炉石として使用されていた可能性のある石が散乱していたため、RA13内炉に変更した。周りはほとんど床面と思われるレベルまで掘りさげたため、壁を壊した状態になる。

〈重複関係〉RA20と重複しているが、切り合いはない。RA13床面から約30cm下にRA20が存在する。

〈平面形・規模〉いずれも不明。

〈埋土〉記録なし。

〈壁・床面〉調査区内の壁は掘りすぎによりすべて壊した。そのため、RA13西側が調査区境となっているので、その断面により観察を試みたが壁の立ち上がりを観察することはできなかった。また、炉周辺で床面と思われる硬く締まった部分が存在したが、範囲を把握することができなかった。

〈柱穴〉3基検出した。床面に比べ、柱穴埋土は締まりがなかった。

〈炉〉体部～底部を横位に土器が埋設されており、南東に口縁部が向く状態である。中に別個体の体部下位～底部の土器が同じ状態で重ねられていた。また、強変焼土が土器内外に60cm×50cm、厚さ10～18cmで分布しており、その南東に90cm×90cm、厚さ約10cm前後で弱変焼土が分布する。周囲に火を受け焼けた跡が残っている石が散乱しているが埋めた様子はなく、動かされたものと思われる。

〈埋設土器〉登録名称 RP01。II層・RA13床面と思われる面で、炉から40cmくらい北の位置に検出、成立の状態であった。検出時には入れ子の状態のように見えたが、口縁～体部上位が壊されたものが外側に落ちたものであることが断面観察より分かった。土器文様は縄文のみで時期不明である。

〈出土遺物〉NO95・96・97・98の立体土器4点とNO100の破片土器は割製深鉢である。NO97は底面に網代痕を持つ。NO99は原体圧痕を施した縄文時代中期前葉に属する土器口縁部分である。NO101は磨製石斧である。

〈時期〉出土した土器からは縄文時代中期前葉に該当すると思われるものも含まれるが、本住居跡の下位に存在するRA20は縄文時代中期前葉に相当することから、本住居跡は少なくとも縄文時代中期前葉もしくはそれ以降に該当するものと思われる。

R A 14 (第13図、写真図版15)

〈位置〉 H II13~I II01グリッド付近に位置している。

〈検出状況〉 西側からII層下位を掘り下げている途中で石罫が検出した。II層下位暗褐色土に黒褐色土の埋土で検出された。北側はRA15精査終了後に検出作業を行い、東側と西側の一部は掘りすぎによって残っていない。

〈重複関係〉 RA15に切られ、更にRD09、RD13に切られる。

〈平面形・規模〉 規模は3.8m×3.0mでやや楕円形を呈する。

〈埋土〉 黒褐色土主体で炭化物等を微量含む。東側でバミスを微量含む。

〈壁・床面〉 壁は緩やかに外傾して立ち上がり壁高は4~10cmである。II層下位暗褐色土を壁または床面としている。床面は平坦でやや硬く締まる。

〈柱穴〉 床面で6基検出。

〈炉〉 60cm×47cmで正方形を呈しており、床面を掘り込んで埋められている。焼土は厚さ約8cmあり、炉外にまで存在する。炉石は焼けている様子が観察された。

〈出土遺物〉 NO102の土器は粗製深鉢の口縁部、NO103は基部が突出する凸基有蓋である。NO104はミニチュア土器である。

〈時期〉 遺構の重複関係から本住居跡は縄文時代中期中葉もしくはそれ以前のものと思われる。

R A 15 (第13図、写真図版16)

〈位置〉 II II13・I II01グリッド付近に位置する。

〈検出状況〉 II層下位暗褐色土に黒褐色土の埋土でRA14と同時に検出された。掘りすぎのため北東部分しか残っていなかった。

〈重複関係〉 RA14を切り、RD09に切られる。

〈平面形・規模〉 掘りすぎのための規模は不明であるが、残存部分の形態から、より円形であるものと思われる。

〈埋土〉 黒褐色土主体で炭化物・焼土粒を微量含む。

〈壁・床面〉 壁は緩やかに外傾して立ち上がり壁高は約6cmである。II層下位暗褐色土を壁または床面としている。床面は平坦でやや硬く締まる。

〈柱穴〉 4基検出された。P1・P2はRA15床面で、P3・P4はRA14床面で検出された。これらの柱穴は本来ならば床面から掘り込みIII層中に床面を持つものであるが、IV層上面まで掘りすぎてしまった。よって、RA14と合わせて伴う柱穴を検討したが配置のみを考慮した。

〈炉〉 焼土は薄く、焼土としての鮮明さを欠く。周りに石がめぐりが掘り方は観察されず、粗んだようには見えにくい。褐色粘土が炉のすぐ東に存在した。炉の規模は80cm×50cm、厚さ4cmである。

〈出土遺物〉 NO105の土器破片は、隆・沈線で渦巻文と区画部分を形成し、区画内はRL単節縄文で文様を施している深鉢口縁部である。このほかに石鏃1点出土している。

〈時期〉 出土した土器から縄文時代中期中葉に属すると思われる。

RA16 (第14図、写真図版17)

〈位置〉 I II09・I II13グリッド付近に位置している。

〈検出状況〉 II層下位で焼土と炭化材を検出し、焼土遺構登録で精査を行った。焼土は約100cm×70cmです。南に隣接しており、炭化材は150cm×100cmと広い範囲で分布していた。精査終了後の完掘作業の途中、焼土北端直下付近で土器埋設炉を検出した。その後平面プランを検出した。南側はIV層に黒褐色土の埋上で、北側はII層に黒褐色土の埋土で検出された。東側は調査区外に存在する。

〈重複関係〉 なし。

〈平面形・規模〉 規模は径約3.9mで円形を呈するものと思われる。

〈埋土〉 黒褐色土主体で焼土・炭化材を南側に多く含み、全体的に礫を多量に含む。床面上10～20cmのレベルで検出した焼土および炭化材は床面レベルまで存在するのでRA16埋土である。よってRA16は焼失家屋である可能性が高い。

〈壁・床面〉 壁は緩やかに外傾して立ち上がり壁高は約10cmである。基本的にはII層を賦または床面としていたと思われるが、部分によってはIV層が露出していたと思われる。

〈柱穴〉 床面で1基検出された。

〈炉〉 土器埋設炉が検出された。規模は55cm×50cmでやや「コ」の字状に石を組み、土器は内側に正立の状態で埋設されている。土器内に焼土、炭化物が存在するが消失した時のものであると思われる。土器内外共に焼土は薄い。西側が焚口と思われる。

〈出土遺物〉 炉より出土したNO106の埋設土器は、体部をLR単節縄文の縦位と横位で施文し沈線区画内を擦り消したと思われる大木10式の深鉢である。

〈時期〉 炉に埋設されていた土器より、縄文時代中期末葉に属するものである。

RA18 (第14図、写真図版18)

〈位置〉 H II14グリッドに位置する。

〈検出状況〉 II層下位粘土質暗褐色土上面で炭化材と焼土が広い範囲で分布しており、焼失家屋の可能性があるためベルトを設定し精査した。

〈重複関係〉 なし。

〈平面形・規模〉 平面形は円形であると思われるが、東側の一部分が調査区外にかかるため、やや楕円形になるかもしれない。規模は残存部分による2.6m×2.6mよりも大きくなる。

〈埋土〉 黒褐色土と暗褐色土主体である。床面直上に焼土が多く、全体的に炭化材を多く含む。また、調査区境の断面には、30～40cm高いレベルまで炭化材が多量に含まれており、焼失住居と思われる。

〈壁・床面〉 壁は緩やかに外傾して立ち上がり壁高は約12cmである。II層下位粘土質暗褐色土を壁または床面としており、締まりがある。床面は平坦である。

〈柱穴〉 床面で4基検出されたが配置が不規則である。

〈炉〉 石囲炉が検出された。床面を掘り込んで埋められている。炉の規模は、52cm×50cmで長方形状である。焼土は厚さ6～8cmで鮮明である。また、炉の北側に接触して床面直上に同一個体と思われる土器がつぶれた状態で検出された。

〈出土遺物〉 炉の北側に接触して潰れた状態で出土したNO110の土器は細かい粗礫が入っており、RL単節縄文を縦位回転した深鉢の粗製土器である。同じ粗製深鉢に含まれるNO107は底面に木葉痕を施している。

NO108 は沈線より文様を、NO109 は口縁部分を太い隆線で区画し体部をRL単節縄文を斜位に施している縄文時代中期中葉の土器破片である。

〈時期〉床面直上で出土した土器より少なくとも縄文時代中期であると思われる。

RA19 (第15図、写真図版19)

〈位置〉H I 16~I I 04 グリッド付近に位置している。

〈検出状況〉II層下位粘土質暗褐色土上面で黒褐色土の埋土で検出された。西側と南側の一部はすでにIII層またはIV層まで掘り下げているため壁が破壊されており、埋土も全体的に掘られている状態での検出であった。平面プラン内に焼土が広い範囲で存在し、炭化物も全体に含んでいた。一旦焼土登録をして精査したのち、焼け土を取り除き床面を6~8 cm くらい掘り下げた際、石囲炉が検出された。また、北側において人為的に石を並べたと思われる部分があり、住居の出入口の可能性があるとと思われる。

〈重複関係〉RA19 床面約25cm上にRA05、またRA05 床面約25cm上にRA01が存在しており、互いに重複しているが切り合っていない。

〈平面形・規模〉平面形はやや楕円形さみであると思われる。規模は短径が4.3mであり、長径は残存部分の4.0mよりも大きくなるものと思われる。

〈埋土〉黒褐色土と黒色土主体である。広い範囲で焼土と炭化物が含まれるので焼失住居と思われる。

〈壁・床面〉主にII層下位粘土質暗褐色土及びIII層を壁とし、床面はIII層であるが、南側はIV層を床面または壁の一部としている。壁は外傾して立ち上がり、壁高は4~23cmである。床面はほぼ平坦であるが東側で10cm位低くなる。床面には大小の礫があり、その中で炉付近から北東に向かって平らな石が連なって存在していた。

〈柱穴〉床面で4基検出された。埋土はすべて暗褐色土であった。全て主柱穴であると思われる。

〈炉〉石囲炉が検出された。焼土は弱変焼土で上部に炭化物が集中する。炉石の掘り方は観察されなかった。

〈出土遺物〉NO111 は口縁部分において細い隆線で区画した内側と体部にかけて原体圧痕が施されている深鉢である。体部の原体圧痕は一部渦巻文を形成するような形で文様が施されている。

〈時期〉出土した遺物および遺構の重複関係から本住居跡は縄文時代中期中葉に属すると思われる。

RA20 (第15図、写真図版20)

〈位置〉H I 12~H I 16 グリッド付近に位置している。

〈検出状況〉II層中~下位で検出した。西側は調査区外に延びるため全体像を出すことはできなかった。II層中で検出したRA13 精査終了後、新たにベルトを設定し、II層を段階的に下げていく中で、やや硬く締まった面に炉の存在、断面において住居の立ち上りを確認することができた。

〈重複関係〉本住居跡の上位にRA13が存在する。

〈平面形・規模〉西側は調査区外へ伸び、南側は削平を受けているため全体像を表すことはできないが、残存する壁より楕円形を呈するものと思われる。

〈埋土〉埋土は皿状に堆積が観察され、床面付近で炭化材が存在していた。南側は粘土質で暗褐色土であるII層、北側は小礫まじりの面を掘り込んでいる。

〈壁・床面〉壁は暗褐色土で外傾して立ち上がり、残存する部分で壁高は12~29cmである。床面はほぼ平坦でやや締まっている。

〈柱穴〉住居床面で6基検出した。住居に伴うものと思われる。

〈炉〉55cm×45cmの石囲炉を検出した。炉石は北～北東方向にしかないが明確に焼けた跡がある。焼土は薄く、厚さは4cmほどである。

〈壁溝〉検出した住居の南側に溝が存在しており、西側の調査区外へ伸びる形となっている。幅24cm前後、深さ7～11cm程度である。

〈出土遺物〉土器は大コンテナ1箱分出土し、このうち7点掲載した。NO112は4単位の口縁突起を持つ深鉢である。口縁部には降線とRL単節縄文による横回転を施し、体部はRL単節縄文による縦回転が施されている。NO114は貫通孔を持つ菱形の口縁突起を持つ深鉢である。寛工具による刺突、隆・沈線による文様が施されている。NO115は深鉢口縁部分であり、隆線、刻目が施されている。NO116は棒状工具による刺突が口縁部に施され、隆・沈線で区画された内側をRL単節縄文の縦位回転による文様が存在している。NO117は口唇部と沈線区画された上位方向に刻目を持つ降線が付されている。尚、区画内はRL単節縄文による縦位回転と思われる。NO118は窪んだ円形の貼り付け突起を持ち、沈線で区画が行われており、区画内は無文で縄文時代後期初頭に属する。NO119・NO120は円盤状土製品である。このほかに削器器1点出土。〈時期〉炉に埋設されていた土器より、本住居跡は縄文時代中期末葉に属すると思われる。

RA21 (第16団、写真版21)

〈位置〉H II13～H II14グリッド付近に位置している。

〈検出状況〉II層下位粘土質暗褐色土に黒褐色土・暗褐色土の埋土で検出した。プラン内には、焼土・炭化物が含まれていた。東西ベルトを設定し、精査を行った。

〈重複関係〉なし。

〈平面形・規模〉規模は2.7m×2.6mで、ほぼ円形を呈する。

〈埋土〉黒褐色土と暗褐色土主体である。一部床面直上に焼土が存在し、全体的に炭化物が混じるため焼失住居の可能性はある。

〈壁・床面〉II層下位粘土質暗褐色土を壁・床面としており、締まりがある。壁は南東側で直立気味に立ち上がり、他は外傾して立ち上がる。床面は平坦である。

〈柱穴〉住居床面で3基検出した。住居に伴う主柱穴と思われる。

〈炉〉土器埋設が検出された。規模は60cm×60cmで円形を呈する石囲炉の北部下位に完形土器が斜めに南を向く状態で埋設され、その上に炉石が乗っていた。検出時には、炉内北隅に口縁部が露出していた。焼土は厚さ6cmくらいで炉内全体に存在した。土器内には炭化物が入り、焼土はない。

〈出土遺物〉NO121は口縁部の無文部分が体部に向かうに従って沈線で区画されており、体部の一部分においては隆状突起を伴う形で区画されている。地文はRL単節縄文を縦位に施す。炉内に埋設されていたこの土器は大木10式に相当する深鉢と思われる。NO124は深鉢口縁部分であり、三日月状の原体圧痕と隆帯状に細かい原体圧痕がそれぞれ施されており、円筒上綱b式に相当すると考えられる。NO124は羽状縄文、刻目、刺突を伴った円筒下層式の口縁部である。

〈時期〉炉に埋設されていた土器より、本住居跡は縄文時代中期末葉に属すると思われる。

R A22 (第16図、写真図版22)

〈位置〉 F II08～12グリッド付近に位置している。

〈検出状況〉当初、遺物包含層と考えられていたB区に南北・東西方向にベルトを掛けて段階的に掘り下げていった。埋土である暗褐色土を下げっていく途中、断面上で住居の立ち上がりを確認した。

〈重複関係〉本住居跡は下位にRD16、RD21が存在する。また、RA24に本住居のプランを切られている。

〈平面形・規模〉削平を受けているため、全体を明確に表すことはできないが、住居の規模はほぼ4.6mで楕円形を呈するものと思われる。

〈埋土〉黒褐色土を全体としている。焼土・炭化物をわずかに含んでいる。

〈壁・床面〉西側はRA24に切られている上、東側も削平されているため壁は南北にしか残っていない。壁高は5～12cm、ほぼ垂直に立ち上がる。床面は小礫を含み堅く締まっており、床直上には一部焼土の広がりが見られる。

〈柱穴〉住居床面で5基検出した。すべて住居に伴うものと思われる。

〈炉〉検出前は集石らしき角礫と暗褐色土に覆われていて判然としなかったが、それらを除去した後、石囲炉と判明した。炉石は明確に焼けており、炉内の焼土は比較的薄く、強く赤変している様子は見られない。炉の規模は65cm×60cmである。

〈出土遺物〉NO125は土器体部の一部分で沈線にLR単節縄文縦位と横位の施文を行っている。NO126は罎状と思われる突起物と沈線区画内をRLR複節縄文によって施している。2点とも大木10式に相当すると考えられる。NO127・NO128は削搔器、NO129は床上3cmの地点から出土した石皿である。

〈時期〉出土遺物より縄文時代中期末葉と思われる。

R A23 (第17図、写真図版23)

〈位置〉 F II15グリッド付近に位置している。

〈検出状況〉表土除去後のII層で検出した。

〈重複関係〉本住居跡の下位にRA31、RA34、RA36、RA40、RD23、RF31、RA26が存在する。

〈平面形・規模〉西側～北側にかけて削平を受けており一部欠けた形となっているが、残存する壁よりほぼ円形を呈するものと思われる。住居の規模は3.9mほどである。

〈埋土〉黒褐色土を主体としている。焼土粒・炭化物を含み、小礫が混入している。

〈壁・床面〉床面は堅く締まっており、大小の礫が入り込んでいる。住居の壁を明確にとらえることは厳しかったが、外傾しており、壁高は3～10cmほどである。

〈柱穴〉住居床面を入念に精査・検討したが、本住居に伴うと思われる柱穴は1基しか検出されなかった。

〈炉〉石囲炉を検出した。炉石は南北方向のみ存在し、焼けた跡が確認できる。焼土は薄く、厚さ4cmほどで明確ではない。炉の規模は100cm×80cmである。

〈出土遺物〉NO130は波頭部に渦巻文を持つ破片である。NO131は沈線で円形状に区画し、その内側をRLR複節縄文縦位に施している。NO132は土器口縁突起部分であり棒状工具による刺突が渦巻状に形成されている。NO133は三本の沈線内を棒状工具で刺突した口縁部である。NO134は土器底部であり、底面に木葉痕を有する。NO135は縦型石匙、NO136・NO137は削搔器、NO138・NO139は罎石である。NO140は円盤状土製品である。掲載したものの他に石鏃1点、削搔器2点出土している。

〈時期〉出土遺物より縄文時代中期後葉～末葉と思われる。

R A 24 (第16図、写真図版24)

- 〈位置〉F II 07、08、11、12グリッド付近に位置している。
- 〈検出状況〉II層中で検出した RA22 精査終了後、RA22 床面において RA22 とは別遺構のプランと思われる輪郭が存在しており、ベルトを掛け、精査を行った。
- 〈重複関係〉本住居跡上位に RA22 が存在する。また、下位には RD16、RD21 がある。
- 〈平面形・規模〉南北の壁が削平されているため、全体像を明確に表すことはできないが、残存部分より円形を呈するものと考えられる。規模は3.5m ほどである。
- 〈埋土〉黒褐色土・暗褐色土を主体としており、礫を多量に含んでいる。
- 〈壁・床面〉壁は残存部分より2～20cm、床は縮まっており、東側から西側に向かって緩やかに傾斜している。
- 〈柱穴〉住居床面で3基検出した。
- 〈炉〉石囲炉を検出した。炉石は部分的にしか存在せず、炉石自体は明確に焼けた跡が残っているが、焼土は存在しない。
- 〈出土遺物〉NO141 は三日月状に原体圧痕を行い、隆帯を付している口縁部分である。掲載した土器の他に削搔器が1点出土している。
- 〈時期〉出土遺物より縄文時代中期中葉のものであるが、周辺遺構との関係から縄文時代中期末葉もしくはそれ以降のものと思われる。

R A 25 (第17図、写真図版25)

- 〈位置〉HI12 グリッド付近に位置している。
- 〈検出状況〉II層下位砂質土に黒褐色土の埋土で検出された。南北ベルトを設定し、精査を行った。
- 〈重複関係〉本住居跡は RD15 を切っている。
- 〈平面形・規模〉規模は3.2m×2.8m でほぼ円形を呈する。
- 〈埋土〉黒褐色土を主体としており、炭化物を微量含んでいる。
- 〈壁・床面〉II層下位砂質土を壁・床面としている。床面は平坦である。壁高は4～16cm ほどである。
- 〈柱穴〉住居床面で6基検出した。配置がやや不規則である。
- 〈炉〉中央部に検出された。石が数個あり、すぐ横に薄い焼土がある。炉石は焼けた様子がなく、掘り方も観察されなかったことから地床炉と思われる。また、炉の直下に2号掘立建物跡 P03 が存在するが、断面観察により RA25 の方が新しいと判断した。
- 〈出土遺物〉NO142 は原体圧痕、RL 単節縄文を縦位に施した口縁部分である。NO143 は尖頭器、NO144 は削搔器である。
- 〈時期〉出土遺物より縄文時代中期中葉に属すると思われる。

R A 26 (第17図、写真図版26)

- 〈位置〉F II 15～16グリッド付近に位置している。
- 〈検出状況〉表土除去後、II層を下げていく中で、暗い暗褐色土を埋土として、住居プランの輪郭が一部確認された。ベルトを掛け、埋土である暗い暗褐色土を取り除く形で住居跡を検出した。
- 〈重複関係〉本住居跡床面より30～40cm 上位に RF19、RA23 が存在している。

〈平面形・規模〉調査区外にプランが延びている上に、北側は削平を受けているため全体像・規模ともに不明である。

〈埋土〉黒褐色土を埋土としており、礫を少量含んでいる。

〈壁・床面〉床はほぼ堅く締まっており平坦である。場所によっては床面に礫が入り込んでいる。壁は、南側～西側に残存しており、壁高は5～10cmほどである。

〈柱穴〉2基検出した。

〈炉〉不明。当初、RF19の下位に存在する石がRA26の石囲炉を構成する炉石の一部分と考えたが、石が床面より浮いており、RA26の炉とはならない。従って、調査区外に炉が存在すると考えられる。

〈出土遺物〉NO145は沈線区画を持ち、LR単節縄文を縦位に施した小型深鉢である。NO146はLR単節縄文を斜位に施した深鉢である。この2点は大木9～10式に相当するものと思われる。NO147は罎状突起を体部(胴部)に有し、RLR複節縄文を施している深鉢である。NO148は波状口縁でやや外反し、RL単節縄文を横位に施した小型深鉢である。NO149はRL単節縄文を縦方向に施した粗製深鉢である。NO150は刻目状に原体圧痕した隆帯を円形に付し、内側をC字状に刺突を施した口縁部である。NO151は波頭部に渦巻状(?)の文様を持ち、沈線とRL単節縄文を縦位に施している。NO152は外反する波状口縁を持ち、隆・沈線区画内をRL単節縄文に施した深鉢と思われる。NO151は棒状工具による刺突を有し、沈線区画内をLR単節縄文を斜位に施しており、RA23より出土したNO133と同種類の土器と思われる。NO154は口縁部に橋状把手を持ち、RL単節縄文を縦・横・斜位と施している。NO158は石錐の欠損品。NO159・160は削搔器。NO163は敲き石。NO161・NO162は磨り石。NO165は軽石。NO164は石棒。NO166はミニチュア土器。NO167は装飾品と思われる土製品である。NO168・NO169・NO170は円盤状土製品である。

〈時期〉出土遺物より本住居跡は縄文中期後葉～末葉に属すると考えられる。

RA27 (第18図、写真図版27)

〈位置〉G II09グリッド付近に位置している。

〈検出状況〉C区北端部を全体的に下げている時、焼土を確認し、周囲を押し広げたところ、焼土を伴う石囲炉をII層中で検出した。断面は3cmほどしかなく、本住居跡の壁を確認することができなかったが、床面、炉、柱穴で住居跡と認定した。

〈重複関係〉本住居跡の周囲にはRA32、RD17、RD29、RD30、RF21、RF26が存在する。新旧関係については不明。

〈平面形・規模〉平面形・規模ともに不明である。

〈埋土〉黒褐色土・暗褐色土を主体としており、礫を含んでいる。

〈壁・床面〉断面観察を行ったが住居の壁を捉えることはできなかった。床面は堅く締まっており、部分的に礫が入り込んでいる部分もある。

〈柱穴〉2基検出した。

〈炉〉石囲炉を検出した。規模は85cm×70cm、炉石は明確に焼けた跡が残っており、焼土も10～14cmほどの厚さで存在している。

〈出土遺物〉NO171は棒状工具による刺突とRL単節縄文を横位に施した口縁部分である。NO172は橋状把手・原体圧痕を施している。NO173は円盤状土製品である。

〈時期〉出土遺物より縄文中期中葉と思われるが、周辺に存在する遺構の新旧関係や時期が不明確であり、

出土した遺物も流れ込んできた可能性が高いため、時期不明である。

R A 28 (第18図、写真図版28)

〈位置〉 F II11～12グリッド付近に位置している。

〈検出状況〉 B区II層を段階的に下げているときに炉を検出し、周囲を床面と思われる面まで広げていった。住居としての明確なプランは、攪乱による削平を受けたため明確に検出することはできなかった。

〈重複関係〉 本住居跡の東側に RF32、RD16、RD21 が存在する。本住居跡との新旧関係は不明である。

〈平面形・規模〉 平面形・規模ともに不明。検出した炉・柱穴の位置・大きさなどから大型住居の部類に入るものと思われる。

〈埋土〉 暗褐色土を主体としており、礫を微量含んでいる。

〈壁・床面〉 壁は削平を受けており不明。床は褐色土で堅く締まっており、東側から西側に向かって緩やかに傾斜している。

〈柱穴〉 床面で4基検出した。

〈炉〉 石囲炉を検出した。炉の規模は165cm×110cm。炉内に焼土はなく、北西方向の炉の外側に存在している。炉石はごくわずかに焼け跡が存在しているが、炉の下位に埋め込まれている石は全体に焼け跡が存在していた。

〈出土遺物〉 NO174 は外反する口縁部分に突起部を持ち、波状に隆線を付している。NO175 は円盤状土製品である。

〈時期〉 時期を明確に判断する材料が乏しいが、縄文時代中期であると思われる。

R A 30 (第19図、写真図版29)

〈位置〉 G II04～G II08グリッド付近に位置している。

〈検出状況〉 B区の土の堆積状況を把握するため、南北方向に細長くトレンチを設定し、掘り下げた。その際、炉の一部分が確認され、周囲を広げて全体を検出した。

〈重複関係〉 RA30 の西側下位に RA33 が存在している。RA30 は RA33 を切っており、RA30 が新しく RA33 が古い。炉の西側に埋設土器 RP07 があり、住居と同時期のものと考えられる。

〈平面形・規模〉 住居としてのプランは調査区外にのびている上、削平を受けているため全体像を表すことはできない。規模については、断面に住居の立ち上がりが確認され、5.5m 前後と思われる。

〈埋土〉 埋土の中心は、礫を含んだ黒褐色土であるが、場所によっては黄褐色土・褐色土が入るところもある。

〈壁・床面〉 北側に一部壁が残っており、壁高は26～56cm ほどと推定され、外傾している。床は全体的に締まっていたが、北側の一部分に粘土が確認されており、住居の貼り床だった可能性がある。

〈柱穴〉 8 の字に仕上がった形で2基検出した。

〈炉〉 石囲炉を検出した。焼土はごくわずかに薄く存在し、鮮明さに欠ける。厚さは4～6 cm ほどである。炉石は二重に囲っている形で埋め込まれている。炉の規模は95cm×80cm である。

〈出土遺物〉 NO176 は RL 単節縄文を縦位に施し、隆・沈線を渦巻状によって形成している。NO177 は隆・沈線による渦巻文を有し、棒状工具によって刻目を施している。NO178 は捺糸文を施した深鉢口縁部分である。NO179 は削搔器、NO180、NO181、NO182、NO183 の4点は円盤状土製品である。

〈時期〉出土遺物より縄文中期中葉に属すると思われる。

R A31 (第20図、写真図版30)

〈位置〉F II15～F II16グリッド付近に位置している。

〈検出状況〉RA26 精査終了後、黒褐色土を多量に含んでいる部分を取り除く形で本住居跡を検出した。

〈重複関係〉本住居跡上位に RA26、RF31、RD23、下位に RA38 が存在している。また、西側の RA36 を切っている。

〈平面形・規模〉住居の東側は調査区外にのびているため、全体像を表すことはできないが、規模は検出した6.4m前後になると推測される。また、平面プランから楕円形を呈するものと思われる。

〈埋土〉黒褐色土を主体としており、礫を少量含んでいる。

〈壁・床面〉床は褐色土でやや堅く締まっている。壁は外傾しており、壁高は20～36cm前後である。

〈柱穴〉住居床面で3基検出した。P3は他の2基に比べ浅いため本住居の上位から掘り込まれた可能性が高いと考えられる。

〈炉〉複式炉を検出した。石囲部が2つあり、住居中心部に近い石囲部に焼土が存在し、炉石も明確に焼けているため燃焼部と考えられる。また、住居の西側の壁に向かって袖石が敷かれており、前庭部を成すものと思われる。なお、焼土は砂地の上に存在しているためうっすらとしか確認できない。炉の規模は200cm×130cmである。

〈出土遺物〉NO184は外反する波状口縁に棒状工具による刺突と沈線を施した深鉢である。NO185は沈線とRL単節縄文を縦位に施している。NO186は口縁部が外反し、沈線区画内をRL単節縄文縦位に施している。NO187・NO188は共に小型土器の底部である。NO189・NO190・NO191の3点は粗製深鉢である。NO192は隆帯・沈線と原体辻痕により土器文様を形成している。NO193は隆・沈線その他、区画内をLR単節縄文を縦位に施している。NO194は渦巻状に形成された楕状突起部分である。NO195は隆・沈線で渦巻文、区画を形成した土器口縁部である。NO196は棒状工具による刺突、RLRの複節縄文を施した後に隆・沈線文様を体部(胴部)に付したと思われる深鉢である。NO197は波頭部に渦巻文を持ち、棒状工具による刻目文様を施した深鉢口縁部である。NO198は波頭部に孔を有すると思われ、棒状工具による刺突、隆・沈線による渦巻文を形成している。NO199は貫通孔を有する口縁突起部分である。隆・沈線によって渦巻文を施している。NO200は、波頭部に孔を有し、棒状工具によって文様が形成されている。NO201は沈線区画内をRLR複節縄文と棒状工具による刺突が施されている。NO202・NO203の2点は基部が突出する凸基有蓋甕である。NO204は石錐、NO205、NO206は線型石匙である。NO207、NO208、NO209の3点は削搔器である。NO210は半円状扁平打製石器である。NO211・NO212は敲き石、NO213は石刀(石剣?)である。NO214・NO215・NO216は円盤状土製品である。

〈時期〉出土遺物より本住居跡は縄文中期後葉～末葉に属すると思われる。

R A32 (第21図、写真図版31)

〈位置〉G II10グリッド付近に位置している。

〈検出状況〉II層をII層砂質土上面まで掘り下げている途中、II層砂質土上面で石囲炉を検出した。プランは南側でII層砂質土に黒褐色土の埋土で検出されたが、西側はII層中に壁・床面が存在し、プランが明確に確認できずに掘りすぎてしまった。北東側は調査区外に存在する。

〈重複関係〉RD22がRA32を切っている。

〈平面形・規模〉南側残存部分から推測すると、規模は4.0m位で円形を呈するものと思われる。

〈埋土〉黒褐色土主体である。全体的に炭化材、大・小礫を含む。床面から約10cm上に幅約100cm、厚さ2～4cmの粘土が含まれるが別住居の貼り床の可能性はある。

〈壁・床面〉南側ではII層砂質土を、西側ではII層を壁・床面としている。壁は外傾して立ち上がり、壁高は20cm位である。床面は平坦である。

〈柱穴〉住居床面で3基検出した。すべて本住居跡に伴う主柱穴であると思われる。

〈炉〉石囲炉を検出した。規模は100cm×85cmでやや楕円形気味である。炉石は床面を掘り込んで埋められている。焼土は2段階に分かれており、厚さ20cmのものが表面に露出し、その下に厚さ10cmのものが存在する。

〈出土遺物〉NO217の深鉢は底面出土したもので、隆・沈線による懸垂文を施している。NO218は地文がLR単節縄文を縦位に施した小型深鉢である。NO219は棒状工具による刺突と沈線を円形に区画し、LR単節縄文を横位に施した口縁部分である。

〈時期〉床面出土の土器より縄文時代中期中葉～後葉に属すると思われる。

R A 33 (第21図、写真図版32)

〈位置〉G II03～08グリッド付近に位置している。

〈検出状況〉RA30が石埋土にRA33の壁と思われる立ち上りを確認。RA30西側の面でRA33を検出した。

〈重複関係〉本住居跡東側上位にRA30、北側上位にRA37が存在する。新旧関係はRA33が最も古い。

〈平面形・規模〉RA33に切られている上に調査区外にプランがのびているため平面形・規模ともに不明である。

〈埋土〉黒褐色土を埋土としており、礫を若干含んでいる。

〈壁・床面〉住居としての壁は北～北東側に残っており、やや外傾している。壁高は20～42cmほどである。床は砂質を含んだ黄褐色土である。

〈柱穴〉7基検出したが、このうち本住居に伴うものは2基と考えられる。

〈炉〉石囲炉を検出した。住居プラン同様調査区外へかかっており、焼土の存在は確認できるが厚くなくややさめた色である。炉内より剥片を多数出土している。

〈出土遺物〉NO220は小型深鉢。NO221は原体圧痕を方形に区画した内側をLR単節縄文を横位に施している。NO223は隆線の剥落痕があり、LR単節縄文を縦位に施した後、沈線を引いている。NO224は棒状工具による刺突、RLR複節縄文を縦位に施している。NO225・NO226は基部が突出する凸基有茎鏃である。掲載した遺物の他に、石鏃4点、尖頭器2点、削搔器6点出土している。

〈時期〉出土遺物より縄文時代中期前葉～中葉に属すると思われる。

R A 34 (第22図、写真図版33)

〈位置〉F II11、12、15、16グリッド付近に位置している。

〈検出状況〉RA31精査終了後、北側の黒褐色土を段階的に下げていく中で、石囲炉、柱穴跡、住居の壁、周溝などを確認した。また、東側床面からRA40の石囲炉を壊す形で埋め残りを検出した。

〈重複関係〉本住居跡下位に RA40、南側上位に RA31 が存在する。

〈平面形・規模〉北側では壁とこれに沿う形で溝を検出した。南側と西側では溝のみ検出されており、これに伴う形で壁が存在していたと考えられ、平面形は楕円形になると思われる。住居の規模も同様に考えると 8.0m×7.1m ぐらいと推測される。

〈埴土〉黒褐色土を主体としており、石器・土器片を多量に含んでいた。

〈壁・床面〉削平を受けていたため、壁は北側しか存在しないがほぼ垂直に立ち上がる。壁高は約34cmである。床面は部分的に砂をわずかに含んでいる褐色土でやや締まりがある。西側床面には若干黒褐色土が入る。

〈柱穴〉8基検出した。

〈炉〉石囲炉を検出した。炉石は火を受け、焼けた跡が残っており、焼土も礫を含んだ状態で発達している。燃焼部より西側は、下位に礫が多い。炉の規模は140cm×110cmである。

〈出土遺物〉NO227は隆・沈線を渦巻文、懸垂文で施した深鉢である。NO228はRA40石囲炉を壊す形で検出された埋め壊で大木8a式と思われる。NO229はRL単節縄文を縦位に施した深鉢である。NO230は隆帯上に原体土痕を施し、貫通孔を持つ口縁部分である。NO231はRL単節縄文を横位に施した後、隆線で文様を付している。NO232はRL単節縄文を縦位に施した後、隆・沈線で文様を区画、形成した深鉢口縁部である。NO233～237の5点はそれぞれ隆・沈線で渦巻文を施しており、縄文時代中期中葉の大木8b式に該当する。NO239は横型石匙。NO240はV字形の削搔器(?)。NO241・NO242は凹石。NO243は欠損した石棒の一部分である。NO244は一部磁石として使用したと思われる軽石である。NO246・NO247は円盤状土製品である。掲載した遺物の他に削搔器1点出土している。

〈時期〉出土遺物より縄文時代中期中葉に属すると思われる。

RA35 (第23図、写真図版34)

〈位置〉F III01～05グリッド付近に位置している。

〈検出状況〉表土除去後のII層を段階的に下げていく中で、西側～北側にかけて住居の壁を検出した。また、土の締まり具合を確認しながら床面を検出した。

〈重複関係〉RD32に切られており、新旧関係はRA35構築後、RD32を形成したと考えられる。

〈平面形・規模〉住居としてのプランが調査区外にのびているため、平面形・規模ともに明確に表すことはできない。

〈埴土〉黒褐色土主体で、場所によっては礫を多量に含んでいる。

〈壁・床面〉検出時点では西側～北側において明確に壁は存在したが、南側～西側にかけては削平を受けたためか壁を出すことはできなかった。床面は平坦で締まっている。

〈柱穴〉全体で18基検出されている。本住居跡の規模が不明確な上、炉を明確に検出することができなかった。このため柱穴と住居跡との位置関係を総合的に判断することが困難だったため、どの柱穴が住居跡に対応するか不明である。

〈炉〉検出することができなかった。調査区外に存在するものと思われる。

〈出土遺物〉NO248は棒状工具による刺突、沈線区画を施している。NO249は沈線を方形に区画、その内側をRL単節縄文で縦位に施す。NO250は基部が欠れている凹基無蓋鉢の欠損品。NO251はミニチュア土器である。

〈時期〉出土遺物から少なくとも縄文時代中期中葉以降に構築された可能性が高い。

R A36 (第24図、写真図版35)

〈位置〉 F II15～G II03、04グリッド付近に位置している。

〈検出状況〉東西にベルトを設定しII層を掘り下げていく中、床面部分で炉・柱穴跡を確認した。炉の北側には、住居のプランを一部分掘むことができた。

〈重複関係〉RA30、RA31、RA33、RA37に本住居プランが切られているため、この付近での住居の中では最も古いと考えられる。

〈平面形・規模〉周囲の他住居にプランが切られているため、平面形・規模ともに不明である。

〈埋土〉黒褐色土を主体とする一層で砂礫を若干含んでいる。

〈壁・床面〉北側及び内側の一部に壁が残存。壁高は約10cmである。床面は砂を若干含んでいる褐色土である。

〈柱穴〉1基検出した。

〈炉〉石囲炉を検出した。炉石は焼けており、焼土の厚さは約5cmと薄い。

〈出土遺物〉NO252は住居床面で検出した大木8b式の立体土器である。隆・沈線による渦巻文、懸垂文、RLR 複節縄文を縦位に施す。NO253は波頭部に渦巻文、棒状工具による刻目、体部は隆・沈線による渦巻文を施す。NO254は貫通孔、刺突を有する。NO255は斧状土製品の一部分である。NO256は円盤状土製品である。

〈時期〉出土遺物から縄文時代中期中葉に属すると思われる。

R A37 (第24図、写真図版36)

〈位置〉 F II15～G II03グリッド付近に位置している。

〈検出状況〉RA36と同じベルト設定を行い、II層を掘り下げていった。断面にRA36を切るRA37の住居の壁を確認した。

〈重複関係〉RA37東側にRA36が存在。RA36を切って立ち上がっているため、RA36が古く、本住居跡が新しい。

〈平面形・規模〉住居としての壁が検出できたのは東側だけで、他は調査区外にのびている。平面形・規模ともに不明である。

〈埋土〉黒褐色土を主体としており、砂礫を若干含んでいる。

〈壁・床面〉壁高は19～28cmでやや外傾する。床面壁際に溝が存在する。床は砂を含んだ褐色土である。

〈柱穴〉4基検出した。4基とも溝の内部に存在する。

〈炉〉不明。調査区外に存在するものと思われる。

〈出土遺物〉NO257は沈線による渦巻文、懸垂文、LR 単節縄文を斜位に施している。NO258・NO259・NO260・NO261の4点は粗製深鉢である。このうち、NO260は底面に木葉痕を持つ。NO262は隆帯上に原体圧痕を施している。NO263は折り返し口縁状に隆線を施している。NO264は隆帯上に三日月縄文の原体圧痕を施す。NO265は沈線を方形に区画した内側をLR 単節縄文を縦位に施す。NO266は磨り石である。

〈時期〉出土した遺物から縄文時代中期中葉に属するものと思われる。

R A38 (第20図、写真図版37)

〈位置〉 F II16グリッド付近に位置している。

〈検出状況〉RA31の床面検出時に黒褐色土で半円状の調査区外へのびるプランを確認した。RA31 精査終了後、半円状の黒褐色土を下げたところ、炉・柱穴跡を検出した。

〈重複関係〉本住居跡の上位に RA31 が存在している。

〈平面形・規模〉調査区外へ住居のプランがのびているため、全体像を表すことはできないが平面形は楕円形になると思われる。規模は調査区内の検出した部分で3.4m×2.0mになる。

〈壁・床面〉壁は外傾しており、壁高は4～10cmほどである。床は砂礫を含んだ褐色土・黄褐色土である。

〈柱穴〉3基検出した。すべて本住居跡に伴うものと考えられる。

〈炉〉住居プラン同様、炉の一部分が調査区外へかかっているため、全体を表すことはできなかったが、石囲炉と考えられると思われる。炉石は焼けた跡が確認できるが、焼土の厚さは4cmほどと大変薄く、砂礫を含んでいるためやや不鮮明である。

〈出土遺物〉NO267はLR縦回転を施す小型深鉢である。NO268は隆帯を口唇部に波状に付し、沈線区画内をLR単節縄文で縦位に施す。NO269は捺永文、沈線を渦巻状に配した土器口縁部である。NO270は隆・沈線を渦巻状に配し、体部区画内はLR単節縄文を縦位に施す。

〈時期〉出土遺物より縄文時代中期中葉に属すると思われる。

R A39 (第25図、写真図版38)

〈位置〉 F II03～F II07グリッド付近に位置している。

〈検出状況〉1号竪穴状遺構は東側でIV層を壁としており、床面および西側の壁はII層である。また、1号竪穴状遺構床面で検出した RD35 はII層中を壁・床面としており、床面には粘土上面が露出していた。プランは不明であるが、これらの直下または周囲に別遺構が存在する様相を呈していたので、RD35 精査終了後、これらが含まれる範囲で南北ベルトを設定し掘り下げた。RD35 床面に露出していた粘土と同じレベルで、中央から外側へ掘り進めている途中で壁と思われる砂質土が立ち上がりを見せた。さらに西壁寄りに複式炉の一部分を検出した。

〈重複関係〉RD35、1号竪穴状遺構と重複している。RA39の上に RD35 が形成され、その上に1号竪穴状遺構が RA39 壁を一部共有して形成される。

〈平面形・規模〉平面形は隅丸形状を呈する。規模は5.4m×5.3mである。

〈埋土〉黒褐色土と暗褐色土主体である。全体的に砂質土であり、炭化物・礫を含む。

〈壁・床面〉壁は直立気味に立ち上がり溝を伴う形で存在、壁高は30～70cmである。床面は平坦であるが、東側で約20cmほど高くなる。床面付近に粘土が存在したが床面より10cmほど高く、伴わないものと判断した。壁・床面は砂質土であるが、締まりがある。

〈柱穴〉床面で2基検出した。

〈炉〉南西壁よりに土器埋設部と石囲部・前庭部から成る複式炉を検出した。全長210cmである。土器埋設部は55cm×50cmでやや正方形に石を組み、土器は内側に正立の状態で埋設されている。東端では礫を2列に配している。石囲部との境は40cm×30cmの偏平礫を据えているが、石囲部側の口縁～体部が取り除かれ、礫はその割れ口に接するように斜めに据えられている。取り除かれた土器片は礫の下に敷かれている。土器埋設部底面には薄い焼土が厚さ5cmで形成され、炭化材を含んでいた。土器内には焼土はなく、炭化物

が全体に含まれるが、下位に多量含まれる。石囲部は台形で40～90cm×60cmである。土器埋設部および側面は偏平壁を据えているが、前底部との境は柱状の礎を横に据えている。底面に焼土はなく、炭化物が含まれる。前底部は120～190cm×120cmで台形状に掘り込み、床面から15cmほど低くなり末端は周溝に達する。底面は平坦であり、焼成を受けた痕跡はない。

〈出土遺物〉NO272は複式炉に埋設された深鉢である。沈線区画内をRL単節縄文縦回転で施す。NO273は隆・沈線による懸垂文を施した小深鉢である。NO274・NO275・NO276は粗製深鉢である。NO277は原体圧痕後、隆線を配した口縁部分である。NO278は隆・沈線で楕円形状に区画した内側をRL単節縄文を縦位に施す。NO279は隆・沈線で文様を区画形成しRL単節縄文を横位に施す。NO280は内・外面に渦巻文を形成する口縁突起部分である。NO281は孔を持つ口縁突起部分。内・外面を隆・沈線で文様形成する。NO282は隆・沈線で文様を形成されている。NO284・NO285は基部が突出する凸基有茎器である。NO286は削搔器。NO287は磨製石斧。NO288は台石。NO289・NO290・NO291・NO292・NO293は円盤状土製品である。

〈時期〉複式炉に埋設されていた土器より縄文時代中期末葉に属する。

R A 40 (第26図、写真図版39)

〈位置〉F II11、12、15、16グリッド付近に位置している。

〈検出状況〉RA34床面を検出・確認した時点でRA34の石囲炉から約3m東側に火を受け焼け跡がある石が埋め込まれており、RA34の炉とは明らかに別物と思われる石囲炉を確認した。炉石・焼土範囲を明確にするため、RA34精査終了後床面を段階的に下げたところ、炉の焼土を切る形で埋め壁を検出した。その後、炉に伴う柱穴跡を検出した。

〈重複関係〉出土した埋め壁はRA34に伴うもので、RA34と本住居跡は重複するが埋め壁は本住居跡の炉を切っているため、新旧関係はRA34が新しく、本住居跡は古い。

〈平面形・規模〉平面形・規模ともに不明。

〈埋土〉暗褐色土主体である。

〈壁・床面〉削平を受けているため、明確な住居としての壁を検出することはできなかった。また、床面と思われる面は砂質土でやや締まっていた。

〈柱穴〉3基検出した。

〈炉〉石囲炉。RA34床面検出時に、炉石を確認。南側・北側の炉石は抜き取られていた。焼土は厚さ2～4cmほどで、やや鮮明さに欠ける。

〈出土遺物〉NO294は沈線を楕円状に区画、刺突を施した口縁部である。

〈時期〉RA34との関係から本住居は少なくとも縄文時代中期中葉に属すると思われる。

R A 41 (第26図、写真図版40)

〈位置〉F II10グリッド付近に位置している。

〈検出状況〉B区II層を下げていく中で、西側調査区境に炉を確認した。炉の周囲は黒褐色土、その外側に砂層が存在し、炉を中心とした住居プランと思われたが不明確な点が多かったため、炉としての単独登録を行った。その後、断面観察と床面を確定させるため黒褐色土除去を行っていく中で柱穴跡を確認、炉と柱穴跡との関係を検出した結果、住居跡を構成すると判断した。

〈重複関係〉なし。

- 〈平面形・規模〉住居のプランが調査区外にのびているため、平面形・規模ともに不明である。
- 〈埋土〉黒褐色土を主体としており、下位に行くほど砂礫を含む割合が多くなる。
- 〈壁・床面〉壁は不明であるが、床面はやや締まった暗褐色土である。
- 〈柱穴〉炉の北東部に1基検出。
- 〈炉〉石囲炉。大きく弱変焼土が広がり、炉の内部には強変焼土がブロック状に存在している。
- 〈出土遺物〉NO295は隆線を刺突で施し、体部の沈線区画内をRL単節縄文を縦位と斜位に充填している。体部下半はRL単節縄文を縦位に施す。NO296はRL単節縄文を縦位に施した粗製深鉢。NO297は隆・沈線による小渦巻文とRL単節縄文を縦位に施す深鉢である。NO298は粗製深鉢である。
- 〈時期〉炉の内部から出土した土器から、縄文時代後期初頭に属すると考えられる。

2. 竪穴状遺跡

1号竪穴状遺構（第27図、写真図版41）

- 〈位置〉F II03、07グリッド付近に位置している。
- 〈検出状況〉検出した区域は、III層が存在せず、IV層の上にII層が堆積している。IV層が西側に落ち込んでいるため、検出面は西側でII層中、東側でIV層上面である。
- 〈重複関係〉RA39、RD35と重複している。RA39の上にRD35が形成され、その上に1号竪穴状遺構がRA39壁を一部共有して形成される。
- 〈平面形・規模〉規模は4.5m×4.1mで平面形はやや円形状の隅丸方形である。
- 〈埋土〉黒褐色土と暗褐色土主体である。東側の埋上位に暗い黒褐色土の層が存在する。砂・礫・炭化材を含む。
- 〈壁・床面〉II層を壁または床面としているが、東側では一部IV層を壁としている。
- 〈柱穴〉床面で4基検出した。P1、P2、P4は主柱穴である。P3は壁に存在するため、本遺構に伴うか否か不明である。
- 〈炉〉検出されなかった。
- 〈出土遺物〉NO299は沈線、LR単節縄文を縦位に施す。NO300はLR単節縄文を縦位に施した後、沈線によって区画した内部を擦り消すことによって、無文帯として形成したと思われる。NO301は体部（胴部）に膨らみを持ち、口縁部分がやや外反する粗製深鉢である。NO303は口唇部付近に棒状工具による刺突、沈線区画内をRL単節縄文を横位に施す。NO306は口縁部が波状（山型）になり、体部にかけて膨らみを持ち、沈線区画内をLR単節縄文を縦位と斜位に施す縄文時代中期末葉の深鉢である。NO307は基部が突出する凸基有蓋罐である。NO308は削搔器。NO309は磨り面を有する凹石。NO310は石皿。NO311はLR単節縄文を斜位に施したミニチュア土器である。NO312・NO313・NO314・NO315・NO316・NO317・NO318の7点は円盤状土製品である。
- 〈時期〉下位に存在するRA39、RD35との関係から少なくとも縄文時代中期末葉もしくはそれ以降に属すると考えられる。

2号竪穴状遺構 (第27図、写真図版41)

〈位置〉 I II01・05、I I 04・08グリッドに位置している。

〈検出状況〉 C区中央部 RA06 北東部において、II層下位粘土質暗褐色土に黒褐色土の埋土で検出された。

〈重複関係〉 なし。

〈平面形・規模〉 南側は削平を受けた状態となっており、一部欠けた形となっているが全体像は残存する壁より楕円形を呈すると思われる。規模は3.2m×3.6mである。

〈埋土〉 黒褐色土主体である。2層と3層はIII層と同様の土であるため、別遺構を掘り上げた際に捨てられた可能性が高いと考えられる。全体に礫を含む。

〈壁・床面〉 II層下位粘土質暗褐色土またはIII層を壁とし、IV層を床面とする。壁は直立ぎみまたはやや外傾して立ち上がり、壁高は30～40cmである。床面は礫が散乱する黄褐色土でほぼ平坦である。

〈柱穴〉 検出されていない。

〈炉〉 検出されていない。

〈出土遺物〉 検出されていない。

〈時期〉 決定資料を欠くので時期は不明である。

3. 土抗

RD01 (第28図、写真図版42)

〈位置〉 C区 I I 15グリッドに位置している。

〈検出状況〉 RA03 床面及びIV層上面に 黒褐色土の埋土で検出された。西側が調査区外へ延びる。

〈重複関係〉 RD01の上に RA03 が形成されており、新旧関係は RA03 が新しく RD01の方が古い。

〈形状・規模〉 平面形：楕円形 断面形：ピーカー状

開口部径 (105cm)×100cm 底部径 (100cm)×80cm 深さ52cm

〈埋土〉 黒褐色土と暗褐色土主体である。下位で礫・砂を多く含む。

〈壁・底面〉 IV層を壁または底面としており壁は直立に立ち上がるが、北側で内彎して外反する。底面は平坦である。

〈副穴〉 なし。

〈出土遺物〉 なし。

〈時期〉 RA03との関係から縄文時代中期中葉もしくはそれ以前のものと思われる。

RD02 (第28図、写真図版42)

〈位置〉 C区 I I 14・15、J I 02・03グリッドに位置している。

〈検出状況〉 IV層上面に黒色土の埋土で検出した。西側が調査区外に延びる。

〈重複関係〉 RD03に切られる。

〈形状・規模〉 平面形：不整形 断面形：皿状

開口部径115cm×(110cm) 底部径 80cm×(90cm) 深さ30cm

〈埋土〉 黒色土主体である。小礫含む。

〈壁・床面〉 IV層を壁または底面としており、壁は外傾し底面は丸味をもつ。

〈副穴〉 なし。

〈出土遺物〉なし。

〈時期〉不明。

R D03 (第28図、写真図版42)

〈位置〉C区J I 02・03 グリッドに位置している。

〈検出状況〉IV層上面に黒色土または黒褐色土の埋土で検出した。西側が調査区外へ延びる。

〈重複関係〉RD02を切る。

〈形状・規模〉平面形：楕円形と思われる 断面形：逆台形状

開口部径 (90cm)×80cm 底部径 (50cm)×36cm 深さ50cm

〈埋土〉黒色土と黒褐色土主体である。小礫多量含む。

〈壁・底面〉IV層を壁・底面としている。壁は外傾して立ち上がり底面は平坦である。

〈副穴〉なし。

〈出土遺物〉なし。

〈時期〉不明。

R D04 (第28図、写真図版42)

〈位置〉C区I I 11・15 グリッドに位置している。

〈検出状況〉IV層上面に黒色土の埋土で検出した。

〈重複関係〉なし。

〈形状・規模〉平面形：長楕円形 断面形：ピーカー状

開口部径150cm×75cm 底部径120cm×60cm 深さ26cm

〈埋土〉黒色土主体である。炭化物・礫・骨片含む。

〈壁・底面〉IV層を壁または底面としており、壁は直立に立ち上がり床面は平坦である。

〈副穴〉なし。

〈出土遺物〉骨片 (埋土中～下位出土)

〈時期〉不明。

R D05 (第28図、写真図版42)

〈位置〉C区I I 11 グリッドに位置している。

〈検出状況〉II層中で検出した。黒色土の埋土である。西側が調査区外へ延びる。

〈重複関係〉なし。

〈形状・規模〉平面形：楕円形と思われる 断面形：皿状

開口部径 (60cm)×70cm 底部径 (45cm)×55cm 深さ20cm

〈埋土〉黒色土主体である。黄褐色土ブロックが混入する。小礫含む。

〈壁・底面〉II層を壁、IV層を底面としている。底面は北下りに緩やかに傾斜して、壁は緩やかに外傾して立ち上がる。

〈副穴〉なし。

〈出土遺物〉なし。

〈時期〉不明。

R D06 (第29図、写真図版43)

〈位置〉C区I I 15 グリッドに位置している。

〈検出状況〉IV層上面に黒褐色土の埋土で検出した。西側が調査区外へ延びる。

〈重複関係〉なし。

〈形状・規模〉平面形：円形と思われる 断面形：皿状

開口部径175cm×(100cm) 底部径80cm×(150cm) 深さ40cm

〈埋土〉黒褐色土主体である。下に骨片含む。

〈壁・底面〉IV層を壁または底面としている。底面は中央部でやや窪み丸味をもち、壁は外傾して立ち上がる。

〈副穴〉なし。

〈出土遺物〉骨片3点出土している。

〈時期〉不明。

R D07 (第29図、写真図版43)

〈位置〉C区I I 12 グリッドに位置している。

〈検出状況〉RA06 床面すなわちIV層砂礫層に黒色土の埋土で検出した。

〈重複関係〉RA06と重複しているが切り合い関係は不明である。

〈形状・規模〉平面形：長楕円形 断面形：皿状

開口部径113cm×65cm 底部径85cm×50cm 深さ14cm

〈埋土〉黒色土主体である。

〈壁・底面〉IV層を壁または底面としている。壁は外傾して立ち上がり底面は平坦である。

〈副穴〉なし。

〈出土遺物〉琥珀。

〈時期〉不明。

R D08 (第29図、写真図版43)

〈位置〉C区I II05・09 グリッドに位置している。

〈検出状況〉IV層上面に黒色土または黒褐色土の埋土で検出した。

〈重複関係〉1号溝に切られる。

〈形状・規模〉平面形：円形 断面形：皿状

開口部径220cm×220cm 底部径125cm×115cm 深さ22cm

〈埋土〉黒褐色土が主体である。炭化物・貝を含む。下に砂質を多く含む。

〈壁・底面〉IV層を壁または底面としている。壁は緩やかに外傾して立ち上がり底面は平坦である。

〈副穴〉なし。

〈出土遺物〉NO319はRL単節縄文を横位に施した波状口縁部分である。NO320・NO321は土師器である。NO322は基部が突出している凸基有茎甕である。NO323・NO324は磨り石である。他に獣骨、炭を出土して

いる。

〈時期〉 出土遺物からは土師器も含まれているが、投げ込まれた可能性が高く時期不明である。

R D09 (第29図、写真図版44)

〈位置〉 C区I II01・02 グリッドに位置している。

〈検出状況〉 II層下位粘土質暗褐色土に黒褐色土の埋土で検出した。

〈重複関係〉 RA14及びRA15を切る。(古 RA14→RA15→RD09 新)

〈形状・規模〉 平面形：長楕円状 断面形：皿状

開口部径240cm×140cm 底部径215cm×115cm 深さ32cm

〈埋土〉 黒褐色土主体である。炭化物・小礫含む。

〈壁・底面〉 To-Cu (中壁) を底面とし、II層下位粘土質暗褐色土を壁としている。底面は平坦で壁は南西側で外傾し、他は直立に立ち上がる。

〈副穴〉 なし。

〈出土遺物〉 NO325 は沈線による渦巻文を配した口縁突起部分である。NO326 は沈線と RL 単節縄文を縦位に施した粗製深鉢と思われる。

〈時期〉 出土遺物より縄文時代中期中葉に属する。

R D11 (第30図、写真図版44)

〈位置〉 C区H II13グリッドに位置している。

〈検出状況〉 II層下位砂質褐色土に黒色土または黒褐色土の埋土で検出した。

〈重複関係〉 RD12に切られる。

〈形状・規模〉 平面形：不整形 断面形：皿状

開口部径140cm×138cm 底部径100cm×90cm 深さ34cm

〈埋土〉 黒色土と黒褐色土主体である。炭化物・バミス含む。

〈壁・底面〉 II層下位砂質褐色土を壁または底面としているが、底面の南側一部分はIII層である。底面はほぼ平坦であり、壁は緩やかに外傾して立ち上がる。

〈副穴〉 なし。

〈出土遺物〉 NO327 は RL 単節縄文を縦位に施す。他に骨片を出土。

〈時期〉 RD12との重複関係から縄文時代中期末葉以前に属するものと思われる。

R D12 (第30図、写真図版44)

〈位置〉 C区H II13グリッドに位置している。

〈検出状況〉 II層下位砂質褐色土もしくは暗褐色土に黒褐色土の埋土で検出した。

〈重複関係〉 RD11を切っている。

〈形状・規模〉 平面形：やや丸味を持つ隅丸方形 断面形：逆台形状

開口部径 (185cm)×160cm 底部径135cm×105cm 深さ70cm

〈埋土〉 黒褐色土と黒色土主体である。全体に炭化物を含み、中に焼土粒・骨片を含む。

〈壁・底面〉 II層下位砂質土またはIII層を壁としており、壁は南東側で直立し外傾する。他は外傾して立ち

上がる。

〈副穴〉なし。

〈出土遺物〉NO328 は口縁部では沈線を方形に区画した内側をLR単節縄文の斜位で施し、体部では楕円形状に区画した内側を刺突とLR単節縄文を斜位に配した深鉢である。NO329 は沈線を円形(楕円形)状に区画し、LR単節縄文を縦位と横位に施す。NO330 は隆線を配した側に棒状工具による刺突・LR単節縄文を斜位に施し、底面は棒で線を引き、文様を配したと思われる。NO331 は口唇部および隆線上に刺突・LR単節縄文を斜位に施す。NO332 は隆線を施した浅鉢である。NO335 は隆・沈線による渦巻文を波頭部に施す。NO336 は楕円形状の沈線区画内をLR単節縄文斜位に施す。NO334・NO338・NO339・NO340の4点は土器底面にそれぞれ木葉痕・網代痕を施す。NO341 は円盤状土製品である。

〈時期〉出土遺物より縄文時代中期末葉～後期初頭に属すると思われる。

RD13 (第30図、写真図版44)

〈位置〉C区IⅡ01グリッドに位置している。

〈検出状況〉II層下位粘土質暗褐色土に黒褐色土の埋土で検出した。

〈重複関係〉RA14及びRA15を切っている。RA19との切り合い関係は不明である。(古RA14→RA15→RD13新)

〈形状・規模〉平面形：長楕円形 断面形：逆台形状

開口部径(250cm)×130cm 底部径215cm×95cm 深さ44cm

〈埋土〉黒褐色土主体である。焼土・炭化物・礫を含む。

〈壁・底面〉IV層を底面としII層下位粘土質暗褐色土及びIII層を壁としている。底面は平坦であり、壁はやや直立に立ち上がる。

〈副穴〉なし。

〈出土遺物〉NO342 は沈線・RL単節縄文を縦位に施す。NO343 は口縁部内側に隆線で逆C字状に文様施す。NO344 は口縁部に山型の突起を有する深鉢である。NO345 は逆U字状の隆線・棒状工具による沈線・刻目を引く文様を形成している。NO346 は外反する口唇部分・沈線を施す。NO347 は石製品である。

〈時期〉周囲の住居との新旧関係から縄文時代中期中葉以降と思われる。

RD14 (第30図、写真図版45)

〈位置〉C区HⅠ16・HⅡ13グリッドに位置している。

〈検出状況〉III層黒色土に黒褐色土の埋土で検出した。西側部分が掘り過ぎのため、検出できなかった。

〈重複関係〉なし。

〈形状・規模〉平面形：不整楕円形 断面形：皿状

開口部径180cm×95cm 底部径120cm×50cm 深さ22cm

〈埋土〉黒褐色土と暗褐色土主体である。炭化物・礫を含む。

〈壁・底面〉III層を壁または底面としている。底面はほぼ平坦であるが、丸味を帯びており、壁は緩やかに外傾する。

〈副穴〉なし。

〈出土遺物〉NO348 は沈線区画を無節L・刺突で施している。NO349 は口縁部外反の刺突・原体圧痕を施す。

NO350 は沈線・RLR 複節縄文を縦位に施す。

〈時期〉出土遺物より縄文時代中期末葉のものと思われる。

R D 15 (第30図、写真図版45)

〈位置〉C区H I 12グリッドに位置している。

〈検出状況〉II層下位粘土質暗褐色土に黒褐色土の埋土で検出した。北側一部分のみ残存する。

〈重複関係〉RA25 に切られる。

〈形状・規模〉平面形：不明 断面形：ピーカー状？ フラスコ状？

開口部径？ 底部径？ 深さ40cm

〈埋土〉黒褐色土主体である。炭化物・小礫含む。

〈壁・底面〉II層下位粘土質暗褐色土を壁とし、III層中を底面としている。底面は平坦であり、壁は東側で直立に北側で外傾し西側で内傾して立ち上がる。

〈副穴〉なし。

〈出土遺物〉NO352 は隆・沈線を渦巻状に施した口縁部分である。

〈時期〉出土遺物および重複関係から少なくとも縄文時代中期中葉のものと思われる。

R D 16 (第31図、写真図版45)

〈位置〉B区F II 07・08・11・12グリッドに位置している。

〈検出状況〉II層暗褐色土に黒褐色土の埋土で検出した。

〈重複関係〉RD21 の上位を切って構築されている。RA22 と RA24 は RD16 の上に形成される。(古 RD21 → RD16 → RA22 → RA24 新)

〈形状・規模〉平面形：不整形円形 断面形：皿状

開口部径 320cm×200cm 底部径 290cm×180cm 深さ36cm

〈埋土〉黒褐色土主体である。礫・パミス含む。

〈壁・底面〉II層を壁、IV層を底面としている。底面は西下がり傾斜し壁は直立気味に立ち上がる。

〈副穴〉なし。

〈出土遺物〉NO353 は沈線を楕円形状に区画した内側を RL 単節縄文縦回転で文様を施す。NO345 は煎播器である。

〈時期〉出土遺物周辺の遺構の重複関係から、縄文時代中期後葉に属すると思われる。

R D 17 (第31図、写真図版45)

〈位置〉C区G II 09グリッドに位置している。

〈検出状況〉II層下位砂質褐色土に黒褐色土の埋土で検出した。

〈重複関係〉RD18 を切っている。

〈形状・規模〉平面形：楕円形 断面形：皿状

開口部径135cm×85cm 底部径(100cm)×50cm 深さ26cm

〈埋土〉黒褐色土主体である。炭化物・小礫含む。

〈壁・底面〉II層下位砂質褐色土を底面または壁としているが、切り合う部分は黒褐色土である。底面はほ

ほぼ平坦であるがやや凹凸があり、壁は外傾して立ち上がる。

〈副穴〉なし。

〈出土遺物〉 NO355 は隆帯・原体圧痕を施した口縁部分である。

〈時期〉 出土遺物より縄文時代中期前葉～中葉と思われる。

RD18 (第31図、写真図版45)

〈位置〉 C区GII09グリッドに位置している。

〈検出状況〉 II層下位砂質褐色土に黒褐色土の埋土で検出した。

〈重複関係〉 RD17 に切られる。

〈形状・規模〉 平面形：楕円形と思われる 断面形：皿状

開口部径65cm×(60cm) 底部径50cm×(50cm) 深さ30cm

〈埋土〉 黒褐色土主体である。炭化物含む。

〈壁・底面〉 II層下位砂質褐色土を底面または壁としている。底面は平坦であり壁は外傾して立ち上がる。

〈副穴〉なし。

〈出土遺物〉 NO356 は口唇部に対し水平・垂直方向に沈線を施す。

〈時期〉 RD17 との関係から少なくとも縄文時代中期前葉～中葉と思われる。

RD19 (第31図、写真図版46)

〈位置〉 B区FII08グリッドに位置している。

〈検出状況〉 IV層に黒褐色土の埋土で検出した。

〈重複関係〉 P42に切られる。

〈形状・規模〉 平面形：不整形と思われる 断面形：皿状

開口部径145cm×145cm 底部径130cm×120cm 深さ14cm

〈埋土〉 黒褐色土主体である。パミス・礫含む。

〈壁・底面〉 IV層を壁または底面としており、壁は外傾して立ち上がり底面は平坦である。

〈副穴〉なし。

〈出土遺物〉なし。

〈時期〉不明。

RD20 (第31図、写真図版46)

〈位置〉 B区FII08グリッドに位置している。

〈検出状況〉 IV層に黒褐色土の埋土で検出した。

〈重複関係〉なし。

〈形状・規模〉 平面形：長楕円形 断面形：ピーカー状

開口部径170cm×100cm 底部径120cm×80cm 深さ74cm

〈埋土〉 黒褐色土主体である。中に焼土・粘土を含む層がある。炭化物・礫含む。

〈壁・底面〉 IV層を壁または底面としている。底面は平坦であり、やや直立に立ち上がる。

〈副穴〉なし。

〈出土遺物〉 NO357 は楕円状区画・LR 単節縄文を縦位に施す。NO358 は円筒下層式の口縁部と思われる。NO359・NO360 は削搔器である。このほかに削搔器1点出土している。

〈時期〉 出土遺物より縄文時代中期後葉～末葉に属する。

R D21 (第31図、写真図版46)

〈位置〉 B区F II08・09・12グリッドに位置している。

〈検出状況〉 IV層褐色土に炭化物・焼土粒を多量に含んだ楕円形プランで検出した。

〈重複関係〉 RD21 が先に構築され、その上位全体を切って RD16 が構築されている。

(古 RD21 → RD16 新)

〈形状・規模〉 平面形：楕円形 断面形：逆台形状と思われる

開口部径115cm×80cm 底部径80cm×50cm 深さ18cm

〈埋土〉 黒褐色土に炭化物・焼土粒を含んだ若干砂質の土である。

〈壁・底面〉 一部 RD16 に擾乱を受けているので不明であるが、残存しているものから想像すると、壁は外傾し底面は平坦である。

〈副穴〉 なし。

〈出土遺物〉 なし。

〈時期〉 重複関係から少なくとも縄文時代中期中葉もしくはそれ以前のものと思われる。

R D22 (第32図、写真図版46)

〈位置〉 C区G II10グリッドに位置している。

〈検出状況〉 RA32 床面黄褐色土もしくは暗褐色土に黒褐色土の埋土で検出した。断面観察により上からの掘り込みが確認された。

〈重複関係〉 RA32 を切る。

〈形状・規模〉 平面形：円形 断面形：ピーカー状

開口部径50cm×55cm 底部径40cm×35cm 深さ30cm

〈埋土〉 黒褐色土主体である。炭化物・バミス・礫含む。

〈壁・底面〉 II層下位砂質褐色土を壁または底面としている。底面は平坦であり、壁は直立気味に立ち上がる。

〈副穴〉 なし。

〈出土遺物〉 なし。

〈時期〉 RA32 との新旧関係から少なくとも縄文時代中期中葉～後葉もしくはそれ以降と思われる。

R D23 (第42図、写真図版47)

〈位置〉 B区F II15グリッドに位置している。

〈検出状況〉 II層中で RF31 を検出し、精査の途中で RD23 を検出した。RF31 は RD23 プラン内を覆うように直上に形成される。

〈重複関係〉 上に RA23 と RA26 が構築される。(古 RD23 → RF31 → RA26 → RA23 新)

〈形状・規模〉 平面形：円形 断面形：逆台形状

開口部径85cm×70cm 底部径60cm×50cm 深さ44cm

〈埋土〉黒色土と黒褐色土主体である。炭化物・焼土粒含む。

〈壁・底面〉II層を壁、IV層を底面としている。床面は平坦であり、壁は外傾して立ち上がる。

〈副穴〉なし。

〈出土遺物〉NO361は隆・沈線・棒状工具による刺突を施す。

〈時期〉出土遺物より縄文時代中期中葉と思われる。

R D24 (第32図、写真図版47)

〈位置〉B区FII08グリッドに位置している。

〈検出状況〉II層中で黒褐色土の埋土で検出した。

〈重複関係〉なし。

〈形状・規模〉平面形：円形 断面形：ピーカー状

開口部径90cm×85cm 底部径65cm×65cm 深さ50cm

〈埋土〉黒褐色土と暗褐色土主体である。埋土中～上位に炭化物を含み下位に礫を含む。

〈壁・底面〉II層を壁、IV層を底面としている。底面はやや西下がりに傾斜し壁は直立気味に立ち上がる。

〈副穴〉なし。

〈出土遺物〉なし。

〈時期〉不明。

R D25 (第32図、写真図版47)

〈位置〉C区HII05グリッドに位置している。

〈検出状況〉II層下位砂質土上面に黒褐色土の埋土で検出した。

〈重複関係〉なし。

〈形状・規模〉平面形：不整形円形 断面形：逆台形状

開口部径140cm×135cm 底部径120cm×105cm 深さ34cm

〈埋土〉黒褐色土主体である。全体的に炭化物・パミスを含み、下位に砂質土を含む。

〈壁・底面〉II層下位砂質土を壁、To-CuまたはIII層黒色土上面を底面としている。底面は平坦であり、壁は外傾して立ち上がる。

〈副穴〉なし。

〈出土遺物〉NO362は隆線・刻目・LR単節縄文を縦位に施す。NO363は隆線・沈線による区画、RL単節縄文を縦位に施す。NO364はRL単節縄文を縦位に施した後、沈線区画を配している。

〈時期〉出土遺物より縄文時代中期中葉に属すると思われる。

R D26 (第32図、写真図版47)

〈位置〉C区HI04・HII01グリッドに位置している。

〈検出状況〉II層下位砂質土上面に黒褐色土の埋土で検出した。

〈重複関係〉なし。

〈形状・規模〉平面形：円形 断面形：皿状

開口部径80cm×75cm 底部径60cm×55cm 深さ26cm

〈埋土〉 黒褐色土主体である。炭化物・バミスを含む。

〈壁・底面〉 II層下位砂質土を壁または底面としており、底面はやや南下がりに傾斜し壁は外傾して立ち上がる。

〈副穴〉 なし。

〈出土遺物〉 なし。

〈時期〉 不明。

R D27 (第32図、写真図版48)

〈位置〉 C区H II05グリッドに位置している。

〈検出状況〉 II層下位砂質土上面に黒褐色土の埋土で検出した。

〈重複関係〉 なし。

〈形状・規模〉 平面形：円形 断面形：皿状

開口部径85cm×75cm 底部径65cm×60cm 深さ26cm

〈埋土〉 黒褐色土主体である。炭化物・バミスを含む。

〈壁・底面〉 II層下位砂質土を壁または底面としている。底面は平坦であり、壁は外傾して立ち上がる。

〈副穴〉 なし。

〈出土遺物〉 NO365 は口縁突起内外面を隆線で逆C字状に配し、体部に向かって隆・沈線を区画する。NO366 は沈線・LR 単節縄文を横位に施す。NO367 は土器底面に縄代痕を施した後、擦り消している。

〈時期〉 出土遺物より縄文時代中期中葉と思われる。

R D28 (第32図、写真図版48)

〈位置〉 C区H I 08グリッドに位置している。

〈検出状況〉 II層下位砂質土上面に暗褐色土の埋土で検出した。

〈重複関係〉 なし。

〈形状・規模〉 平面形：不整形 断面形：逆台形状

開口部径115cm×90cm 底部径75cm×80cm 深さ36cm

〈埋土〉 注記記録を行っていないが、暗褐色土主体であった。植物根が多く含まれていた。

〈壁・底面〉 II層下位砂質土を壁または底面としており、底面は平坦であり壁は外傾して立ち上がる。

〈副穴〉 なし。

〈出土遺物〉 なし。

〈時期〉 不明。

R D29 (第33図、写真図版48)

〈位置〉 C区G II09グリッドに位置している。

〈検出状況〉 II層下位砂質土上面に黒褐色土の埋土で検出した。

〈重複関係〉 RD30 に切られる。

〈形状・規模〉 平面形：楕円形と思われる 断面形：皿状

開口部径85cm×(80cm) 底部径75cm×55cm 深さ32cm

〈埋土〉黒褐色土主体である。炭化物・バミスを含む。

〈壁・底面〉II層下位砂質土を壁または底面としており、底面は平坦であり壁は直立気味に立ち上がる。

〈副穴〉なし。

〈出土遺物〉NO368は薩帯・原体疋痕を施した深鉢口縁部である。NO369は沈線を渦巻文に配している。NO370は外反する口縁部に橋状把手・原体疋痕を配し、口縁部内面に逆C字(逆U字?)文様を施す。NO371は底面に木葉痕を有する。但し4点ともRD30との境から出土した。

〈時期〉RD30との重複関係から縄文時代中期前葉～中葉と思われる。

R D 30 (第33図、写真図版48)

〈位置〉C区G II 09グリッドに位置している。

〈検出状況〉II層下位砂質土上面に黒褐色土の埋土で検出した。

〈重複関係〉RD29を切っている。

〈形状・規模〉平面形：不整形円形 断面形：フラスコ状

開口部径185cm×160cm 底部径190cm×180cm 深さ78cm (100cm副穴含む)

〈埋土〉黒褐色土主体である。全体的に炭化物とバミスを含み、埋土上位に焼土ブロックを含む。

〈壁・底面〉To-Cu層を少々掘り込んで底面とし、II層下位砂質土を壁としている。底面は平坦であり、壁は内傾した後外傾し立ち上がる。

〈副穴〉2基 (P01 25cm×20cm 深さ20cm、P02 65cm×40cm 深さ24cm)

〈出土遺物〉RD29との境よりNO368、NO369、NO370、NO371の4点出土。

〈時期〉RD29との重複関係から縄文時代中期中葉に属すると思われる。

R D 31 (第33図、写真図版48)

〈位置〉B区F II 08グリッドに位置している。

〈検出状況〉II層をベルトにかけてIV層まで下げている最中にベルト上でII層よりも少々黒っぽい埋土で検出し、黒褐色ではっきりと土坑の下位のみ検出された。

〈重複関係〉なし。

〈形状・規模〉平面形：楕円形 断面形：ピーカー状

開口部径80cm×60cm 底部径62cm×43cm 深さ48cm

〈埋土〉黒褐色土主体である(壁の土とあまり変化がなく、上位での検出は困難であった。たまたまベルトにかかった)。断面では上位の方に大きめの礫が見受けられる。

〈壁・底面〉II層を壁とし外傾する。また、IV層を底面とし平坦である。

〈副穴〉なし。

〈出土遺物〉なし。

〈時期〉不明。

R D32 (第33図、写真図版49)

〈位置〉 B区FII04・FIII01グリッドに位置している。

〈検出状況〉 IV層褐色土中に黒褐色土の埋土で検出。調査区域東壁とベルトの土層断面で見るとII層下位の面から構築されている (のが分かる)。一部調査区外へ延びる。

〈重複関係〉 RA35 を切っている。床面で1号建 P03 (旧 PP132) を検出したが新旧関係は不明である。

〈形状・規模〉 平面形: 不整円形 断面形: 皿状

開口部径247cm×218cm (一部調査区外へ) 底部径160cm (一部調査区外へ)×115cm 深さ76cm

〈埋土〉 黒褐色土を主体とし、埋土上位の方には焼土が見られる。

〈壁・底面〉 RA35 の埋土を切って緩やかに外傾し、底面はIV層であり石が縦列されている。その性格については一部調査区外に延びているため不明である。皿状である。

〈副穴〉 なし。

〈出土遺物〉 NO372 は LR 単節縄文を縦位に施す小型深鉢の底部である。NO373 は沈線区画・RL 単節縄文を横位に施す。NO374 は沈線・LR 単節縄文を縦位に施す。NO375、NO376 は粗製深鉢の口縁部分である。NO377 は基部が突出している凸基有蓋甕である。NO378 はミニチュア土器である。

〈時期〉 RA35 との関係と出土遺物より縄文時代中期後葉～末葉と思われる。

R D33 (第34図、写真図版49)

〈位置〉 B区FII04グリッドに位置している。

〈検出状況〉 IV層褐色 (部分的に赤く酸化) の砂質土から黒褐色の楕円形プランの中心部に集石遺構のように石があった。埋土と壁となる土の見分けがつき難かったので気付かず掘り下げてしまい、下位しか残らなかった。

〈重複関係〉 1号建 P05a・PP86・1号建 P05b を切っている。

〈形状・規模〉 平面形: 楕円形 断面形: 皿状

開口部径192cm×145cm 底部径142cm×110cm 深さ14cm

〈埋土〉 II層の土によく似ているが、焼土粒・炭化物を含む。

〈壁・底面〉 壁はIV層 緩やかに傾斜し底面はほぼ平坦である。

〈副穴〉 なし。

〈出土遺物〉 NO379 隆線・LR 単節縄文を横位に施す。NO380 は LR 単節縄文を縦位と斜位に施したミニチュア土器 (小型土器?) である。

〈時期〉 出土遺物が乏しく時期不明である。

R D35 (第34図、写真図版49)

〈位置〉 B区FII03・07グリッドに位置している。

〈検出状況〉 1号竪穴状遺構床面で検出した。暗褐色土に黒褐色土の埋土であった。埋土内には大小礫が多量に露出していた。

〈重複関係〉 RA39・1号竪穴状遺構と重複している。RA39 埋土を掘り込んで形成されており、その上に1号竪穴状遺構が存在する。

〈形状・規模〉平面形：楕円形 断面形：皿状

開口部径290cm×160cm 底部径230cm×90cm 深さ36cm

〈埋土〉皿状に堆積している。全体的に砂質土で礫・炭化物を含む。特にIV層中に多量の土器が含まれる。

〈壁・底面〉RA39 埋土暗褐色土を壁または底面としている。底面に約50cm×50cmの範囲で粘土が露出している。

〈出土遺物〉NO381は沈線の円形区画・LR単節縄文を縦位に施す。NO382は沈線区画・RL単節縄文を縦位に施す。NO383はRL単節縄文を縦位に施した粗製深鉢。NO384・NO385は削強器である。NO386・NO387は磨り石。NO388はミニチュア土器の一部（破片）と思われる。

〈時期〉周辺の遺構の重複関係及び出土遺物から縄文時代中期末葉に属すると思われる。

4. 炉・焼土遺構

R F 01 (第35図、写真図版50)

〈位置〉C区I I 07・I I 08グリッドに位置している。

〈検出面〉II層中。

〈規模・形状〉55cm×50cmの円形を呈する石囲炉である。焼土は径20cmの円形を呈し、最大厚は18cmである。焼成は良くない。

〈出土遺物〉なし。

〈その他〉周囲に床面、柱穴等は確認されなかった。

〈時期〉不明。

R F 02 (第35図、写真図版50)

〈位置〉C区H II 13・I II 01グリッドに位置している。

〈検出面〉II層中。

〈形状〉不整形。

〈規模〉130cm×115cm 厚さ最大22cm

〈状況〉焼成の良好な現地性焼土である。

〈出土遺物〉NO389は隆線・原体圧痕・LR単節縄文を縦位に施す。NO390は隆・沈線を施した土器口縁部分。NO391は沈線、LRL複節縄文を縦位に施した深鉢。NO392は底面に木葉痕を施す。

〈時期〉出土遺物より縄文時代中期中葉に属すると思われる。

R F 03 (第35図、写真図版50)

〈位置〉C区I II 01グリッドに位置している。

〈検出面〉II層中。

〈形状〉不整形。

〈規模〉90cm×50cm (110cm×90cm 石合) 厚さ最大22cm

〈状況〉焼成の良好な焼土があり、その周囲を焼成の不良な焼土が覆う。現地性焼土と思われる。

〈出土遺物〉NO393は隆線の両側に刺突を伴っている深鉢である。NO394は口縁部が波状になっており、隆線の両側に刺突が施されている。NO395は刺突が施されている深鉢である。NO396は粗製深鉢。NO397は

凹石である。

〈その他〉北側に礫が存在するが、伴うものか否かは不明。(下位に RD09 が存在)

〈時期〉出土遺物より縄文時代後期初頭と思われる。

R F 04 (第35図、写真図版50)

〈位置〉C区HII13・HII14グリッドに位置している。

〈検出面〉II層中。

〈形状〉不整形。

〈規模〉100cm×50cm (185cm×120cm 石含) 厚さ最大18cm

〈状況〉焼成のやや良好な現地性焼土である。焼成の良好な焼土をブロック状に含む。

〈出土遺物〉NO398 は基部に挟入のある凹基無蓋鉢。NO399 は石製品である。

〈その他〉周囲に礫が散乱するが、伴うものか否かは不明。

〈時期〉決定資料が乏しいため時期不明である。

R F 05 (第36図、写真図版51)

〈位置〉C区I II05グリッドに位置している。

〈検出面〉II層中。

〈規模・形状〉60cm×45cm のコ字状を呈する石囲炉である。焼土は径30cmの円形を呈し、最大厚は12cmである。焼成は良くない。

〈出土遺物〉NO400 は隆・沈線を施した深鉢と思われる。

〈その他〉コ字状を呈する石囲炉であるRF05とRF06は互いに向き合っており一つの炉のように見えるが、やや軸がずれていること、また、焼土がそれぞれの石囲炉内部にのみ存在しており連続していないことから別々の炉であると判断した。新旧関係は不明。

〈時期〉不明。

R F 06 (第36図、写真図版51)

〈位置〉C区I II05グリッドに位置している。

〈検出面〉II層中。

〈規模・形状〉60cm×40cm のコ字状を呈する石囲炉である。焼土は45cm×23cmの円形を呈し、最大厚14cmである。焼成はやや良好である。

〈出土遺物〉なし。

〈その他〉RF05と同様。

〈時期〉不明。

R F 07 (第36図、写真図版51)

〈位置〉C区I I 16・J I 04グリッドに位置している。

〈検出面〉II層中。

〈規模・形状〉85cm×60cmの円形を呈する石囲炉である。炉内部の黒褐色土に焼成の良好な焼土がブロッ

ク状に含まれる程度である。

〈出土遺物〉なし。

〈その他〉周囲に床面、柱穴等は確認されなかった。

〈時期〉不明。

R F 08 (第36図、写真図版51)

〈位置〉C区H II 09グリッドに位置している。

〈検出面〉II層中。

〈規模・形状〉40cm×55cmのコ字状を呈する石囲炉である。炉内部に40cm×25cmの楕円形を呈する焼土が形成されている。最大厚は8cmであり焼成はあまり受けていない。また、北側に隣接して径50cmで不整形を呈する焼土が形成されている。最大厚8cmで焼成はやや良好である。

〈出土遺物〉NO401は孔を持ち、土器内外面に隆・沈線を用いて文様を形成している。地文はRL単節縄文を縦位に施す。NO402は折り返し口縁・LR単節縄文を縦位に施す深鉢である。

〈その他〉周囲に床面、柱穴等は確認されなかった。

〈時期〉出土遺物より縄文時代中期中葉と思われる。

R F 09 (第36図、写真図版51)

〈位置〉C区H I 16・I I 04グリッドに位置している。

〈検出面〉II層中。

〈形状〉不整形。

〈規模〉80cm×60cm 厚き最大26cm

〈状況〉焼成の良好な現地性焼土である。

〈出土遺物〉NO402は隆線・LR単節縄文を横位に施す。NO404は基部が突出する凸基有茎鉢である。

〈時期〉出土遺物は投げ込まれた可能性が高く、時期不明である。

R F 10 (第37図、写真図版52)

〈位置〉C区H I 12・16グリッドに位置している。

〈検出面〉II層中。

〈形状〉楕円形。

〈規模〉40cm×20cm 厚き最大10cm

〈状況〉焼成の良好な現地性焼土である。

〈出土遺物〉なし。

〈その他〉周囲には多量の大礫が散乱する。

〈時期〉不明。

R F 11 (第37図、写真図版52)

〈位置〉C区HI12・16グリッドに位置している。

〈検出面〉II層中。

〈形状〉不整形。

〈規模〉80cm×65cm 厚さ最大20cm

〈状況〉焼成の良好な現地性焼土である。

〈出土遺物〉NO405はLR単節縄文を縦位と斜位に施し、口縁部が外反気味になり、腰部(胴部)にやや影らみを持つ深鉢である。

〈その他〉粘土の一部はRF11の北東半調で上に重なり、三日月状に厚さ1～3cmで分布する。また、周囲には多量の大礫が散乱する。

〈時期〉出土遺物が乏しく時期不明。

R F 12 (第37図、写真図版52)

〈位置〉B区FII07グリッドに位置している。

〈検出面〉II層中。

〈規模・形状〉65cm×65cmの正方形状を呈する石囲炉であると思われる。焼土は最大厚16cmで径40cmの円形を呈し、焼成はあまり良くない。中央部には最大厚4cmで径20cmの円形を呈する焼成の良好な焼土が含まれる。

〈出土遺物〉NO406は隆線・刺突・LR単節縄文を横位に施す。NO407は沈線区画内を刺突・LR単節縄文を横位に施す。NO408は口唇部に刻目・隆線・RL単節縄文を横位に施す。NO409は比線・LR単節縄文を横位に施す。NO410はLR単節縄文を縦位に施す。NO1181はRL単節縄文を横位に施す。

〈その他〉周囲には床面、柱穴等は確認されなかった。

〈時期〉出土遺物より縄文時代中期末葉のものと思われる。

R F 13 (第37図、写真図版52)

〈位置〉C区II01グリッドに位置している。

〈検出面〉II層下位粘土質土。

〈形状〉楕円形。

〈規模〉40cm×30cm 厚さ最大10cm

〈状況〉焼成の良好な現地性焼土である。

〈出土遺物〉NO411はRL単節縄文を横位に施した粗製深鉢である。NO412は隆線を半渦巻状に付し、RL単節縄文を縦回転させた深鉢の口縁部分である。

〈時期〉出土遺物から縄文時代中期中葉に属すると考えられる。

R F 14 (第37図、写真図版52)

- 〈位置〉 C区G II09グリッドに位置している。
〈検出面〉 II層中。
〈形状〉 楕円形。
〈規模〉 75cm×50cm 厚さ最大30cm
〈状況〉 焼成の良好な現地性焼土である。
〈出土遺物〉 なし。
〈その他〉 焼土範囲内に存在する隙は焼成を受けている。
〈時期〉 不明。

R F 15 (第38図、写真図版53)

- 〈位置〉 C区I I 04グリッドに位置している。
〈検出面〉 II層中。
〈形状〉 不整形。
〈規模〉 南側に位置する焼土は40cm×60cm。また、中央部分に位置する焼土は100cm×80cmである。焼土の厚さは最大で約10cmである。
〈状況〉 焼成の良好な現地性焼土である。下位に RA19 が存在している。
〈出土遺物〉 なし。
〈時期〉 出土遺物はないが、下位の RA19 との関係から、縄文時代中期中葉もしくはそれ以降に属すると思われる。

R F 16 (第38図、写真図版53)

- 〈位置〉 B区F II03グリッドに位置している。
〈検出面〉 II層中
〈形状〉 不整形
〈規模〉 50cm×40cm 厚さ最大8cm
〈状況〉 焼成の良好な現地性焼土である。
〈出土遺物〉 なし。
〈時期〉 不明。

R F 17 (第39図、写真図版53)

- 〈位置〉 B区F II03グリッドに位置している。
〈検出面〉 II層中。
〈規模・形状〉 径50cmの半円状を呈する石罌炉の北隅が石に連続して、土器が正立に埋設されている。焼土は焼成が良好である。埋設土器に接しており、その分布範囲は140cm×85cm で不整形を呈し、最大厚20cmで炉内外に分布する。
〈出土遺物〉 NO413 は RL 単節縄文を縦位に施した粗製土器の体部（胴部）である。
〈時期〉 不明。

R F 18 (第39図、写真図版53)

〈位置〉B区G II03グリッドに位置している。

〈検出面〉II層中。

〈規模・形状〉60cm×60cmの規模で不規則に礫が配される。礫は焼成を受けているが、焼土は検出されなかった。

〈出土遺物〉NO414は沈線区画内部を無文とし、LR単節縄文を縦・横・斜位に施した浅鉢である。土器底部にも体部同様の文様が付されている。また、口縁部分に紐孔を通すための突起が構築されている。NO415はLR単節縄文を施した粗製深鉢である。NO416はRL単節縄文を施し、隆・沈線で文様を付した口縁部分である。NO417・NO418は底面に網代痕を持つ土器底部である。

〈その他〉周囲に床面、柱穴等は確認されなかった。

〈時期〉出土遺物より縄文時代後期初頭に属すると思われる。

R F 19 (第39図、写真図版54)

〈位置〉B区F II16グリッドに位置している。

〈検出面〉II層中。

〈規模・形状〉体部～底部を横位に埋設しており、南に口縁側が向く状態である。その下には、焼成の良好な焼土が厚さ2～6cmで径約30cmの円形を呈し形成される。また、焼成の良くない焼土がこれらを覆い、焼成の良好な焼土がブロック状に含まれる。土器及び礫は焼成を受けている。

〈出土遺物〉NO419は体部を網目状燃糸文、底部を木葉痕で施した深鉢である。

〈時期〉不明。

R F 20 (第39図、写真図版54)

〈位置〉C区H II09グリッドに位置している。

〈検出面〉II層下位砂質土。

〈形状〉楕円形。

〈規模〉80cm×60cm 最大厚10cm

〈状況〉焼成の良好な現地性焼土である。

〈出土遺物〉なし。

〈時期〉不明。

R F 21 (第40図、写真図版54)

〈位置〉C区G II09グリッドに位置している。

〈検出面〉II層中。

〈規模・形状〉石囲炉で一部礫が抜き取られているものと思われる。焼土は焼成の良くないものが径約80cm×60cmの楕円形を呈し、北側では炉外にまで分布する。最大厚は14cmである。

〈出土遺物〉なし。

〈その他〉周囲に柱穴が検出されているが、伴うものか否かは不明である。

〈時期〉不明。

R F 22 (第40図、写真図版54)

〈位置〉 C区G II06グリッドに位置している。

〈検出面〉 II層中。

〈規模・形状〉 径30cmの半円状を呈し礫が配されるが、一部抜き取られたものかもしれない。焼土は焼成の良くないものが40cm×30cmの楕円形を呈し形成される。最大厚は10cmである。

〈出土遺物〉 NO420 は口縁部に隆・沈線を渦巻状に配し、RL 単節縄文を縦位に施す。NO421 は隆線の両側に刺突痕を有する。NO422 は基部に挟入のある凹基無蓋罐である。

〈その他〉 周囲に床面、柱穴等は確認されなかった。

〈時期〉 縄文時代後期初頭(?)

R F 23 (第40図、写真図版55)

〈位置〉 C区G II13グリッドに位置している。

〈検出面〉 II層中。

〈規模・形状〉 径50cmの円形を呈する石囲炉と思われるが、周囲には礫が散在する。石囲炉内に焼土はなく、北東側に80cm×60cmで最大厚4cm、北側に40cm×30cmで最大厚6cmの不整形を呈する焼成の良好な焼土が形成される。北側焼土下には炭化物が60cm×40cmの範囲で分布する。

〈出土遺物〉 NO423 はRL 単節縄文を縦位に施した後、沈線を引き、沈線区画内を磨り消し部分的に棒状工具によって刺突を施している。また、沈線区画上に突起物を有する。NO424 は底面に木葉痕と思われる文様を持つ。NO425 は波状口縁突起上に瘤(ボタン状の?)の文様を付し、隆線を配している。NO426 は原体圧痕・LR 単節縄文を縦位に施す深鉢である。NO427 は円盤状土製品である。

〈その他〉 周囲には柱穴が16基検出されているが、規模や深さはそれぞれ異なる。これらの柱穴はRF23を中心に限られた範囲に集中していることから、RF23に伴うものと考えている。その中でも、PR60、PP61、PP67、PP71の4基は、規模および配置等に企画性があり、調査区外に存在すると思われるものと合わせると、推定5~6本の柱を持つ住居跡であることが推測される。その他の柱穴については、規則性を見ることが出来ないが、建て替え、もしくは、支柱なのかもしれない。

〈時期〉 出土遺物などから縄文時代中期末葉~後期初頭の可能性が高いと思われる。

R F 24 (第41図、写真図版55)

〈位置〉 B区F III01グリッドに位置している。

〈検出面〉 II層中。

〈形状〉 不整楕円形と思われる。東側は調査区外へ至る。

〈規模〉 70cm×60cm 厚さ最大6cm

〈状況〉 焼成の良好な現地性焼土である。

〈出土遺物〉 削搔器1点出土している。

〈その他〉 周囲に柱穴が多数検出されているが、RF24・25を炉とした場合には、PP42、PP47、PP109、PP110、PP111、PP114の6基が伴うものと考えられる。

〈時期〉 不明。

R F 25 (第41図、写真図版55)

〈位置〉 B区F III01・F III05グリッドに位置している。

〈検出面〉 II層中。

〈形状〉 不整形。東側は調査区外へ至る。

〈規模〉 120cm×70cm～ 厚さ最大40cm

〈状況〉 焼成の良好な現地性焼土である。

〈出土遺物〉 なし。

〈その他〉 周囲に柱穴が多数検出されているが、RF24・25を炉とした場合には、PP42、PP47、PP109、PP110、PP111、PP114の6基が伴うものと考えられる。また、RH03が炉石を構成する可能性がある。

〈時期〉 不明。

R F 26 (第41図、写真図版55)

〈位置〉 C区G II09グリッドに位置している。

〈検出面〉 II層中。

〈規模・形状〉 径85cmの円形を呈する石囲炉と思われる。焼土は焼成の良くないものがブロック状に含まれる程度である。

〈出土遺物〉 NO428は縦型石匙である。このほかに削掻器2点、軽石1点出土している。

〈その他〉 周囲には柱穴が検出されているが、伴うものか否かは不明である。

〈時期〉 出土遺物が乏しく時期不明。

R F 27 (第41図、写真図版56)

〈位置〉 B区F II07・F II08に位置している。

〈検出面〉 II層中。

〈形状〉 不整形。

〈規模〉 65cm×40cm 厚さ最大20cm

〈状況〉 焼成の良好な現地性焼土である。

〈出土遺物〉 なし。

〈時期〉 不明。

R F 29 (第42図、写真図版56)

〈位置〉 B区F II04グリッドに位置している。

〈検出面〉 IV層上面 (RD32埋土?)

〈形状〉 楕円形。

〈規模〉 75cm×55cm 厚さ最大26cm

〈状況〉 焼成の良くない異地性焼土である。

〈出土遺物〉 なし。

〈時期〉 不明。

R F 30 (第42図、写真図版56)

〈位置〉 B区F II 04グリッドに位置している。

〈検出面〉 IV層上面。

〈規模・形状〉 70cm×40cmの円形状を呈する。焼土はなく、焼土粒、炭化物粒を含む程度である。

〈出土遺物〉 なし

〈その他〉 一部PP110に切られる。

〈時期〉 不明。

R F 31 (第42図、写真図版56)

〈位置〉 B区F II 15グリッドに位置している。

〈検出面〉 II層中 (RD23 埋土?)

〈形状〉 不整円形

〈規模〉 70cm×70cm 厚き最大20cm

〈状況〉 焼成の良好な現地性焼土である。

〈出土遺物〉 NO429 は隆帯・原体土痕を施した深鉢口縁部分。NO430 は隆線を半渦巻状に配する。NO431 は沈線・刺突・LR 単節縄文を横位に施す。NO432 は底面に木葉痕を施す。NO433 は土偶の足と思われる。

〈時期〉 出土遺物より縄文時代中期中葉と思われる。

R F 32 (第42図、写真図版56)

〈位置〉 B区F II 12グリッドに位置している。

〈検出面〉 II層中 (RD16 埋土?)

〈規模・形状〉 50cm×40cmのコ字状を呈する石囲炉である。炉内に焼土はなかった。

〈出土遺物〉 なし。

〈その他〉 焚き口と思われる北側に隣接する RD21 埋土中には、焼土粒と炭化物粒が多量に含まれているため、同一の施設なのかもしれない。

〈時期〉 不明。

5. 集石・配石遺構

R H 01 (第43図、写真図版57)

〈位置〉 C区I I 04グリッドに位置している。

〈検出状況〉 II層中で検出した。北に隣接してRP02が存在する。

〈形態・規模〉 径10~25cm程の礫が90cm×70cmの楕円形の範囲に集中する。礫は若干異なる。礫の大きさはまちまちであり、周囲には礫が散乱するが同程度の礫の分布は見られない。このことから、人為的に集中させた可能性が高い。

〈出土遺物〉 NO434 は隆・沈線区画内を刻目で施した深鉢口縁部分である。NO435 は隆・沈線・LR 単節縄文を横位に施す。NO436 は隆帯・刺突を施した口縁部分である。

〈時期〉 出土遺物より縄文時代中期中葉に属すると思われる。

R H03 (第43図、写真図版57)

〈位置〉 C区F III01グリッドに位置している。

〈検出状況〉 II層の土によく似ているが一带に焼土が散在し、調査区東側の壁にはRF24・25の強変焼土もあったことから炉を構成していた可能性があると考えたが、炉石自体の焼けた跡は不明確であった。

〈形態・規模〉 3点の石で構築されている。うち2点は15～20cmの扁平な石で地面に接している部分は平坦で立て易い部分を利用しており、「対」と考えてもおおしくない程類似性をもっている。もう1点は平坦な面を持った亜円礫である。3点とも加工痕はなく自然礫と考えられ、周辺に焼土が散在しており炉の可能性もあると前述したが、焼けた跡は見られなかった（不明確であった）。

〈出土遺物〉 NO437 は尖頭器。NO438 は磨り面を持ち、石皿として使用されたと思われる軽石である。

〈時期〉 時期決定を判断できる遺物が乏しいため不明

R H04 (第43図、写真図版57)

〈位置〉 B区F II11グリッドに位置している。

〈検出状況〉 II層中で検出した。

〈形態・規模〉 最大50cm×20cmの礫が不規則に並び、半円状に配される。振り方を明確に検出することができなかった。礫及び内部には焼成を受けた痕跡はなかった。

〈出土遺物〉 なし。

〈時期〉 不明。

R H05 (第43図、写真図版57)

〈位置〉 B区F II14・15グリッドに位置している。

〈検出状況〉 II層中で検出した。

〈形態・規模〉 最大10cm×40cmの扁平礫が70cm×30cmの範囲に集中する。北東側にやや傾斜させて縦に据えている。直下に規模110cm×85cm、深さ40cmの土坑が存在し、これらの集石には西寄り埋土上位に埋められている。埋土は焼土ブロック・炭化物・骨片を含む。

〈出土遺物〉 なし。

〈時期〉 不明。

6. 埋設土器遺構

R P01 (第44図、写真図版58)

〈位置〉 C区HI 12グリッドに位置している。

〈検出状況〉 II層中であるが、RA13床面と思われる面で検出した。

〈埋設状況〉 正立に埋設している。検出時は入れ子状態と思われたが、口縁～体部上位が壊れたものが外側に落ちたものであることが断面観察から分かった。底部はない。

〈振り方〉 検出されなかった。

〈埋土〉 土器内充填土と土器外の土の違いが分からなかった。縮まりの弱い黒褐色土で炭化物とパミスを含む。

〈出土遺物〉 NO439 が埋設されていた土器である。地文はLR 単節縄文を縦に施し、土器体部（胴部）に

人為的に穿孔されている。NO440 は尖頭器である。

〈時期〉 検出状況などから、少なくとも縄文時代中期末葉以前と考えられる。

RP02 (第44図、写真図版58)

〈位置〉 C区II04グリッドに位置している。

〈検出状況〉 II層中で検出した。

〈埋設状況〉 深鉢完形個体を正立に埋設している。底部は掘り方底面から10cm程浮いている。

〈掘り方〉 平面形では捉えられなかったが、推定円形を呈し径35cmの規模で深さは35cmである。

〈埋土〉 掘り方埋土は締まりがやや有る黒褐色土でパミスを含む。土器内充填土は観察しなかった。

〈出土遺物〉 埋設されていたNO441は底面に木葉痕を有する深鉢である。NO442は削接器。NO443は円整状土製品である。

〈時期〉 縄文時代中期中葉と思われる。

RP03 (第44図、写真図版58)

〈位置〉 C区II16グリッドに位置している。

〈検出状況〉 RA04 精査終了後、更にII層を北側から掘り下げている途中で検出した。

〈埋設状況〉 体部を倒立に入れ子状態で埋設している。土器最下部は掘り方底面から浮いている。

〈掘り方〉 平面形では捉えられなかったが、推定円形を呈し40cm×50cmの規模で深さは35cmである。

〈埋土〉 土器内充填土及び掘り方埋土は締まりがややない黒色土である。

〈その他〉 RA04 床面検出時にはRP03は検出されなかった。しかし、断面観察によると埋設土器最上部はRA04床面より低いが、掘り方が床面からであることが確認されたのでRA04に伴うものと思われる。

〈出土遺物〉 NO444は沈線区画・RL単節縄文を縦位に施した深鉢の体部(胴部)。NO445は沈線・擦糸文を施している。NO446は隆・沈線、LR単節縄文を横位に施す。NO447は擦糸文を施した深鉢口縁部分である。

〈時期〉 縄文時代中期後葉に属する。

RP04 (第44図、写真図版58)

〈位置〉 B区FII16グリッドに位置している。

〈検出状況〉 II層中で検出した。土器に接して焼土が存在する。

〈埋設状況〉 口縁～体部下部分が南東側半分のみ残存し正立に埋設している。

〈掘り方〉 掘り方を明確に検出できなかった。西半は土器または焼土が存在しないことから、3層と4層は混乱かもしれない。

〈埋土〉 掘り方が不明瞭であり、また土器内充填土も観察しなかった。

〈出土遺物〉 NO448は無節Lを施した深鉢である。

〈時期〉 不明。

RP05 (第45図、写真図版59)

〈位置〉 C区HII01グリッドに位置している。

〈検出状況〉 検出した区域はII層とIII層の間にII層砂質土が堆積しており、検出面はII層砂質土上面である。

〈埋設状況〉深鉢を正立に埋設している。土器最下部は掘り方底面に密着している。

〈掘り方〉平面形は径45cmで円形状を呈し、深さは30～35cmである。壁面は下部ほど狭くなり底面はほぼ平坦になる。

〈埋土〉土器充填土は締まりのない黒褐色土であるが、内部に存在する土器片よりも下部には締まりのある褐色土が混入する。掘り方埋土は締まりの弱い黒褐色土である。

〈出土遺物〉NO449は隆帯・原体圧痕・RL単節縄文を横位に施す。NO450は隆線・LR単節縄文を横位に施す。

〈時期〉埋設土器より縄文時代中期前葉に属する。

RP06 (第45図、写真図版59)

〈位置〉B区FII12グリッドに位置している。

〈検出状況〉II層中で検出した。

〈埋設状況〉口縁～体部下部が西側半分のみ残存し、正立に埋設している。

〈掘り方〉平面形で捉えられず、また断面観察も行わなかった。

〈埋土〉観察しなかった。

〈出土遺物〉NO451はRL単節縄文を縦位に施す。

〈時期〉不明。

RP07 (第45図、写真図版59)

〈位置〉B区GII03グリッドに位置している。

〈検出状況〉検出した区域はIII層が存在せず、IV層の上にII層が堆積している。RP07はIV層の落ち込み隅に存在し、検出面は東側でIV層上面、西側でII層中である。

〈埋設状況〉深鉢完形個体を正立に埋設している。若干西側に傾斜する状態で土器底面は掘り方底面に密着している。

〈掘り方〉平面形では捉えられなかったが、推定円形を呈し径60cmの規模で深さは25cmである。

〈埋土〉掘り方埋土は締まりがややある黒褐色土で炭化物・パミスを含む。

〈遺物〉NO452は隆・沈線を渦巻文・懸垂文・RLR複節縄文を施す深鉢である。

〈時期〉埋設土器より縄文時代中期中葉に属する。

7. 溝跡

1号溝跡 (第46図、写真図版60)

〈位置〉C区I I 07・08、I II05・06グリッドに位置している。

〈検出状況〉RA06・RA07・RA09床面で検出した。IV層に黒色土または黒褐色土の埋土であった。

〈重複関係〉RA06・RA07・RA09・RD08と重複しており、これらすべての遺構を切っている。新旧関係は、(古) RA06 → RA09 → RA07 → RD08 → 1号溝 → 貝層 (新) となる。

〈平面形・規模〉調査区内を東西に横断し調査区外へ延びる。検出した部分は長さ約12m、上端幅70～110cm、深さ10～30cmの規模である。深さは西側ほど深くなるが、底面レベルは東側と比較すると中央部で約10cm、西側で約6cm低くなる。

〈埋土〉西側、中央よりやや東寄り東側にセクションを設定し断面観察した。西側は黒褐色土主体で小礫を多く含む。東側は黒色土主体でバミスが混じり、小礫・拳大礫を含む。全体的にやや砂質傾向である。

〈壁・床面〉IV層を壁または床面としている。また各々の断面観察によりII層中での礎の立ち上がりを確認している。床面は凹凸が激しく、礫が散乱している。

〈その他〉1号溝検出面より20~30cm上に貝層が溝を覆うように東西に細長く分布している。貝層が1号溝に伴うものかどうか不明であるが、1号溝に落ち込むように堆積している。1号溝に捨てたものかもしれない。

〈出土遺物〉NO453は口縁部突起・沈線・棒状工具による刻目を施している。NO454は隆帯上に原体圧痕を施す。NO455は口縁部がやや外反し、RL単節縄文を横位に施す。口唇部周辺では無文である。NO456は円盤状土製品である。また、1号溝及びRD08付近で鉄滓を出土した。出土地点レベルは1号溝底面から約30cm位上位で出土した。

〈時期〉出土遺物からは縄文時代中期前葉~中葉と思われるが、遺構の重複関係から少なくとも縄文時代中期後葉~末葉以降と思われる。

2号溝跡 (第47図、写真図版60)

〈位置〉C区GII14、HII01・02・05・06グリッドに位置している。

〈検出状況〉検出した区域はII層とIII層の間にII層砂質土が堆積しており、検出面はII層砂質土上面である。

〈重複関係〉RA10と重複している。

〈平面形・規模〉調査区内をほぼ東西に横断し北東側または南西側の調査区外へ延びる。東側の調査区境付近ではカーブして北に至る様相を呈する。検出した部分は北側で12cm、南側で15cm、上端幅は1.6~2.2m、深さ90~120cmの規模である。深さは西側ほど深くなるが底面レベルは一定である。床面はほぼ平坦になり70~140cmである。

〈埋土〉西側調査区境断面で観察した。7層が壁沿いを上端から底面にかけて堆積し、その上に層がほぼ水平に6層堆積される。大きく上位はシルト質土、中位は粘土質土、下位は砂質土であり中~下位にかけて炭化物を含み、砂質土には礫が多く含まれる。15層は砂のブロックである。9~14層は攪乱である。

〈壁・床面〉II層下位砂質土とIII層及びIV層を壁とし、床面はIV層である。床面は平坦であった。

〈出土遺物〉土器片が大コンテナで1箱分出土した。NO457は結節羽状縄文・原体圧痕を施した土器口縁部分。NO458~NO460は口縁部分の形状こそ異なるが、それぞれ隆帯・原体圧痕を施している。NO461は波頭部に隆・沈線で渦巻文・RL単節縄文を横位に施した深鉢である。NO463は隆・沈線による渦巻文・LR単節縄文を縦位に施す。NO464はRL単節縄文を縦位に施し、隆線を付した口縁突起部分。NO465は隆・沈線・RL単節縄文を横位に施す。NO466は刺突・RL単節縄文を縦位に施す。NO467は沈線内をLR単節縄文を斜位に施す。NO468は口唇部に棒状工具の刻目・沈線・LR単節縄文を横位に配している。NO469は隆線上に刺突痕・RL単節縄文を縦位に施す。NO470は垂直方向(縦方向)の隆線上に原体圧痕を付す。NO471は口縁突起・刻目・沈線区画内をRL単節縄文を縦位に施す。NO472・NO473は底面に木葉痕を呈す。NO474は尖頭器。NO475は横型石匙。NO477は縦型石匙の未製品。NO476・NO478は削搔器。NO480は石皿。NO481は石棒。NO482~NO488の7点は円盤状土製品である。このほかに軽石1点出土している。

〈時期〉RA10と重複しているが切り合いによる新旧関係を判断することはできなかった。出土土器から言えることは、少なくとも縄文時代後期初葉もしくはそれ以降に属すると思われる。

8. 貝層

貝層（第46図、写真図版60）

〈位置〉C区I 108・I II05グリッドに位置している。

〈検出状況〉II層中で貝層を検出した。検出時には貝は疎らに分布しており周囲には礫が多く散乱していた。

〈重複関係〉1号溝跡検出面より20～30cm上に存在し、1号溝を覆うように東西に細長く分布している。1号溝埋土に含まれるものか否かは不明である。RA06、RD08よりも新しい。

〈平面形・規模〉検出した部分は680cm×50～130cm、100cm×80cm、厚さ10cm～20cmで東西に細長く分布し、東側は調査区外に延びる。

〈埋土〉検出時には貝の分布が疎らであったが、断面観察によりまとまって分布していることが確認された。1及び2層のように灰に混じて貝が存在し炭化物も含まれる。3層は黒褐色土主体で炭化物を含む。貝層が1号溝に伴うものかどうかは不明であるが、1号溝に落ち込むように堆積している。1号溝に捨てた可能性もある。

〈出土遺物〉貝層の下位から鉄滓が出土。

〈時期〉鉄滓が出土した点から少なくとも縄文時代のものではない。

9. 掘立柱建物跡

B区で1棟、C区で2棟検出した。検出した3棟は、調査時点で柱穴配置を確認したのではなく、整理段階で柱の組み合わせを復元したものである。

1号掘立柱建物跡（第48図）

〈位置〉B区E II16・F II04・F III01グリッドに位置している。

〈検出面〉P01a、P01b、P02a、P04a、P04bはII層中、P02b、P03、P05a、P05bはIV層上面で検出した。

〈柱穴配置・規模〉推定6本柱構成で平面形は長方形を呈する。P01、P02、P04、P05がそれぞれa・bの2本が認められるため、全体が2棟重複している可能性がある。柱間はP01-P02が1.8m、P02-P03が2m、P04-P05が2.2m、P02-P05が2.2m、P03-P04が2.8mである。

〈柱穴埋土〉すべての柱穴は黒褐色土主体であり炭化物を含む。P01、P02、P05は焼土粒も含む。P01、P02、P04、P05はa・bの2本が認められるが、それぞれaがbを切っており、a埋土上位には補強のためと思われる礫がb寄りに存在する。

〈出土遺物〉NO489は口唇部に原体圧痕後、隆線で区画。RL単節縄文を縦位に施し、沈線を配す深鉢口縁である。NO490は隆・沈線・RL単節縄文を縦位に施す。NO491は沈線区画。LR単節縄文を縦位に施す。NO492はRL単節縄文を縦位に施した粗製深鉢。NO494は凹石である。

〈時期〉掘立柱建物跡を構成する柱穴内から出土した土器を基にすると縄文時代中期中葉～末葉に属すると考えられる。

2号掘立柱建物跡（第49図）

〈位置〉C区H I 12・H I 16・H II09・H II13グリッドに位置している。

〈検出面〉検出面はいずれもII層下位砂質土上面である。

〈柱穴配置・規模〉推定9本柱構成で平面形は長方形を呈するものと思われる。柱間はP01-P02が2.5m、

P02-P03 が2.3m、P04-P06 が2.7m、P06-P07 が2.2m、P01-P04 が2 m、P02-P06 が2.3m、P03-P07 が2.1m、P07-P08 が2.1mである。

〈柱穴埋土〉すべての柱穴は黒褐色土主体であり炭化物を含む。

〈出土遺物〉NO495は沈線・刺突を有し、口縁突起部分の内・外面がやや凹状になっている。NO496は隆・沈線・LR単節縄文を縦位に施す。NO497・NO498の2点は粗製深鉢の口縁部である。NO499は削搔器、NO500はミニチュア土器の底部である。

〈時期〉出土遺物より縄文時代中期中葉に属すると思われる。

3号掘立柱建物跡 (第50図)

〈位置〉C区I II01・I II02グリッドに位置している。

〈検出面〉検出面はいずれもII層下位粘土質土上面である。

〈柱穴配置・規模〉推定4本柱構成で平面形は正方形を呈するものと思われる。両辺は直交し、柱間はP01-P02が3 m、P02-P03が3.4mである。

〈柱穴埋土〉すべての柱穴は黒褐色土主体であり炭化物を含む。

〈出土遺物〉なし。

〈時期〉不明。

10. 柱穴列

C区柱穴列 (第51図)

〈位置〉C区G II13・H II01グリッドに位置している。

〈検出状況〉II層下位砂質土上面で黒褐色土の埋土で検出した。

〈重複関係〉2号溝跡と重複するが切り合い関係は不明である。

〈柱穴配置・規模〉ほぼ一直線状に配置する5基の柱穴からなる。柱間はP01-P02が0.9m、P02-P03が1.0 m、P03-P04が0.7m、P04-P05が1.3m。柱穴埋土はいずれも黒褐色土である。柱穴自体の規模は径が40~60 cm前後、深さはP43からP39に向かって深くなる。また底面レベルも低くなる。

〈出土遺物〉NO501は隆・沈線・刺突を施した口縁部分。NO502はLR単節縄文を斜位に施す。NO503はミニチュア土器である。

〈時期〉柱穴内より出土した土器より少なくとも縄文時代中期であると思われる。

11. 柱穴群

B区、C区において159基の柱穴跡が検出された。整理段階で掘立柱建物跡や柱穴列を構成すると考えられるものもある。検出された柱穴跡の規模・特徴は第3表にまとめた。

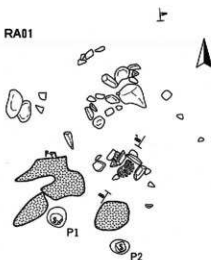
第3表 柱穴表

No.	旧No.	径(cm)	深さ(cm)	埋 土	検 出 面	そ の 他	
	P.P1	45×40	42	黒褐色土・パミス・輝多量含	IV層上面	C区	
2	2	40×35	13	黒褐色土	IV層上面	C区	
3	3	55×40	20	黒褐色土・炭化物含	IV層上面	C区	
4	4	25×20	30	黒褐色土	IV層上面	C区	
5	5	60×60	32	黒褐色土・礫含	IV層上面	C区	
6	6	40×35	15	黒褐色土	IV層上面	C区	
7	7	40×30	39	黒褐色土	IV層上面	C区	
8	8			黒褐色土・礫少量含	IV層	C区 平面記録なし	
9	9			黒褐色土・礫少量含	IV層	C区 平面記録なし	
10	10			黒褐色土・礫少量含	IV層	C区 平面記録なし	
11	11			黒褐色土	IV層	C区 平面記録なし	
12	12			黒褐色土・礫含	IV層中	C区 平面記録なし	
13	13			黒褐色土	IV層中	C区 平面記録なし	
14	14	35×35	39	黒褐色土 炭化物微量含	IV層下位粘土質土	C区	
15	15	33×30	44	黒褐色土 炭化物微量含	IV層下位粘土質土	C区	
16	16			黒褐色土	IV層下位粘土質土	C区	
17	17	30×25	42	黒褐色土	IV層下位粘土質土	C区	
18	18			黒褐色土 炭化物微量含	IV層下位粘土質土	C区 平面記録なし	
3号礎 P03	19	40×35	49	黒褐色土 炭化物微量含	IV層下位粘土質土	C区	
3号礎 P01	20	55×50	47	黒褐色土 炭化物微量含	IV層下位粘土質土	C区	
2号礎 P02	21	65×60	35	黒褐色土 炭化物微量含	IV層下位砂質土	C区	
	19	22	30×30	17	黒褐色土	IV層下位砂質土	C区
	20	23	45×35	22	黒褐色土	IV層下位砂質土	C区
2号礎 P01	24	50×50	28	黒褐色土	IV層下位砂質土	C区	
	21	25	25×25	11	黒褐色土	IV層下位砂質土	C区
	22	26	40×35	11	黒褐色土	IV層下位砂質土	C区
	23	27	25×22	10	黒褐色土	IV層下位砂質土	C区
	24	28	60×60	35	黒褐色土・にぶい黄褐色土	IV層下位砂質土	C区
	25	29	35×25	12	黒褐色土	IV層下位砂質土	C区
	26	30	25×25	14	黒褐色土	IV層下位砂質土	C区
	27	31	30×28	14	黒褐色土	IV層下位砂質土	C区
	28	32	25×25		黒褐色土	IV層	C区 底面レベルなし
	29	33	50×50	35	黒褐色土 炭化物・パミス少量含	IV層下位砂質土	C区 土層多量土
2号礎 P07	34	85×80	45	黒褐色土 炭化物・パミス微量含	IV層下位砂質土	C区	
	30	35	80×75	46	黒褐色土 輝多量含	IV層	C区 骨片出土
	31	36	85×?	40	黒褐色土 輝多量含	IV層	C区
	32	37	50×45	20	黒褐色土 輝多量含	IV層	C区
	33	38	45×35	12	黒褐色土 輝多量含	IV層	C区
柱穴例 P01	39	45×30	34	黒褐色土	IV層下位砂質土	C区	
柱穴例 P02	40	50×50	35	黒褐色土 炭化物・パミス微量含	IV層下位砂質土	C区	
柱穴例 P03	41	60×55	23	黒褐色土 炭化物・パミス微量含	IV層下位砂質土	C区	
柱穴例 P04	42	50×40	14	黒褐色土 炭化物・パミス微量含	IV層下位砂質土	C区	
柱穴例 P05	43	60×45	9	黒褐色土 炭化物・パミス微量含	IV層下位砂質土	C区	
	34	44	35×30	10	黒褐色土 炭化物・パミス微量含	IV層下位砂質土	C区 RF23に伴う可能性有り
	35	45	45×35	32	黒褐色土 炭化物・パミス微量含	IV層下位砂質土	C区 RF23に伴う可能性有り
	36	46	25×15	36	黒褐色土 炭化物・パミス微量含	IV層下位砂質土	C区 RF23に伴う可能性有り
	37	47	25×25	23	暗褐色土 炭化物微量含	IV層下位砂質土	C区
2号礎 P03	48	80×80	47	黒褐色土・暗褐色土・パミス含	IV層下位砂質土	C区	
2号礎 P04	49	60×55	56	黒褐色土 炭化物微量含	IV層下位砂質土	C区	
	38	50	45×35	12	黒褐色土 炭化物少量含	IV層下位砂質土	C区
	39	51	35×35	10	黒褐色土 小礫少量含	IV層下位砂質土	C区
2号礎 P05	52	65×60	17	黒褐色土 炭化物・パミス・小礫含	IV層下位砂質土	C区	
2号礎 P06	53	30×35	22	黒褐色土 炭化物・パミス・小礫含	IV層下位砂質土	C区	
	40	54	55×40	17	暗褐色土 炭化物・小礫含	IV層下位砂質土	C区
	41	55	70×35	15, 21	暗褐色土・小礫含	IV層下位砂質土	C区 2基合まる
42	56	110×70	40	暗褐色土・黒褐色土 炭化物・パミス・礫含	IV層中	B区 RF24・25に伴う可能性有り	
1号礎 P04a	57	55×50	60	黒褐色土 炭化物・パミス微量、小礫少量含	IV層中	B区	
1号礎 P04b	58	20×35	35	黒褐色土 炭化物・パミス微量、小礫少量含	IV層中	B区	
	43	59	50×50	83	黒褐色土・暗褐色土	IV層中	B区
RA22内 P03	60	35×35	33	暗褐色土 小礫含	IV層中	B区	
RA22内 P01	61	40×35	35	暗褐色土 小礫含	IV層中	B区	
RA22内 P04	62	30×30	32	黒褐色土 炭化物少量含	IV層中	B区	
	44	63	40×23	34		IV層中	B区
	45	64	40×40	48		IV層中	B区
	46	65	45×40	20		IV層中	B区
	47	101	30×30	32	黒褐色土・パミス少量、輝多量含	IV層中	B区 RF24・25に伴う可能性有り
	48	102	30×23	31	黒褐色土	IV層中	B区
	49	103	70×55	50	黒褐色土 パミス極微量含	IV層	B区
30	104	60×50	23	黒褐色土 パミス微量含	IV層	B区	

No.	旧 No.	厚 (cm)	長さ (cm)	埋 土	検 出 前	そ の 他
51	105	60×50	53	黒褐色土 炭化物微量含	II層トビ砂質土	C区 RF26・21 に伴う可能性有り
52	106	30×30	47	黒褐色土 炭化物微量含	II層下位砂質土	C区 RF26・21 に伴う可能性有り
53	107	30×35	24	黒褐色土 炭化物微量含	II層下位砂質土	C区 RF26・21 に伴う可能性有り
54	108	37×33	39	黒褐色土 炭化物微量含	II層下位砂質土	C区 RF26・21 に伴う可能性有り
55	109	40×40	50	黒褐色土 炭化物微量含	II層下位砂質土	C区 RF26・21 に伴う可能性有り
56	110	30×30	22	黒褐色土 炭化物微量含	II層下位砂質土	C区 RF26・21 に伴う可能性有り
57	111	25×20	15	黒褐色土 炭化物微量含	II層下位砂質土	C区 RF26・21 に伴う可能性有り
58	112	35×35	18	黒褐色土 炭化物微量含	II層下位砂質土	C区 RF26・21 に伴う可能性有り
58	113	25×35	23	黒褐色土 炭化物微量含	II層下位砂質土	C区 RF26・21 に伴う可能性有り
59	114	30×27	10	黒褐色土 炭化物微量・バミス少量含	II層下位砂質土	C区 RF23 に伴う可能性有り
60	115	35×33	26	黒褐色土 炭化物微量・バミス少量含	II層下位砂質土	C区 RF23 に伴う可能性有り
61	116	35×36	26	黒褐色土 炭化物微量・バミス少量含	II層下位砂質土	C区 RF23 に伴う可能性有り
62	117	25×25	24	黒褐色土 炭化物微量・バミス少量含	II層下位砂質土	C区 RF23 に伴う可能性有り
63	118	40×33	31	黒褐色土 炭化物微量・バミス少量含	II層下位砂質土	C区 RF23 に伴う可能性有り
64	119	40×35	57	黒褐色土 炭化物微量・バミス少量含	II層下位砂質土	C区 RF23 に伴う可能性有り
65	120	37×35	35	黒褐色土 炭化物微量・バミス少量含	II層下位砂質土	C区 RF23 に伴う可能性有り
66	121	39×30	36	黒褐色土 炭化物微量・バミス少量含	II層下位砂質土	C区 RF23 に伴う可能性有り
67	122	29×22	35	黒褐色土 炭化物微量・バミス少量含	II層下位砂質土	C区 RF23 に伴う可能性有り
68	123	25×25	37	黒褐色土 炭化物微量・バミス少量含	II層下位砂質土	C区 RF23 に伴う可能性有り
69	124	23×23	38	黒褐色土 炭化物微量・バミス少量含	II層下位砂質土	C区 RF23 に伴う可能性有り
70	125			黒褐色土 炭化物微量・バミス少量含	II層下位砂質土	C区 RF23 に伴う可能性有り
71	126	30×30	30	黒褐色土 炭化物微量・バミス少量含	II層下位砂質土	C区 RF23 に伴う可能性有り
72	127	47×42	52	黒褐色土 炭化物微量・バミス少量含	II層下位砂質土	C区 RF23 に伴う可能性有り
73	128	28×28	34	黒褐色土 炭化物微量・バミス少量含	II層下位砂質土	C区 RF23 に伴う可能性有り
74	129	30×30	31	黒褐色土 炭化物微量・バミス少量含	II層下位砂質土中	C区 RF23 に伴う可能性有り
75	130	35×30	36	黒褐色土 炭化物微量・バミス少量含	II層下位砂質土	C区 RF23 に伴う可能性有り
RD30P01	132-1	23×20	20	黒褐色土 炭化物微量含	II層	C区 RD30 腐穴
RD30P02	133	65×40	27	黒褐色土 炭化物微量含	II層	C区 RD30 腐穴
76	131-2	35×32	54	茶褐色土 炭化物・焼土粒多量含	II層中	B区
1号建 P03	132	75×33	23	注記記録なし	IV層	B区
77	134	26×22	10	黒褐色土 褐色土20%含	IV層	B区
1号建 P02b	135	45×32	20	黒褐色土 褐色土20%含	IV層	B区
78	136	20×14	13	黒褐色土 褐色土20%含	IV層	B区
79	137	23×21	31	黒褐色土 褐色土ブロック含	IV層	B区
80	138	45×35	39	黒褐色土 褐色土20%含	IV層	B区
81	139	21×12	14	黒褐色土 褐色土20%含	IV層	B区
82	140	23×23	16	黒褐色土 褐色土20%含	IV層	B区
83	141	35×30	44	黒褐色土 褐色土20%含	IV層	B区
84	142	38×34	30	黒褐色土 褐色土20%含	IV層	B区
85	143	22×21	39	黒褐色土 褐色土20%含	IV層	B区
86	144	42×30	40	黒褐色土 炭化物・焼土粒多量含	II層中	B区
87	145	48×37	32	炭化物・焼土粒微量含	IV層	B区
1号建 P05b	146	61×61	48	暗褐色土 炭化物・焼土粒微量含	IV層	B区
88	147	56×51	45	黒褐色土 小礫多量含	II層中	B区
1号建 P01a	148	58×47	47	黒褐色土 炭化物・焼土少量含	II層中	B区
1号建 P01b	149	45×37	51	黒褐色土 炭化物・焼土少量・小礫多量含	II層中	B区
89	150	55×13	37	黒褐色土 褐色土20%含	IV層	B区
1号建 P02a	151	68×68	73	黒褐色土 炭化物・焼土粒多量含	II層中	B区
90	152	54×43	21	注記記録なし	IV層	B区
91	153	21×18	40	茶褐色土 褐色土ブロック含	IV層	B区
92	154	23×23	42	黒褐色土	IV層	B区
93	155	65×?	58, 17	注記記録なし	IV層	B区
94	156	49×35	43	注記記録なし	IV層	B区
95	157	25×22	29	注記記録なし	IV層	B区
96	158	25×23	21	注記記録なし	IV層	B区
97	159	45×40	39	黒褐色土 炭化物微量含	IV層	B区
98	160	15×10	19	黒褐色土 炭化物微量含	IV層	B区
99	161	35×30	44	黒褐色土 炭化物少量含	IV層	B区
100	162	35×35	58	黒褐色土 炭化物微量含	IV層	B区
		163				B区 変
RA3H 内 P07	164	30×45	20	黒褐色土 炭化物微量含	IV層	B区
RA3H 内 P01	165	33×30	30	注記記録なし	IV層	B区
101	166	20×15	25	黒褐色土 バミス少量含	IV層	B区
102	167	45×45	49	黒褐色土 小礫多量含	IV層	B区
RA40 内 P03	168	35×30	50	黒褐色土 炭化物多量含	IV層	B区
103	169	25×25	22	黒褐色土	IV層	B区
104	170	65×65	26	黒褐色土 炭化物・小礫多量含	IV層	B区
105	171	50×?	36	黒褐色土	IV層	B区
106	172	20×20	29	黒褐色土	IV層	B区
RA3H 内 P08	173	40×35	14	黒褐色土	IV層	B区

No.	旧No.	径(cm)	長さ(cm)	埋	土	検出面	その他
107	174	35×35	28	柱状記録なし		IV層	B区
108	175	40×40	47	柱状記録なし		IV層	B区
109	F107F	87×81	62	黒褐色土、バミス、塵多量含		II層	B区 RF24・25に伴う可能性有り
110	F107F	54×45	65	黒褐色土、バミス、塵多量含		II層	B区 RF24・25に伴う可能性有り
111	F107F	58×56	48	柱状記録なし		II層	B区 RF24・25に伴う可能性有り
1号建 P08a	RD10	70×65	53	黒褐色土 炭化物・焼土粒極微量、小塵多量		IV層	B区
2号建 P08	RD10	125×?	74	柱状記録なし		II層下位砂質土	C区
112	宋尊録	60×30	20,9	柱状記録なし		IV層?	C区
113	宋尊録	45×35		黒褐色土 炭化物含		IV層?	C区
114	宋尊録	25×20	37	柱状記録なし		II層下位砂質土	B区 RF24・25に伴う可能性有り
115	宋尊録	35×35	27	黒褐色土		II層中	B区
116	宋尊録	60×50	30	黒褐色土 炭化物含		IV層	B区
117	宋尊録	65×40	26	黒褐色土 炭化物含		IV層	B区
118	宋尊録	40×35	20	黒褐色土 炭化物含		IV層	B区
119	宋尊録	30×30	13	黒褐色土 炭化物含		IV層	B区
120	宋尊録	30×30	22	黒褐色土 炭化物含		IV層	B区
121	宋尊録	30×30	37	黒褐色土		IV層	B区
122	宋尊録	30×30		黒褐色土		IV層	B区
123	宋尊録	30×30		黒褐色土		IV層	B区
124	宋尊録	60×50	13	黒褐色土		II層下位砂質土	C区

RA01



RA01

- 1 18YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まり強 パリス微砂質、礫少量含
- 2 18YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まり強 パリス少量含
- 3 18YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まり強 パリス少量含
- 4 18YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まり強 炭化物微量、パリス少量、礫少量含

L=240.800m

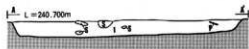


RA01

No	P 1	P 2
径 cm	32×30	30×20
深さ cm	47.0	23.7

RA01P

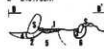
- 1 5YR3/6 暗赤褐色土 粘性なし 締まり弱(粘土)
- 2 10YR2/1 灰色土 粘性なし 締まり弱
- 3 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まり弱
- 4 18YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まり強 炭化物少量含



RA02

- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まり強 炭化物微量、小礫少量含

L=240.700m



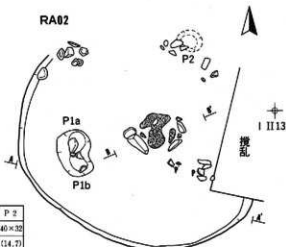
RA02P B断面

- 1 5YR3/6 暗赤褐色土 粘性なし 締まりなし
- 2 10YR2/1 灰色土 粘性なし 締まりなし
- 3 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まりなし 炭化物微量含
- 4 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まりなし 炭化物微量含
- 5 10YR3/4 褐色土 砂質 粘性なし 締まりなし 小礫少量含
- 6 18YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まりなし(3より少し硬い)

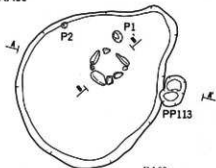
RA02

No	P1a	P1b	P 2
径 cm	55×40	45×30	40×32
深さ cm	30.5	29.9	14.7

RA02



RA03



RA03

- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まり中 中央部に炭化物少量含
- 2 10YR3/6 黒褐色土 粘性なし 締まり中 砂質含

L=240.500m



RA03P

- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まりなし 炭化物微量含
- 2 10YR3/2 黒褐色土 粘性なし 締まりなし 炭化物微量含
- 3 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まりなし 黄土色(5YR4/6) 赤褐色1%、炭化物微量含
- 4 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まりなし 炭化物微量含
- 5 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まりなし
- 6 10YR3/6 黒褐色土 粘性なし 締まりなし
- 7 18YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まり中 礫約40%混入

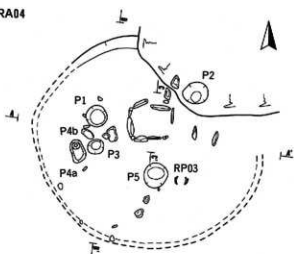
RA03

No	P 1	P 2
径 cm	28×15	10×7
深さ cm	9.8	5.0

0 1:60 2m

第7図 RA01~03

RA04



RA04 A-A断面

- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まりなし 炭化物・ハニ入炭混合
- 2 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まりなし 炭化物・ハニ入炭混合



RA04 B-B断面

- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まりなし 炭化物少量 ハニ入炭混合

RA04

No.	P 1	P 2	P 3	P 4a	P 4b	P 5
径 cm	35×33	42×35	28×25	43×26	12×12	10×45
深さ cm	33.3	33.6	20.9	12.5	19.6	31.9

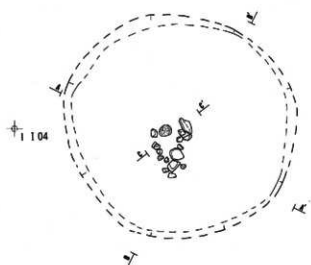
L=240.400m



RA04B

- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まりなし
- 2 10YR2/1 黒色土 粘性なし 締まりなし 炭化物微量
- 3 10YR2/2 黒褐色土 粘性中 締まり中
- 4 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まりなし
- 5 10YR2/1 黒色土 粘性なし 締まりなし
- 6 10YR2/1 黒色土 粘性中 締まり中

RA05



L=240.500m



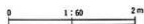
RA05B

- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘性中 締まりなし 炭土粒(ハニ)入
- 2 10YR2/2 黒褐色土 粘性中 締まり中 炭化物微量
- 3 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まりなし 炭化物微量



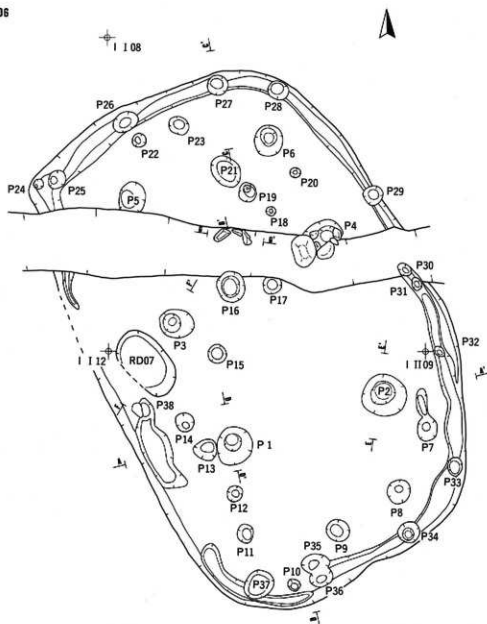
RA05 A-A' B-B断面

- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まり中 中央部に炭化物・土器片
- 2 10YR2/1 黒色土 粘性なし 締まり中 締多量



第8図 RA04・05

RA06



RA06

No.	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	P 6	P 7	P 8	P 9	P 10
径 cm	87 × 57	73 × 27	58 × 45	55 × 56	47 × 45	50 × 43	43 × 36	40 × 40	40 × 35	23 × 20
深 cm	44.1	61.5	51.6	52.9	21.9	53.4	21.9	19.5	17.9	25.3

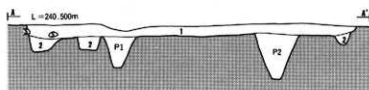
No.	P 11	P 12	P 13	P 14	P 15	P 16	P 17	P 18	P 19	P 20
径 cm	30 × 25	20 × 25	35 × 32	35 × 32	33 × 30	56 × 56	32 × 38	16 × 15	30 × 26	18 × 18
深 cm	19.9	15.1	9.0	16.6	8.2	23.2	12.9	12.4	11.8	9.9

No.	P 21	P 22	P 23	P 24	P 25	P 26	P 27	P 28	P 29	P 30
径 cm	35 × 42	23 × 21	32 × 30	15 × 15	30 × 28	44 × 28	35 × 30	35 × 30	34 × 30	25 × 23
深 cm	10.4	7.6	16.7	16.9	36.5	28.8	22.1	29.3	21.5	14.8

No.	P 31	P 32	P 33	P 34	P 35	P 36	P 37	P 38
径 cm	24 × 15	21 × 13	32 × 24	35 × 32	45 × 38	37 × 27	50 × 40	35 × 36
深 cm	2.9	10.3	15.8	-	27.1	13.6	16.9	12.3

0 1:60 2m

第9图 RA06(1)



RA06 A-A断面
 1 10YR2/1 黒色土 粘り中 締まり弱 炭化物・P1ス堆積物
 2 10YR2/2 黒褐色土 粘りなし 締まり弱



RA06 B-B断面
 1 10YR2/1 黒色土 粘り中 締まり弱 炭化物・P1ス堆積物
 2 10YR2/1 黒色土 粘りなし 締まりなし 炭化物堆積物
 3 10YR2/2 黒褐色土 粘りなし 締まり弱



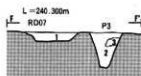
RA06 C-C断面
 1 10YR2/1 黒色土 粘り中 締まり中 P1ス堆積、小礫少量
 2 10YR1/1 黒色土 粘り中 締まり強 P1ス堆積、小礫少量
 3 10YR2/2 黒褐色土と10YR4/6 褐色土の混合土 粘りなし、締まりなし
 4 10YR2/2 黒褐色土 粘り中 締まりなし
 5 10YR2/1 黒色土 粘り中 締まり弱



RA06 P01 D-D断面
 1 10YR1/1 黒色土 粘り中 締まり中
 2 10YR1/1 黒色土 粘り中 締まりなし 小礫少量
 3 10YR1/1 黒色土 粘り中 締まりなし 小礫少量



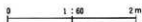
RA06 P02 E-E断面
 1 10YR1/1 黒色土 粘り中 締まり中 炭化物堆積物
 2 10YR1/1 黒色土 粘り中 締まりなし 炭化物堆積、小礫少量
 3 10YR1/1 黒色土 粘り中 締まりなし 炭化物堆積、小礫少量



RA06 P03 E07 F-F断面
 1 10YR2/2 黒褐色土 粘り中 締まり中
 2 10YR2/1 黒色土 粘り中 締まり中 小礫少量
 3 10YR2/1 黒色土 粘り中 締まりなし

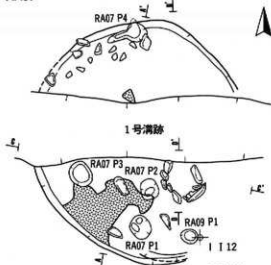


RA06 G-G断面
 1 10YR2/2 黒褐色土 粘りなし 締まりなし 灰土粒(5YR4/6赤褐色)20%
 小礫少量
 2 10YR2/2 黒褐色土 粘りなし 締まり中 小礫少量
 3 10YR2/2 黒褐色土 粘りなし 締まりなし



第10図 RA06(2)

RA07



RA07

No.	P.1	P.2	P.3	P.4
径 cm	33×30	40×30	38×30	30
深さ cm	53.7	17.9	18.1	14.9

RA09

No.	P.1
径 cm	30×25
深さ cm	14.6



RA07・RA07・RA09・1号溝跡

- A-A断面
 1 10YR2/2 黄褐色土 粘性强し 締まり中 炭化物・バリス散見
 2 10YR4/6 褐色土 粘性强 締まり強(陥床)



B-B断面

- 1 10YR2/2 黄褐色土 粘性强 締まり弱 バリス散見 膠少量含(RA09埋土)
 2 10YR2/2 黄褐色土 粘性强 締まり弱(陥床)
 3 10YR2/2 黄褐色土 粘性强 締まり弱 膠少量含(RA09埋土)
 4 10YR2/2 黄褐色土 粘性强 締まり弱 膠少量含
 5 10YR2/2 黄褐色土 粘性强 締まり弱 膠少量含

RA09



RA09P

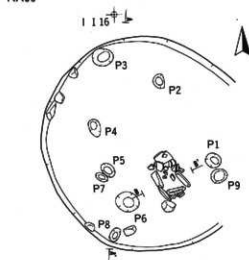
- 1 灰白泥質なし
 2 5YR5/6 灰赤褐色土 粘性强し 締まり中
 3 5YR4/6 黄褐色土 粘性强 締まりなし
 4 10YR2/2 黄褐色土 粘性强し 締まりなし
 5 10YR2/3 黄褐色土 粘性强し 締まりなし



C-C断面

- 1 10YR2/2 黄褐色土 粘性强し 締まり中 バリス少量含

RA08



RA08

No.	P.1	P.2	P.3	P.4	P.5	P.6	P.7	P.8	P.9
径 cm	25×25	25×17	25×28	30×20	28×18	36×30	29×13	25×15	25×22
深さ cm	6.9	31.1	10.0	28.1	9.4	29.4	8.8	13.0	22.8



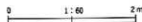
RA08

- 1 10YR2/2 黄褐色土 粘性强 締まり弱 炭化物・小骨少量・バリス散見
 2 10YR2/2 黄褐色土 10YR2/7(灰赤土)の混合土 粘性强 締まり弱
 焼土散(5YR4/6(赤褐色)・灰化跡散見
 3 10YR2/2 黄褐色土 粘性强し 締まり弱 炭化物散見



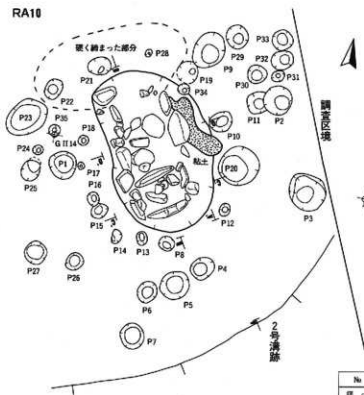
RA08P

- 1 10YR2/1 褐色土 粘性强 締まり弱 焼土散(5YR4/6(赤褐色))散見
 2 10YR2/3 黄褐色土 粘性强 締まり弱
 3 10YR2/3 黄褐色土 粘性强 締まり弱 下部に砂質含
 4 10YR2/1 褐色土 粘性强 締まり中 粘土混入
 5 10YR2/3 黄褐色土 10YR4/6(褐色土)の混合土 粘性强 締まり弱 砂質土含
 6 10YR2/3 黄褐色土 粘性强 締まり中 砂質土含



第11図 RA07~09

RA10

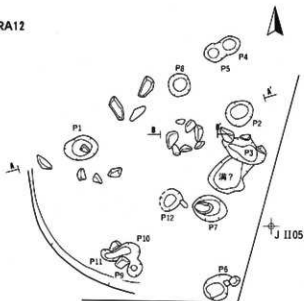


RA10

No.	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9
径 cm	45×43	45×46	60×60	46×32	56×43	35×30	43×37	27×22	63×50
深さ cm	65.9	66.9	58.7	19.7	21.8	19.7	26.4	24.2	25.7

No.	P10	P11	P12	P13	P14	P15	P16	P17	P18
径 cm	35×33	40×40	22×18	24×18	21×17	38×22	23×16	12×12	26×16
深さ cm	24.0	2.9	19.8	30.6	13.8	37.5	19.1	33.2	19.9

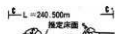
RA12



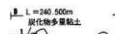
RA10 A-A断面
1 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まりなし 砂利少量
小礫少量
2 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 締まり弱



RA10B B-B断面
1 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まりなし 炭化物少量
2 10YR4/4 褐色土 砂質 粘性なし 締まりなし



RA10C C-C断面
1 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まりなし 炭化物少量
2 10YR4/4 褐色土 砂質 粘性なし 締まりなし



RA10D D-D断面
1 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まりなし 炭化物少量
2 10YR4/4 褐色土 砂質 粘性なし 締まりなし

No.	P19	P20	P21	P22	P23	P24	P25	P26	P27
径 cm	40×34	60×58	31×35	25×34	50×15	15×35	30×30	25×40	38
深さ cm	25.2	32.1	20.2	14.9	19.5	12.6	51.0	19.4	12.6

No.	P28	P29	P30	P31	P32	P33	P34	P35
径 cm	12×11	10×35	20×30	21×19	37×32	35×33	18×18	18×17
深さ cm	12.0	23.4	11.6	13.7	38.0	9.9	20.7	

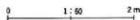


RA12
1 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まりなし 砂利少量
2 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まりなし P-A断面 砂利少量
3 10YR4/4 褐色土 粘性なし 締まり弱
4 10YR2/1 褐色土 粘性なし 締まりなし
5 10YR2/2 黒褐色土 砂質 粘性なし 締まり弱
6 10YR2/3 黒褐色土 砂質 粘性なし 締まり弱
7 10YR4/4 褐色土 砂質 粘性なし 締まり弱 礫少量
8 10YR3/3 褐色土 粘性なし 締まり弱

L=240.500m RA12B
1 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まりなし
2 7.5YR4/6 褐色土 粘性なし 締まりなし
3 7.5YR4/6 褐色土 粘性なし 締まりなし
4 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 締まり弱
5 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まり弱
6 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まり弱
7 10YR4/4 褐色土 粘性なし 締まり弱 炭化物少量

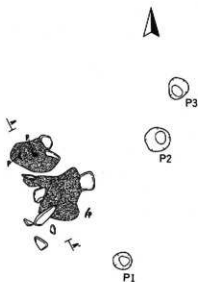
No.	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9
径 cm	53×48	44×48	79×48	50×36	50×25	36×50	48×37	35×28	20
深さ cm	18.2	27.9	20.7	10.5	18.4	51.7	27.4	10.3	2.9

No.	P10	P11	P12
径 cm	40×30	25×15	35×30
深さ cm	24.4	24.6	24.0



第12図 RA10・12

RA13

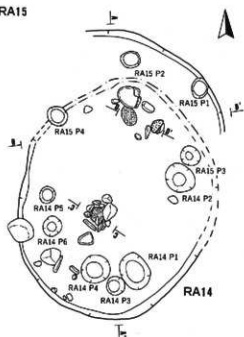


- RA13P
- 1 5YR4/6 赤褐色土 粘性強 硬まり中
 - 2 5YR2/3 暗赤褐色土 粘性強 硬まりなし 炭化物少量(5YR3/6暗赤褐色)含
 - 3 5YR4/6 赤褐色土 粘性中 硬まり弱
 - 4 5YR3/6 暗赤褐色土上10YR3/2暗赤褐色土の礫層土 粘性中 硬まり強
 - 5 5YR2/3 暗赤褐色土 粘性強 硬まり弱
 - 6 5YR2/3 暗赤褐色土 粘性中 硬まり弱
 - 7 10YR3/6 黄褐色土 粘性中 硬まり弱
 - 8 10YR2/3 黄褐色土 粘性中 硬まり弱 炭化物少量 炭化物少量含
 - 9 10YR2/3 黄褐色土 粘性強 硬まり弱 粘土・小礫層層含有

RA13

No.	P.1	P.2	P.3
径 cm	39×27	42×40	34×30
深さ cm	27.1	37.8	22.6

RA15



RA14・RA15

- A-A断面
- 1 10YR2/2 黄褐色土 粘性中 硬まり弱
 - 2 10YR2/2 黄褐色土 粘性強 硬まり中 炭化物少量・礫層層含有(RA15層土)
 - 3 10YR2/3 黄褐色土 粘性強 硬まり中 炭化物層層含有(RA14層土)



B-B断面

- 1 10YR2/2 黄褐色土 粘性強 硬まり強 粘土・炭化物量、炭化物層層含有(RA15層土)
- 2 10YR2/3 黄褐色土 粘性中 硬まり強 炭化物層層含有、パリス少量、礫層層含有(RA14層土)

L=240.600m



RA14P

- 1 7.5YR2/2 赤褐色土 粘性なし 硬まりなし 炭化物層層含有
 - 2 7.5YR2/6 褐色土 粘性中 硬まりなし(炭化物土)
 - 3 10YR2/3 黄褐色土 粘性中 硬まり弱
 - 4 10YR2/3 黄褐色土 粘性中 硬まりなし
 - 5 10YR2/3 黄褐色土 粘性中 硬まりなし(4層より深い)
 - 6 10YR3/3 黄褐色土 粘性なし 硬まり弱
- 断面 10YR2/1 赤褐色土 粘性なし 硬まり弱

L=240.600m



RA15P

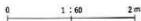
- 1 7.5YR2/4 赤褐色土 粘性なし 硬まり中 炭化物層層含有(礫層層土)
- 2 10YR2/3 黄褐色土 粘性強 硬まり強 粘土上段 5YR3/6 黄褐色土 含
- 3 10YR2/1 赤褐色土 粘性なし 硬まり中 炭化物層層含有(RA14層土)

RA14

No.	P.1	P.2	P.3	P.4	P.5	P.6
径 cm	69×45	56×45	39×39	48×42	27×25	32×30
深さ cm	39.5	31.9	37.1	38.3	42.0	40.7

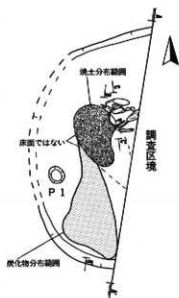
RA15

No.	P.1	P.2	P.3	P.4
径 cm	33×25	39×27	33×30	35×30
深さ cm	26.8	16.5	40.1	39.4



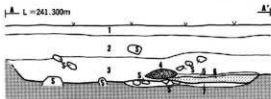
第13回 RA13~15

RA16



RA16

No	P 1
径 cm	30×25
深さ cm	9.9



RA16

A-A断面

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 締まり中 焼作土
- 2 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 締まり中 焼土質、焼多量混合
- 3 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 締まり中 焼多量混合
- 4 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 10YR2/3-10YR2/3の混合土 粘性中 締まり強 炭化物少量混合
- 5 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 締まり強 炭化物少量混合
- 6 10YR2/2 黒褐色土 粘性中 締まりなし 炭化物・焼少量混合
- 7 10YR2/2 黒褐色土 粘性中 締まり強 (6より締まりが強い) 焼多量混合



B-B断面

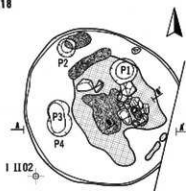
- 1 5YR2/4 暗赤褐色土 粘性中 締まり中 炭化物少量混合
- 2 10YR2/3 黒褐色土 粘性強 締まり中 焼土質、焼多量混合
- 3 10YR2/2 黒褐色土 粘性強 締まり中 炭化物少量混合、焼多量混合
- 4 10YR2/2 黒褐色土 粘性強 締まり中 炭化物・焼少量混合



RAMP C-C断面

- 1 5YR2/2 暗赤褐色土 粘性なし 締まり中 焼土・炭化物少量混合
- 2 7.5YR2/3 暗褐色土 粘性中 締まり中 炭化物少量混合
- 3 10YR2/3 暗褐色土 粘性強 締まり中 炭化物少量混合、焼多量混合
- 4 10YR2/4 暗褐色土 粘性なし 締まり中 暗褐色土炭化物混入

RA18



RA18

No	P 1	P 2	P 3	P 4
径 cm	45×43	30×28	35×32	40×36
深さ cm	30.7	31.7	21.1	34.7



RA18

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性中 締まり中 炭化物少量混合
- 2 10YR2/2 黒褐色土 粘性中 締まり中 炭化物少量混合
- 3 10YR2/3 暗褐色土 粘性中 締まり中
- 4 2.5YR2/9 暗褐色土 粘性中 締まり強
- 5 10YR2/3 黒褐色土 10YR2/3-10YR2/3の混合土 粘性中 締まり中
- 6 10YR1/4 暗褐色土 粘性強 締まり強
- 7 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 締まり中 炭化物少量混合

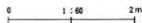
L=240.500m



II層 (粘土層)

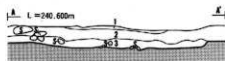
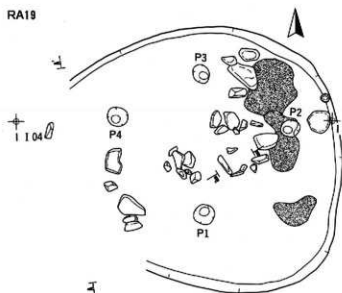
RA18P

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 締まり強 炭化物少量混合
- 2 2.5YR2/9 暗褐色土 粘性なし 締まり中
- 3 10YR2/3 黒褐色土 粘性中 締まりなし
- 4 10YR2/3 黒褐色土 粘性中 締まり中 焼土10%混合



第14図 RA16・18

RA19



RA19

A-A断面

- 1 10YR2/2 黄褐色土 粘性强 締まり中 パリス少量
- 2 10YR2/2 黄褐色土 粘性强 締まり中 炭化物微量、パリス少量、陶器に粘少量
- 3 10YR2/2 黄褐色土 粘性强 締まり中 パリス少量、炭化物微量

L=240,200m



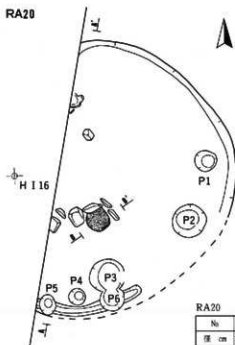
RA19B 中-中層部

- 1 2.5YR2/2 黄褐色土 粘性强 締まりなし 炭化物多量 (埋家跡)
- 2 10YR2/2 黄褐色土 粘性强なし 締まりなし
- 3 10YR2/2 黄褐色土 粘性强なし 締まりなし
- 4 10YR2/2 黄褐色土 粘性强なし 締まりなし 小砂多量

RA19

No.	P1	P2	P3	P4
径 cm	35×32	31×25	30×25	32×30
深さ cm	35.1	34.7	26.8	22.2

RA20



RA20

- 1 10YR2/2 黄褐色土 粘性强 締まり中 礫
- 2 10YR2/2 黄褐色土 粘性强 締まり弱 珧ニブロッ、土砂多量、礫
- 3 10YR2/2 黄褐色土 粘性强 締まり弱 砂礫
- 4 10YR2/2 黄褐色土 粘性强 締まり中 砂礫少量
- 5 10YR2/2 黄褐色土 粘性强 締まり中

L=240,500m



出層

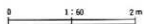
RA20B

- 1 5YR1/6 暗茶褐色土 粘性强なし 締まりなし
- 2 10YR2/2 黄褐色土 粘性强なし 締まりなし
- 3 10YR2/2 黄褐色土 粘性强なし 締まりなし 炭土粒、炭化物微量
- 4 10YR2/2 黄褐色土 粘性强 締まり中 炭化物微量

出層 10YR1.7/1 黄褐色土 粘性强 締まり中

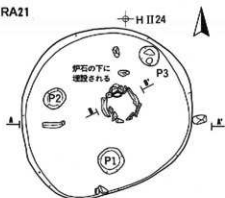
RA20

No.	P1	P2	P3	P4	P5	P6
径 cm	35×31	35×35	47×27	25×32	25×40	37
深さ cm	48.0	43.1	39.5	34.9	17.5	31.9



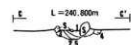
第15図 RA19・20

RA21



RA21

No.	P1	P2	P3
径 cm	43	43	37
深さ cm	23.6	15.5	9.5



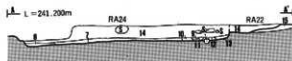
RA21P

- 1 5YR2/4 黒褐色土 粘性なし 締まり弱
- 2 5YR2/4 灰白色土 粘性なし 締まり弱
- 3 5YR2/3 黒褐色土 粘性中 締まり中
- 4 5YR2/3 黒褐色土 粘性中 締まり中
- 5 7.5YR4/3 黒色土 砂質 粘性なし 締まり弱



RA21P

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 締まり中 (4より砂が少な)
- 2 10YR2/2 黒褐色土 粘性強 締まり中 砂質
- 3 10YR2/4 黒褐色土 粘性中 締まり中
- 4 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 締まり中
- 5 10YR2/3 黒褐色土 粘性中 締まり中



RA21

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性強 締まり中
- 2 10YR2/4 黒褐色土 粘性中 締まり中
- 3 10YR2/4 黒褐色土 粘性中 締まり中
- 4 10YR2/1 黒褐色土 粘性中 締まり中



RA21P

- 1 10YR1/2 黒色土 粘性なし 締まりなし
- 2 7.5YR4/6 褐色土 粘性中 締まりなし
- 3 10YR2/4 黒褐色土 粘性強 締まり強
- 4 10YR2/4 黒褐色土 粘性強 締まり強
- 5 10YR5/6 黄褐色土 砂質 粘性なし 締まり強

RA24

No.	P1	P2	P3
径 cm	46	40	37
深さ cm	43.5	26.8	-

RA24

P1

P2

P3

P5 (RA22)

P2

P3

P1

P2

P3

P1

P2

P3

P1

P2

P3

P1

P2

P3

P1

P2

P3

P1

P2

P3

P1

P2

P3

P1

P2

P3

P1

P2

P3

P1

P2

P3

P1

P2

P3

P1

P2

P3

P1

P2

P3

P1

P2

P3

P1

P2

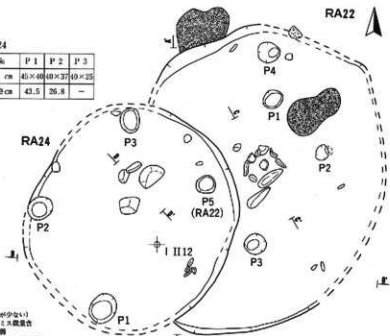
P3

P1

P2

P3

RA22



RA22

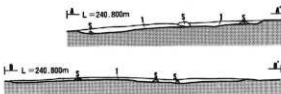
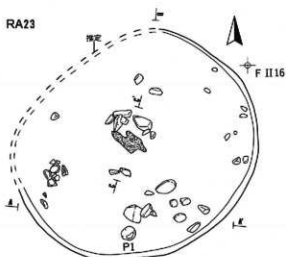
No.	P1	P2	P3	P4	P5
径 cm	25	30	28	23	37
深さ cm	44.7	60.4	43.0	35.7	17.8

RA22・RA24

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性中 締まり中
- 2 10YR2/2 黒褐色土 粘性強 締まり中
- 3 10YR4/6 褐色土 粘性中 締まり中
- 4 10YR2/3 黒褐色土 粘性中 締まり中
- 5 10YR2/3 黒褐色土 粘性中 締まり中
- 6 10YR2/3 黒褐色土 粘性中 締まり中
- 7 10YR2/3 黒褐色土 粘性中 締まり中
- 8 10YR2/3 黒褐色土 粘性中 締まり中
- 9 10YR2/3 黒褐色土 粘性中 締まり中
- 10 10YR2/3 黒褐色土 粘性中 締まり中
- 11 10YR2/3 黒褐色土 粘性中 締まり中
- 12 10YR2/3 黒褐色土 粘性中 締まり中
- 13 10YR2/3 黒褐色土 粘性中 締まり中
- 14 7.5YR2/2 黒褐色土 粘性中 締まり中
- 15 7.5YR2/4 黒褐色土 粘性中 締まり中

第16図 RA21・22・24

RA23



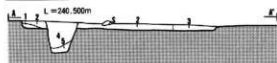
RA23
1 1YR2/2 黒褐色土 粘性强 粘まり中 炭化物・灰化物・小礫層を含む



RA23P
1 10YR5/6 赤褐色土 粘性强 粘まり中 伊勢産を含む
2 1YR4/6 赤褐色土と10YR2/3黒褐色土の混合土 粘性强 粘まり中 伊勢産を含む
3 10YR2/3 赤褐色土 粘性强 粘まり中 伊勢産を含む
4 10YR2/3 赤褐色土 粘性强 粘まり中 伊勢産を含む

RA23

No	P 1
径 cm	23×22
深さ cm	25.8

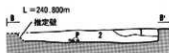
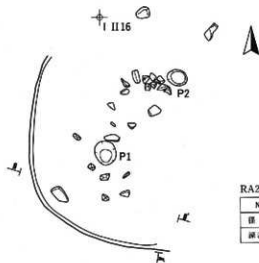


RA23
1 10YR3/4 赤褐色土と10YR4/7褐色土の混合土 粘性强 粘まり中
2 10YR2/3 赤褐色土 粘性强 粘まり中 炭化物層を含む
3 10YR2/2 赤褐色土 粘性强 粘まり中 炭化物・F1ス少量、土層多量を含む
4 10YR2/2 赤褐色土 粘性强 粘まり中 炭化物・F1ス少量、土層多量を含む
5 10YR2/4 暗褐色土 粘性强 粘まり中 土層多量を含む (F20埋土)

RA23P

1 10YR2/2 赤褐色土 粘性强 粘まり中 炭化物層、小礫、砂を含む
2 10YR2/3 赤褐色土と2/3黒褐色土の混合土 粘性强 粘まり中 F1ス、少量、土層多量を含む
3 10YR2/3 赤褐色土 粘性强 粘まり中 砂、赤土を含む
4 10YR2/3 赤褐色土 粘性强 粘まり中 F1ス少量、砂を含む

RA26



RA26
1 10YR2/2 赤褐色土 粘性强 粘まり中 炭化物層、F1ス層多量を含む
2 10YR3/1 赤褐色土 粘性强 粘まり中 炭化物・F1ス・礫層多量を含む

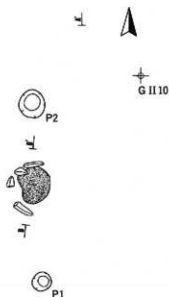
RA26

No	P 1	P 2
径 cm	40×36	33×25
深さ cm	50.5	38.0

0 1:50 2m

第17図 RA23・25・26

RA27



RA27

- 1 10YR2/7 黒褐色土 粘性なし 締まり中 部分物c.c.II+黒褐色土角
- 地土粒、炭化物、P.I.I.S. 鏡面
- 2 10YR3/2 黒褐色土 粘土質シルト 粘性強 締まり中 (10YR4/2状異様に近い)



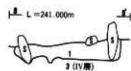
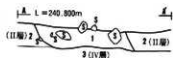
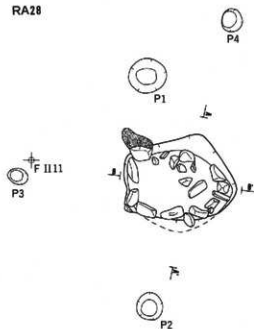
RA27P

- 1 10YR2/1 黒色土 粘性なし 締まりなし
- 2 10YR4/5 赤褐色土 粘性なし 締まり弱 黒褐色土混入
- 3 10YR2/7 黒褐色土 粘性なし 締まり弱 砂少混入
- 4 10YR3/7 暗褐色土 砂質 粘性なし 締まりなし
- 5 10YR2/1 黒色土 粘性なし 締まり弱 (10YR2/2黒褐色土に近い)

RA27

No.	P 1	P 2
径 cm	45×42	33×30
深さ cm	26.0	36.0

RA28

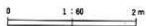


RA28P

- 1 10YR2/5 黒褐色土 砂質シルト 粘性中 締まり強 地土粒・炭化物粒散見、P.I.I.S.鏡面
- 2 10YR4/5 赤褐色土 砂質 粘性なし 締まり中 (II層)
- 3 10YR4/6 褐色土 粘性なし 締まり中 径1~3mmの砂粒に混入 (IV層)

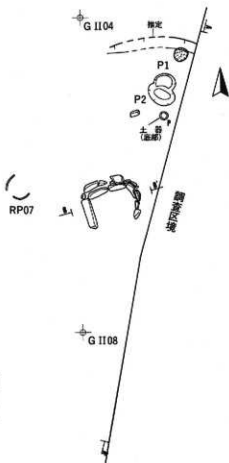
RA28

No.	P 1	P 2	P 3	P 4
径 cm	60×50	45×43	34×25	36×30
深さ cm	65.4	33.4	34.3	61.8



第18図 RA27・28

RA30



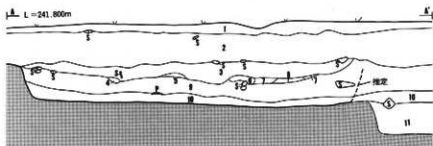
RA30

No	P 1	P 2
計 枚	33×26	46×27
面 積	33.6	45.6



RA30P1 主要部

- 1 黒褐色土 粘性なし 締まりなし
- 2 黒褐色土 粘性なし 締まりなし
- 3 5YR3/4 暗赤褐色土 粘性なし 締まりなし (黄土)
- 4 10YR4/4 褐色土 粘性 粘性なし 締まりなし
- 5 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まりなし 炭化物含む
- 6 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まりなし 砂多量含む
- 7 黄土2層なし



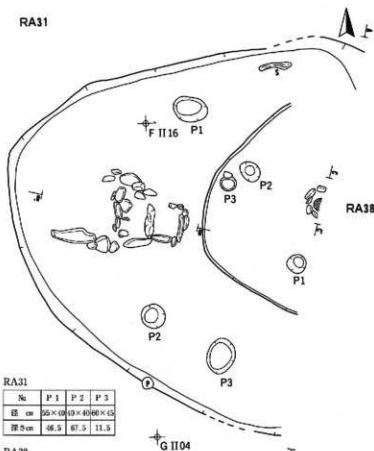
RA30

- 1 10YR3/2 黒褐色土 粘性中 締まり弱 炭化物微量含む 面積作土
- 2 10YR2/2 黒褐色土 粘性中 締まり中 パリと炭炭、砂少量含む
- 3 10YR2/2 黒褐色土 粘性中 締まり中 (1より少い) 含む
- 4 10YR3/6 黒褐色土 粘性中 締まり弱 炭化物微量含む
- 5 10YR2/2 黒褐色土と10YR4/6褐色土の混合土 粘性中 締まり中 炭化物微量含む
- 6 10YR1/2 黒褐色土と10YR4/6褐色土の混合土 粘性中 締まり中 炭化物・砂微量含む
- 7 10YR2/2 黒褐色土 粘性中 締まり中 炭化物微量含む
- 8 10YR2/2 黒褐色土 粘性中 締まり中 炭化物・炭化物微量含む (10YR4/6褐色土のフック状を含む)
- 9 10YR2/2 黒褐色土と10YR2/2黒褐色土の混合土 粘性中 締まり中 炭化物・砂・(天然の物が多)・砂少量含む
- 10 10YR2/2 黒褐色土と10YR3/2褐色土の混合土 粘性中 締まり弱 砂少量、砂含む
- 11 10YR2/2 黒褐色土 粘性中 締まり弱 砂少量、砂含む

0 1:60 2m

第19図 RA30

RA31



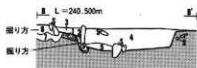
L=240.600m



RA38P C-C断面

1 5YR4/6 赤褐色土 砂質 粘性なし 締まり弱 (粘土)

2 5YR2/4 濃い赤褐色土 砂質 粘性なし 締まり弱



RA31P

1 5YR4/6 赤褐色土 粘性なし 締まり中 (粘土)

2 澄色砂質なし

3 5YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まり弱 土層中、礫含

4 5YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まり弱 土層中、礫含

5 5YR2/1 黒褐色土 粘性なし 締まり弱

6 5YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まり中 砂礫含

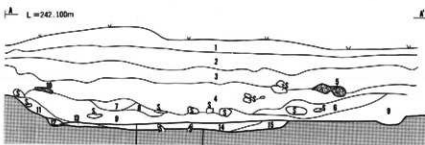
7 5YR4/2 灰黒褐色土 砂質 粘性なし 締まり弱

RA31

No	P.1	P.2	P.3
径 cm	55×49	40×60	45×
深 cm	46.5	47.5	11.8

RA38

No	P.1	P.2	P.3
径 cm	32×30	35×28	27×23
深 cm	30.8	22.9	24.2

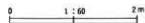


RA31断面

RA38断面

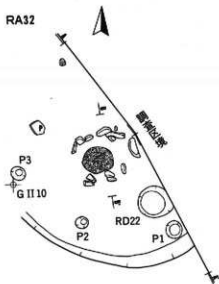
RA31・RA38

- 1 5YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まり弱 灰土層下部に赤色炭層 (赤土炭層) 含
- 2 5YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まり弱 小礫多量含
- 3 5YR2/1 黒褐色土 粘性なし 締まり中よりなし 褐色土層 締 (締まり少ない) 少量含
- 4 2.5YR2/1 赤褐色土 粘性なし 締まり中 穴小黒土層片層一部に灰土層少量有り (灰土層のみ)
- 5 5YR4/6 赤褐色土 粘性なし 締まり中 粘土含
- 6 5YR2/1 黒褐色土 粘性なし 締まり中 礫多量含
- 7 5YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まり中 炭化物、礫多量含
- 8 5YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まり中 炭化物、礫多量含
- 9 5YR2/3 黒褐色土 粘性なし 締まり弱 砂礫含
- 10 2.5YR2/3 暗赤褐色土 粘性なし 締まり弱 (灰土層小粘土)
- 11 5YR2/3 赤褐色土 (上部より中層のみ) 粘性なし 締まり弱 砂礫含
- 12 5YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まり弱 炭化物、小礫含
- 13 5YR4/4 褐色土 粘性なし 締まり中 砂礫多量含
- 14 5YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まり中 炭化物、礫含
- 15 5YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まり弱 (上部より中層のみ)



第20図 RA31・38

RA32



RA32

No.	P 1	P 2	P 3
径 cm	30×30	21×30	24×25
深さ cm	27.1	18.0	28.2



RA32

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 締まりなし 小礫、こぶし大塊、砂利・礫層含 (8ヶアツク)
- 2 10YR2/3 黒褐色土 粘性中 締まりなし 小礫少量含
- 3 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まり中 炭化物少量を層状に含 バス灰層、小礫少量含
- 4 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まり中 炭化物・バス灰層、小礫少量含
- 5 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まりなし 炭化物少量含 (RD22壁土)
- 6 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まりなし 炭化物少量含
- 7 10YR4/5 褐色土 粘性なし 締まり中 凝結
- 8 10YR4/5 褐色土 粘土質 粘性強 締まり強 (土台層前後?)



RA32F

- 1 10YR4/4 じぶい赤褐色土 粘性中 締まり強 炭化物微量含
- 2 10YR4/5 赤褐色土 粘性なし 締まり中 凝結強、砂含
- 3 10YR2/3 赤褐色土 粘性強 締まり中
- 4 10YR2/2 黒褐色土と10YR2/3黒褐色土の混合土 粘性中 締まり中 炭化物微量層含
- 5 10YR2/3 黒褐色土 粘性中 締まり中 炭化物微量含
- 6 10YR2/2 黒褐色土 粘性強 締まり中
- 7 10YR3/3 褐色土 粘性なし 締まり中 砂含

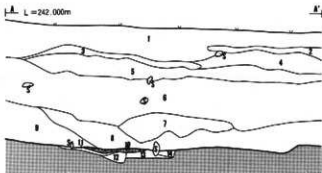
RA33

- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘性強 締まり中 炭化物微量層、砂少量含
- 2 10YR2/2 黒褐色土 粘性強 締まり中 凝結強含
- 3 10YR2/2 黒褐色土 粘性強 締まり中 砂少量含
- 4 10YR2/3 赤褐色土 粘性中 締まり中 バス灰層、凝少量含
- 5 10YR2/2 黒褐色土 粘性中 締まり弱 凝結強含
- 6 10YR2/2 黒褐色土 粘性中 締まり弱 砂少量含
- 7 10YR2/2 黒褐色土 粘性強 締まり中 砂微量層含
- 8 10YR2/2 黒褐色土 粘性中 締まり中 砂少量、砂含 (6.7.9より6明かす)
- 9 10YR2/2 黒褐色土 粘性強 締まり強 砂少量含 下部に砂質土少量含 (RA33F)

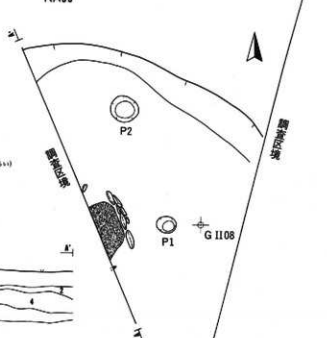
(RA33F)

- 10 7.5YR4/4 褐色土 中々砂質 粘性なし 締まり中
- 11 10YR4/4 褐色土 粘性なし 締まりなし 中々砂質
- 12 10YR3/2 赤褐色土 中々砂質 粘性なし 締まりなし 炭化物少量含
- 13 10YR2/2 黒褐色土 中々砂質 粘性なし 締まりなし
- 14 10YR4/3 じぶい赤褐色土 中々粘土質 粘性中 締まりなし

L=242.000m



RA33



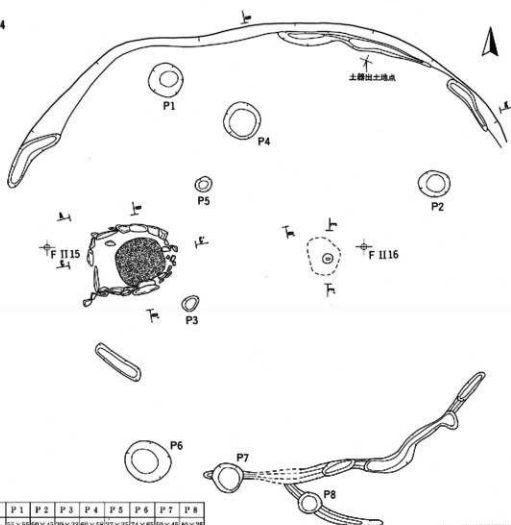
RA33

No.	P 1	P 2
径 cm	30×30	45×45
深さ cm	36.9	49.1

0 1:60 2m

第21図 RA32・33

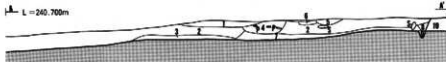
RA34



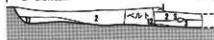
RA34

No	P.1	P.2	P.3	P.4	P.5	P.6	P.7	P.8
径 cm	55×55	50×45	30×23	40×58	27×23	71×63	50×45	40×35
厚さ cm	65.2	71.3	49.1	22.6	30.9	89.0	20.7	16.1

L = 240.70m



L = 240.70m



L = 240.300m



RA34B C-C'断面

- 5YR5/4 灰黄色褐色土 粘性弱 締まり中 炭化物微量。砂含
- 10YR2/3 黄褐色土 粘性中 締まり中 パリス状集合
- 10YR2/2 黄褐色土 粘性中 締まり中 パリス状集合
- 10YR4/4 褐色土 粘性中 締まり中 下部に硬身 全体に砂含



- D-D'断面
- 5YR2/4 暗赤褐色土 砂質 粘性なし 締まりなし
 - 10YR2/4 暗褐色土 粘性なし 締まり中
 - 10YR2/3 暗褐色土 粘性なし 締まり弱 砂含

L = 240.200m



埋の溝 E-E'断面

- 10YR2/3 黄褐色土 粘性なし 締まりなし

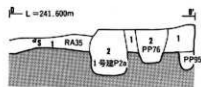
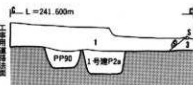
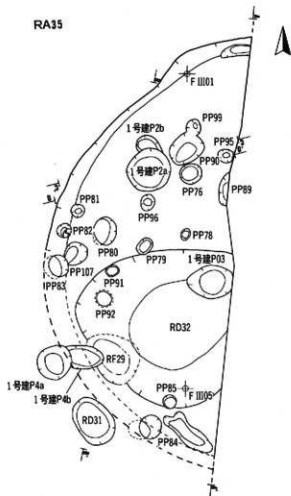
RA34

A-A' B-B'断面

- 10YR2/3 黄褐色土 粘性なし 締まり弱 炭化物・小骨微量。パリス状集合
- 10YR2/3 黄褐色土 粘性なし 締まり中 炭化物少量。パリス状集合。砂利多量含
- 10YR2/3 黄褐色土 粘土質 粘性弱 締まり弱 炭化物微量含
- 10YR2/3 黄褐色土 粘性なし 締まり中 炭化物少量。土器多量含 (12より少し厚)
- 10YR2/3 黄褐色土 粘性なし 締まり弱 炭化物微量。パリス状集合
- 10YR4/4 褐色土 粘性強 締まり強
- 10YR4/4 褐色土 粘土質 粘性中 締まり強 炭化物微量。砂含
- 10YR2/3 暗褐色土 砂質 粘性なし 締まりなし 褐色土 (5YR4/6砂質) 含
- 10YR3/3 暗褐色土 砂質 粘性なし 締まりなし
- 10YR4/4 褐色土 砂質-粘土質 粘性強 締まり強
- 10YR4/4 灰黄色褐色土 粘土質 粘性中 締まり強 炭化物微量含
- 10YR3/3 暗褐色土 砂質 粘性なし 締まり中

第22図 RA34

RA35

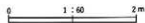
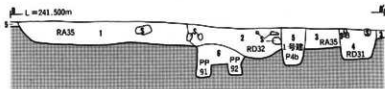
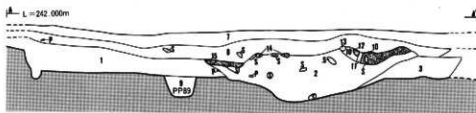


- RA35 C-C' D-D'断面
- 1 MYR2/2 赤褐色土 粘性なし 締まり中 腐化跡・パリス微塵、珪1-3cm小礫少量
 - 2 MYR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まり中 炭化物・粘土粒少量 腐化跡
 - 3 MYR2/3 黒褐色土 粘性なし 締まり弱 炭化跡微塵、パリス微塵、珪約1cm小礫少量

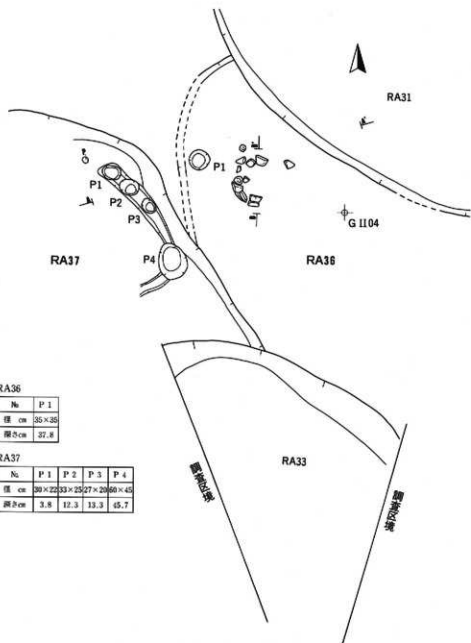
RA35

A-A' B-B'断面

- 1 MYR2/2 赤褐色土 粘性なし 締まり中 炭化跡・パリス微塵、珪1-3cm小礫少量
- 2 MYR2/2-3 黒褐色土 粘性なし 締まり弱 炭化跡・こぶし入塵少量、パリス微塵、小礫少量(より中や多い)
- 3 MYR2/3 赤褐色土 粘性なし 締まり弱 炭化跡・パリス微塵、珪約1cm小礫少量
- 4 MYR2/2 赤褐色土 粘性なし 締まり弱
- 5 MYR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まり弱
- 6 MYR2/2 黒褐色土 やや砂質 粘性なし 締まり弱
- 7 上部に黒色土(10YR4/6砂質)プロック状
- 8 MYR2/2 赤褐色土 粘性なし 締まり中 腐化跡 (1層付作)
- 9 MYR2/2 赤褐色土 やや砂質 粘性なし 締まりなし 褐色土(10YR4/6砂質)30%含
- 10 MYR2/2 赤褐色土 粘性なし 締まりなし 腐化跡土含
- 11 MYR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まり中 炭化跡微塵、珪5-15cm塵少量
- 12 5YR4/6 赤褐色土 粘性なし 締まり中 (腐化跡土)
- 13 MYR2/2 赤褐色土 粘性なし 締まりなし (腐化跡土) (1層より少し多い)
- 14 7.5YR2/4 黒褐色土 粘性なし 締まり弱 (腐化跡土)
- 15 7.5YR2/4 黒褐色土と10YR2/7-2/3褐色土の混合土 粘性なし 締まり弱 (腐化跡土)



第23図 RA35

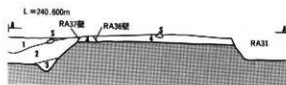


RA36

No	P 1
径 cm	35×35
深 cm	37.8

RA37

No	P 1	P 2	P 3	P 4
径 cm	39×22	33×25	27×20	66×45
深 cm	3.8	12.3	13.3	65.7



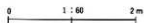
RA36・RA37

- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘性中 砂まじり中 パイス散在体 (RA37層土)
- 2 10YR2/3 黒褐色土 粘性中 砂まじり強 パイス・磁器遺体 (RA37層土)
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性弱 砂まじり中 パイス散在体 (RA37層土)
- 4 10YR2/2 黒褐色土 粘性弱 砂まじり強 炭化物・パイス散在体 (RA36層土)



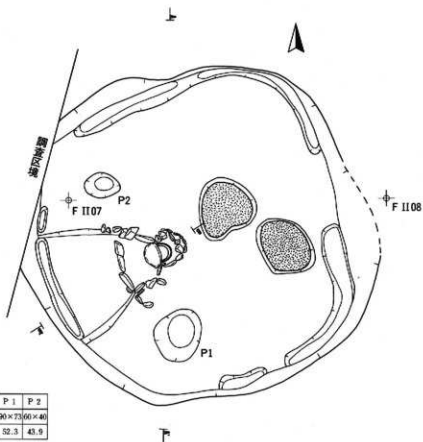
RA38F

- 1 10YR4/4 褐色土 粘性弱 砂まじり強 砂散在体
- 2 10YR2/2 黒褐色土 粘性中 砂まじり中 炭化物散在体
- 3 10YR2/3 黒褐色土 粘性中 砂まじり中 炭化物少量、下位に砂倉
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘性弱 砂まじり強 パイス散在体、砂倉



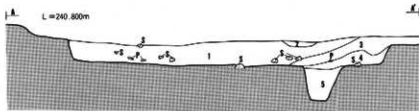
第24図 RA36・37

RA39

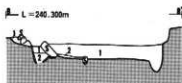


RA39

No.	P 1	P 2
径 cm	90×77	60×40
深 cm	52.3	43.9



- RA39
- 1 10YR2/3 黒褐色土～3/7暗褐色土 砂質 動物中 縹まり中 縹多量 炭化物、土器片等
 - 2 10YR2/3 暗褐色土 中～砂質 動物中 縹まり中 縹多量、炭化物、土器片等
 - 3 10YR7/3-5 黒褐色土 砂質 動物中～弱 縹まり中～弱 炭化物・縹多量、土器片等
 - 4 10YR3/4 暗褐色土 砂質 動物なし 縹と中 縹多量、炭化物等
 - 5 10YR2/2 黒褐色土 砂質 動物中 縹より中 砂縹多量 炭化物 土器片



- RA39B
- 1 10YR3/2 黒褐色土～3/3暗褐色土 動物層 上位で縹まり中下位で縹より中 縹多量、炭化物等
 - 2 10YR17/1 黒色土 粘液中 縹より中 炭化物多量等

0 1:60 2m

第25図 RA39



RA40



RA40 97A-A断面

- 1 5YR3/8 暗赤褐色土 砂質 粘性なし 締まりなし
- 2 10YR3/3 黒褐色土 粘性弱 締まり中 小礫、砂含
- 3 10YR2/3 黒褐色土 粘性弱 締まり中 礫、砂含



RA34埋め戻



炉石抜き取り跡

L=240.400m



B-B断面

- 1 10YR3/2 黒褐色土 粘性なし 締まりなし 炭化物、砂含
- 2 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まりなし (1よりやや細かい)

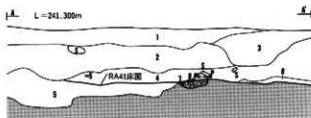


RA40

No	P 1	P 2	P 3
径 cm	65×60	67×60	35×28
深さcm	75.7	66.2	50.0

RA41

F II 11



RA41

- 1 10YR3/3 暗褐色土 粘性中 締まり中 炭化物・バリス灰層含
- 2 10YR3/2 暗褐色土 粘性中 締まり中 バリス灰層含
- 3 10YR2/2 黒褐色土 粘性中 締まり弱 バリス灰層含
- 4 10YR2/3 黒褐色土 粘性中 締まり弱 炭化物・バリス・線状腐食
- 5 10YR3/3 暗褐色土 粘性中 締まり中 炭化物・バリス灰層・線状腐食
- 6 10YR2/3 黒褐色土と10YR3/3暗褐色土の緩白土 粘性中 締まり中 炭化物微量、砂少量、砂含

(RA41P)

- 7 5YR4/8 赤褐色土 粘性中 締まり弱 (腐炭質土)
- 8 10YR2/3 黒褐色土 粘性なし 締まり弱 7層が侵入 (腐炭質土)

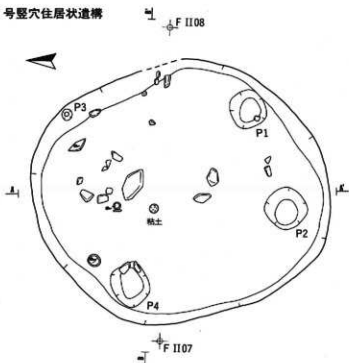
RA41

No	P 1
径 cm	75×60
深さcm	39.9

0 1:60 2m

第26図 RA40・41

1号竪穴住居状遺構



1号竪穴住居遺構

No	P1	P2	P3	P4
径 cm	45	25	47	65
深さcm	20.9	103.7	21.6	91.9

I-I' L=241.100m



J-J' L=241.100m

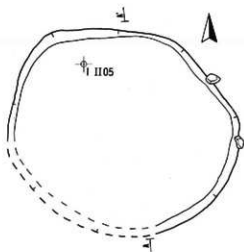


2号竪穴住居状遺構

A A' 自然地面

- 1 10YR2/2-3 黄褐色土 粘性强 締まり弱 砂少量、砂少量、炭化物、土層片を含む
- 2 10YR2/2 黄褐色土-10YR3/3暗褐色土 粘性なし 締まり中 炭化物・土層片・砂・砂少量を含む
- 3 10YR2/2 黄褐色土 粘性强 L 締まり中 炭化物・砂・砂少量を含む

2号竪穴住居状遺構



I-I' L=240.500m

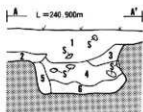
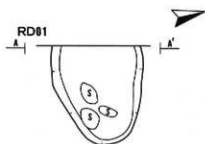


2号竪穴住居状遺構

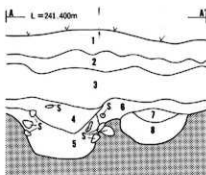
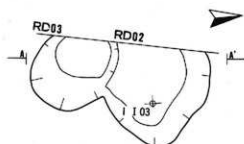
- 1 10YR2/2 黄褐色土 粘性强 締まり中 締固集合
- 2 10YR2/1 棕色土 粘性强 締まり中 砂少量、砂粘固集合
- 3 10YR2/1 棕色土 粘性强 締まり中 砂少量、砂粘固集合

0 1:60 2m

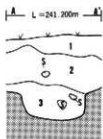
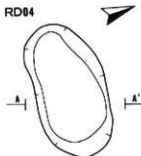
第27図 1号・2号竪穴住居状遺構



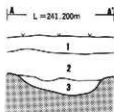
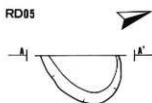
- RD01
- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし、締まり弱、土屑中、径5cm前後の小礫含
 - 2 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし、締まり弱 (1よりやや褐色がやや強い)
 - 3 7.5YR3/3 暗褐色土 粘性中、締まり中、礫含
 - 4 10YR2/2 黒褐色土 やや粘り 粘性なし、締まり弱、砂多量含
 - 5 7.5YR2/2 暗褐色土 粘性中、締まり中、砂多量含
 - 6 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし、締まり弱、砂多量含 (4層より明るい)



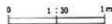
- RD02・RD03
- 1 10YR2/2 黒色土 粘性なし、締まりなし、炭化物塊、粘結含
 - 2 10YR1/2 黒色土 粘性なし、締まりなし、炭化物塊、粘結含
 - 3 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし、締まりなし、炭化物塊、パリス少量含
 - 4 10YR2/2 黒褐色土 粘性中、締まり中、小礫多量含
 - 5 10YR2/1 黒色土 粘性中、締まり中、小礫多量、こぶし大礫含
 - 6 10YR2/1 黒色土 粘性中、締まりなし、パリス微量、小礫少量含
 - 7 10YR1/2 黒色土 粘性中、締まり中、小礫少量含
 - 8 10YR2/1 黒色土 粘性中、締まり中、小礫少量、砂粒含



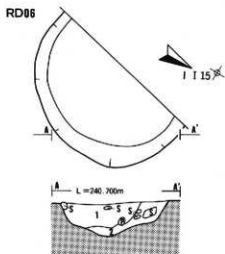
- RD04
- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし、締まりなし、粘結含
 - 2 10YR2/1 黒色土 粘性なし、締まり中、炭化物塊、小礫・砂粒少量、骨片含
 - 3 10YR2/1 黒色土 粘性なし、締まり中、炭化物塊、こぶし大礫、砂粒多量、骨片含



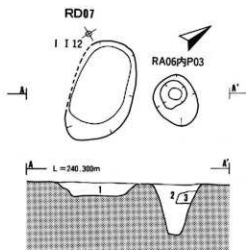
- RD05
- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし、締まり弱、粘結含
 - 2 10YR2/1 黒色土 粘性なし、締まり中 (径10cm前後の礫含)
 - 3 10YR2/1 黒色土 粘性なし、粘り中、小礫多量含
黒褐色土 (10YR2) 砂質 粘性なし、締まり弱、ブロック含



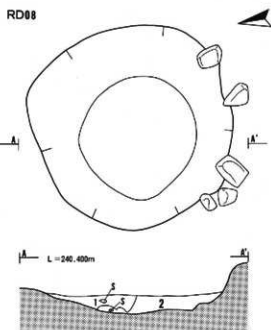
第28図 土坑(1)RD01~05



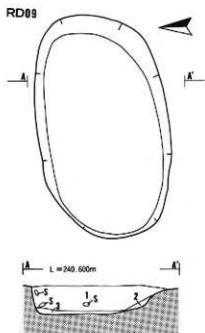
- RD06
 1 10YR2/2 高褐色土 粘質中 硬まり強
 2 10YR2/2 高褐色土 粘質なし 硬まりなし 骨片含



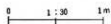
- RD07
 1 10YR2/2 高褐色土 粘質中 硬まり中
 2 10YR2/1 黄褐色土 粘質中 硬まり中 骨片多量含
 3 10YR2/1 黄褐色土 粘質中 硬まりなし



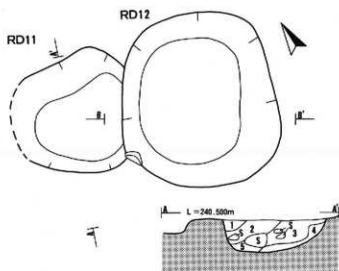
- RD08
 1 10YR2/1 赤色土 粘質中 硬まり弱 炭化物少量、骨含 砂質土含
 2 10YR2/2 高褐色土 粘質強 硬まり弱 炭化物少量、骨片微量含
 下部に砂質土含



- RD09
 1 10YR2/2 高褐色土 粘質中 硬まり弱 炭化物・小骨少量含
 2 10YR3/2 高褐色土 粘質中 硬まりなし
 3 10YR4/3 におり黄褐色土 粘質なし 硬まり強 炭化物約7.65%含

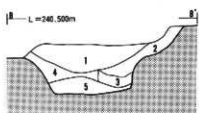


第29図 土坑2(RD06~09)



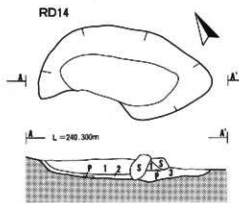
RD11 A 大断面

- 1 10YR2/7 黒褐色土 粘質なし 締まり弱 パリス層混合
- 2 10YR2/2 黒褐色土(30%)と10YR2/3黒褐色土(70%)の混合土 粘質中 締まり中
- 3 10YR2/2 黒褐色土 粘質中 締まり中 炭化物微量
- 4 10YR2/4 褐色土 砂質 粘質なし 締まり中
- 5 10YR2/1 黒色土 粘質中 締まり中



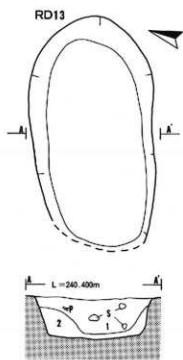
RD12 B-1 大断面

- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘質中 締まりなし 炭化物少量、砂利多量
- 2 10YR2/2 黒褐色土 粘質中 締まりなし 炭化物微量 (1より少し多い)
- 3 10YR2/6 赤褐色土 粘質なし 締まりなし 土層多量、骨片
- 4 10YR2/2 黒褐色土 粘質中 締まりなし 赤土和混層
- 5 10YR2/1 黒色土 粘質中 締まりなし 炭化物少量



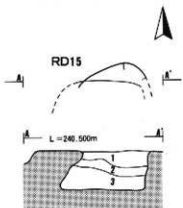
RD14

- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘質なし 締まり中 炭化物、パリス、炭、土層混合
- 2 10YR2/3 黒褐色土 粘質中 締まり中 (OxI区7)
- 3 10YR2/4 褐色土 粘質中 締まり中 部分的に小礫



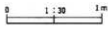
RD13

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘質中 締まり中 炭化物微量、粘土相微量、パリス少量、骨多量
- 2 10YR2/2 黒褐色土 粘質中 締まり中 骨多量 (下位は伊賀層)

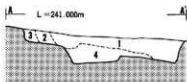
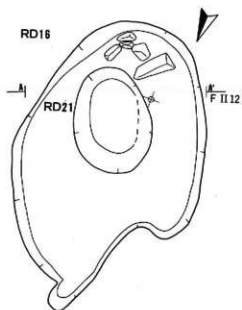


RD15

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘質なし 締まりなし 褐色土 (10YR4/6) 砂質 粘質なし 締まり弱
- 2 10YR2/2 黒褐色土 粘質中 締まりなし 炭化物微量、砂利多量
- 3 10YR2/3 黒褐色土 粘質なし 締まりなし 炭化物微量、砂利多量
- 4 10YR2/4 褐色土 粘質なし 締まりなし 粘質中 (10YR4/6) 粘質なし 締まりなし
- 5 黒土に砂質 炭化物微量、砂利多量

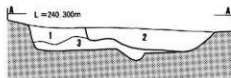
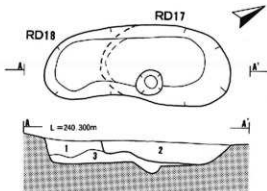


第30図 土坑(3RD11~15)



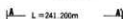
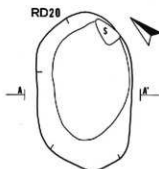
RD16・RD21

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性弱 締まり弱 パリス・線状腐食
- 2 10YR2/3 黒褐色土 粘性中 締まり弱 下部に腐食 パリス腐食
- 3 10YR2/3 黒褐色土 粘性弱 締まり中 腐食
- 4 10YR2/3 黒褐色土 砂質シルト 粘性なし 締まり弱 心腐食



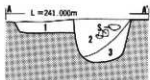
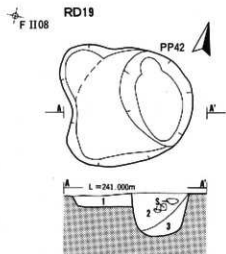
RD17・RD18

- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まりなし 炭化物腐食、砂利少量
- 2 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まり中 炭化物腐食、砂利腐食
- 3 10YR2/3 黒褐色土 砂質 粘性なし 締まり中 (砂利少量)



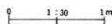
RD20

- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘性中 締まり弱 炭化物腐食
- 2 10YR2/3 赤褐色土と10YR2/6の赤褐色土の層状土 粘性中 締まり弱 炭化物腐食、砂土と下部に粘土
- 3 10YR2/2 黒褐色土 粘性中 締まり中 炭化物少量、腐食
- 4 10YR2/3 黒褐色土 粘性強 締まり中 炭化物腐食
- 5 10YR2/4 暗褐色土 粘性強 締まり中 砂少量
- 6 10YR2/4 紅褐色土 粘性強 締まり弱

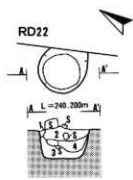


RD19・PP42

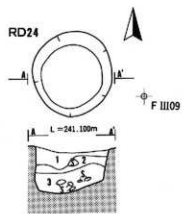
- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘性弱 締まり弱 パリス・線状・ブロック状に腐食
- 2 10YR2/3 黒褐色土 粘性弱 締まり弱 炭化物・砂少量、パリス食
- 3 10YR2/3 黒褐色土 粘性中 締まり弱 炭化物少量、砂少量、パリス食



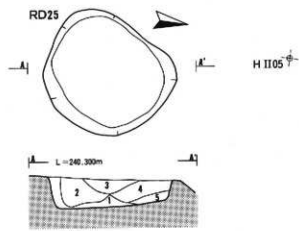
第31図 土坑4/RD16~21



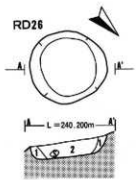
- RD22
- 1 18YR2/2 黒褐色土 粘液中 締まり中 炭化物散在
 - 2 18YR2/3 黒褐色土 粘液中 締まり中 炭化物・P.L.S.散在
 - 3 18YR4/4 褐色土 砂質 粘性なし 締まり中 腐少層
 - 4 18YR2/3 黒褐色土 粘液中 締まり中 炭化物・P.L.S.・静置層



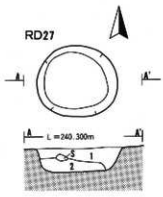
- RD24
- 1 18YR3/3 赤褐色土 粘液中 締まり中 炭化物散在
 - 2 18YR2/3 赤褐色土 粘液中 締まり中 炭化物少量 全体に砂含
 - 3 18YR2/2 黒褐色土 粘液中 締まり中 下に硬砂層



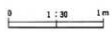
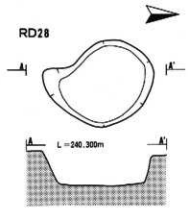
- RD25
- 1 18YR3/2 赤褐色土 粘液中 締まり中 P.L.S.散在 下に砂層
 - 2 18YR2/3 黒褐色土 粘液中 締まり中 炭化物・P.L.S.散在
 - 3 18YR2/2 黒褐色土 粘液中 締まり中 炭化物・P.L.S.散在
 - 4 18YR2/2 黒褐色土と18YR2/3赤褐色土の混合土 粘液中 締まり中
 - 5 18YR2/2 黒褐色土 粘液中 締まり中 全体に砂層



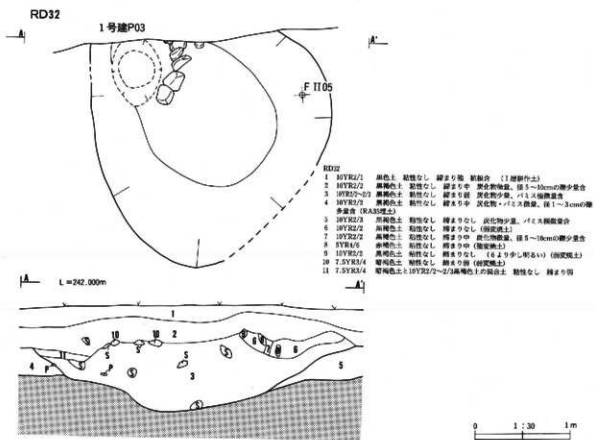
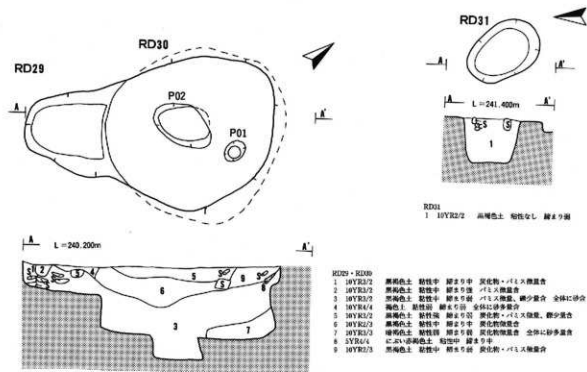
- RD26
- 1 18YR3/2 赤褐色土 粘液中 締まり中 炭化物散在
 - 2 18YR2/2 黒褐色土 粘液中 締まり中 炭化物・P.L.S.散在



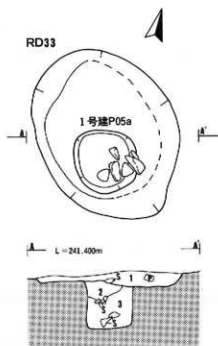
- RD27
- 1 18YR2/2 黒褐色土 粘液中 締まり中 炭化物散在 P.L.S.静置層
 - 2 18YR2/2 黒褐色土 粘液中 締まり中 P.L.S.・静置層 全体に砂少量



第32図 土坑5/RD22・24~28

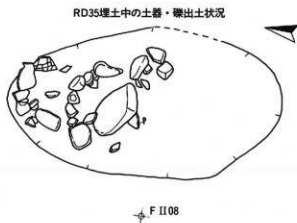


第33図 土坑6/RD29~32



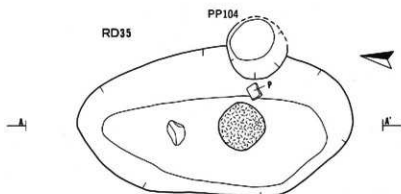
RD33・1号建P05a

- 1 10YR2/2 黒褐色土 砂質シルト 軽性中 腐植物・炭土粒少量
 - 2 10YR4/4 褐色土 砂質 丸礫少量
 - 3 10YR2/2 黒褐色土 砂質シルト 軽性中 腐植物なし
- 腐植物殻・炭土粒散在量、径1~3cm礫少量



RD35埋土中の土器・燻出土状況

F II 08



RD35

L=241.400m

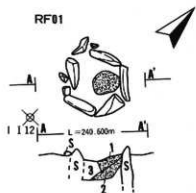


KD35

- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘質 軽中 腐植物・小礫少量、砂、土器片少量
- 2 10YR2/4 暗褐色土 砂質 軽性なし 腐植物・小礫少量
- 3 10YR2/2 暗褐色土 軽性なし 腐植物中 小礫、砂少量
- 4 10YR2/3 褐色土 軽性中 腐植物なし 腐植物・小礫少量
- 5 10YR3/4 暗褐色土 砂質 軽性中 腐植物少量、炭化物少量、小礫

0 1 : 30 1m

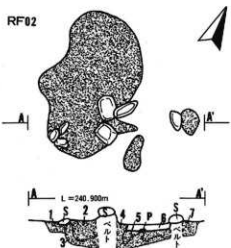
第34図 土坑(7)RD33・35



RF01

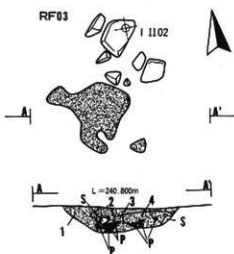
- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘液中 跡まわり中 焼土粒露出
- 2 10YR2/2 黒褐色土 粘液中 跡まわり中 焼土粒露出
- 3 10YR2/2 黒褐色土 粘液中 跡まわり中

I 1101



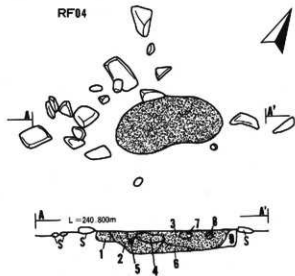
RF02

- 1 10YR3/3 暗褐色土と5YR2/4暗赤褐色土の混合土 粘液中 跡まわり中
- 2 5YR4/6 赤褐色土と5YR4/6暗赤褐色土の混合土 粘液中 跡まわり中 小礫含
- 3 10YR3/3 暗褐色土 粘液中 跡まわり中 砂含
- 4 10YR2/2 暗赤褐色土と10YR3/3暗褐色土の混合土 粘液中 跡まわり中 石灰に砂多量含
- 5 10YR2/4 暗褐色土 粘液中 跡まわり中 焼土(5YR4/6暗赤褐色)跡含
- 6 10YR2/2 暗褐色土 粘液中 跡まわり中
- 7 10YR2/2 黒褐色土と10YR3/3暗褐色土の混合土 粘液中 跡まわり中 焼土粒露出



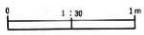
RF03

- 1 10YR3/3 暗褐色土 粘液中 跡まわり中 部分的に焼土含
- 2 10YR2/4 暗褐色土と5YR4/6暗赤褐色土の混合土 粘液中 跡まわり中
- 3 10YR2/4 暗褐色土と10YR2/3暗褐色土の混合土 粘液中 跡まわり中 粘土粒露出
- 4 10YR4/6 赤褐色土と10YR3/3暗褐色土と5YR2/4暗赤褐色土の混合土 粘液中 跡まわり中



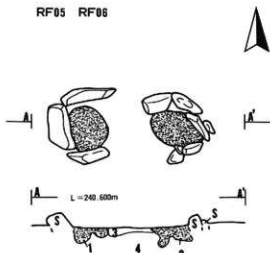
RF04

- 1 10YR3/3 暗褐色土 粘液中 跡まわり中 焼土粒露出
- 2 10YR2/3 暗褐色土 粘液中 跡まわり中 焼土粒露出
- 3 10YR2/3 暗褐色土 粘液中 跡まわり中 焼土(5YR4/6暗赤褐色)跡含
- 4 5YR4/6 赤褐色土 粘液中 跡まわり中
- 5 5YR4/6 赤褐色土 粘液中 跡まわり中
- 6 10YR3/3 暗褐色土 粘液中 跡まわり中 原土粒露出
- 7 10YR2/4 暗褐色土と5YR4/6暗赤褐色土の混合土 粘液中 跡まわり中
- 8 10YR2/4 暗褐色土と5YR4/6暗赤褐色土の混合土 粘液中 跡まわり中
- 9 10YR2/2 暗褐色土 粘液中 跡まわり中 灰化物露出



第35図 炉・焼土(1)RF01~04

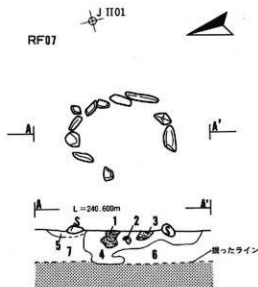
RF05 RF06



RF05・RF06

- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘質中 締まり強 焼土(SYR4/4)に多い赤褐色土
- 赤土層をブロック状に1.5cm厚
- 2 10YR2/3 黒褐色土 粘質中 締まり中 焼土(SYR4/4)に多い赤褐色土
- SYR4/6赤褐色土 炭化物をブロック状に1cm厚
- 3 10YR2/2 黒褐色土 粘質中 締まり強 径3cm小礫含
- 4 10YR2/2 黒褐色土 粘質中 締まり中 炭褐色土ブロック状に1cm厚

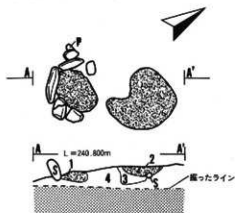
RF07



RF07

- 1 10YR2/2 黒褐色土と5YR2/4暗赤褐色土の混合土 粘質強 締まりなし
- 2 5YR2/4 暗赤褐色土と5YR4/6赤褐色土の混合土 粘質中 締まり強
- 3 10YR2/3 黒褐色土と5YR4/6赤褐色土と5YR3/4暗赤褐色土の混合土
- 粘質強 締まり中
- 4 10YR2/2 黒褐色土 粘質強 締まり中 小礫含
- 5 10YR2/2 黒褐色土 粘質強 締まり中
- 6 10YR2/2 黒褐色土 粘質強 締まり強
- 7 10YR2/2 黒褐色土 粘質強 締まり中 礫含

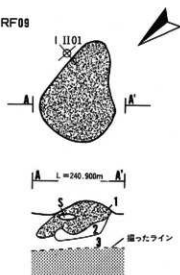
RF08



RF08

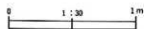
- 1 10YR2/3 黒褐色土 粘質なし 締まりなし (炭灰混入)
- 2 5YR4/6 赤褐色土 粘質なし 締まり中
- 3 10YR2/3 黒褐色土 粘質なし 締まりなし 炭化物礫混入
- 4 10YR2/2 黒褐色土 粘質なし 締まりなし 炭化物礫混入

RF09

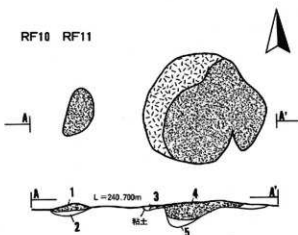


RF09

- 1 5YR4/6 赤褐色土と10YR3/4暗褐色土の混合土 粘質なし 締まり強 礫混入
- 2 10YR2/3 黒褐色土 粘質中 締まり強
- 3 10YR2/3 黒褐色土 粘質中 締まり強 ホワイトトリス混入 下に稀少礫含

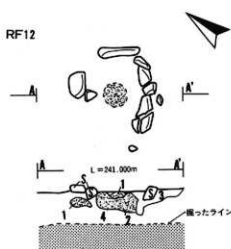


第36図 炉・焼土(2)RF05~09



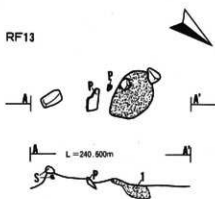
RF10・RF11

- 1 SYR2/4 赤褐色土 粘性なし 締まりなし
- 2 SYR2/3 赤褐色土 粘性なし 締まりなし
- 3 SYR2/4 にぶ・褐色土 粘土 粘性強 締まり中
- 4 SYR4/0 赤褐色土 粘性なし 締まり強
- 5 SYR2/3 赤褐色土 粘性なし 締まりなし



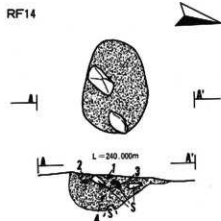
RF12

- 1 SYR3/4 赤褐色土 粘性なし 締まり強 (遺?)
- 2 7.SYR2/3 赤褐色土 粘性なし 締まりの 径2~3cm粘土ブロック含
- 3 10YR3/3 赤褐色土 粘性なし 締まり弱 小砂含
- 4 7.SYR3/3 赤褐色土 粘性なし 締まり強 径0.5cm未満小砂多量含



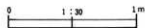
RF13

- 1 SYR4/6 赤褐色土と10YR2/3赤褐色土の混合土 粘性なし 締まり強 炭灰粉混入



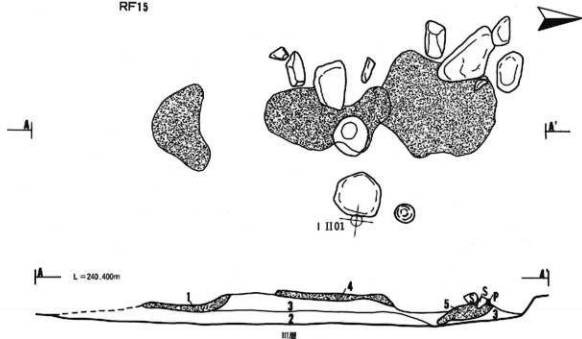
RF14

- 1 10YR2/2 赤褐色土 粘性なし 締まりなし 粘土粒(YR2/4)赤褐色土50%含
- 2 SYR2/6 赤褐色土 粘性なし 締まりなし
- 3 10YR3/9 赤褐色土 粘性なし 締まり強
- 4 10YR3/2 赤褐色土 粘性なし 締まり強 粘土粒(SYR2/4)赤褐色土60%含



第37図 炉・焼土(3)RF10~14

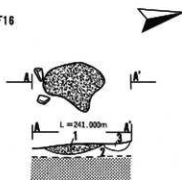
RF15



RF15

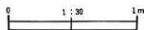
- 1 5YR5/6 暗赤褐色土と10YR2/3の黄褐色土の混合土 粘土中 腐葉少強
- 2 10YR2/3 黄褐色土 粘土中 腐葉少強 腐少葉含
- 3 10YR2/3 黄褐色土 粘土中 腐葉少強 炭化物散見含む
- 4 5YR4/6 赤褐色土 粘土中 腐葉少中
- 5 5YR4/6 赤褐色土 粘土中 腐葉少中 黄褐色土 (10YR2/3) 含

RF16

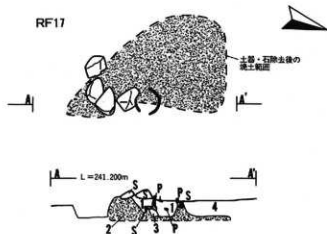


RF16

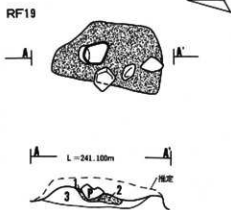
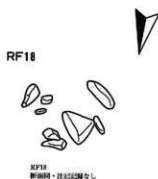
- 1 5YR4/6 赤褐色土 粘土層 腐葉少中 下にブロック状の砂含
- 2 10YR2/3 黄褐色土 粘土層 腐葉少中 炭化物・砂散見含
- 3 10YR2/2 黄褐色土 粘土中 腐葉少強



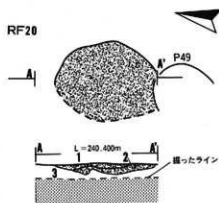
第38図 炉・焼土(4)RF15・16



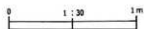
- RF17
- 1 3YR2/1~2/1 黒褐色土 粘質弱 締まりなし 焼土灰・炭化物の少量、土器片を含む
 - 2 3YR3/1~3/6 暗赤褐色土 粘質 粘性なし 締まりなし 小砂多量含む
 - 3 5YR3/4 暗赤褐色土と10YR2/3黒褐色土の混合土 粘質 粘性弱 締まりなし
 - 4 3YR2/1 黒褐色土~10YR2/3暗褐色土 粘質 粘性弱 締まり弱 焼土灰・炭化物の少量、小砂多量含む



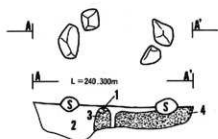
- RF19
- 1 3YR2/1 黒褐色土 粘質弱 締まり弱 炭化物の少量を含む
 - 2 3YR2/2 黒褐色土と5YR2/3暗赤褐色土の混合土 粘質弱 締まり弱
 - 3 3YR2/2 黒褐色土 粘性中 締まり中



- RF20
- 1 3YR3/4 暗褐色土 粘質 粘性なし 締まり弱 膠多量、炭土、炭化物を含む
 - 2 5YR3/6 暗赤褐色土 粘質なし 締まりなし 膠少量含む
 - 3 5YR4/4 褐色土 粘質 粘性なし 締まりなし



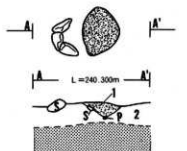
RF21



RF21

- 1 7 SYR4/4 褐色土 粘性なし 締まりなし
- 2 10YR2/2 赤褐色土 粘性なし 締まりなし 炭化物微量、P&L少量、骨片含
- 3 10YR6/6 明黄褐色土 砂質 粘性なし 締まりなし
- 4 10YR6/6 明黄褐色土 砂質 粘性なし 締まりなし (3層より少し厚い)

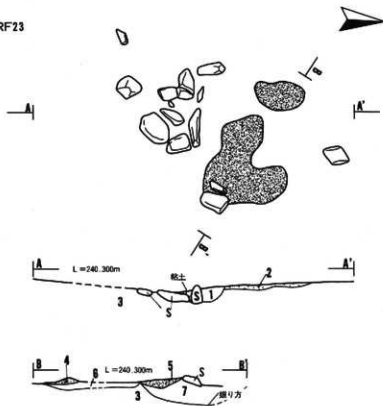
RF22



RF22

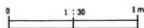
- 1 5YR4/8 赤褐色土 粘性なし 締まりなし
- 2 10YR2/2 赤褐色土 粘性なし 締まり中 炭化物微量含

RF23

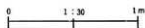
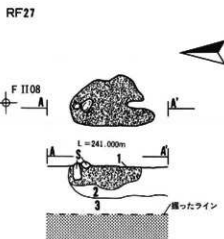
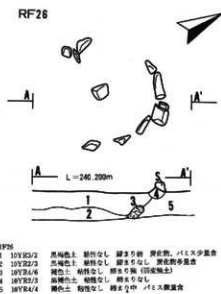
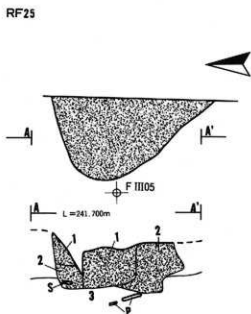
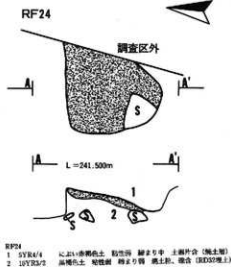


RF23

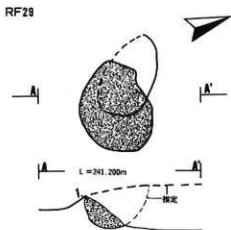
- 1 10YR2/3 赤褐色土 粘性なし 締まり弱
- 2 赤砂層
- 3 10YR2/4 褐色土 砂質 粘性なし 締まり弱
- 4 5YR2/6 暗赤褐色土 粘性中 締まりなし
- 5 5YR2/8 暗赤褐色土 粘性中 締まり中
- 6 赤褐色土 粘性中 締まり強 炭化物多量含
- 7 10YR2/3 赤褐色土 粘性なし 締まり中 焼土層・炭化物・P&L入層量含



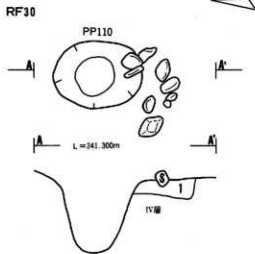
第40図 炉・焼土(6)RF21~23



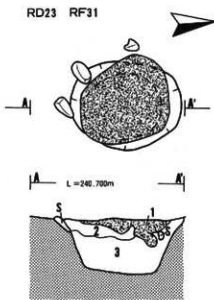
第41図 炉・焼土(7)RF24~27



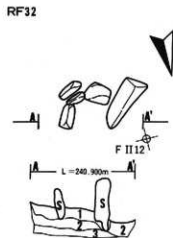
RF29
1 7.5YR2/3 暗褐色土 砂質シルト 粘性中 締まり中
黄土ブロック、炭化物多量産



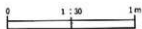
RF30
1 10YR2/3 黄褐色土 粘土質シルト 粘性中 締まり強
砂質土ブロック(10YR4/6)産 黄土産、炭化物少量
IV層10YR4/4 褐色土 砂質



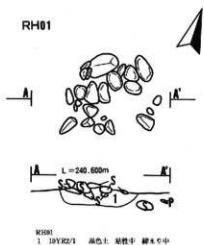
RD23・RF31
1 5YR2/6 暗赤褐色土 砂質シルト 粘性中 締まり中 炭化物少量・粘土粒多
2 10YR2/1 黄褐色土 シルト 粘性中 締まり中 炭化物少量・粘土粒多
3 10YR2/3 黄褐色土 粘性中 締まり中 炭化物粒・粘土粒多



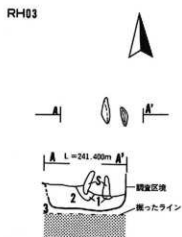
RF32
1 5YR3/2 暗褐色土 砂質シルト 粘性中 締まりなし 炭化物極少量・粘土
2 10YR2/3 黄褐色土 砂質 粘性なし 締まりなし
3 10YR4/4 褐色土 砂質シルト 粘性なし 締まりなし 粘土



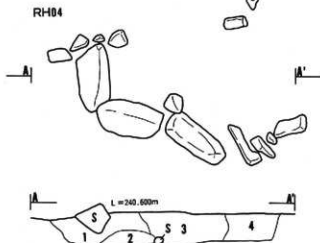
第42図 炉・焼土(8)RF29~32



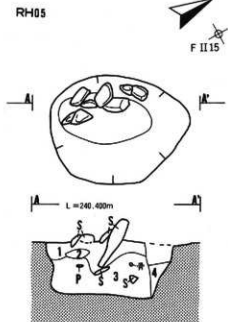
RH01
1 10YR2/3 褐色土 粘性中 砂まじり中



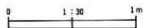
RH03
1 10YR2/2 黄褐色土 粘性シロト 粘性中 砂まじり中
2 10YR2/3 黄褐色土 粘性シロト 粘性中 砂まじり中
腐土粒・炭化物粒(3~4cm)多量、大小礫多量
3 10YR4/4 褐色土 砂質 粘性なし 砂まじり強



RH04
1 10YR2/4 黄褐色土 粘性中 砂まじり強 パリス・砂礫混合
2 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 砂まじり強 全体的に砂少混合
3 10YR2/3 黄褐色土 粘性中 砂まじり強 炭化物・パリス礫混合
4 10YR3/2 黄褐色土 粘性中 砂まじり強 腐土中に砂礫混合

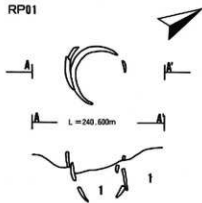


RH05
1 10YR2/4 黄褐色土 粘性強 砂まじり強 炭化物礫多量、径1~3cm砂少混合
2 7.5YR4/6 赤褐色土 粘性強 砂まじり強 炭化物礫多量、径1~3cm礫多
3 10YR2/2 黄褐色土 粘性強 砂まじり強 炭化物礫多量、土混片、骨片多
4 10YR4/4 褐色土 砂質 腐土



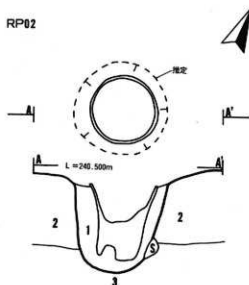
第43図 集石・配石RH01・03~05

RP01



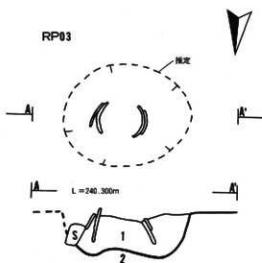
RP01
1 10YR2/3 黒褐色土 粘性强 跡あり中 炭化物・パリス灰層を含む

RP02



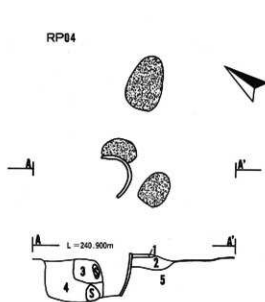
RP02
1 10YR2/2 黒褐色土 粘性强 跡あり中 パリス灰層を含む
2 10YR2/2 黒褐色土 粘性强 跡あり中 パリス灰層を含む
3 10YR2/1 黒色土 粘性强 跡あり中 跡多量含む

RP03



RP03
1 10YR2/1 黒色土 粘性强し 跡あり中
2 10YR2/2 黒褐色土 粘性强し 跡あり中

RP04

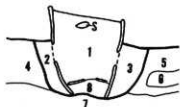
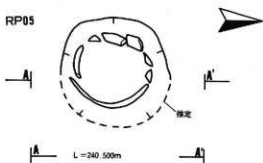


RP04
1 10YR2/3 黒褐色土 粘性强 跡あり中
2 10YR2/3 黒褐色土 粘性强 跡あり中 粘土(5YR2/3)層非褐色、跡分
3 10YR2/3 黒褐色土 粘性强 跡あり中 跡多
4 10YR2/3 黒褐色土 粘性强 跡あり中 パリス灰層を含む
5 10YR2/3 黒褐色土 粘性强 跡あり中 跡多量含む

0 1 : 15 50cm

第44図 埋設土器(1)RP01~04

RP05



KFND

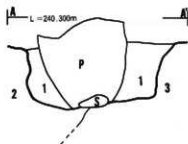
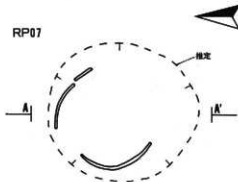
- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まりなし
- 2 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 締まりあり
- 3 10YR2/7 黒褐色土 粘性なし 締まり強
- 4 10YR4/3 にぶい黒褐色土 砂質 粘性なし 締まり強
- 5 10YR2/2 黒褐色土 砂質 粘性なし 締まり強 (3層より厚い)
- 6 10YR2/2 黒褐色土 砂質 粘性なし 締まり強
- 7 10YR4/4 褐色土 砂質 粘性なし 締まり強
- 8 10YR3/2 黒褐色土 砂質 粘性なし 締まりなし (層が20%厚)

RP06



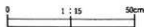
KFND
新築・柱状跡なし

RP07

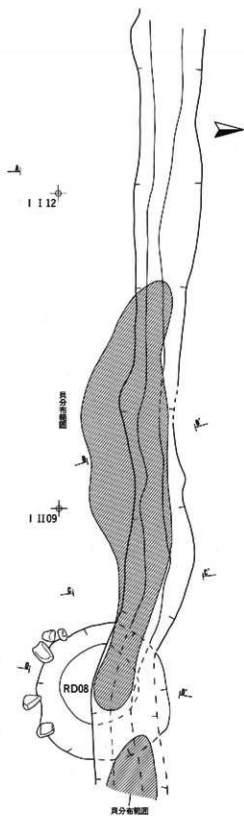


KP07

- 1 10YR2/2 黒褐色土 粘り中 締まり中 褐色粉塵混合
- 2 10YR2/2 黒褐色土 粘性強 締まり中 褐色粉・パリス散混合
- 3 10YR4/4 褐色土 粘性なし 締まりなし (IV層) (標準)



第45図 埋設土器(2)RP05~07



1号溝跡 A-A断面

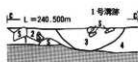
- 1 10YR2/2 黄褐色土 粘性中 締まり弱 パリス塊状、跡少量 (RA09埋土)
- 2 10YR2/2 黄褐色土 粘性中 締まり弱 跡少量 (埋土)
- 3 10YR2/2 黄褐色土 粘性中 締まり弱 跡少量 (埋土)
- 4 10YR2/2 黄褐色土 粘性 粘塊中 締まり弱 (RA09埋土)
- 5 10YR2/2 黄褐色土 粘性中 締まり弱 跡少量 (RA06埋土)

I-I



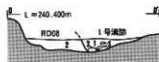
1号溝跡 断面 B-B断面

- 1 10YR4/2 淡黄褐色土(砂質)と10YR2/2黄褐色土(砂質)の混合土 粘性なし 締まりなし
炭化物少量、下位に明黄褐色土粒(10YR6/3)、貝殻
- 2 10YR4/2 淡黄褐色土 粘性なし 締まりなし 炭化物少量、貝殻
- 3 10YR2/2 黄褐色土 粘性なし 締まり中 100%埋入 炭化物少量
- 4 10YR2/1 黄褐色土 粘性なし 締まりなし



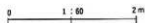
1号溝跡 C-C断面

- 1 10YR4/6 褐色土 砂質 粘性なし 締まり弱 跡少量
- 2 10YR2/2 黄褐色土 粘性中 締まり弱 パリス塊状、跡少量
- 3 10YR2/1 黄褐色土 粘性中 締まり弱 パリス塊状、跡少量
- 4 10YR2/1 黄褐色土 粘性中 締まり弱 下位に跡少量

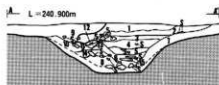
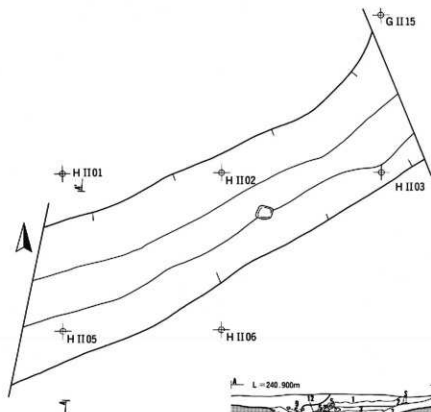


1号溝跡 D-D断面

- 1 10YR2/1 黄褐色土 粘性中 締まり弱 炭化物少量、砂、骨片
- 2 10YR2/1 黄褐色土 粘性中 締まり弱 炭化物少量、下位に砂骨片合 貝片合



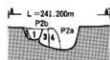
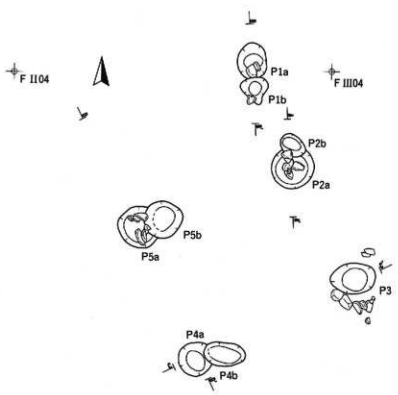
第46図 1号溝跡



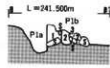
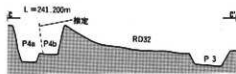
- 2号溝跡
- 1 10YR2/2 黒褐色土 シルト質 粘性なし、締まり強、塊状
 - 2 10YR2/3 黒褐色土 シルト質 粘性中 締まり強、塊状
 - 3 10YR2/3 黒褐色土 シルト質 粘性中 締まり中
 - 4 10YR2/3 黒褐色土 砂質シルト 粘性中 締まり中
 - 5 10YR2/2 黒褐色土 粘土質 粘性強 締まり強、炭化物・パリス散見
 - 6 10YR2/3 黒褐色土 粘土質 粘性中 締まり中、炭化物少量、パリス散見
 - 7 10YR2/2 黒褐色土 上部でシルト質、下部で粘土質または砂質 粘性なし、締まり中
 - 8 10YR2/2 黒褐色土 粘土質 粘性中 締まり強
 - 9 10YR2/2 黒褐色土 シルト質 粘性なし、締まりなし、炭化物散見、粘着
 - 10 10YR2/3 黒褐色土 シルト質 粘性なし、締まり中、炭化物・パリス散見
 - 11 10YR2/3 黒褐色土 シルト質 粘性中 締まり強
 - 12 10YR2/3 黒褐色土 砂質 粘性なし、締まり強
 - 13 10YR2/2 黒褐色土 シルト質 粘性中 締まりなし
 - 14 10YR2/2 黒褐色土 シルト質 粘性中 締まり強、炭化物散見
 - 15 10YR2/2 黒褐色土 砂質 粘性なし、締まり強、炭化物散見

0 1 : 120 4 m

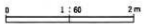
第47図 2号溝跡



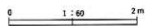
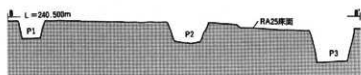
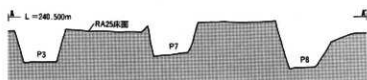
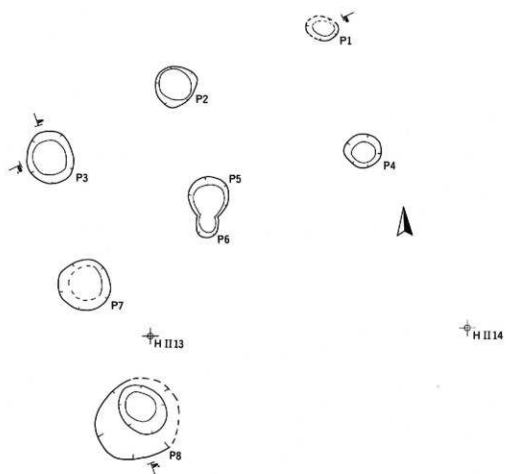
- 1号独立柱建物跡 A-A断面
- 1 10YR3/7 黄褐色土 砂質シルト 粘性中 締まり中 炭化物粒・炭土灰全体を覆うに合
 - 2 10YR6/4 褐色土 砂質シルト 粘性なし 締まり中 炭化物粒・炭土灰合 (炭屑混入)
 - 3 10YR2/3 暗褐色土 砂質シルト 粘性中 締まり中 炭化物・炭土灰、4/4 褐色砂土体に属する
 - 4 10YR2/3 暗褐色土 砂質シルト 粘性中 締まり中 炭化物粒・炭土灰合



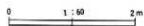
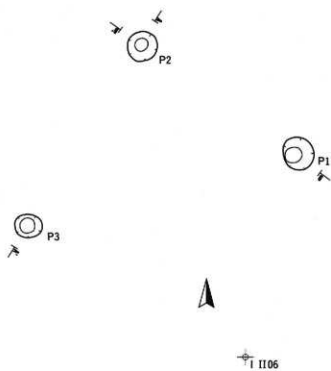
- 1号独立柱建物跡 B-B断面
- 1 10YR3/7 黄褐色土 砂質シルト パリス合
 - 2 10YR3/4 暗褐色土 砂質シルト (1より粒子粗 粘性・締まりなし)
 - 3 10YR2/9 黄褐色土 10YR6/6 黄褐色の混合 粘性・締まりなし



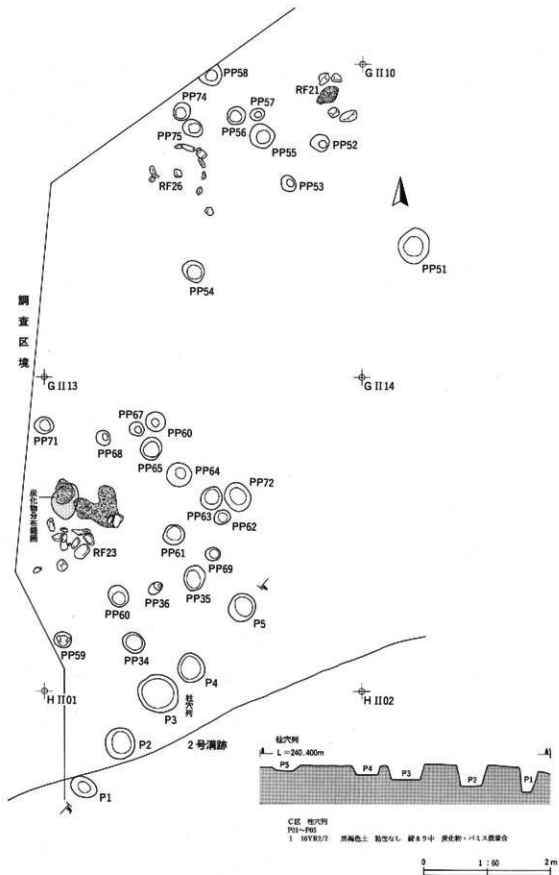
第48図 1号独立柱建物跡



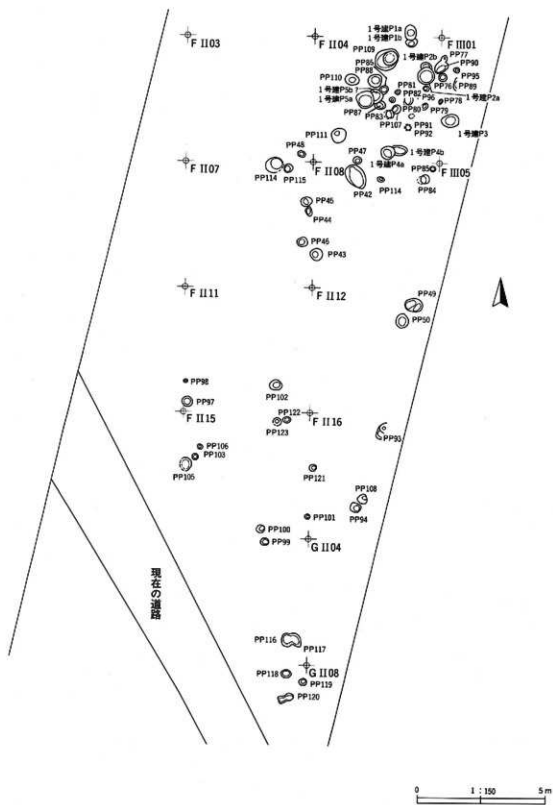
第49图 2号掘立柱建物跡



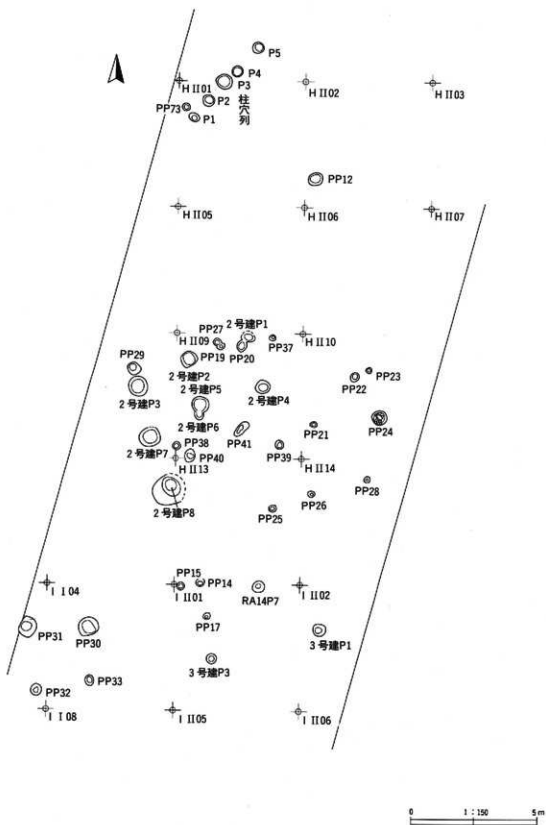
第50图 3号掘立柱建物跡



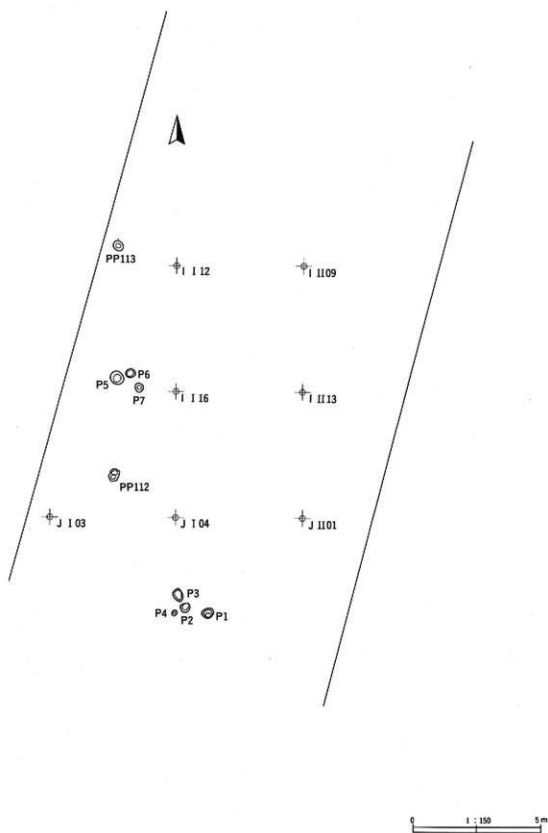
第51図 C区柱穴群・柱穴列



第52图 B区柱穴群



第53图 C区柱穴群(1)



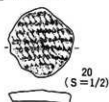
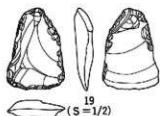
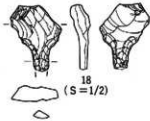
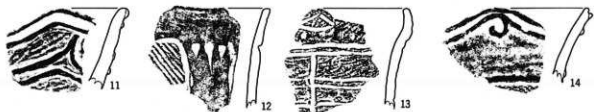
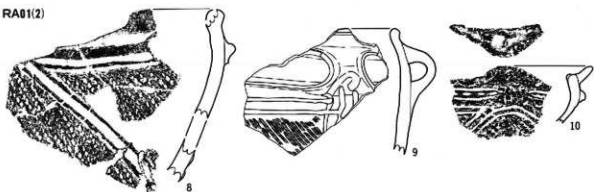
第54图 C区柱穴群(2)

RA01(1)

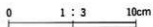
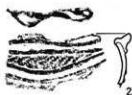
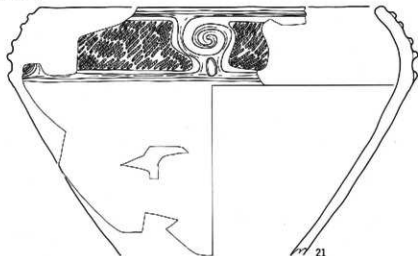


第55图 RA01(1)出土遺物

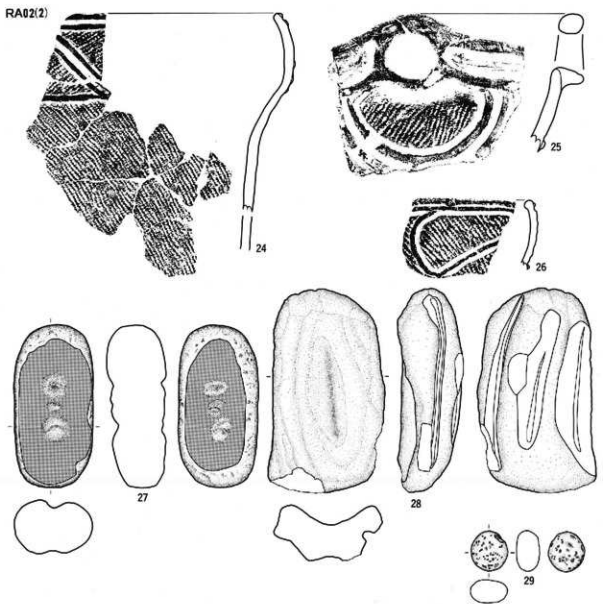
RA01(2)



RA02(1)



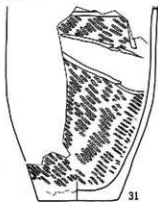
第56図 RA01(2)・02(1)出土遺物



RA03



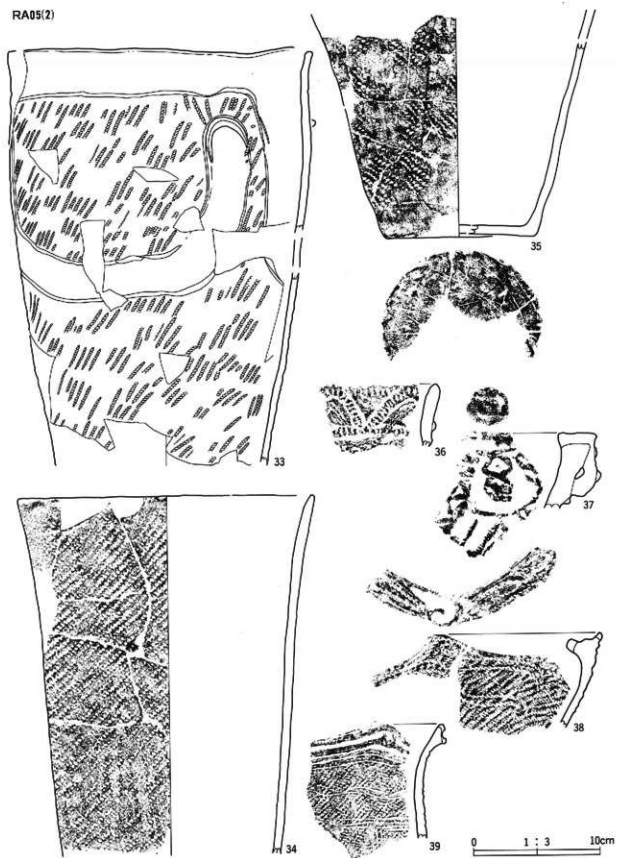
RA05(1)



0 1 : 3 10cm

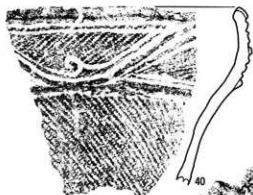
第57图 RA02(2)・03・05(1)出土遺物

RA05(2)



第58図 RA05(2)出土遺物

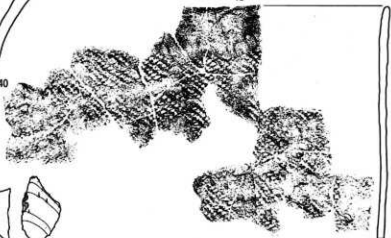
RA05(3)



40



41



42

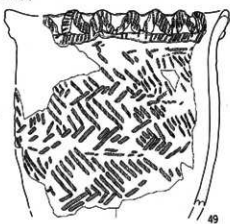


43
(S=1/2)

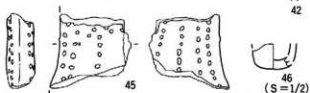


44
(S=1/2)

RA06(1)



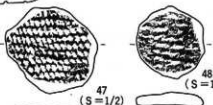
49



45

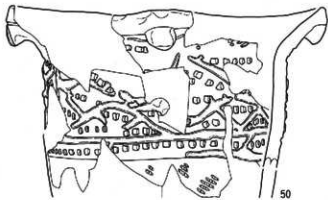


46
(S=1/2)

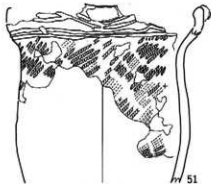


47
(S=1/2)

48
(S=1/2)



50

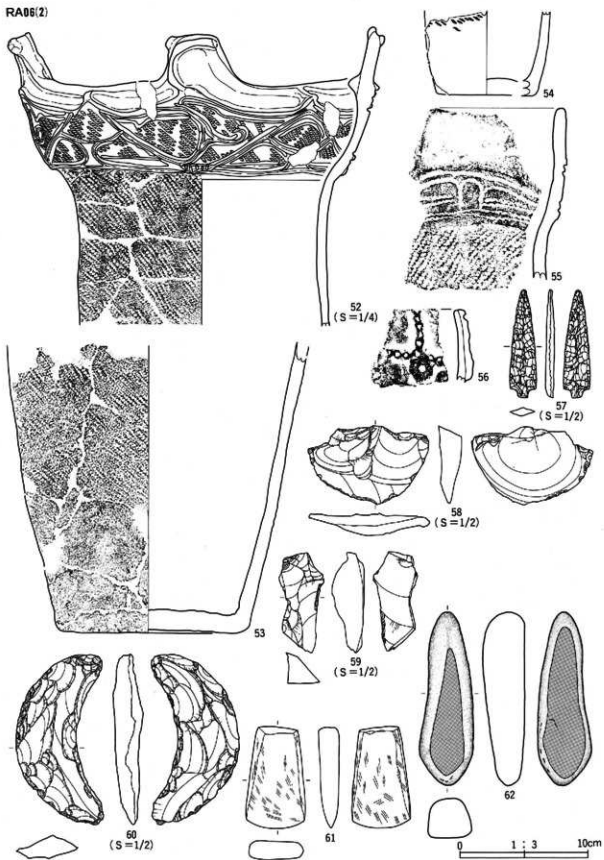


51

0 1 : 3 10cm

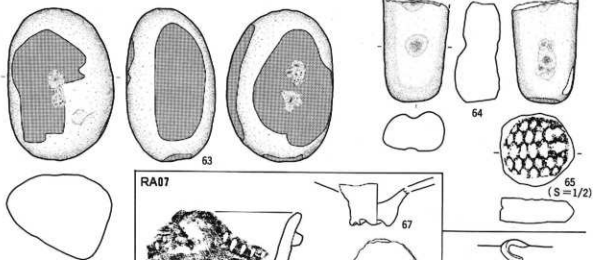
第59図 RA05(3)・06(1)出土遺物

RA06(2)

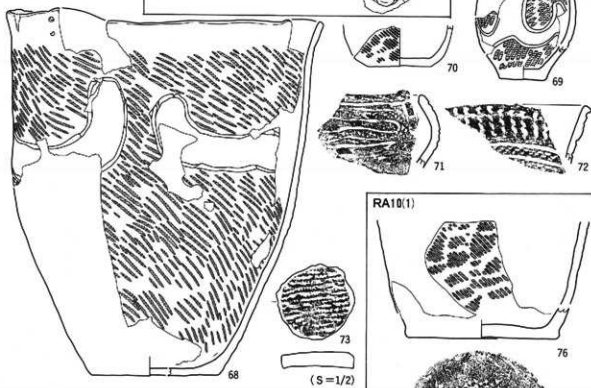


第60图 RA06(2)出土遺物

RA06(3)



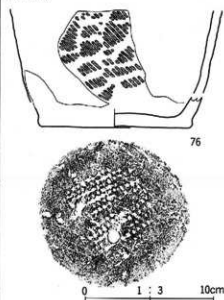
RA08



RA09

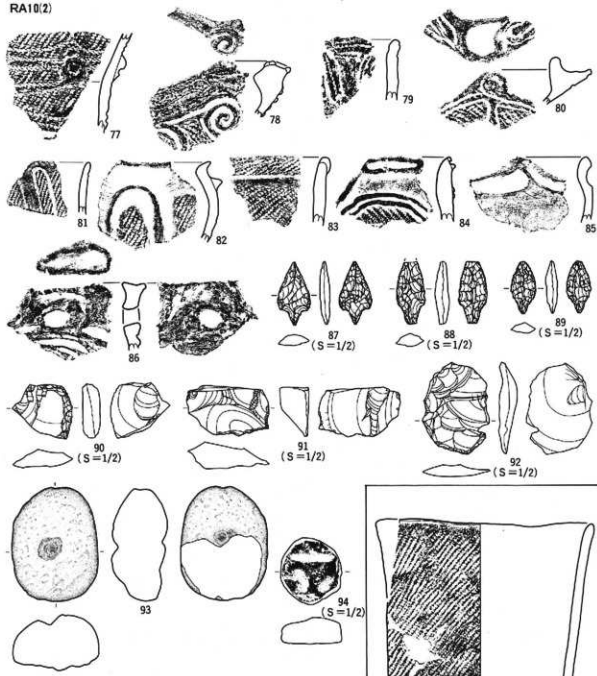


RA10(1)

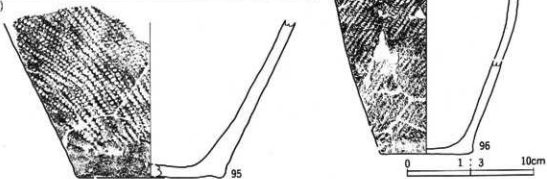


第61図 RA06(3)~10(1)出土遺物

RA10(2)

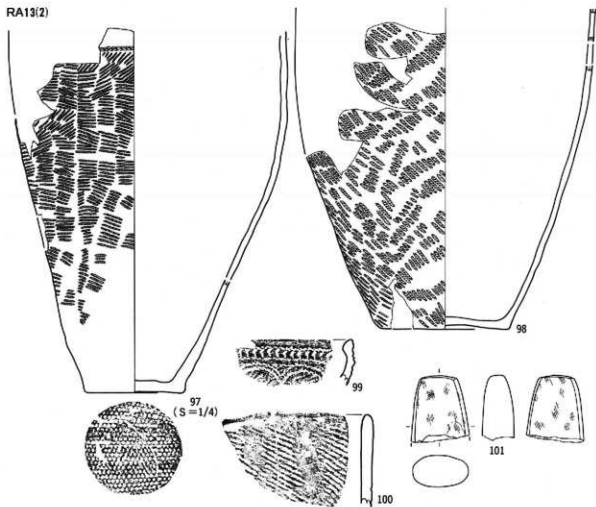


RA13(1)



第62図 RA10(2)・13(1)出土遺物

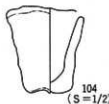
RA13(2)



RA14

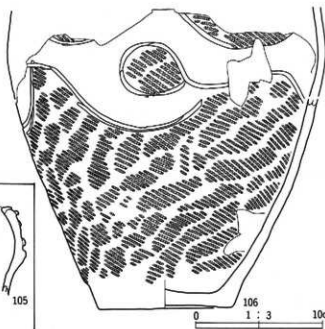


(S = 1/2)

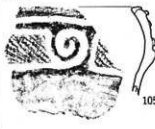


(S = 1/2)

RA16

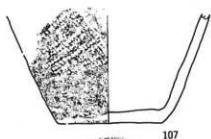


RA15

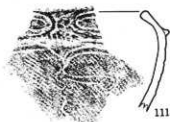


第63图 RA13(2)~16出土遺物

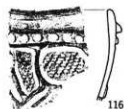
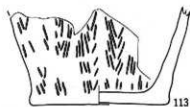
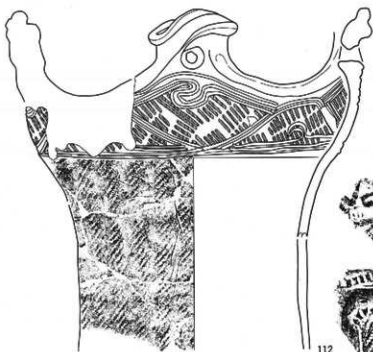
RA18



RA19



RA20(1)



0 1 : 3 10cm

第64图 RA18~20(1)出土遺物

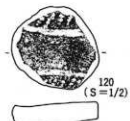
RA20(2)



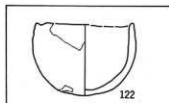
118



119
(S=1/2)

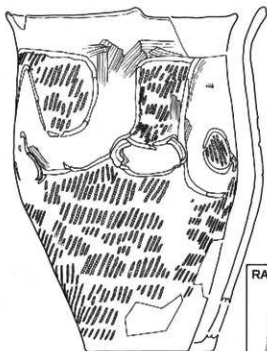


120
(S=1/2)

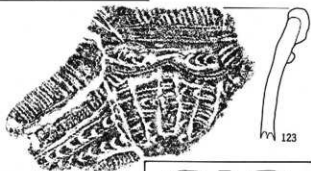


122

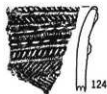
RA21



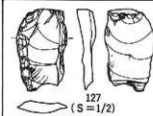
121



123



124



127
(S=1/2)

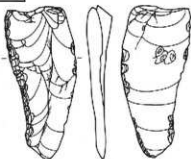
RA22(1)



125



126

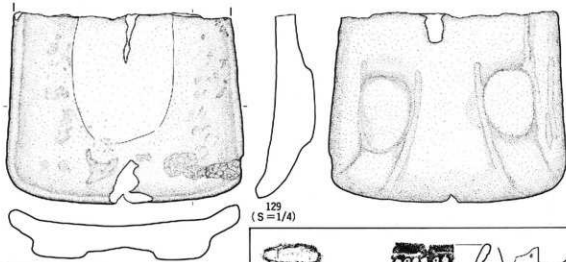


128
(S=1/2)

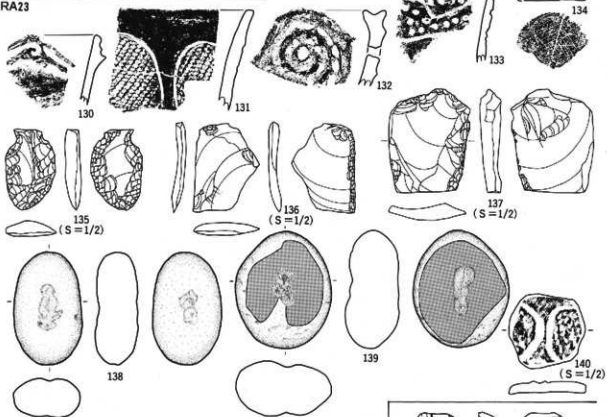
0 1:3 10cm

第65図 RA20(2)~22(1)出土遺物

RA22(2)



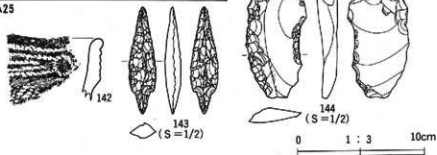
RA23



RA24

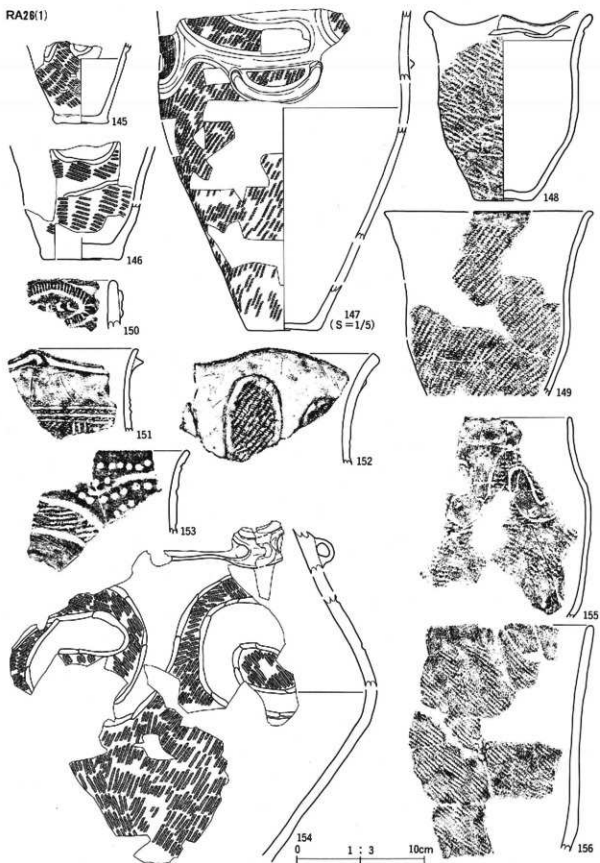


RA25



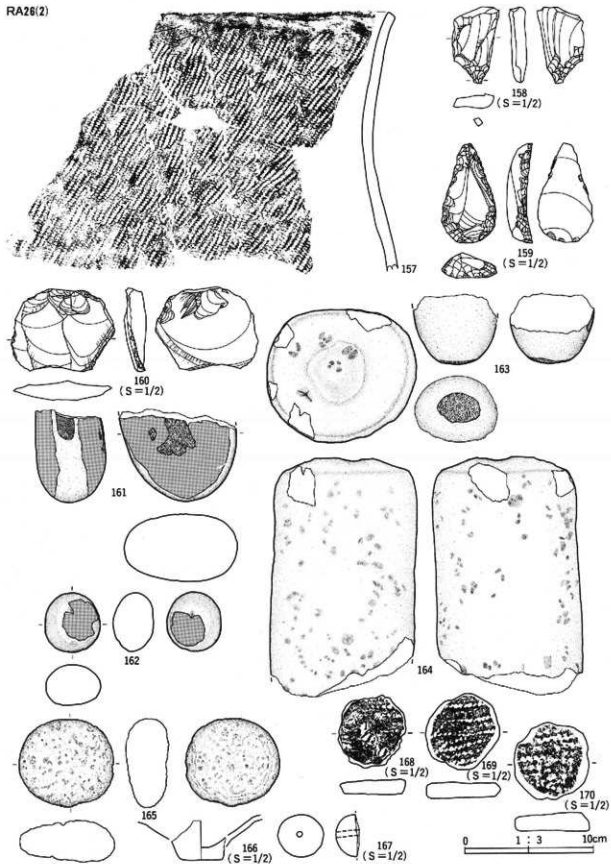
第66図 RA22(2)~25出土遺物

RA26(1)

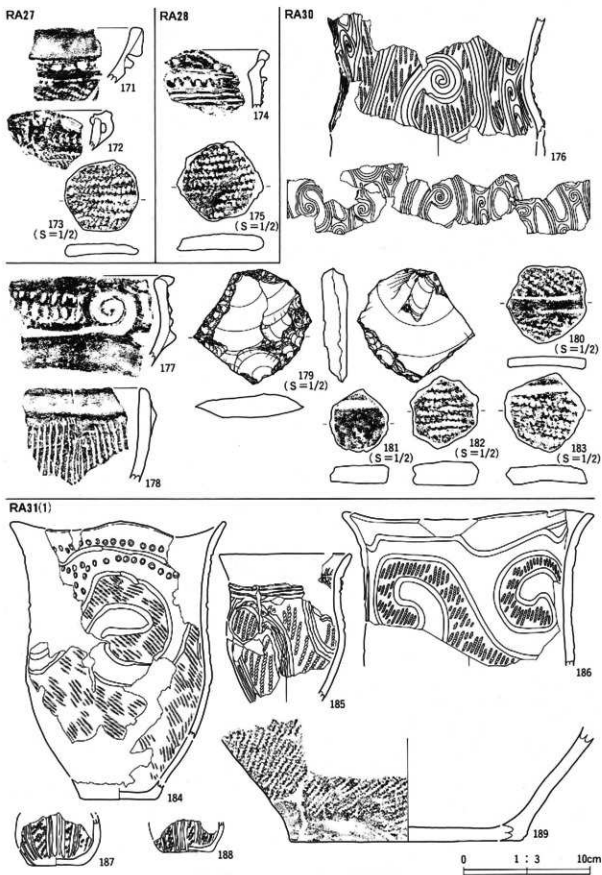


第67图 RA26(1)出土遺物

RA26(2)

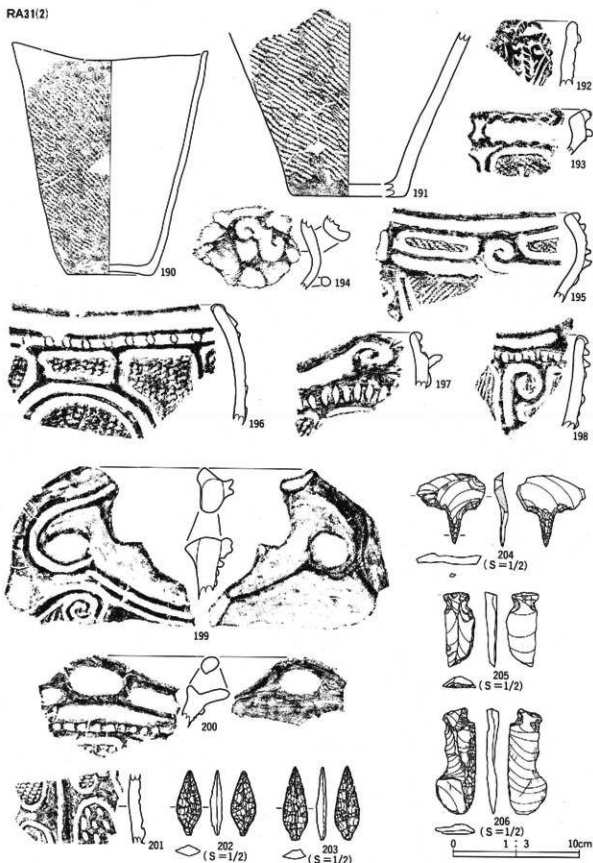


第68图 RA26(2)出土遺物



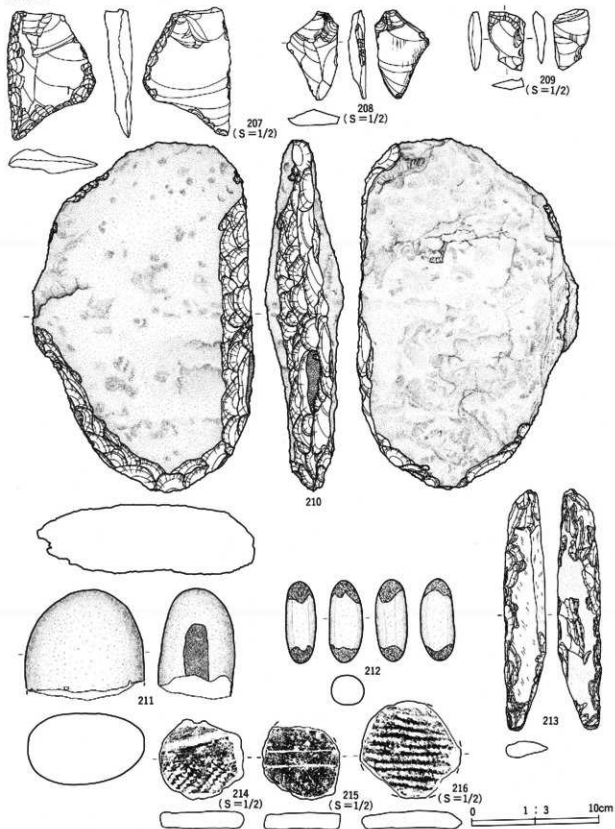
第69圖 RA27・28・30・31(1)出土遺物

RA31(2)



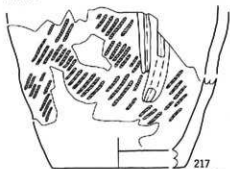
第70図 RA31(2)出土遺物

RA31(3)

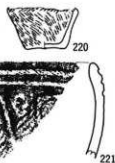


第71図 RA31(3)出土遺物

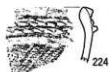
RA32



RA33



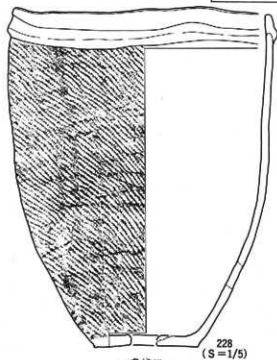
RA34(1)



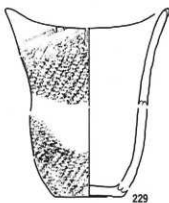
225
(S = 1/2)



226
(S = 1/2)



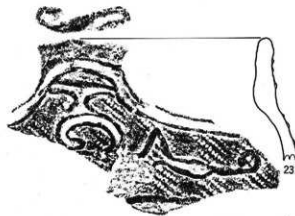
228
(S = 1/5)



229



230

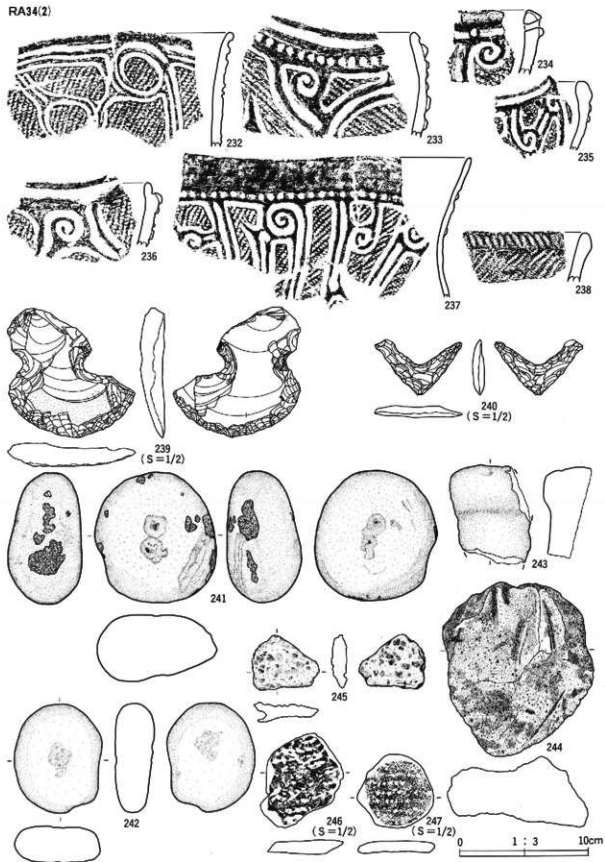


231

0 1 3 10cm

第72図 RA32~34(1)出土遺物

RA34(2)



第73图 RA34(2)出土遺物

RA35



248



249

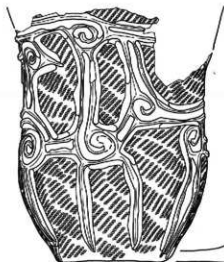


250
(S=1/2)



251
(S=1/2)

RA36



252



253



254



255



256
(S=1/2)

RA37



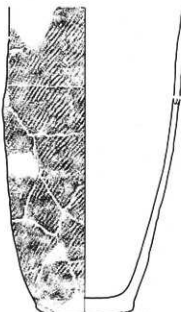
257



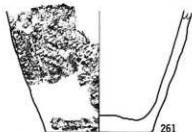
258



259



260
(S=1/4)



261



262



263



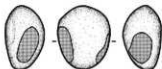
264



265

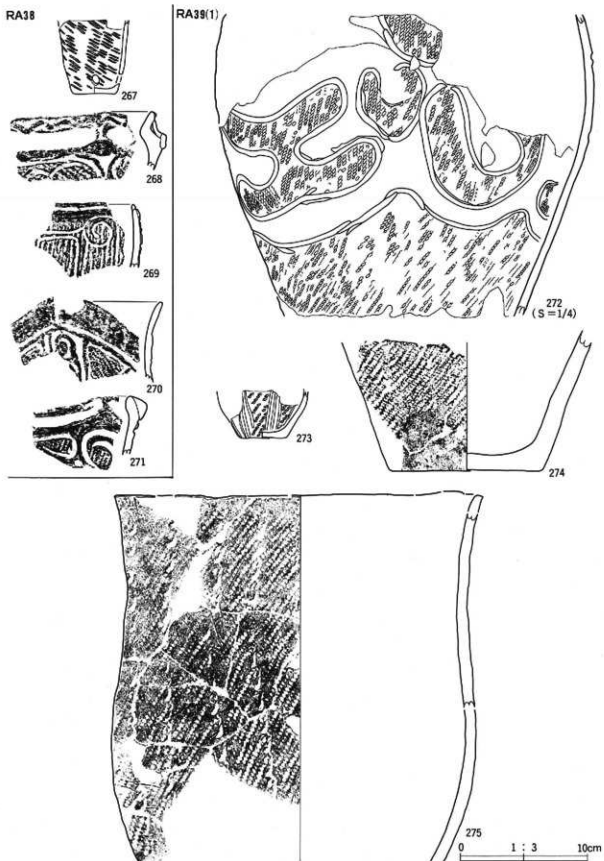


0 1 : 3 10cm

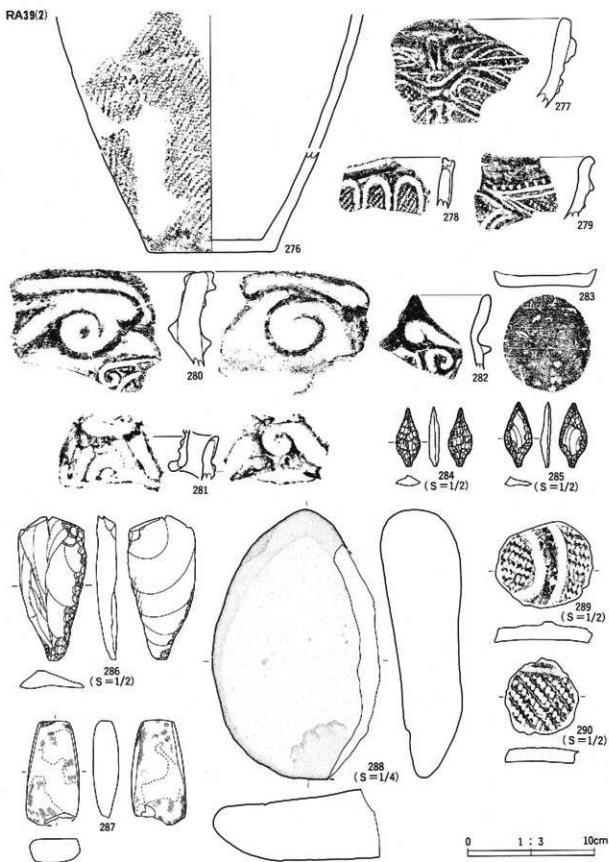


266

第74图 RA35~37出土遺物

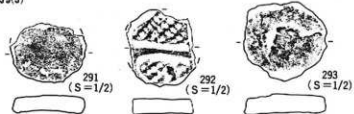


第75圖 RA38・39(1)出土遺物

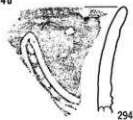


第76図 RA39(2)出土遺物

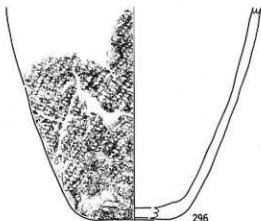
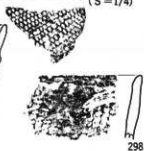
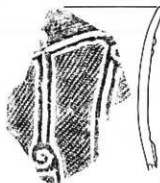
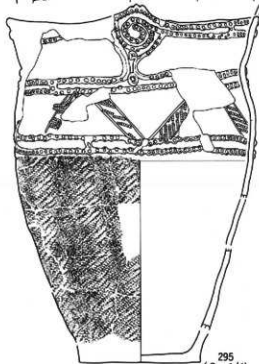
RA39(3)



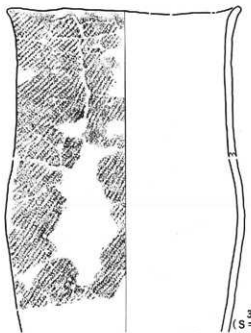
RA40



RA41



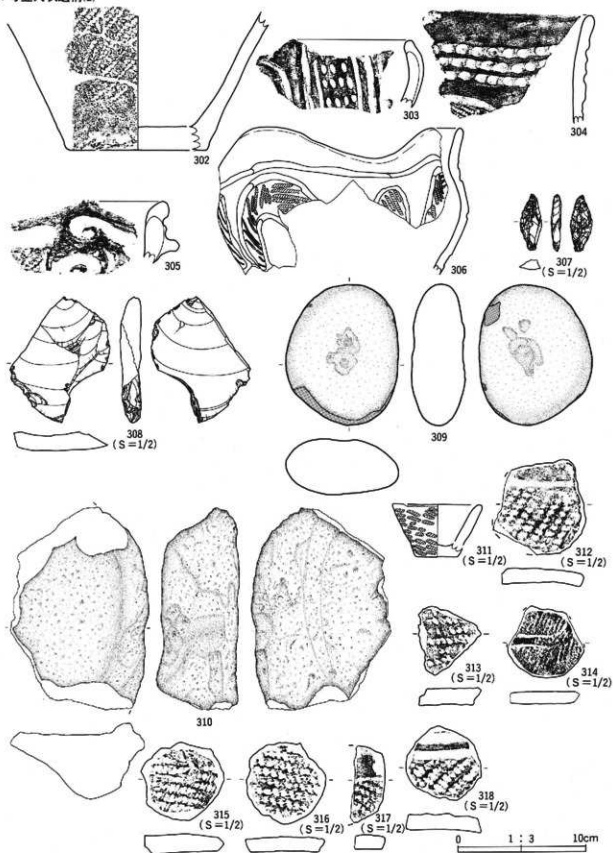
1号竖穴状遺構(1)



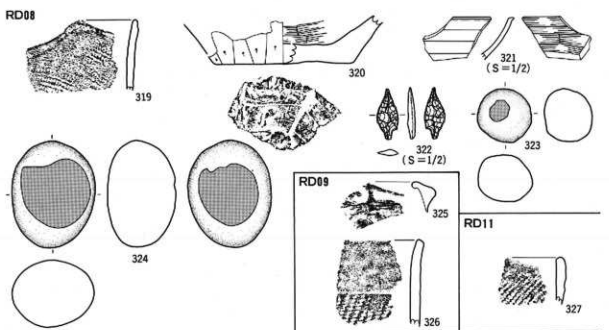
0 1 : 3 10cm

第77図 RA39(3)~41, 1号竖穴状遺構(1)出土遺物

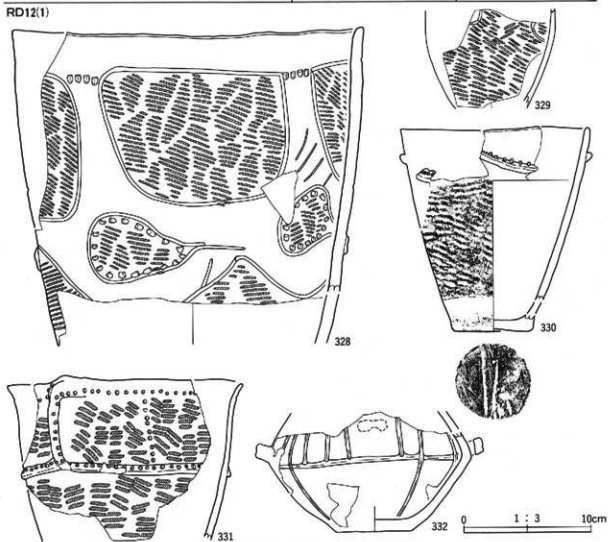
1号竖穴状遺構(2)



第78图 1号竖穴状遺構(2)出土遺物

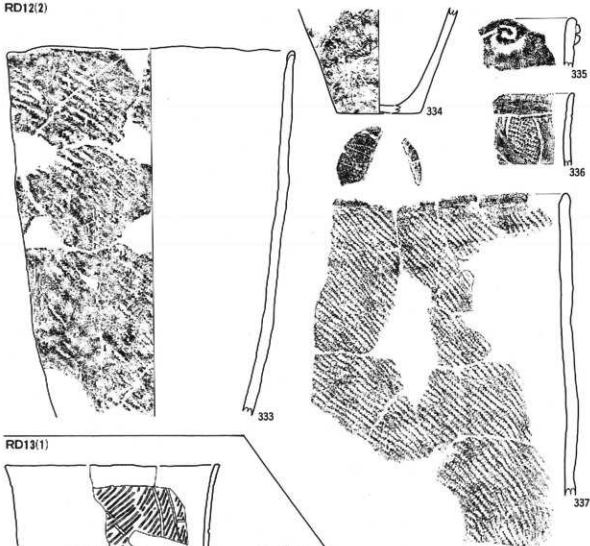


RD12(1)

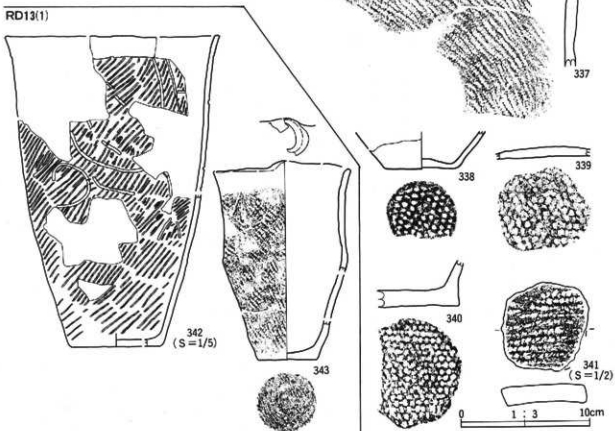


第79図 RD08・09・11・12(1)出土遺物

RD12(2)

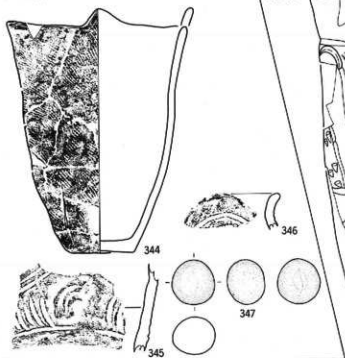


RD13(1)

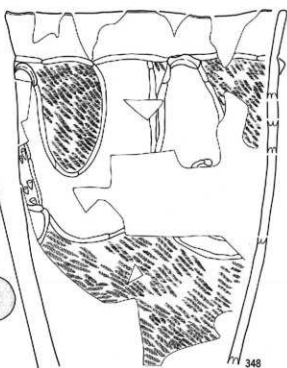


第80圖 RD12(2)・13(1)出土遺物

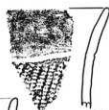
RD13(2)



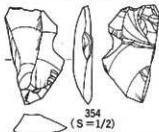
RD14



RD15



RD16



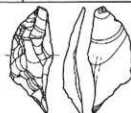
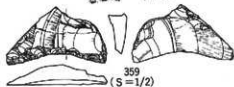
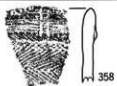
RD17



RD18



RD20



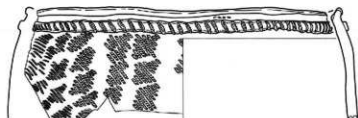
0 1 : 3 10cm

第81図 RD13(2)~18・20出土遺物

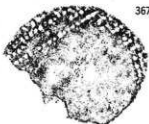
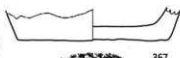
RD23



RD25



RD27

RD29
RD30

RD32



(S=1/2)



(S=1/2)

0 1 : 3 10cm

第82図 RD23・25・27・29・30・32出土遺物

RD33



379

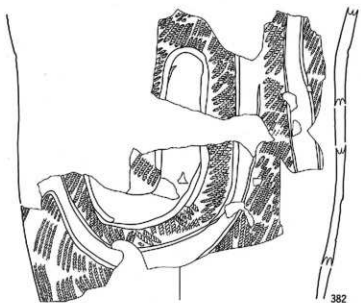


380
(S=1/2)

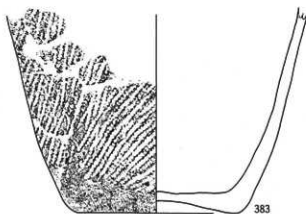
RD35



381



382
(S=1/4)



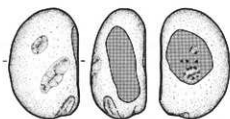
383



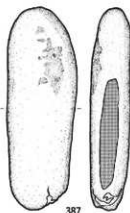
384
(S=1/2)



385
(S=1/2)



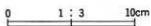
386



387

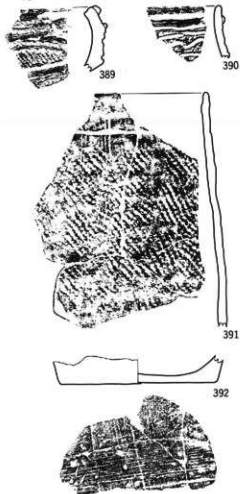


388

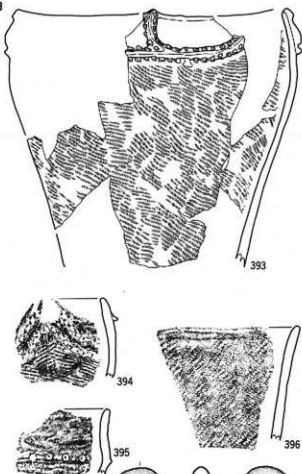


第83图 RD33・35出土遺物

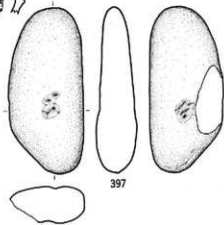
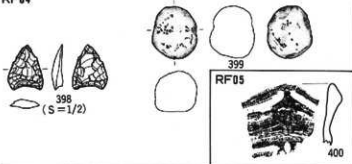
RF02



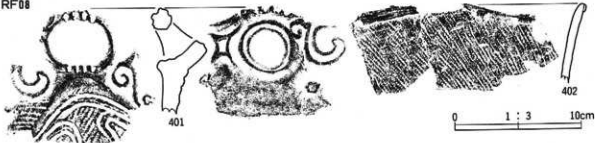
RF03



RF04

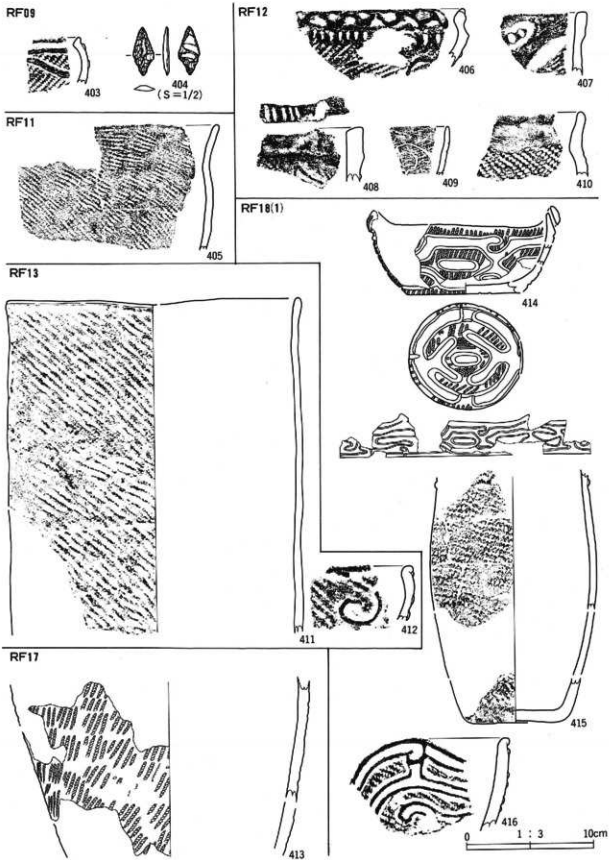


RF08

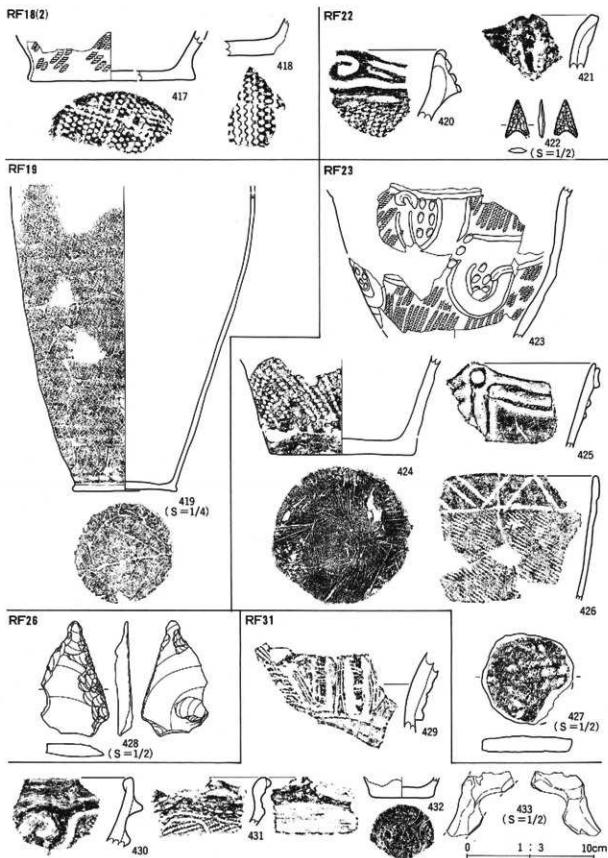


0 1 : 3 10cm

第84图 RF02~05・08出土遺物



第85図 RF09・11~13・17・18(1)出土遺物



第86図 RF18(2)・19・22・23・26・31出土遺物

RH01



434

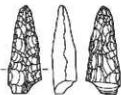


435

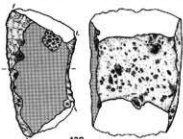


436

RH03



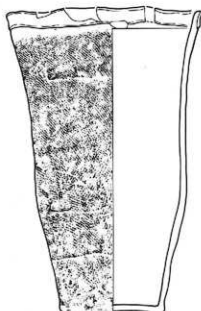
437
(S=1/2)



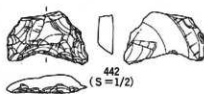
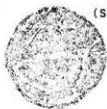
438



RP02



441
(S=1/5)

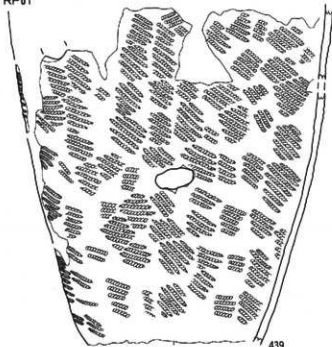


442
(S=1/2)



443
(S=1/2)

RP01



439

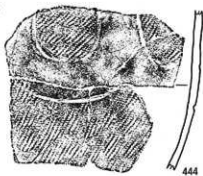


440
(S=1/2)

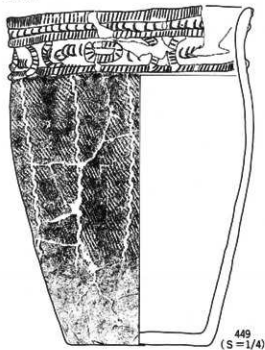
0 1 : 3 10cm

第87圖 RH01・03, RP01・02出土遺物

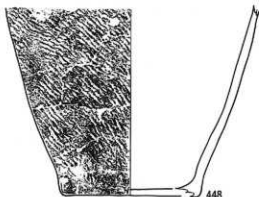
RP03



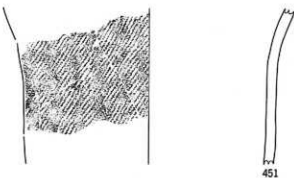
RP05



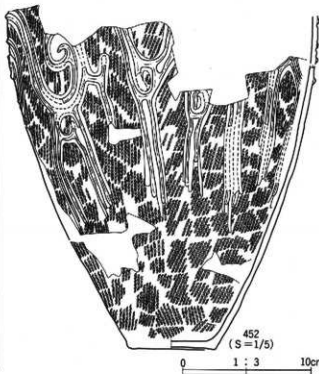
RP04



RP06

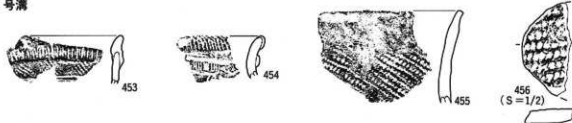


RP07

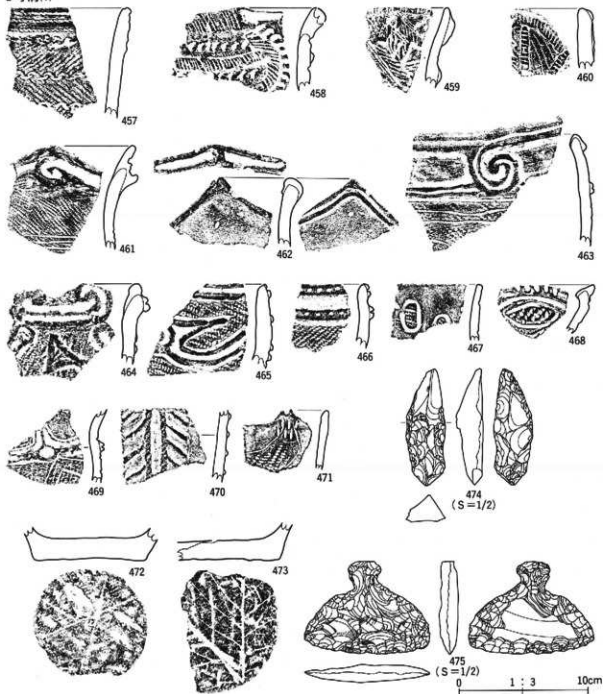


第88圖 RP03~07出土遺物

1号溝

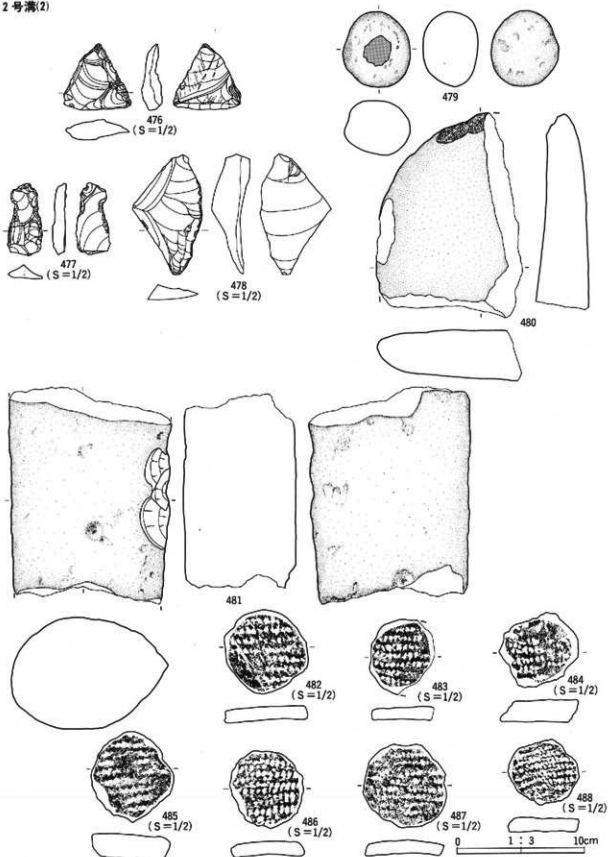


2号溝(1)



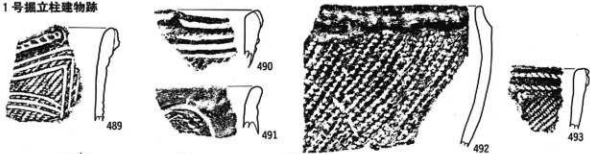
第89图 1号溝・2号溝(1)出土遺物

2号溝(2)



第90図 2号溝(2)出土遺物

1号掘立柱建物跡



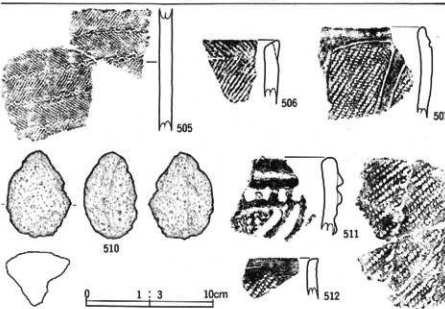
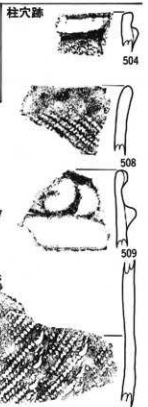
2号掘立柱建物跡



柱穴列



柱穴跡



第91图 1号・2号掘立柱建物跡, 柱穴列, 柱穴跡出土遺物

513

V. 遺構外の出土遺物

遺構外から出土した遺物は、土器の他に石鏃・尖頭器・石錐・石匙・石篋・異形石器・削擦器・磨製石斧・石錐・磨石・凹石・敲石・石皿（台石）・砥石・石棒・石製品・鞋石・板状土偶・円盤状土製品・古銭・鉄・金属類・骨片類などがあげられる。

1. 土器

本遺跡から出土した土器は、大コンテナ126箱であり、縄文時代前期から晩期までの各時代の土器が見られたが、殆どが縄文時代中期中葉から後期初頭に属すると考えられる土器である。本遺跡は前述したとおり昭和30年代に大規模な開削事業がおこなわれたため、室内整理時の土器復元・接合作業においては立体土器・完形品になるものが少なく、土器破片のままのものが非常に多かった。遺構外から出土した土器類は下記のように分類し、第1群～第10群とした。分類した土器のうち、特別な特徴を有しているものについてはこの項で記載するが、個別具体的な土器の特徴については報告書の土器観察表を参照していただきたい。また、前述したように、図版については立体土器→破片という形を取っているが、図版構成の関係や図版完成後土器の時期判定を修正したものもあり、一部この形を崩し掲載している部分もある。

土器の分類

第1群土器…大木式土器のうち、縄文時代前期に属するもの。

第2群土器…大木式土器のうち、縄文時代中期に属するもの。

第3群土器…円筒式土器のうち、縄文時代前期に属するもの。

第4群土器…円筒式土器のうち、縄文時代中期に属するもの。

第5群土器…縄文時代後期に属するもの。

第6群土器…縄文時代晩期に属するもの。

第7群土器…縄文式土器の粗製土器。

第8群土器…土師器を一括した。

第9群土器…須恵器を一括した。

第10群土器…陶器類。

第1群土器（第92図 NO514、515）

縄文時代前期の大木6式に属すると思われる。NO514、NO515の2点出土している。NO514、515とも隆線による文様、口縁部分に施されている平行沈線と波型（山型）の沈線文様など共通する部分が多く、同一個体の可能性が高い。

第2群土器（第92図～第113図、NO516～720）

本群は縄文時代中期の大木式土器に属するもの。出土地点・層位はB区、C区のII層から出土している。以下、次のように本群を分類する。

第1類

縄文時代中期前葉の大木7aに該当すると思われる土器群。本類には3点含まれるが、共に残存状況が悪

わしくなく、時期決定に関しては他の部類にはいる可能性もある。NO521 は沈線・刺突を施しており、胴部に膨らみを持つ点から本類に含めたが、羽状縄文を胴部に施している点から円筒系に含まれる可能性も否定できない。NO536 は降線を三角形状(V字状)に配し、LR 単節縄文を横位に施している土器口縁部である。NO551 も土器口縁部分であるが沈線のみで文様構築であり、他の形式に含まれる可能性が無きにしてもあらずである。

第2類

縄文時代中期前葉の大木7bに属すると思われる土器群。NO516 は頸部、胴部に縄文の圧痕を施しており、口唇部に隆線で波状に文様を施す。NO517 は口縁部に4単位の突起を有し、この突起間に隆線によるC字文様を施している。NO518 は口縁部に突起、頸部に瘤状の突起を持つ点等から大木7aの可能性もある。NO526 は円筒上層式の影響を受けたと思われるもので、口縁部に突起を持ち、区画内をLR 単節縄文を横方向・斜位方向にそれぞれ回転させている深鉢である。これと同様にNO534も、大木7b式というよりはむしろ円筒上層式の影響を受けた可能性が高いと思える。NO527~533は、大木7bの時期から大木8aの移行期に該当するものと思われる。NO537 は押圧縄文による渦巻文を施されている土器口縁部である。NO538 は口縁から頸部にかけての土器破片、NO539 は隆・沈線による文様を施している土器口縁部。NO540 はRL 単節縄文を縦位に回転させた後、隆線による区画を施したと考えられる深鉢である。NO541 は沈線を同心円状に施した口縁部。NO542 は外反する口縁部に突起を持ち、口縁部付近ではLR 単節縄文を横位に回転させ、頸部から胴部にかけては斜位方向に施す深鉢である。NO543 は口唇部付近に半截竹管による刺突を施し、細い沈線を細かく引き、土器内面に向かって口縁部を折り返すような形で形成させている。NO544 は口唇部に対し水平方向に沈線を引き、垂直方向に刻み目を付している。NO546、547は同一個体を形成する可能性が高い。NO584 は口唇部に円形状の窪みを持ち、押圧縄文によって文様を形成している。NO550 はC字状、逆C字状の隆線を背中合わせにし、押圧縄文によって文様を構成している。

第3類

縄文時代中期中葉の大木8a式に属すると思われる土器群である。NO554 は口縁部はLR 単節縄文を横位に施し、膨らみを持つ。体部(胴部)においては、LR 単節縄文を縦位に施し、降沈線による渦巻文を配する深鉢である。NO556 は補修孔を有する深鉢である。NO557 は口縁部が強く内湾しLR 単節縄文を縦位に施した深鉢。NO560 はやや外反する口縁部にRL 単節縄文を縦位に施す深鉢である。NO561 は口縁部が内湾し、体部(胴部)が膨らみを持つ深鉢であり、LR 単節縄文を横位と縦位に施す。NO562 は波頭部に半渦巻文様を形成される過程の深鉢と思われる。NO563 は口縁部が内湾する深鉢で、LR 単節縄文を縦位に回転させた後、隆・沈線で三角形状に区画している。NO571 は4単位の波状口縁突起を持つ深鉢で、隆・沈線による小渦巻状の文様を配し、RL 単節縄文を縦位に施す。NO573 は土器自体の残存状況が思わしくないため、土器表面に構築させた文様帯の状況がやや不明確であるが、大木8a~8bの範囲に入るものと思われる。NO578 は隆・沈線で文様帯を構築し、LR 単節縄文を横位に施した深鉢の破片である。NO579 は、波頭部に半渦巻状の文様を付し、口縁部から体部(胴部)に向かって、沈線が施されている深鉢である。NO589 は半渦巻状であるが、大木8b式のメルクマルの1つである渦巻文の連結が開始される様相を呈しているため、大木8a~8bの移行期に該当する可能性もあると考えられる。NO593、595、597、602、603、608の6点は福島県の壇ノ岡遺跡から出土しているものと類似しており、口縁部に隆・沈線をS字状文様を90°回転させたもの

を付している点から本類に属すると考えられる。NO596 は口縁部周辺ではLR単節縄文を横位に、体部(胴部)においてはRL単節縄文を横位に施した後、口縁部周辺に隆線を付し、隆線間を磨り消している。磨り消す技術が未熟だったためか、隆線自体も押しつぶされたような形に磨り消されている。NO598 はRL単節縄文を施した後、隆・沈線を付している深鉢口縁部である。NO599 は口唇部に橋状把手が斜位に付されており、肥厚している口縁部分には渦巻状の文様を呈している。NO600 は沈線、縄文による圧痕を施した深鉢の口縁部分である。NO604 は口縁部分の橋状把手。NO605 は口唇部分に窪んだ円形状の文様が付されている。なお、土器内面は剥落しているため、土器観察表内の厚さの項目も() 付けて記している。NO606 は刺突した隆線によって窪んだ円形状の文様を口縁部に付している。NO607 はLR単節縄文を横位に施した後、沈線による区画文様を付した深鉢口縁部である。NO609 は口縁内面部分にかけて装飾(中空)突起を持つ深鉢である。本類に含めたが、むしろモチーフから大木9~10式の可能性も否定できない。NO610 は口縁突起部を構成している半渦巻文が内外面に付されている。NO611 はLR単節縄文を縦位に施した後、隆線を付した橋状把手を持つ深鉢である。NO612 は棒状工具によって口唇部分を小山型状に構築し、内面は皿状に緩やかな窪みを有する。NO613 もNO612と同様、内面を皿状の緩やかな窪みを有する深鉢口縁突起部分である。NO617 は口唇部分がS字型の山型突起を形成し、橋状把手部分に連結する形で構築されている。NO619 は口縁部に隆・沈線で付されている文様が横S字状を形成する点から本類に含めた。NO620 は口縁突起部分に孔をもつ。NO621 は楕円状の連続する突起部分の間に垂直方向の貫通する孔を持つ。また、器面全体が黒色に変化している。NO623 は区画間の隆線上に逆S字状の沈線文様を形成しているが、全ての部分に構築されておらず、何単位かの規則性を持って配されていると考えられる。NO623 は本類に含めたが大木8b~9の可能性もある。NO624 は口唇部分が肥厚し、2本の沈線が引かれている。NO625 は橋状把手を有する深鉢口縁部分。NO627 は孔を有する口縁突起部分である。体部(胴部)に向かっているモチーフから大木9式に属する可能性もある。NO630 は口縁部に棒状工具による刺突を有する。NO632 は隆・沈線による渦巻文を二重に重ねて付している。

第4類

縄文時代中期中葉の大木8b式に属すると思われる土器群。本類の特徴としては、隆起線の側縁を沈線で縁取りし、渦巻文は棘を有し横位に連結する形となり、器面全体に文様が及んでいる。NO567、572、581、583、584、587、588、590、591、633、670、671、673、678、682、685等がこれに該当する。さらに、本類に分類された中でこれ以外の共通項で列挙すると、NO555、646、665、679、685、687、688の7点は口縁部に刻み目を有し、NO577、582、584、630、662、663、674、675、653の9点は口縁部に棒状工具による刺突を有している。NO580 は、隆・沈線の区画内をRL単節縄文で施している深鉢の口縁部分である。NO585 は渦巻縄文を付している口唇部よりの隆部部分に垂直方向(縦方向)に貫通孔がある。NO635 は口縁周辺部においてはRL単節縄文の横回転、体部(胴部)においてはRL単節縄文を縦回転しており、この上に太い隆線を張り巡らせ笠状(?) 工具によって刺突を施している。NO636 は口縁内面に隆線を付している。NO637 は貫通孔を持つ口縁突起部であり、肥厚している突起部に棒状工具による刺突を円形状に施している。NO638 は山型状の口縁突起下に隆・沈線による菱形文様を配している深鉢である。NO639 は膨らみを持つ口縁部分であり、隆・沈線で文様を形成しているが体部(胴部)への文様展開がやや不明確なため、大木8a式の可能性も否定できない。NO641 は橋状突起部分を沈線による渦巻文様で構築しており、棒状工具による刻目を有する。NO642 もNO641と同様、橋状突起部分を沈線による渦巻文様で構築し棒状工具による刻目を有し

ているが、橋状突起で隠れている土器本体部分にも刻目が施されており、土器本体の刻目が配された後、橋状突起部分が付されたと思われる。NO643は肥厚する口唇部分に刻目を有している。NO644は斜位方向に貫通孔を有する口縁突起部分。NO650は楕円状に肥厚した口縁突起部に刺突を施している。NO653は隆線を渦巻状に付し、棒状工具で刺突を施し内面を沈線で引くことによって形成している。NO666は波頭部に渦巻文を有する口縁突起部分である。NO672は山型状に連続する口縁突起を持ち、体部(胴部)は隆・沈線によって渦巻文を形成している。NO676は8の字状の橋状突起を口縁部に有し、小楕円状の貫通孔を3つ有する。この突起部分を内面に視点を置くと隆・沈線によるやや潰れたU字状を呈している。体部(胴部)はRL単節縄文を縦位に施した後、隆・沈線による有轆(?)、渦巻文様を持つ。NO677は渦巻状の突起部分と隆・沈線によって構築した渦巻文様を連結させて形成している。NO678は口縁部が外反、体部(胴部)は膨らみを持ち、隆・沈線による渦巻文様が器面全体に広がりを持つ深鉢である。NO682は器面にRL単節縄文を縦位に施した後、渦巻文様は沈線で展開している。NO690は口縁突起部の半渦巻文が内外面に構築されている。NO693は口縁突起部分の側面方向に貫通孔を有する。

第5類

縄文時代中期後葉の大木9式に属する土器群。NO698～NO707の10点が本類に含まれると考えられる。NO698は土器の体部から底部にかけてのものであり、沈線とLR単節縄文を縦位に施している深鉢。NO699は沈線で方形に区画した内面にRL単節縄文を横位と斜位に施しており、さらにその内側を沈線の区画とRL単節縄文横回転で施されているが、これは外側の区画帯から連続するものと思われる。NO700、NO702、NO707の3点はいずれも楕円形状の沈線区画内にRL単節縄文の横回転が施されている。NO704、NO705は円形区画内を刺突によって施している。

第6類

縄文時代中期後葉の大木10式に属する土器群。出土した深鉢のうちNO709、NO710、NO712等のように口縁部がやや外反し体部(胴部)に膨らみを持つものと、NO713のように口縁部は垂直気味に成り立つが体部(胴部)から底部に向かって浅鉢状にすぼまっていくもの(内湾?)と外見上の器形は2種類に分けられる。NO709は沈線区画内をLR単節縄文の縦位回転と斜位回転をそれぞれ施している。NO710は器面全体にLR単節縄文を縦位に回転させた後、沈線区画を施し、区画内を磨り消したと思われる。NO711も同様の方法で土器を形成されたと考えられるが、NO712は沈線区画内の磨り消した後、体部(胴部)区画沈線同士の交点部分に突起物を付している。また波状口縁部内面に逆C字状(?)の貼り付け突起物を3単位有している。NO713はU字状の沈線区画無文帯同士を連結させる形で刺突を施した楕円状の沈線区画帯を体部(胴部)に施している。NO714は注口土器。NO715は口縁部分に文様帯が集中していると思われ、時期決定の判断材料である土器の文様がやや不明確なため他の時期に属する可能性も否定できない。NO716は橋状把手部分の上(垂直)方向に貫通孔を有する。

第3群土器(第114図～第115図 NO721～NO740)

縄文時代前期の円筒下層式に属する土器群。口縁部分に刻目や刺突を伴った隆線を付したものが多く、円筒下層d式に該当するものと思われる。

第4群土器（第116図～第121図 NO741～NO798）

縄文時代中期の円筒上層式と考えられる土器群を一括した。NO741はNO742～744に見られるような円筒上層式のメルクマルの1つである隆帯による区画が成されていないことから、円筒下層D式の可能性もある。底面に網代痕を施している一方で、磨り消された部分が観察される。NO742はLR単節縄文を横位と斜位に回転させた後、口縁部に原体圧痕を施した隆帯を蛇行させている。NO746は隆帯間に付されている圧痕文様が左右異なる深鉢である。NO765は口縁部上に張り巡らされた圧痕文は刻目状であるのに対して、口縁部と体部（胴部）間に付された隆帯上の圧痕は円形状である。NO745、746、748、771～776は土器口縁部（口頸部）にC字状の押圧が成された点から円筒上層式に属すると思われる。NO749は口縁部から体部（胴部）にかけて「く」の字状になり、4単位の波状口縁部にボタン状の瘤を付し、刺突を口縁部分と体部（胴部）上位に有する。NO750は原体圧痕した隆帯間に刺突痕を配する深鉢土器。NO785は沈線間に刺突を施し、沈線自体は半円状に引かれている。NO789はRL単節縄文を横位に回転させた後、隆帯の側縁を沈線で付している。NO794、795、797、798は口縁突起部分が肥厚し口唇部分が円形状の窪みとなっており、NO797は橋状把手状に、NO798は円形に沿う形に刺突が施されている。

第5群土器（第122図～第125図 NO799～839）

縄文時代後期に含まれる土器群を一括した。NO799は口縁部分に4単位の橋状把手を有し、体部（胴部）はRL単節縄文を横位と縦位に施した後、規則性を持った沈線で区画し、橋状把手から体部に延びる隆線側を磨り消している。NO801もNO799と同様の器形である。NO800は口縁部の突起が6単位有すると思われ、口縁部周辺に沈線を施している。NO802、NO803の2点はそれぞれ沈線を方形区画している。NO804、NO807、NO809、NO812は沈線を鋤状に引いている。NO806の口縁突起部は6単位になると考えられ、口縁部における沈線区画内には刺突を施している。NO805は沈線部下の口縁部に隆線に刺突を施し、沈線を付している。NO813、NO816は隆帯の側縁部に刺突を施しており、縄文時代中期末～後期初頭に属すると思われる。沈線と縄文を施文するNO817、NO818は小型土器である。口縁部にボタン状の瘤を有するものとしてNO811、NO815、NO823、NO826、NO830、NO837、NO839の7点が上げられる。このうちNO811、NO830、NO839の3点はボタン状の瘤及び隆線に刺突を施しており、NO815、NO823の2点は隆線上に圧痕を施している。NO826はボタン状の瘤が剥落しており、2個付してあったと考えられる。NO827は沈線により弓矢をかたどった狩猟土器の一部分と考えられる。NO836は櫛的な工具によって文様帯が描かれたもので、縄文時代中期の可能性も否定できない。

第6群土器（第125図、NO840）

縄文時代晩期に属すると考えられる土器片が1点出土している。

第7群土器（第126図～136図、NO841～930）

縄文時代の粗製土器を一括して掲載した。時期は縄文時代中期～後期に属すると考えられる。NO841～NO851、NO865～NO873、NO882、NO886、NO895、NO897、NO899、NO902、NO905、NO908、NO913、NO924、NO925、NO927～NO929は底面に木葉痕を有するもの。NO852～NO864、NO875、NO877、NO883、NO885、NO889、NO887、NO896、NO898、NO901、NO903、NO912、NO914、NO921、NO922、NO925は底面に網代痕を有するもの。このうちNO863、864、887は底面が磨り消されている。NO885は体部（胴部）

上位はRL単節縄文の縦回転、下位はより糸文で器面の文様が構築されている。

第8群土器 (第137図 NO931~943)

土師器は13点出土している。開田事業等により移動したり、投げ込まれたものと考えられる。

931はロクロ不使用の小型の甕、934、935は甕破片、932、933、935、937~943はロクロ使用の坏で、940~942は内黒の坏である。

第9群土器 (第137図 NO944~947)

須恵器は甕胴部破片が4点出土している。土師器同様、開田事業等により移動したり投げ込まれたものと考えられる。

第10群土器 (第137図 NO948)

陶磁器類は1点出土している。

2. 石器

石器は遺構内外合わせて、中コンテナで6箱出土した。剥片石器・礫石器に分け、器種ごとに述べる。

石鏃 (第138図 NO949~962)

矢の先端に装着して使用したと考えられる石製の矢じりである。漁撈具である銛先に使用されることもある。遺構外より出土した石鏃のうち、15点を掲載した。木報告書に掲載した石鏃については以下の基準に基づき、次のように分類した。



遺構外から出土した石鏃を分類すると、NO950が平基有茎鏃、NO949、NO951、NO952、NO953、NO955、NO956、NO957、NO958は凸基有茎鏃である。NO959、NO960、NO961、NO962は凹基無茎鏃である。NO954、NO963は円基鏃であると思われる。遺構外出土の石鏃の平均的な大きさは、長さ30mm、幅14.7mm、厚さ5.7mm、重さ2.24gである。石材は頁岩、珉質頁岩である。

尖頭器 (第138図 NO964~968)

刺突具として使用されたと考えられる槍先形の石器を尖頭器とした。尖頭器の分類は形態による分類(木槩形・半月形・石莖・有肩など)と調整部位による分類(周辺調整・片面調整・両面調整)などがあげられるが、今回の調査で出土したものは一括して尖頭器とした。遺構外より出土した尖頭器の平均的な大きさは、長さ57mm、幅21mm、厚さ11mm、重さ12.5gである。石材は頁岩である。

石錘 (第138図 NO969~971)

遺構外掲載した3点のうちNO969、NO970はつまみ部分が欠けている。遺構外より出土した石錘の平均的な大きさは、長さ36.5mm、幅18.2mm、厚さ6.3mm、重さ13.6gである。石材は頁岩である。

石匙 (第138~139図 NO972~977)

つまみ状の小突起部分を持ち片面及び両面からの加撃によって刃部が作られた石器。(動物を解体・調理するためだけではなく、器や骨を削る工具としての機能も有していたと考えられる。)NO972、NO973は横型石匙である。NO974、975、976、977は縦型石匙である。遺構外より出土した石匙の平均的な大きさは、長さ65.1mm、幅35.6mm、厚さ11mm、重さ20gである。石材は頁岩である。

石篋 (第139図 NO978~979)

ほぼ左右対称で上方が狭く下方が広がっている形状で、急角度な刃部を作り出している石器である。石材は頁岩、ホルンフェルスである。

削・掻器その他の石器 (第139~142図 NO980~1026)

上記以外の剥片石器を一括して分類した。主に剥片の縁辺部に調整加工が施されているものである。石材は頁岩、珪質頁岩である。

磨製石斧 (第143図 NO1027~1037)

両側縁および頭部を研磨し石斧の形状に整えたものである。NO1027、1031、1032、1034には磨き面が観察され、再利用の可能性が考えられる。遺構外より出土した磨製石斧の平均的な大きさは、長さ74mm、幅40.8mm、厚さ21.2mm、重さ111.5gである。石材は頁岩、砂岩、閃緑岩、花崗閃緑岩である。

磨石・敲石・凹石 (第144~148図 NO1038~1070)

平面形が円形または楕円形の礫で磨減痕を有するものが磨石、敲打によって生じた潰れが側縁や端部に見られるものを敲石、礫の1面または2面に円錐状の凹みを有するものを凹石とした。これら石器は複数の用途で使用されている。石材は砂岩、閃緑岩、安山岩、礫岩、アブライトである。

石錘 (第148図 NO1071)

石錘は1点出土し、扁平な河原石の短軸側の上下中央部分を表裏から打ち欠いて抉りを作り出している。

石皿・台石 (第148～150図 NO1072～1079)

食物の調理時に使用されたと考えられ、磨るばかりでなく、敲き、押しつぶし、食物の粉砕などが行われたと思われる。また、残存状況は思わしくないが、NO1074は砥石として併用されたと考えられる。NO1072は両面とも磨り面が存在するというよりも磨かれた状態である。NO1073は脚付きの石皿であるが、脚の底面部分にも磨痕を有している。石材は凝灰岩、砂岩、アブライトである。

石棒 (第151図 NO1080～1084)

長い棒状の磨製・敲打製の石器。出土した石棒は全て欠損していた。NO1080、1083は断面形部分が円形・楕円形を呈し、NO1081、1082、1084は断面形部分が方形・凸レンズ状を呈する。石材は流紋岩、安山岩、閃緑岩、花崗岩である。

3. 石製品 (第152図 NO1085～1097)

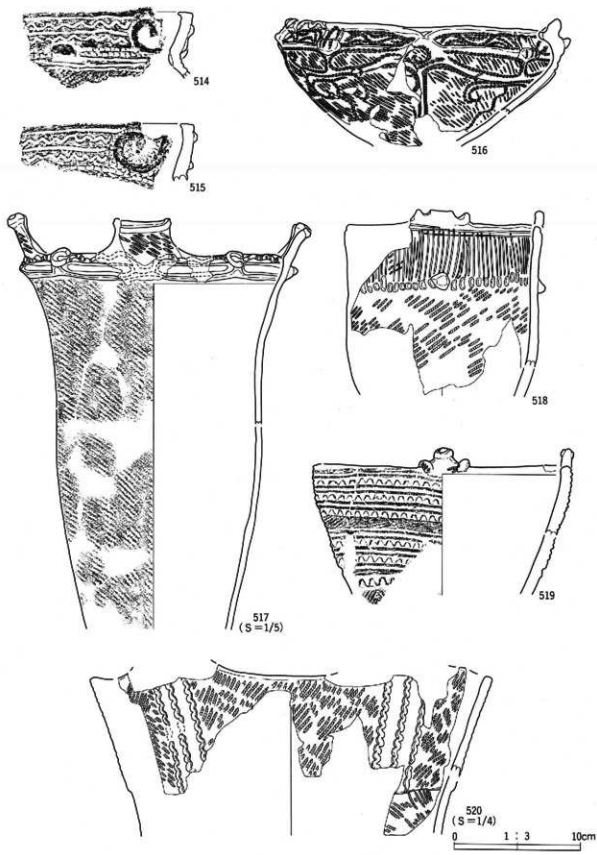
石製品は13点掲載した。このうちNO1087、1093、1094、1096は円盤状石製品。NO1096は側面に磨痕を有する。NO1097は垂飾りで、両端に孔が穿たれている。

4. 土製品 (第153～160図 NO1098～1262)

NO1098～NO1110の13点はミニチュア土器である。日常生活の中で実用品として使用されたというよりも、宗教的な(呪術的な)儀式や祭祀的な行事に使用された可能性が高く、今回の調査においては口縁部から底部まで一貫して残存しているものは少ない。また、体部(胴部)に文様を付しているものも数点確認することができる。NO1111は土錘である。中央部に沈線が通っている。NO1112は土玉である。NO1114、1116は耳飾りと思われる。NO1114は円形の中心部付近に小さな貫通孔を有している。NO1116は円形中心部と縁部(PJ周部)に刺突痕を有する。内面は抉られるような形で内湾し、断面形が「コ」の字状になるような形で作られている。NO1113、1115は残存状況が思わしくないが、板状土偶の一部分である可能性が高いと考えられる。NO1117、1118、1119、1120、1121の5点は板状土偶である。特にNO1117、1118、1119、1121の4点は目・口(胸?・臍?)を突起物によって表現しており、細かな刺突による孔を有する。また、5点とも火を受けたものか、部分的にやや黒色変化している。NO1122、1126は装飾品の一部分の可能性があると考えられる。NO1128、1131は斧状土製品の欠損品と思われ、貫通孔を有する。NO1130はスプーン型土製品である。NO1132～1261は土器破片を円形もしくは楕円形に打ち欠き、周辺部を磨いて二次的に利用した円盤状土製品である。

5. 古銭・鉄・金属類 (第160図 NO1262～1268)

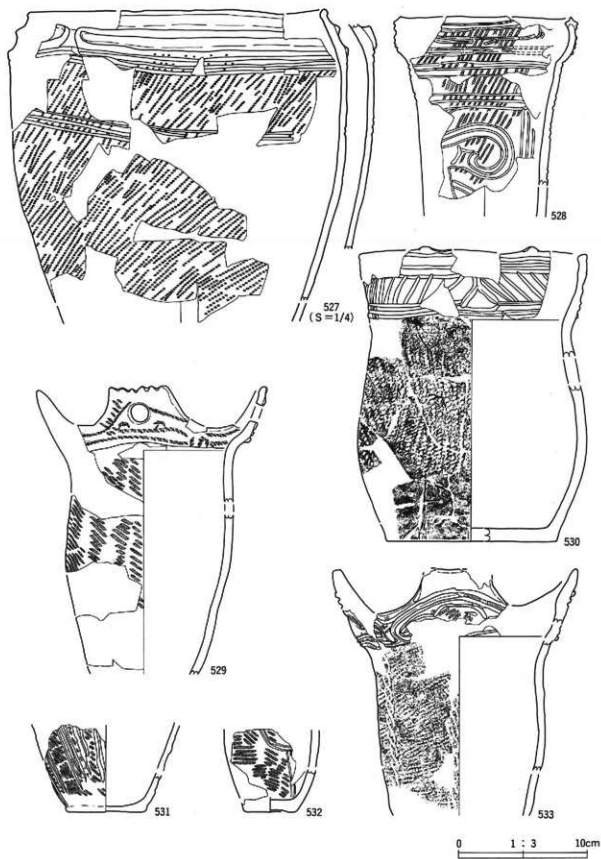
古銭は、NO1262～1265の4点である。NO1262は寛永通寶、NO1263は開元通寶であるが、他の2点は残存状況が思わしくなく判別が困難であった。NO1267は釘、NO1268は刀子の一部分(?)と思われる。



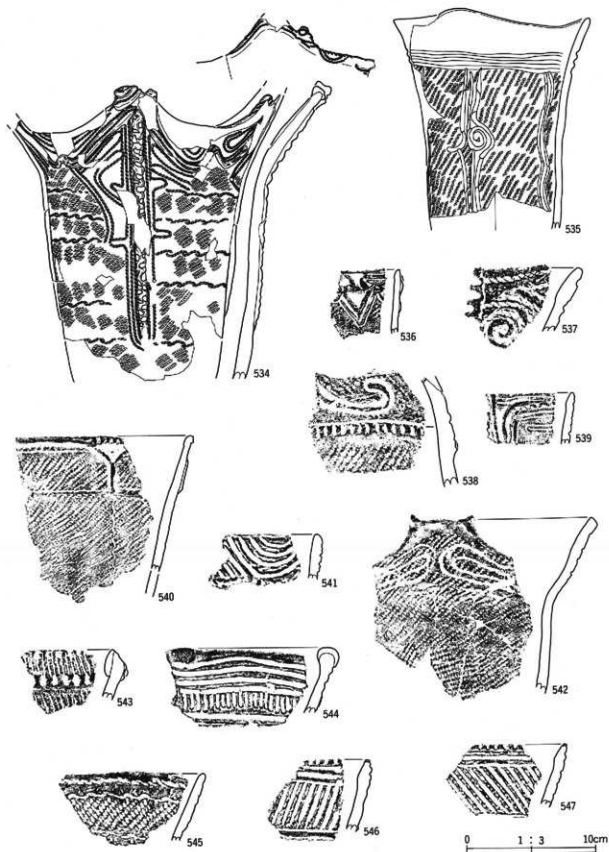
第92図 遺構外出土遺物(土器①)



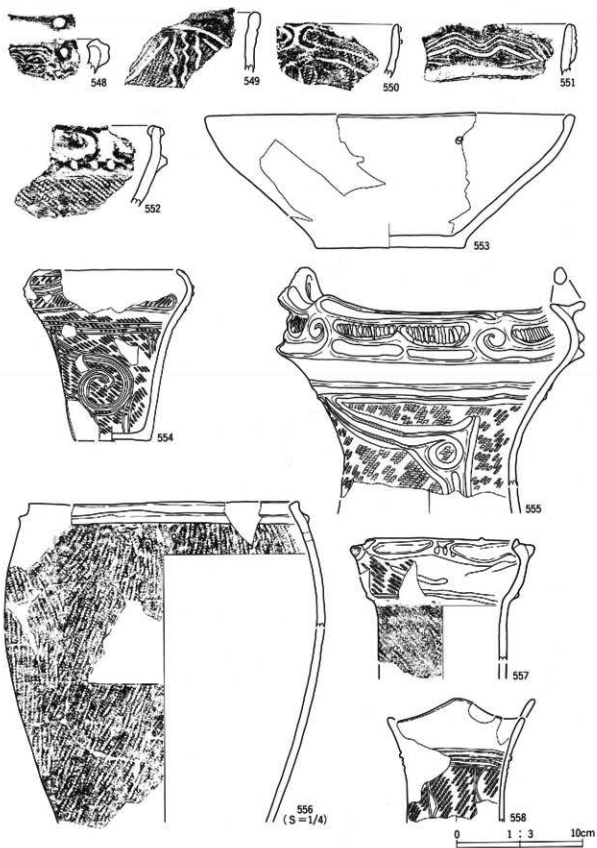
第93図 遺構外出土遺物（土器②）



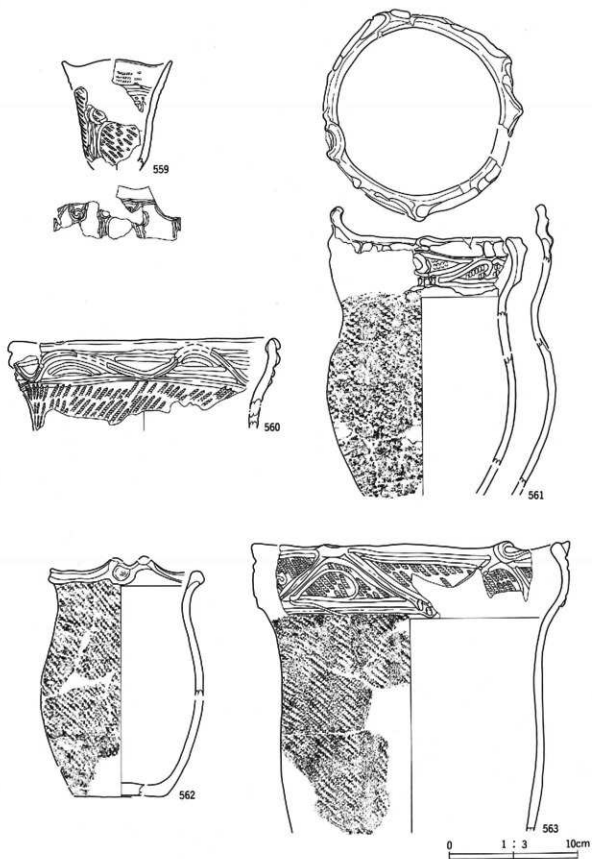
第94図 遺構外出土遺物 (土器③)



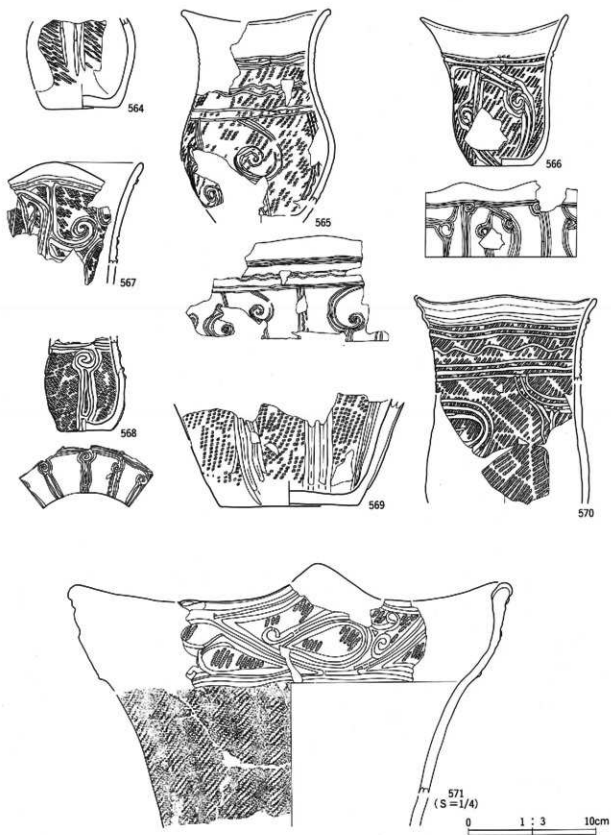
第95図 遺構外出土遺物(土器④)



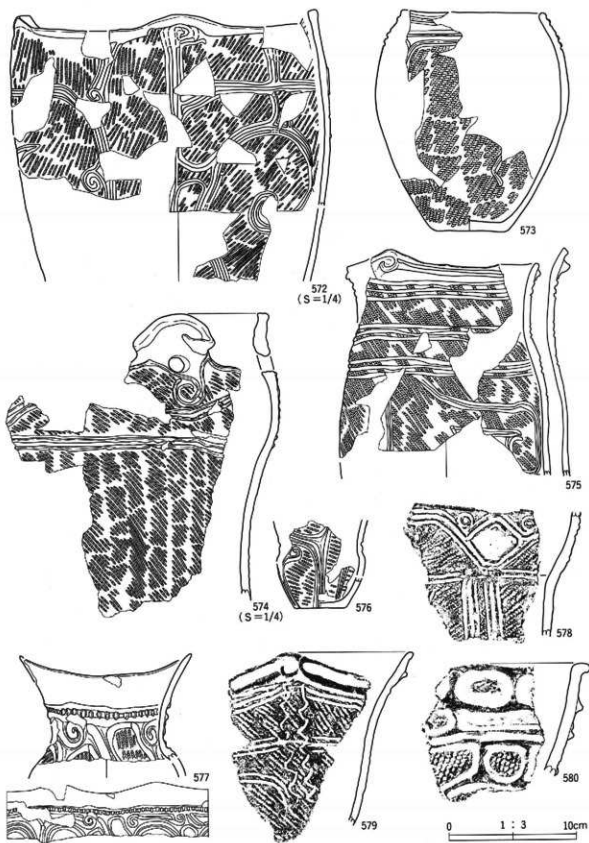
第96図 遺構外出土遺物 (土器⑤)



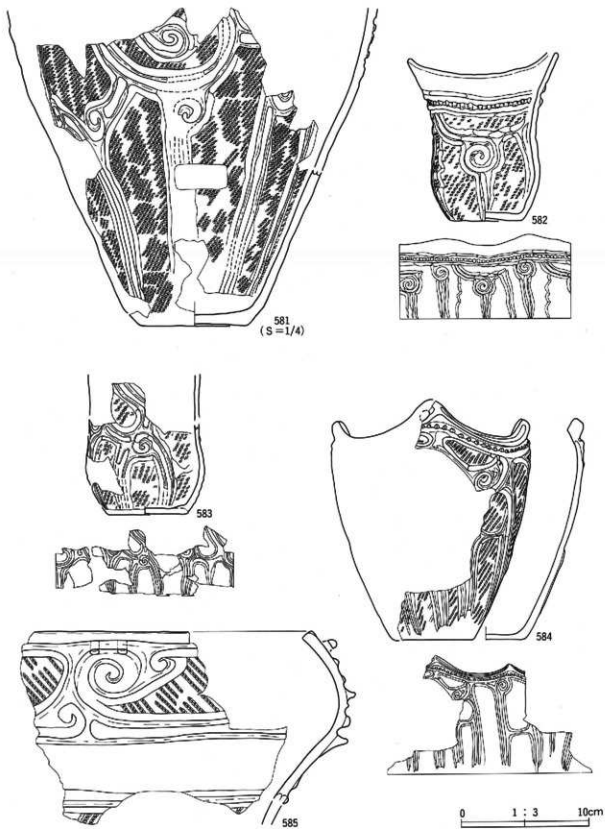
第97図 遠構外出土遺物 (土器⑥)



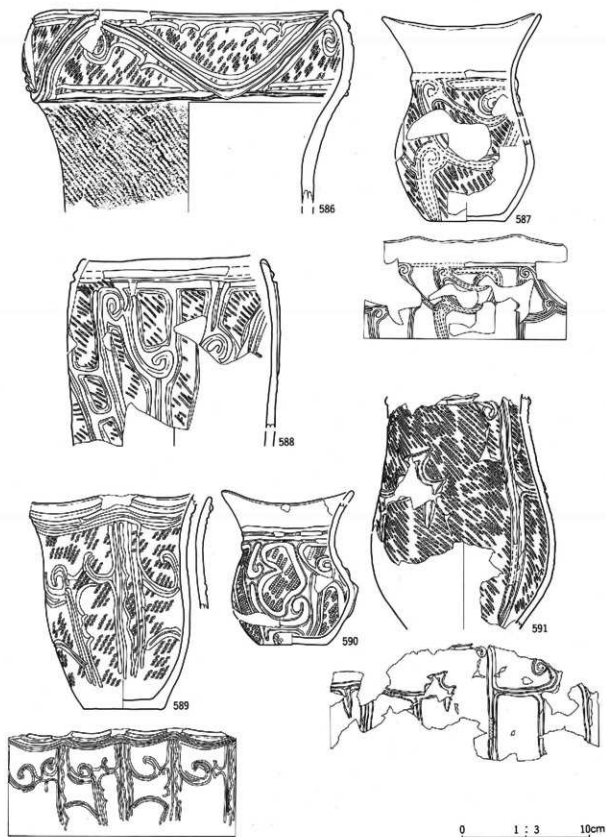
第98図 遺構外出土遺物（土器⑦）



第99圖 遠構外出土遺物 (土器⑧)



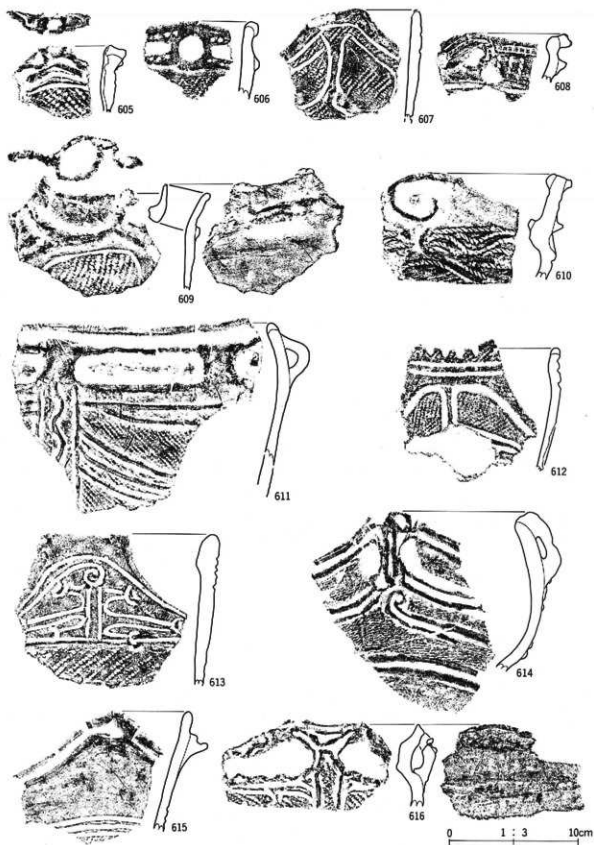
第100図 遺構外出土遺物（土器⑨）



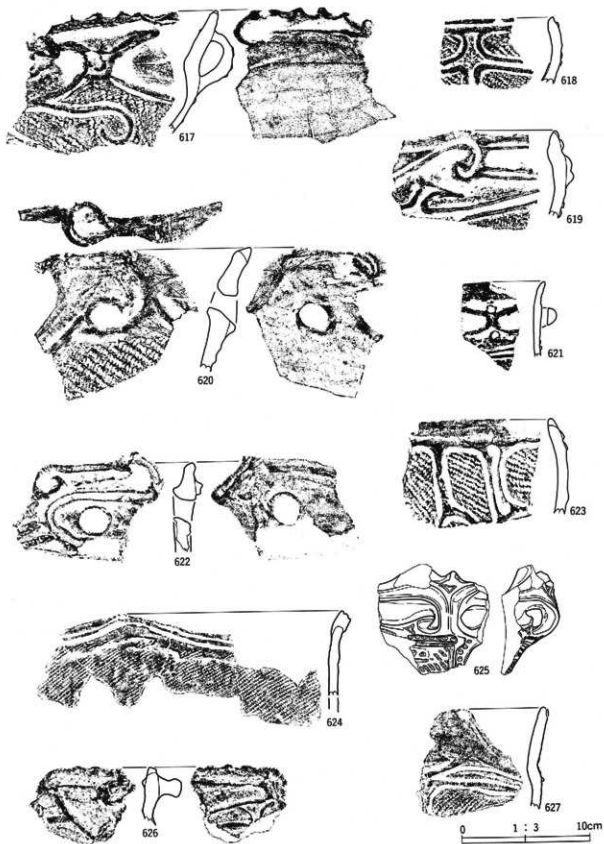
第101圖 遺構外出土遺物 (土器③)



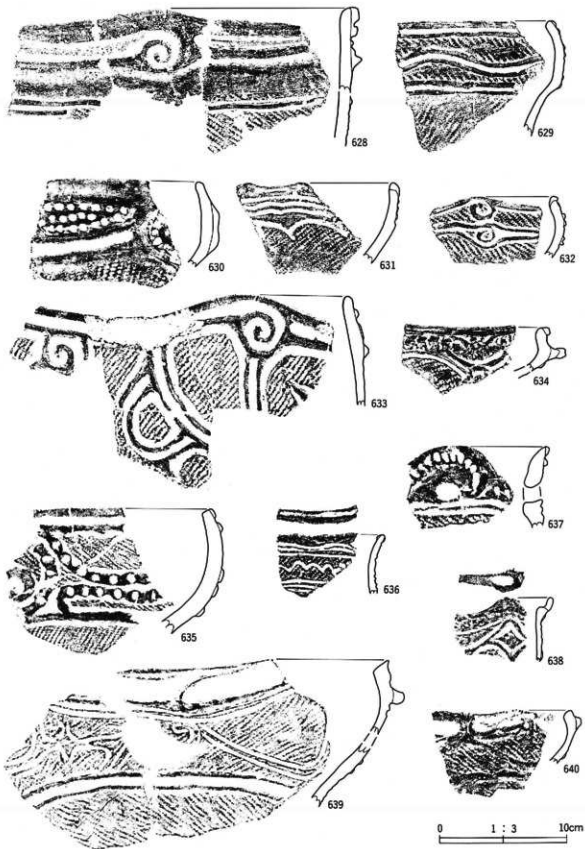
第102図 遺構外出土遺物（土器Ⅱ）



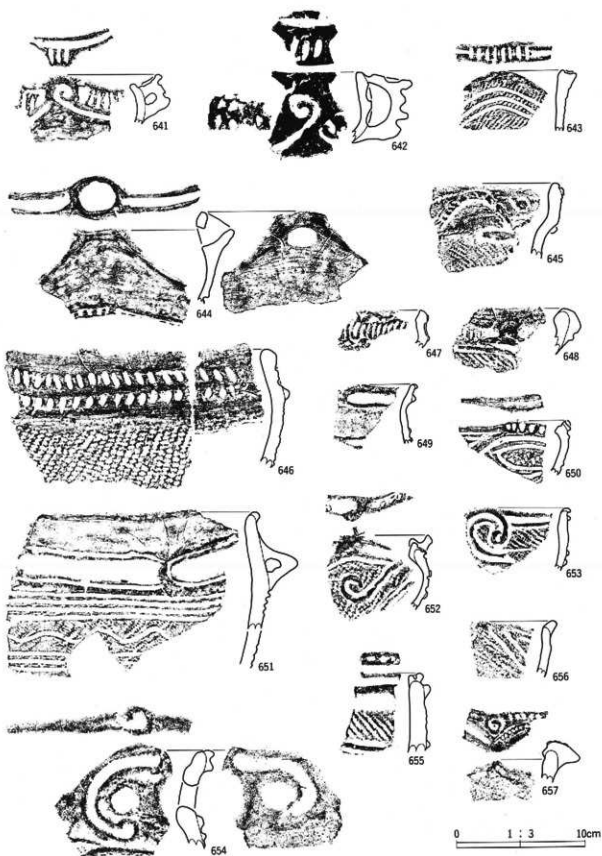
第103圖 遺構外出土遺物（土器③）



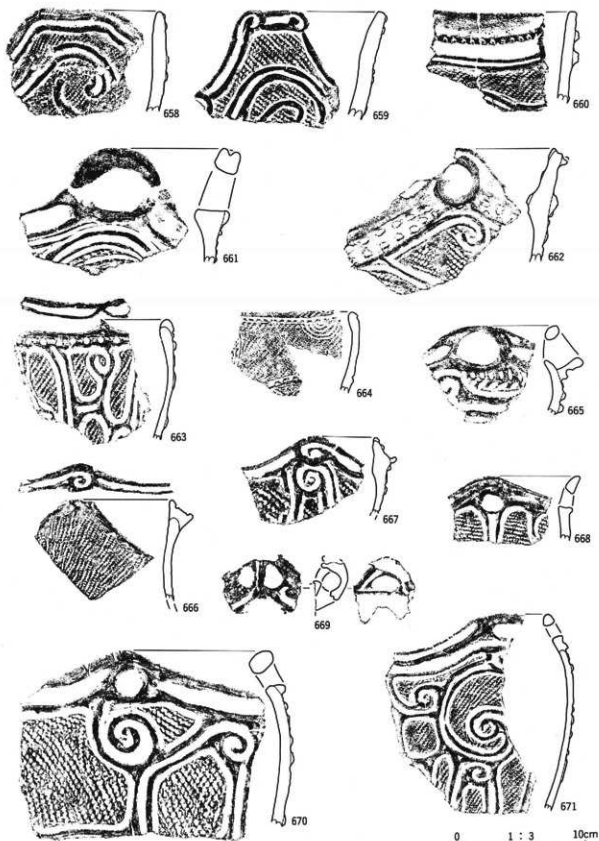
第104図 遺構外出土遺物（土器⑬）



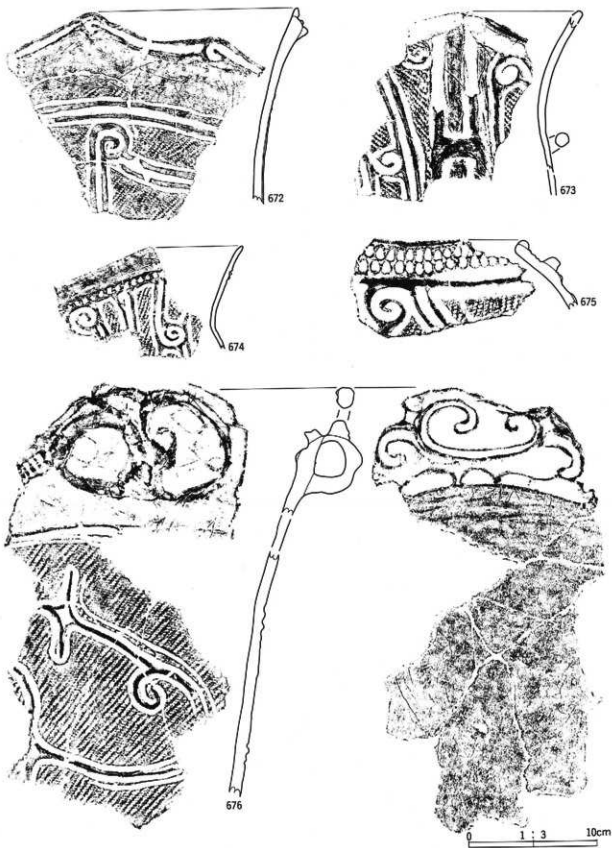
第105図 遺構外出土遺物(土器④)



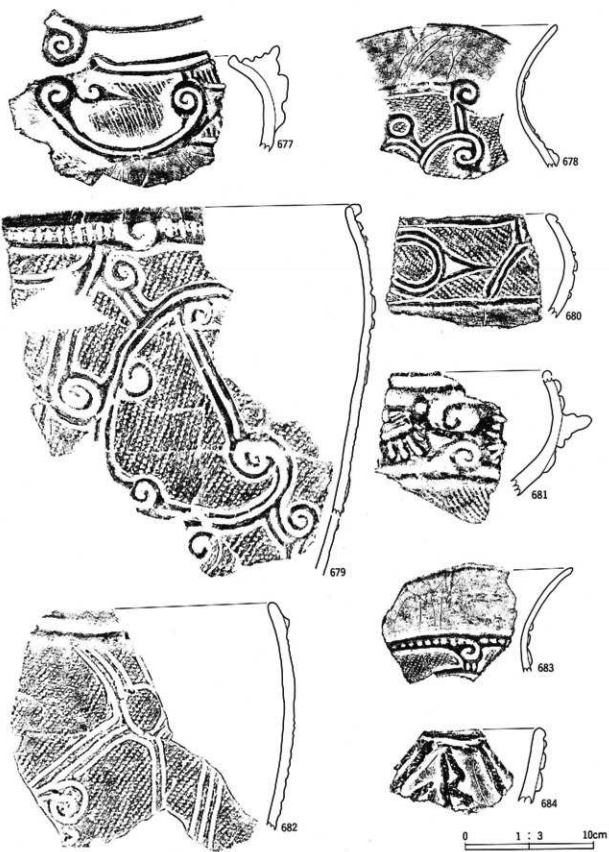
第106図 遺構外出土遺物（土器⑬）



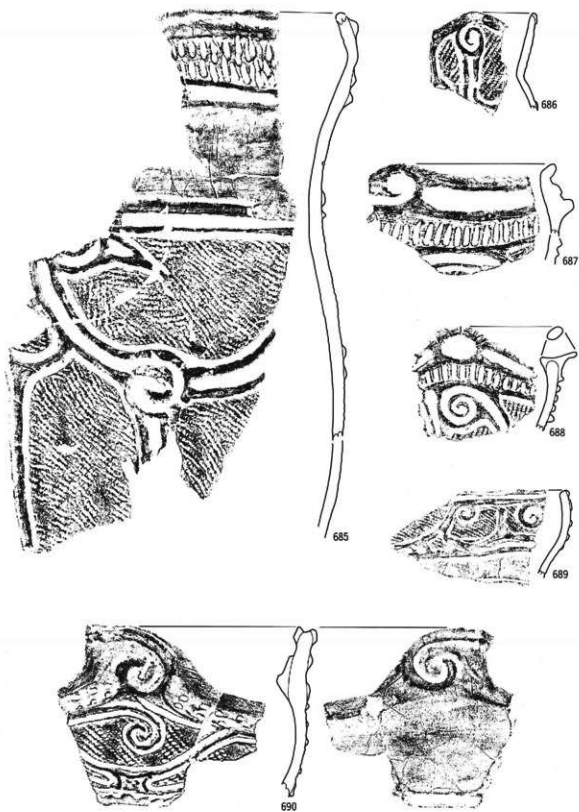
第107図 遺構外出土遺物(土器⑯)



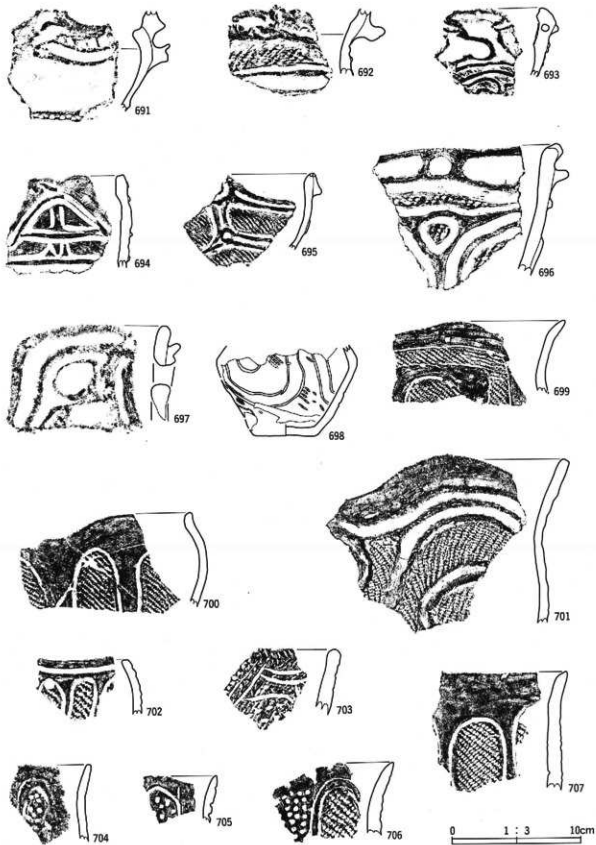
第108圖 遺構外出土遺物（土器①）



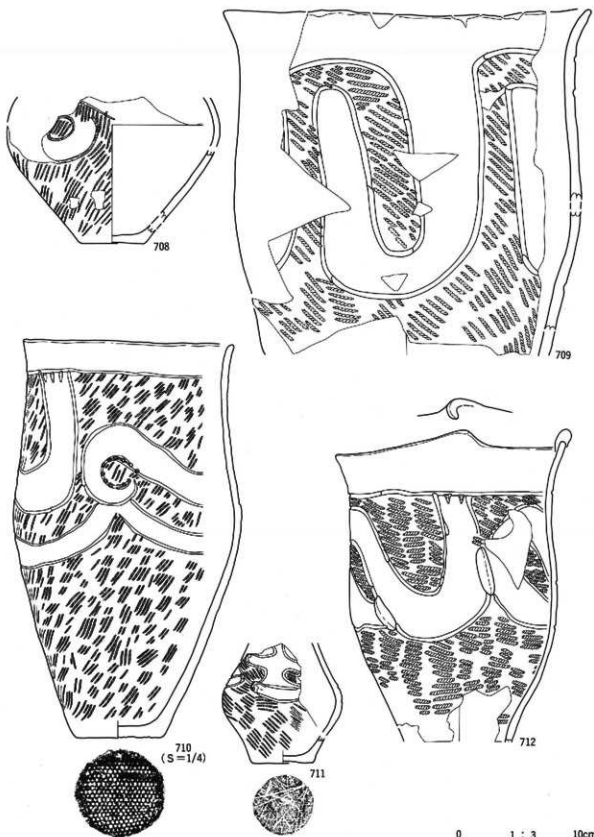
第109図 遺構外出土遺物（土器⑱）



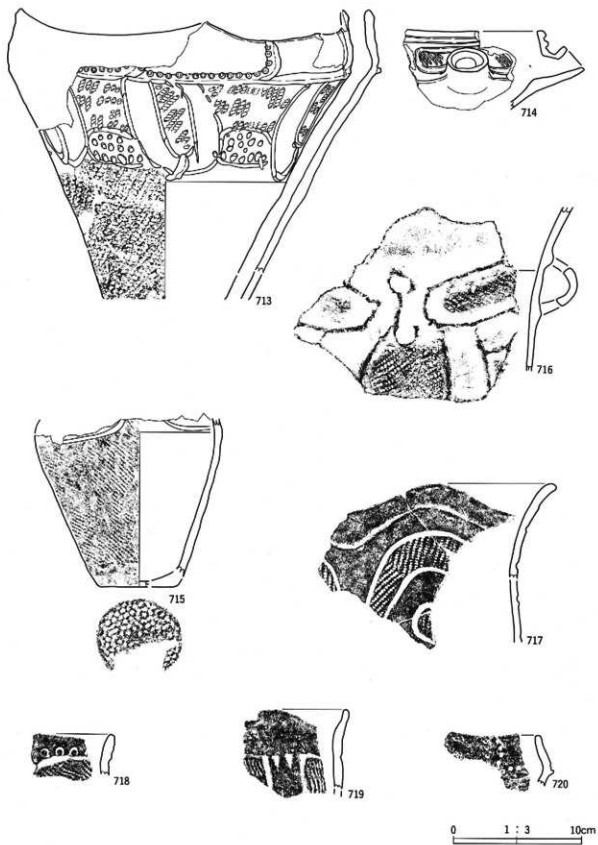
第110圖 遺構外出土遺物（土器⑨）



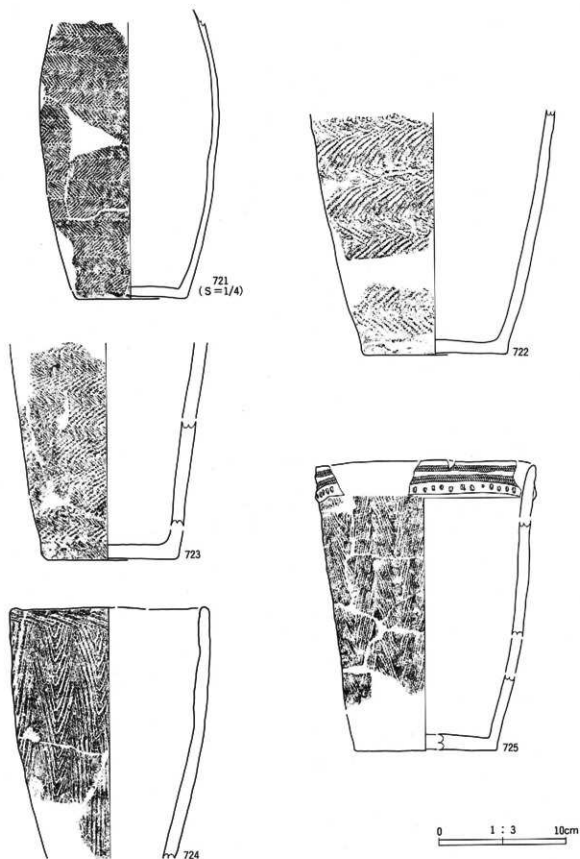
第111图 遗構外出土遺物(土器等)



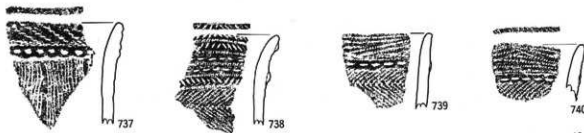
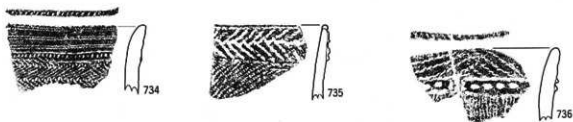
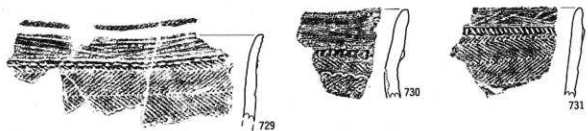
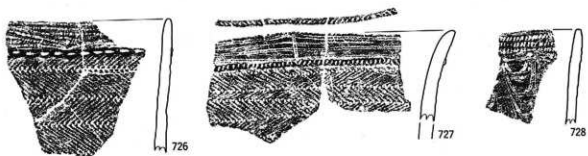
第112図 遺構外出土遺物 (土器②)



第113図 遺構外出土遺物 (土器②)

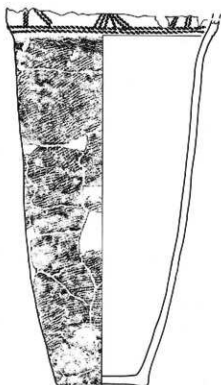


第114図 遺構外出土遺物 (土器②)

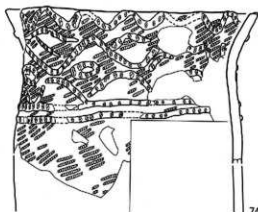


0 1 : 3 10cm

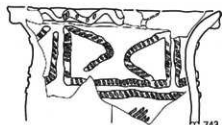
第115図 遺構外出土遺物(土器②)



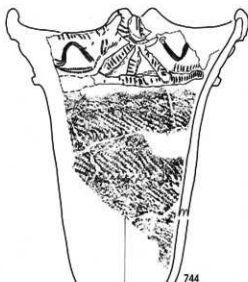
741
(S=1/5)



742



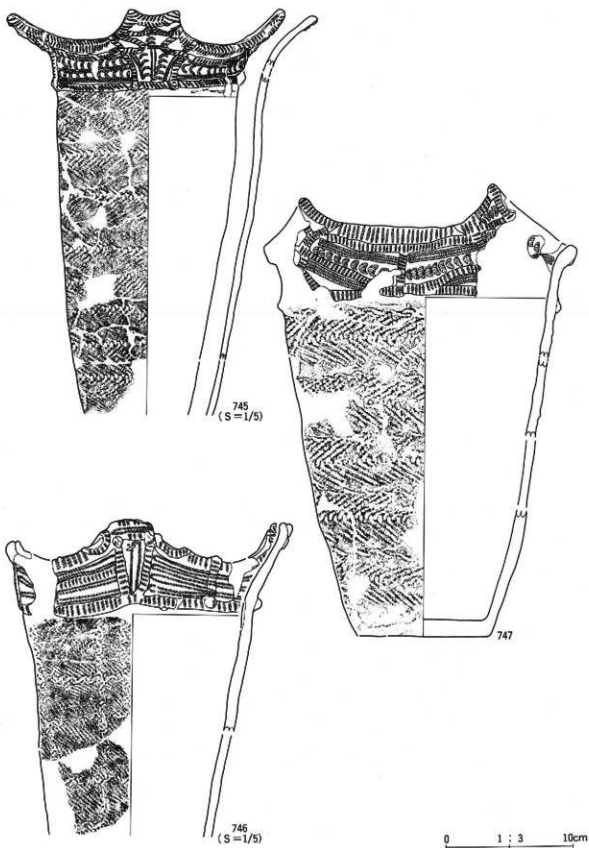
743



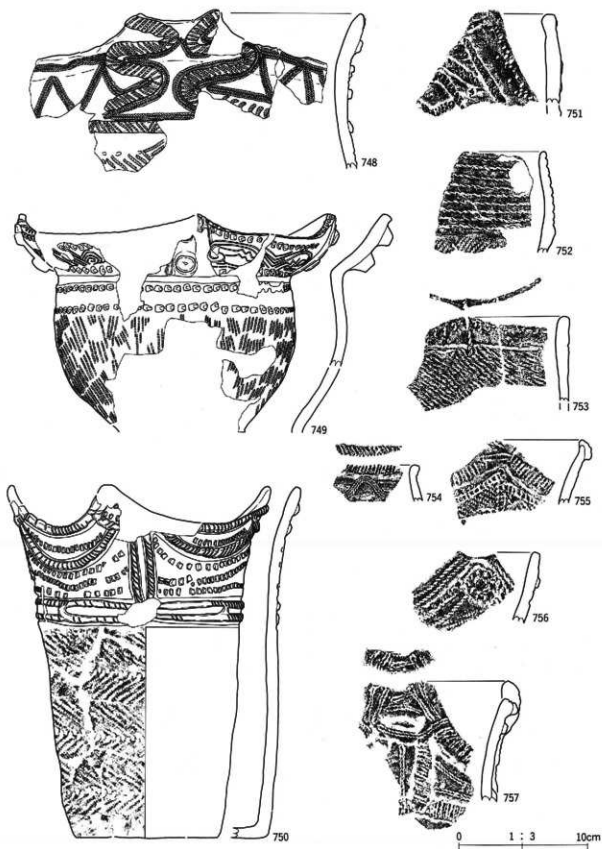
744

0 1 : 3 10cm

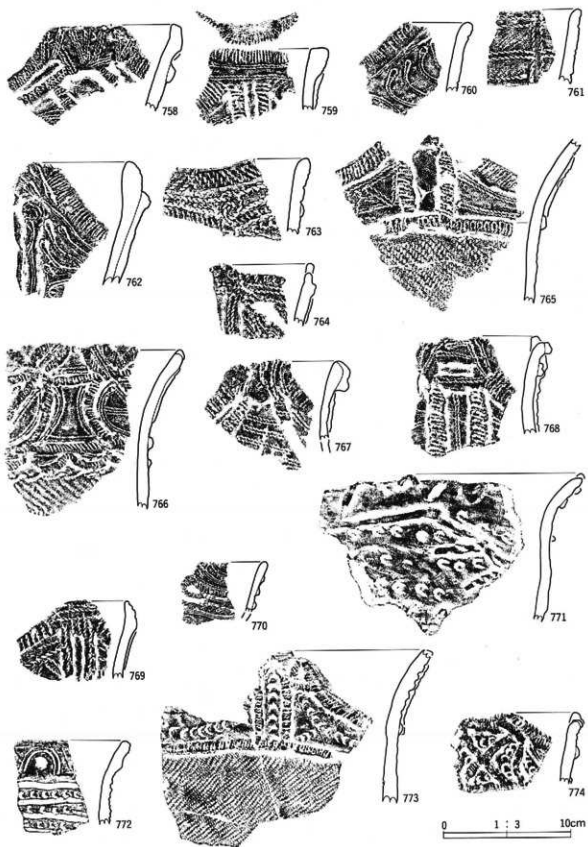
第116図 遺構外出土遺物（土器②）



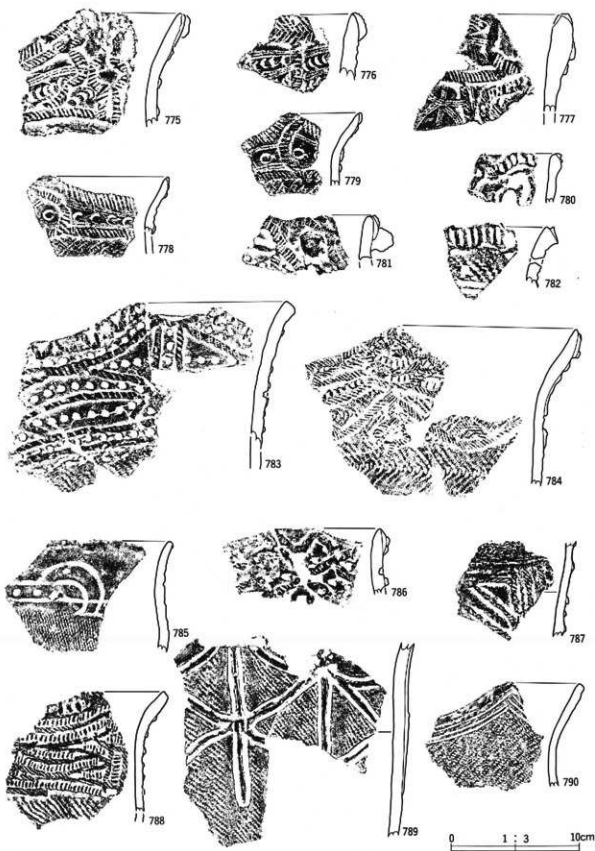
第117図 遺構外出土遺物（土器②）



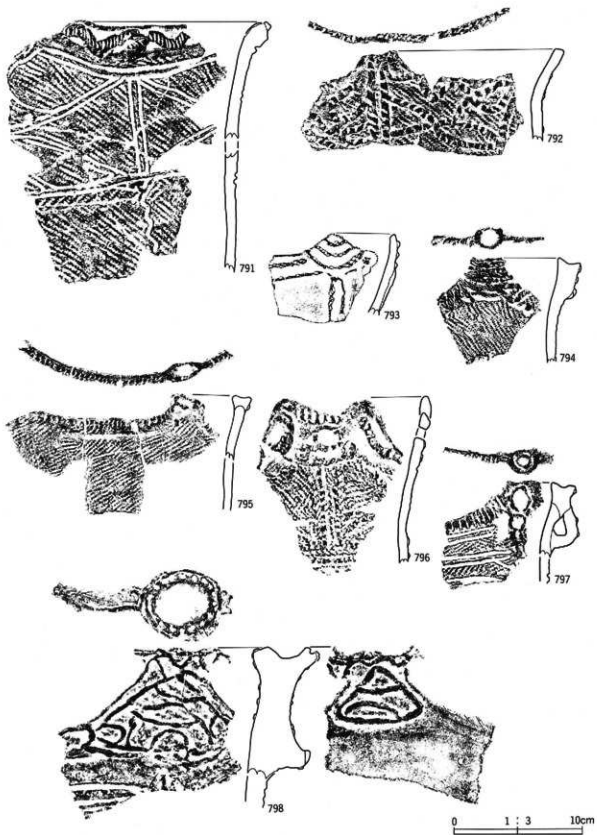
第118図 遺構外出土遺物（土器②）



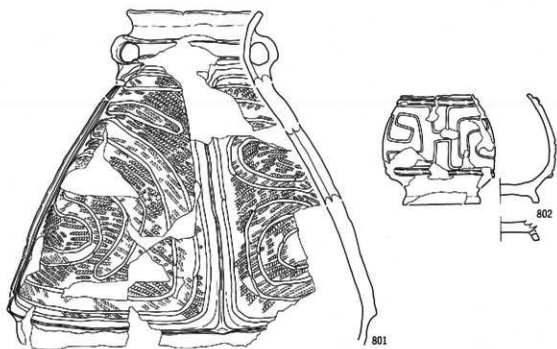
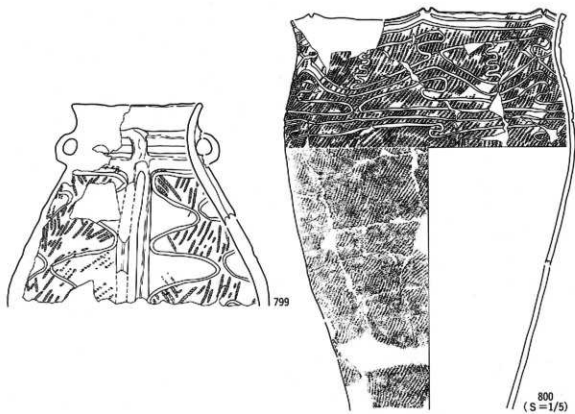
第119圖 遺構外出土遺物(土器②)



第120図 遺構外出土遺物(土器②)

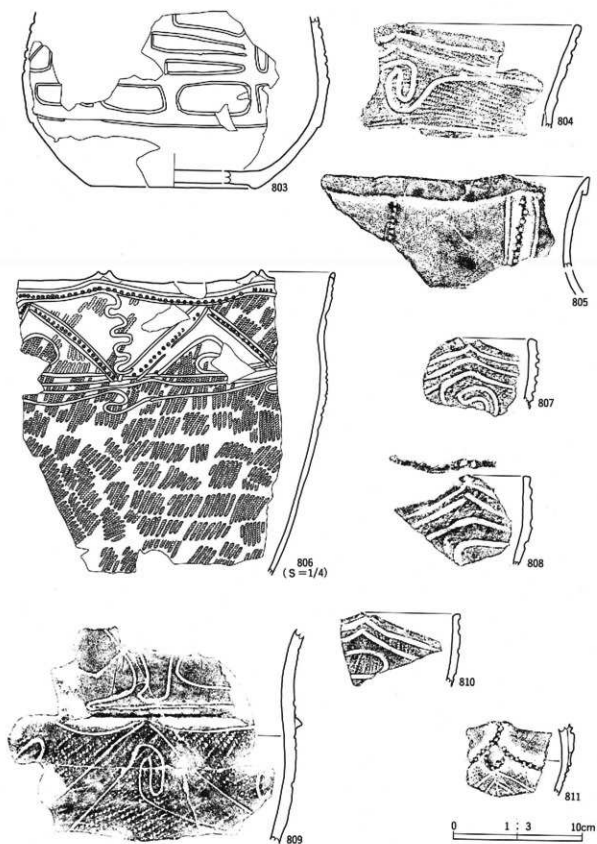


第121図 遺構外出土遺物（土器②）

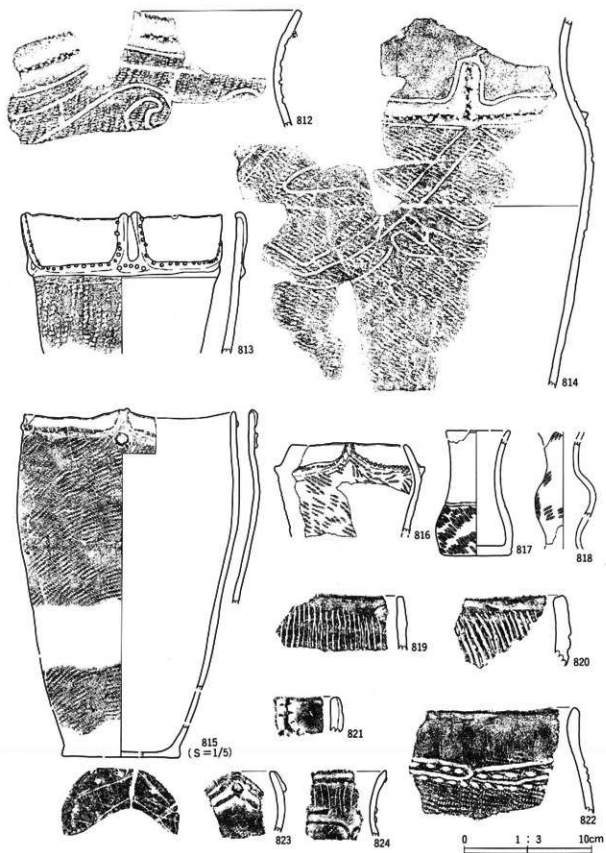


0 1:3 10cm

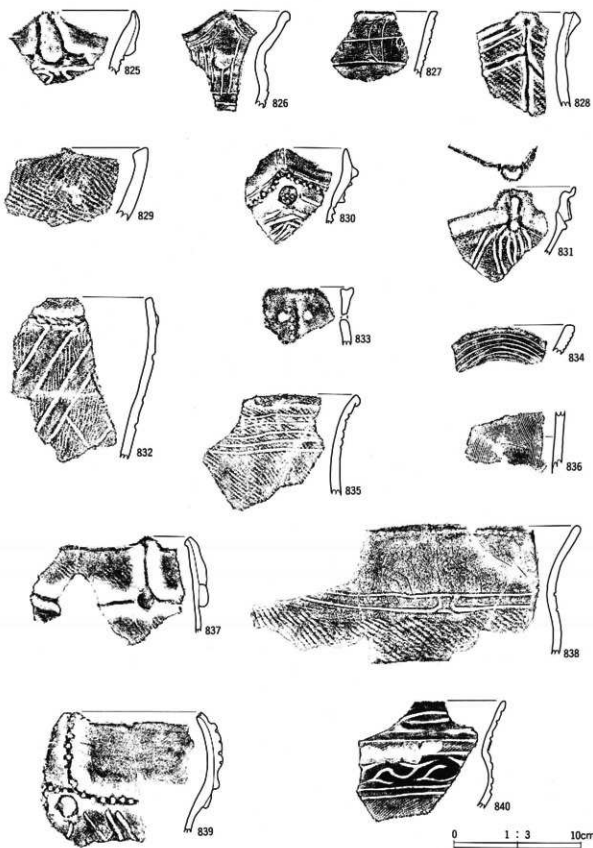
第122図 遺構外出土遺物(土器④)



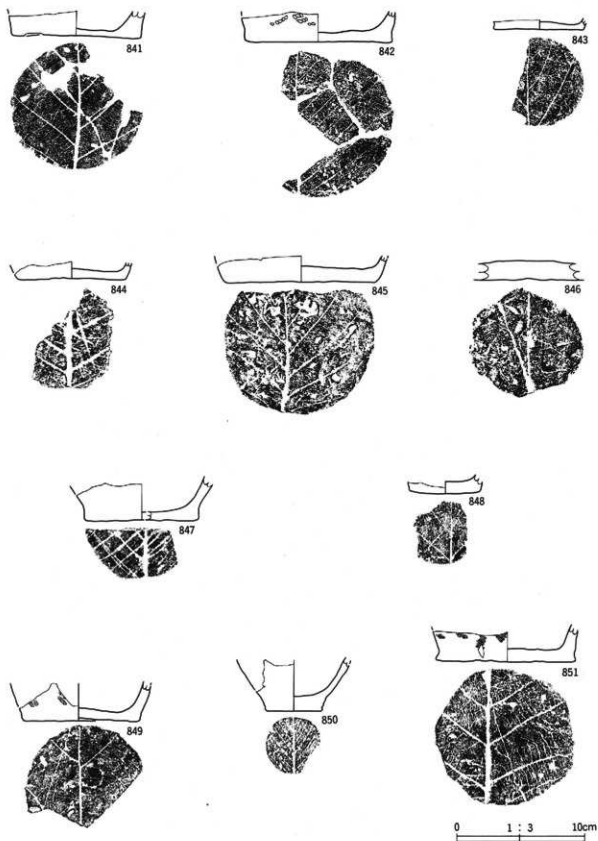
第123圖 遺構外出土遺物（土器）



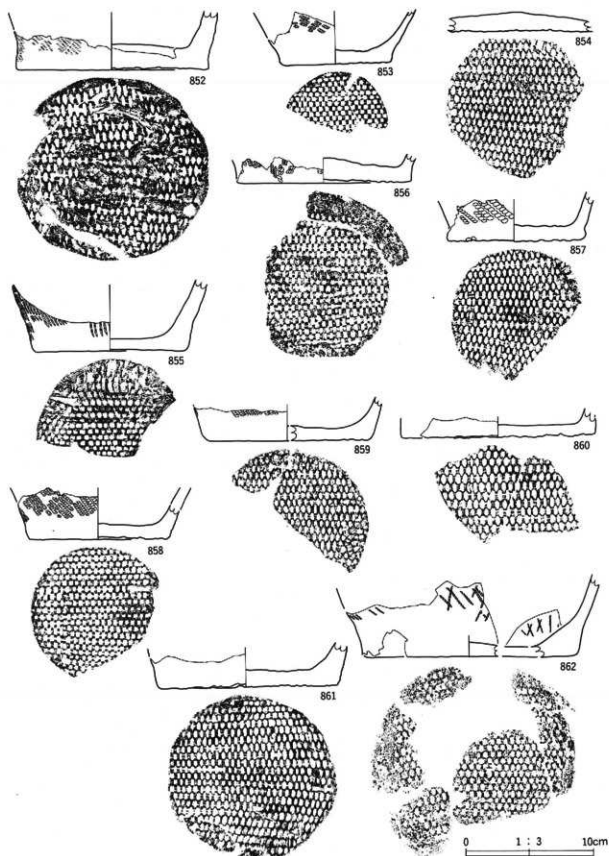
第124図 遺構外出土遺物(土器③)



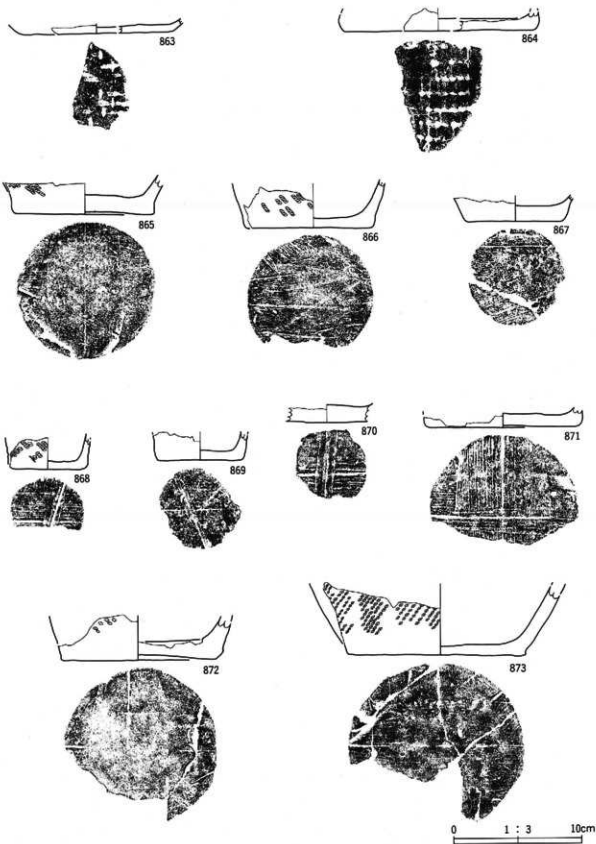
第125図 遺構外出土遺物(土器⑨)



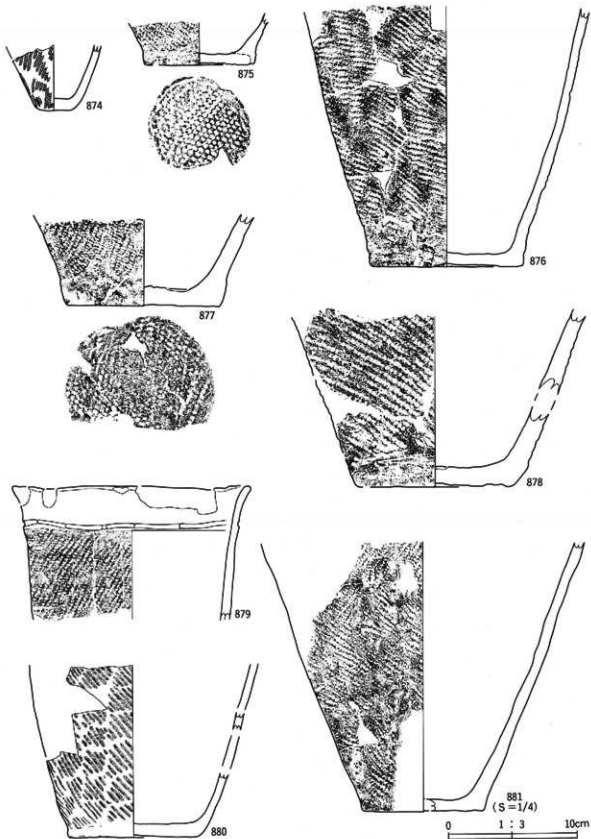
第126図 遺構外出土遺物（土器㊟）



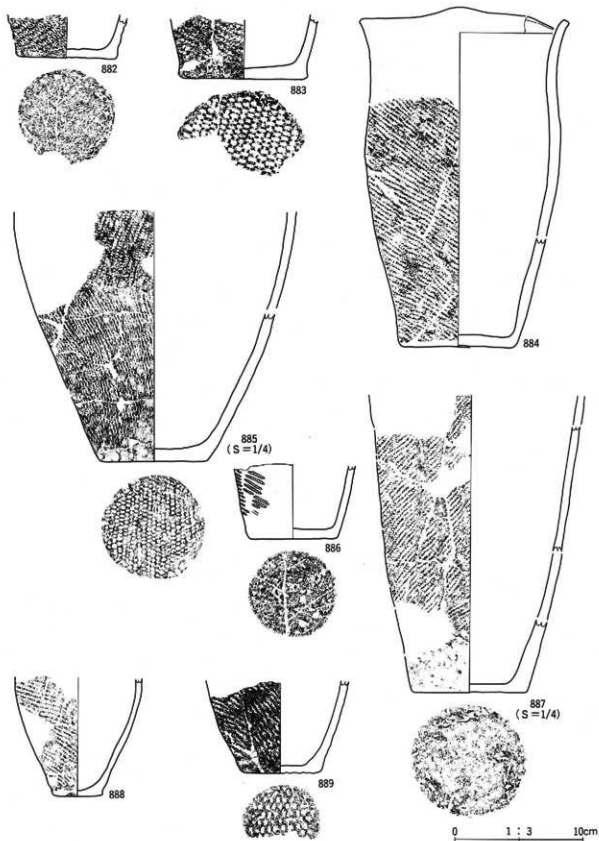
第127図 遺構外出土遺物（土器㊟）



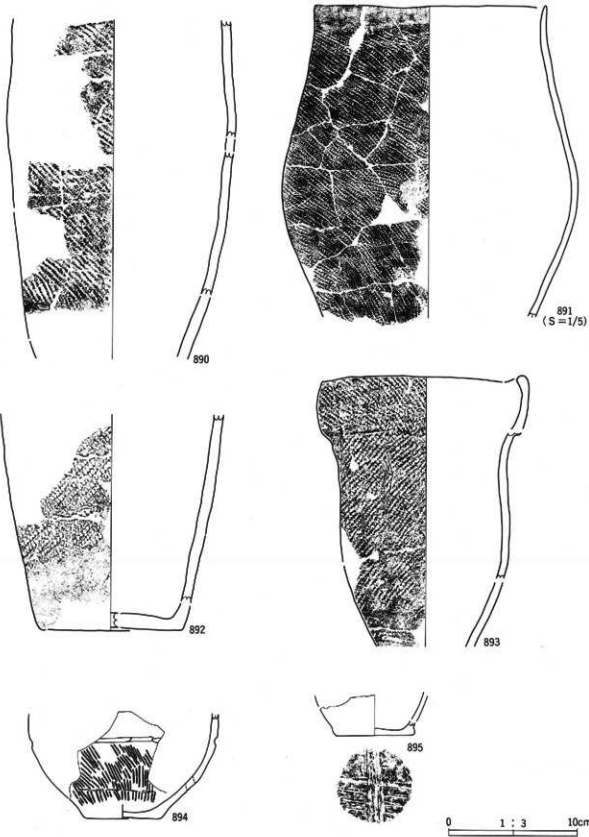
第128図 遺構外出土遺物（土器⑦）



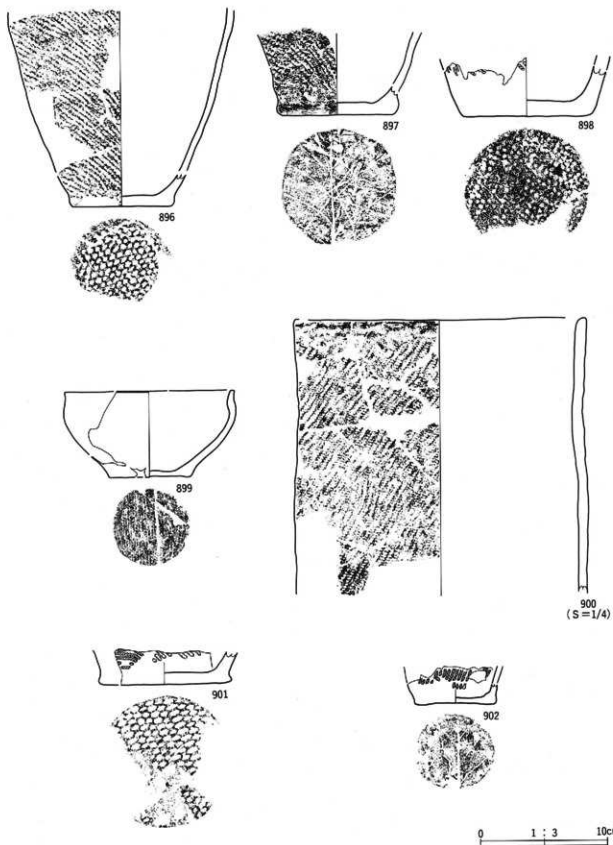
第129図 遺構外出土遺物 (土器⑧)



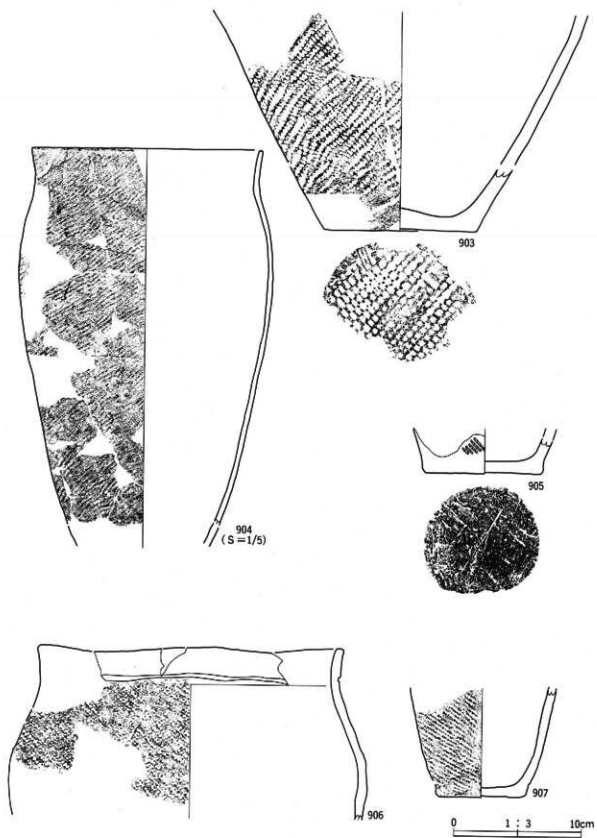
第130図 遺構外出土遺物（土器等）



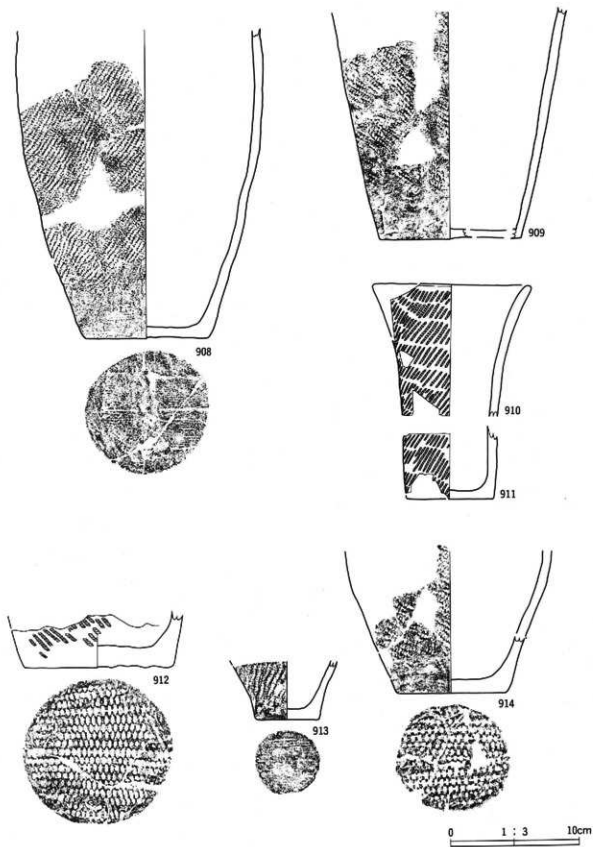
第131圖 遺構外出土遺物（土器④）



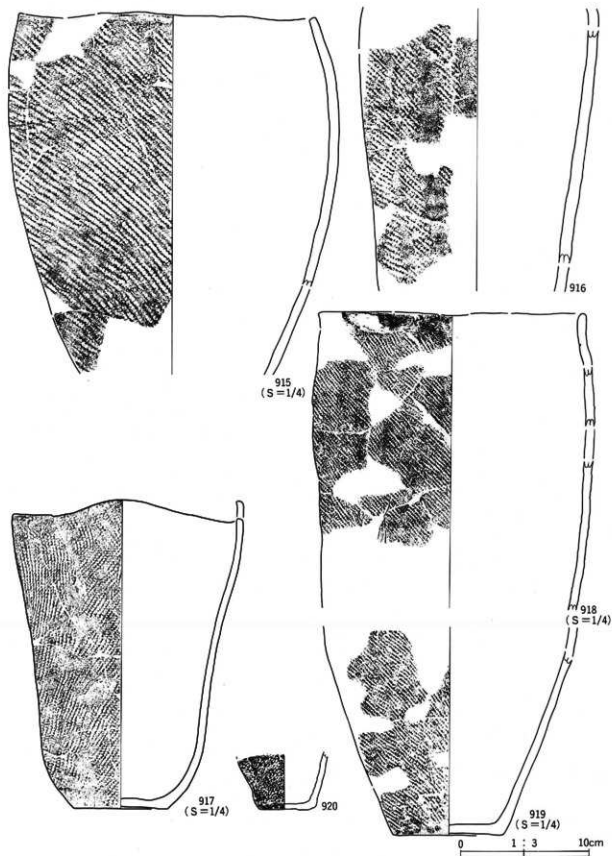
第132図 遺構外出土遺物（土器④）



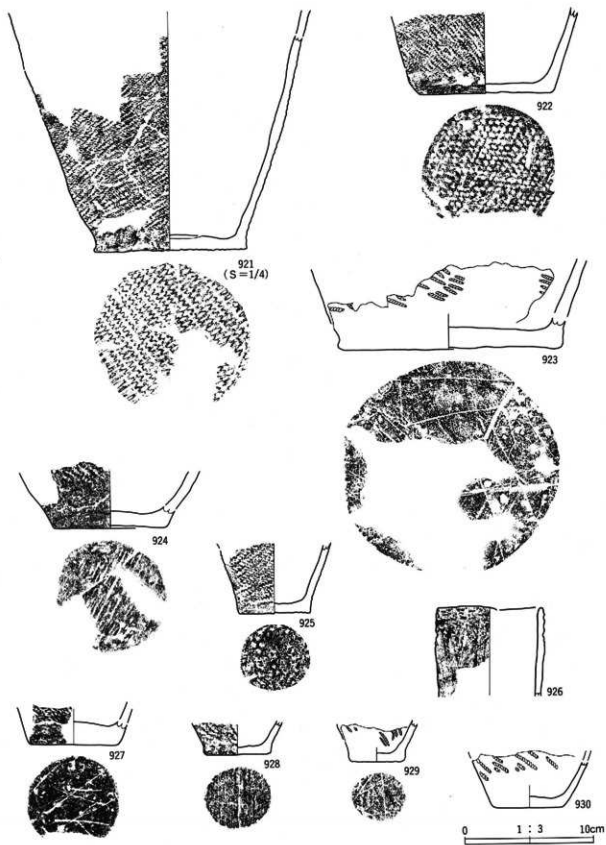
第133圖 遺構外出土遺物 (土器②)



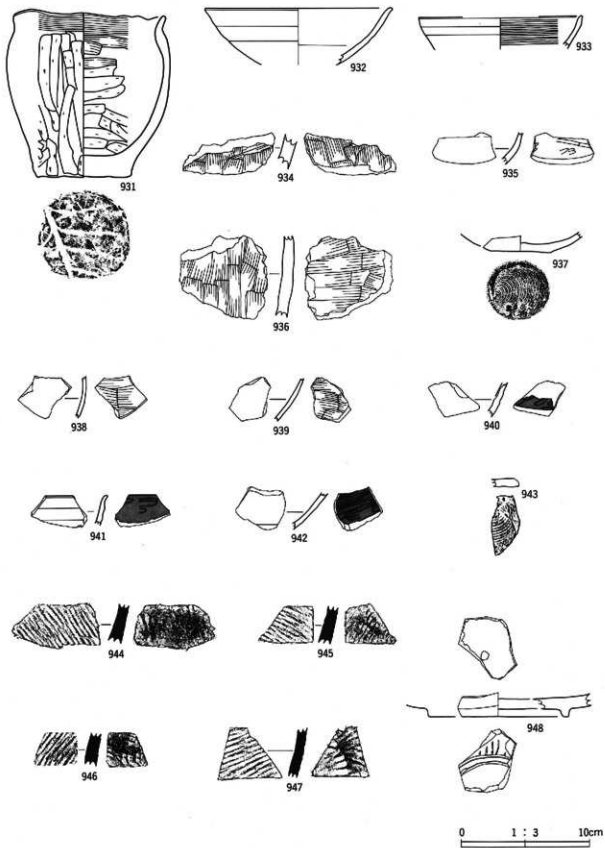
第134図 遺構外出土遺物（土器④）



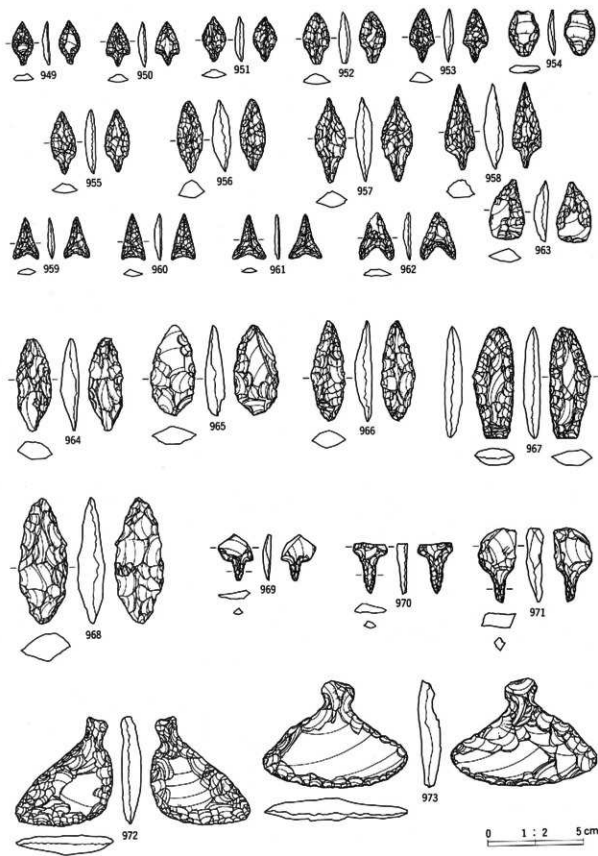
第135図 遺構外出土遺物 (土器④)



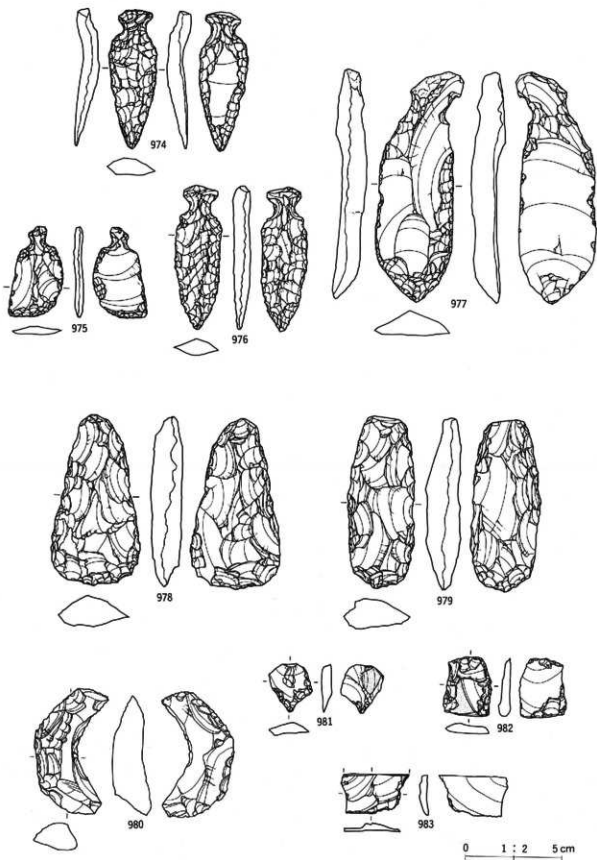
第136図 遺構外出土遺物(土器④)



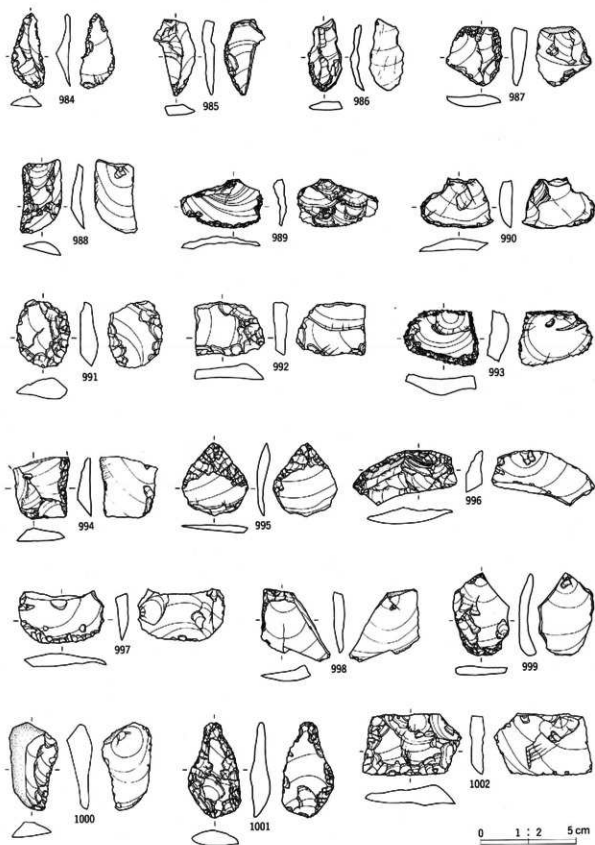
第137図 遺構外出土遺物(土師器, 須恵器, 陶器)



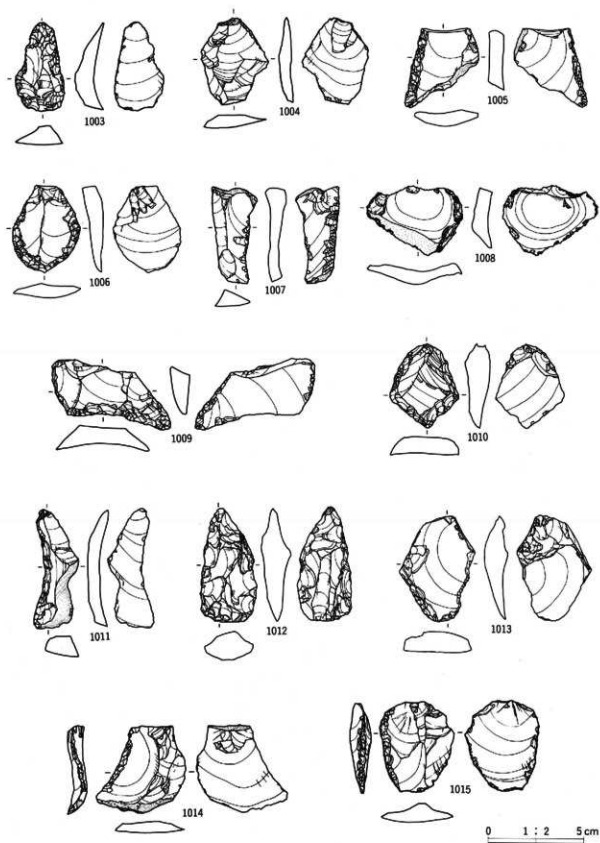
第138圖 遺構外出土遺物（石鏃，尖頭器，石鏃，石匙①）



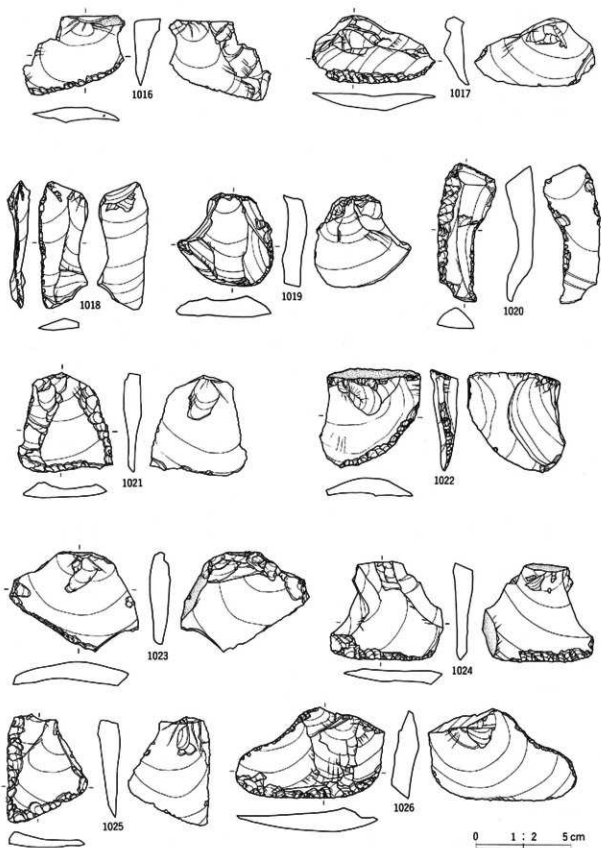
第139圖 遺構外出土遺物（石匙②，石瓦，異形石器，剛・搔器①）



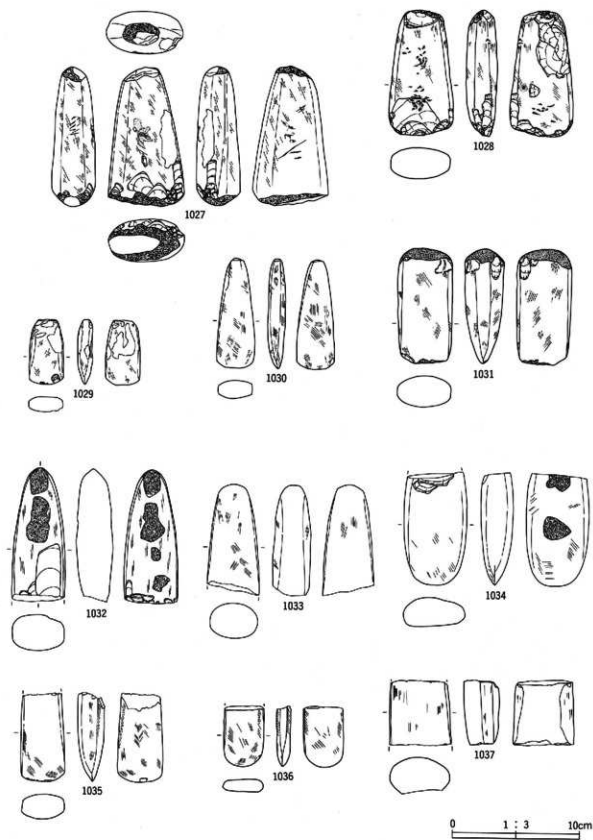
第140圖 遺構外出土遺物 (削・搔器②)



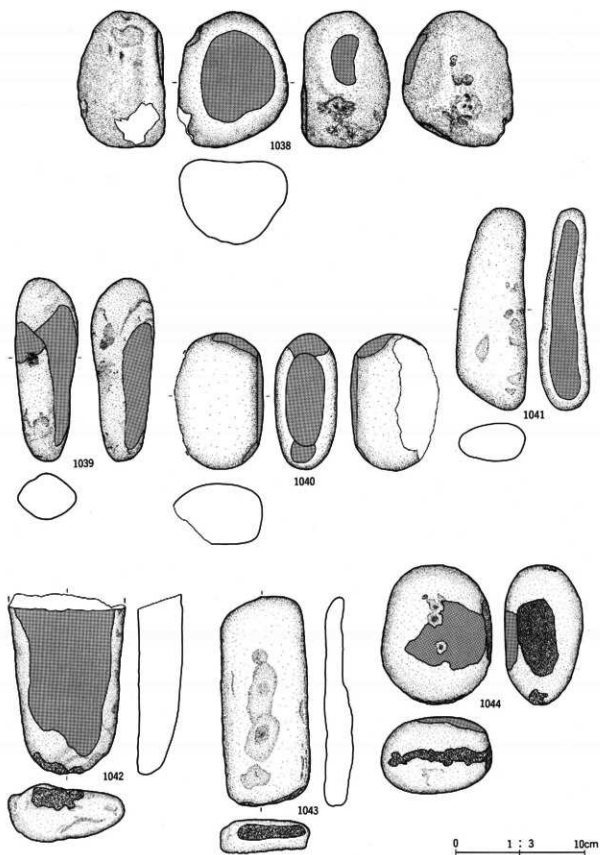
第141圖 遺構外出土遺物 (削・搔器③)



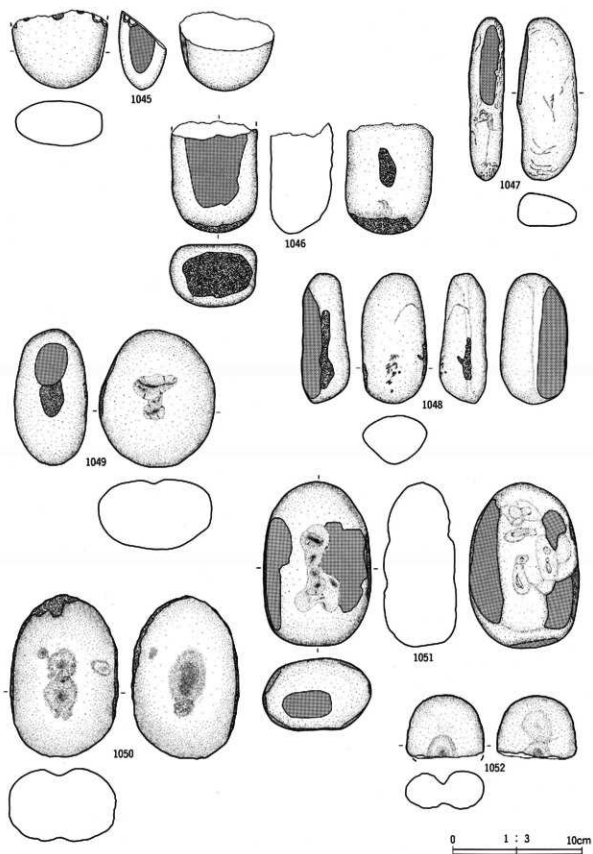
第142図 遺構外出土遺物 (剛・振器④)



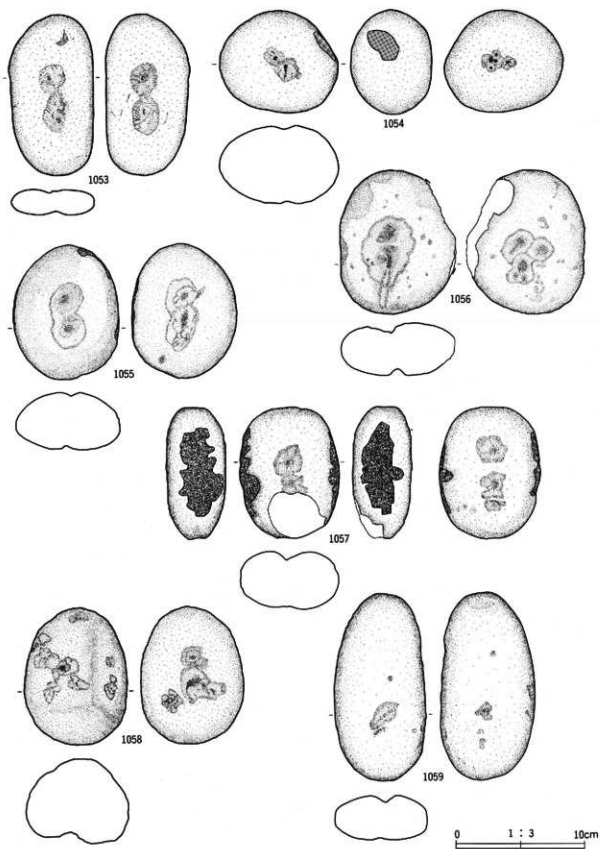
第143图 遺構外出土遺物 (磨製石斧)



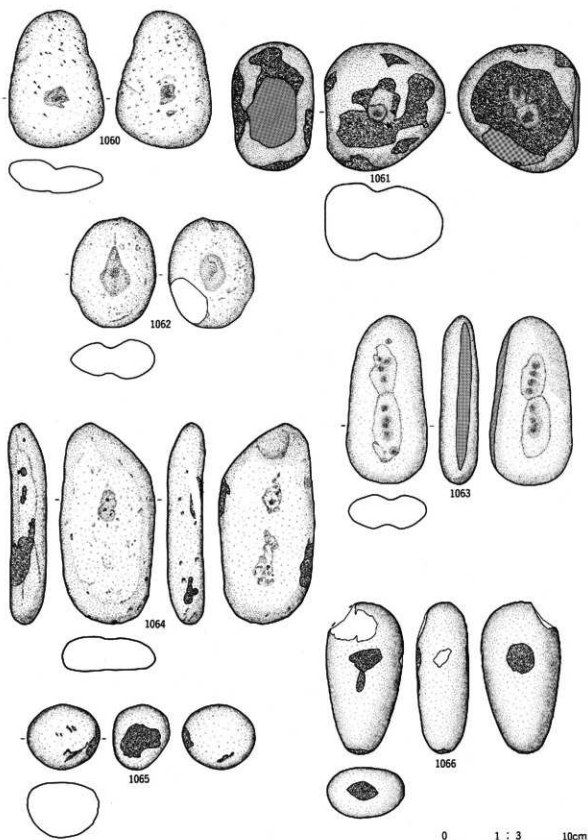
第144図 遺構外出土遺物（磨石①）



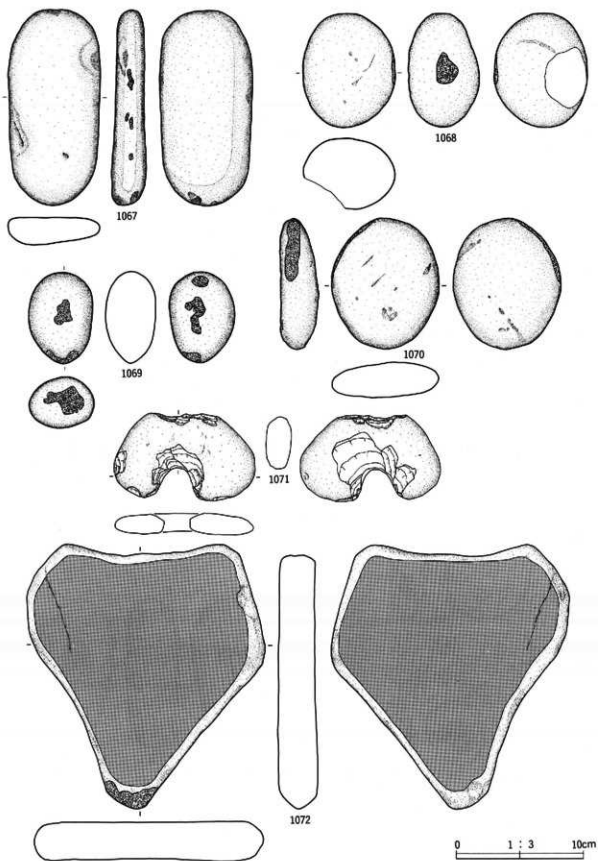
第145図 遺構外出土遺物（磨石②，凹石①）



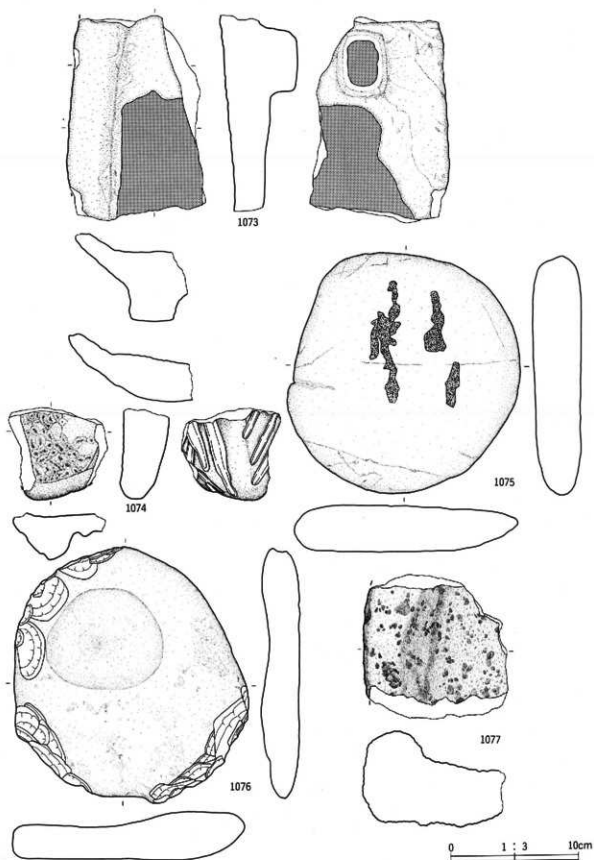
第146図 遺構外出土遺物 (凹石②)



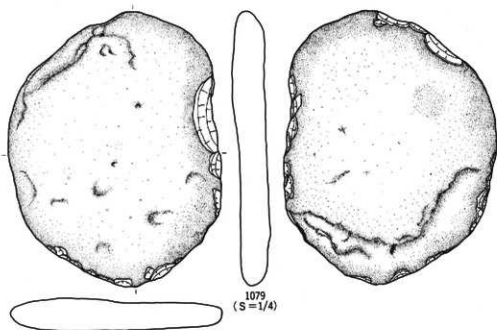
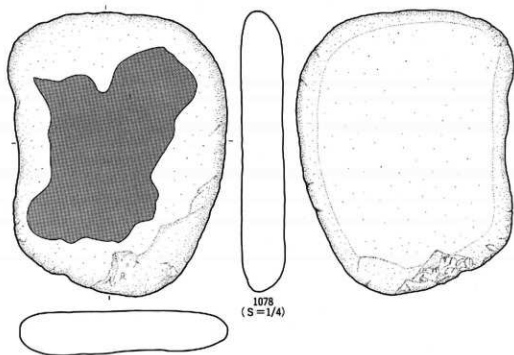
第147図 遠構外出土遺物 (凹石③, 敲石①)



第148図 遺構外出土遺物 (敲石②, 石鏢, 石皿①)

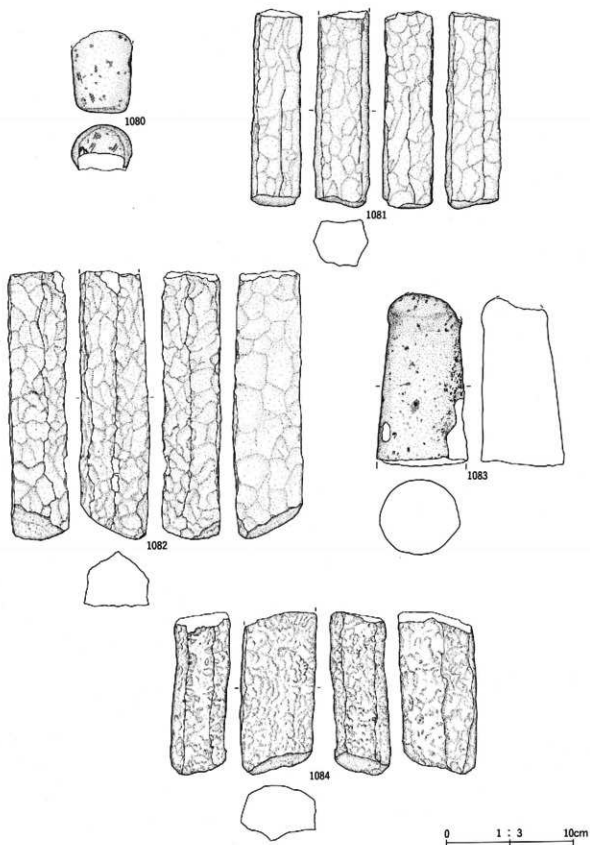


第149図 遺構外出土遺物 (石皿②)

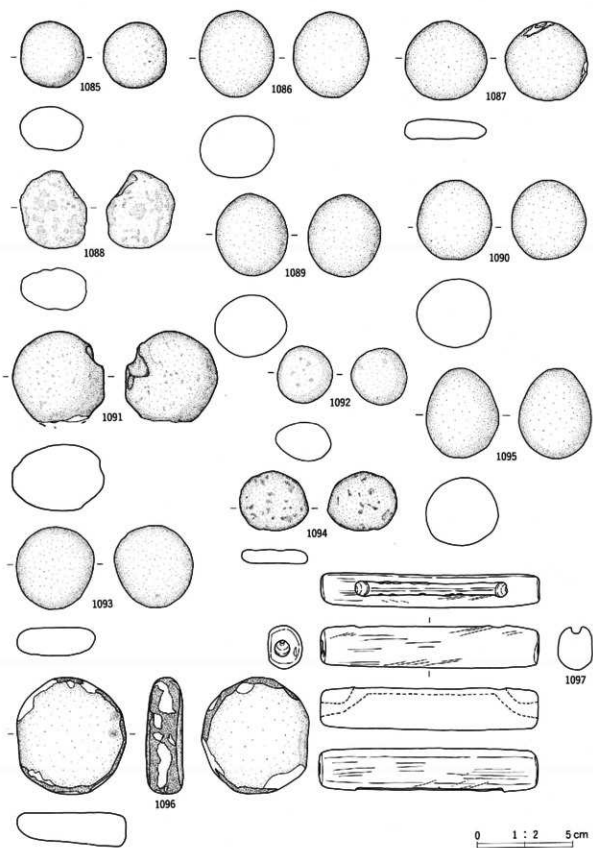


0 1 : 3 10cm

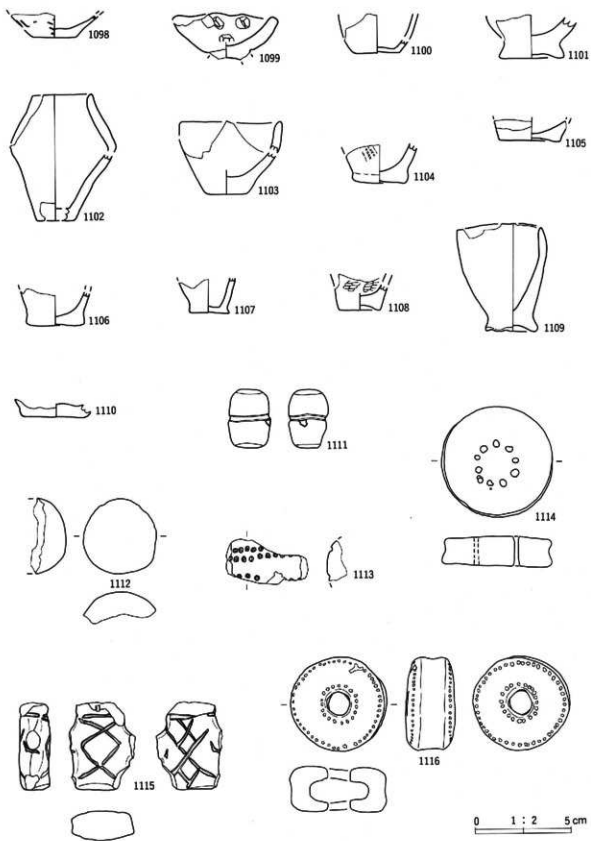
第150図 遺構外出土遺物(石皿③)



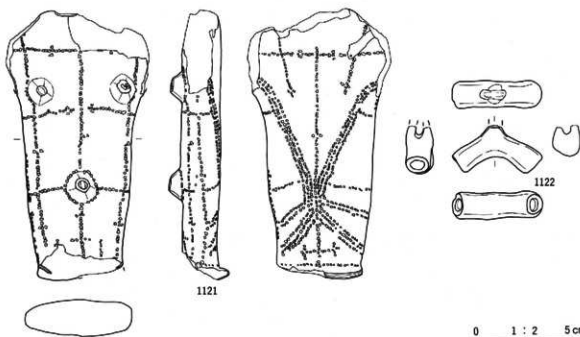
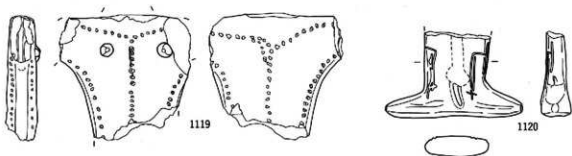
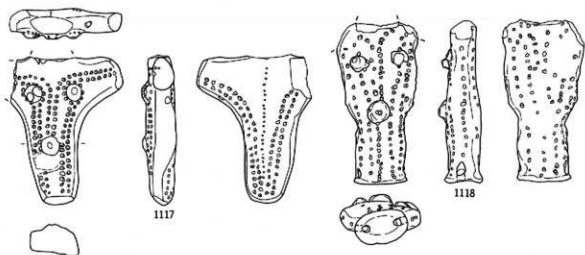
第151図 遠構外出土遺物(石棒)



第152図 遺構外出土遺物（石製品）



第153圖 遺構外出土遺物（土製品①）

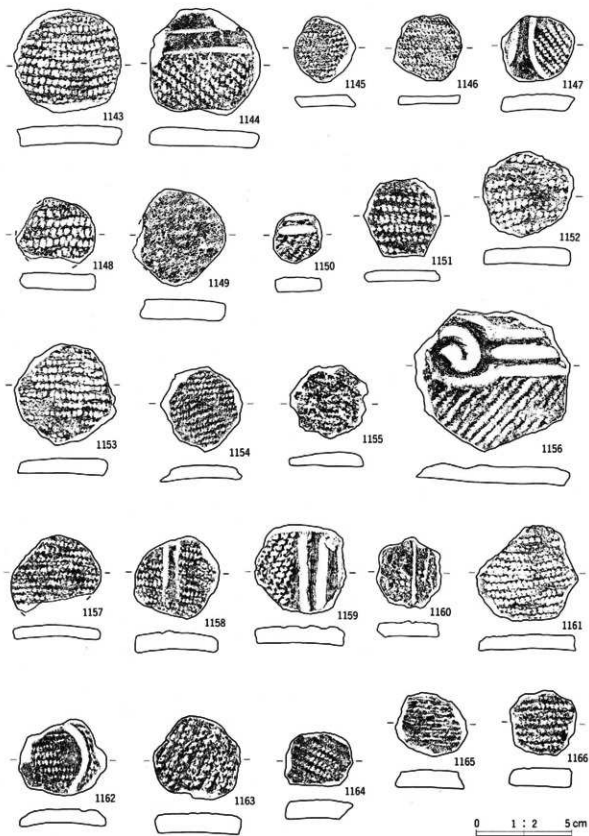


0 1 : 2 5 cm

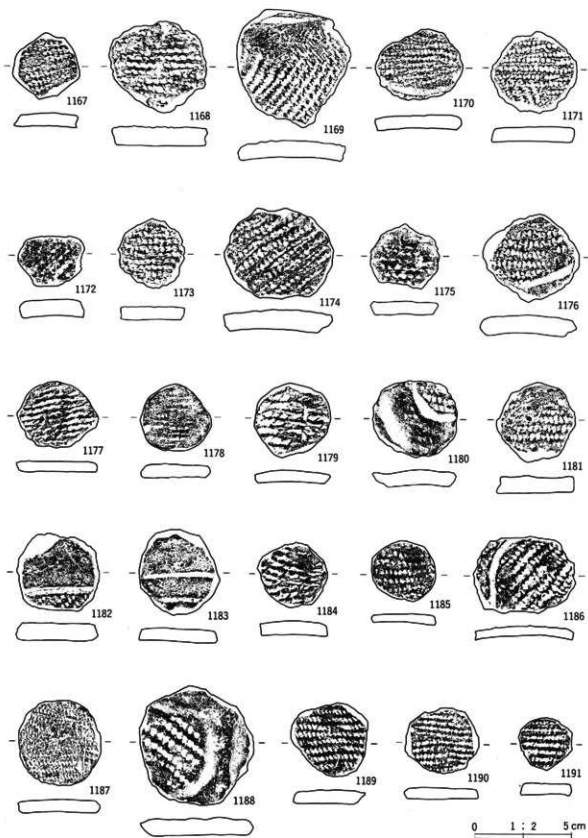
第154図 遺構外出土遺物（土製品②）



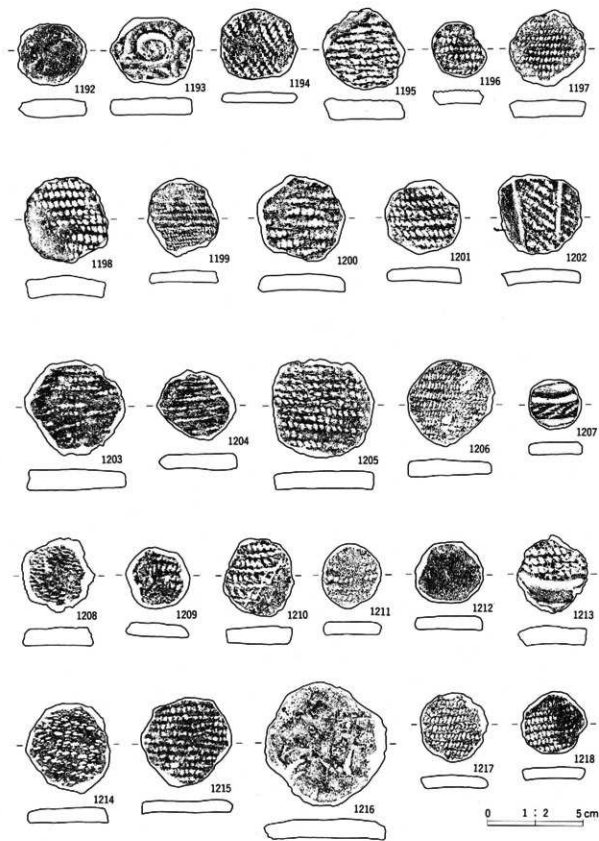
第155図 遺構外出土遺物(土製品③)



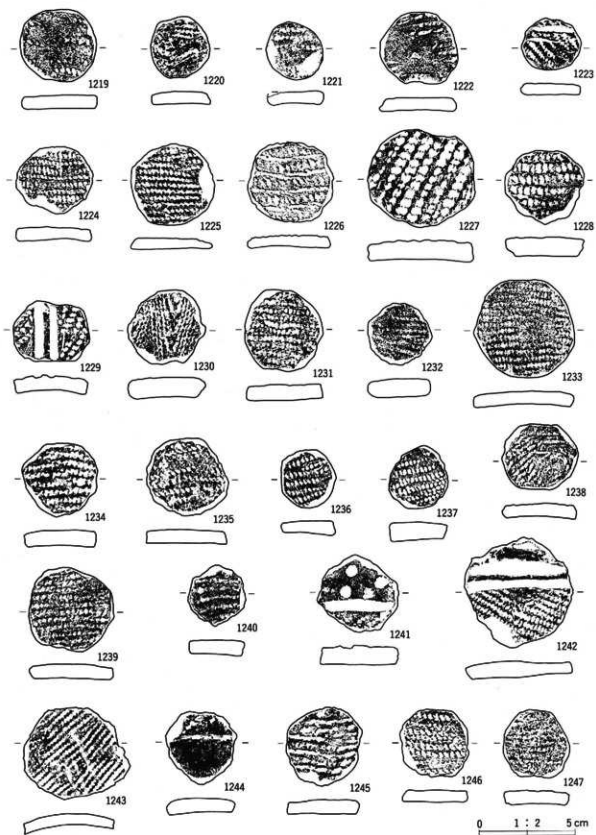
第156圖 遺構外出土遺物（土製品④）



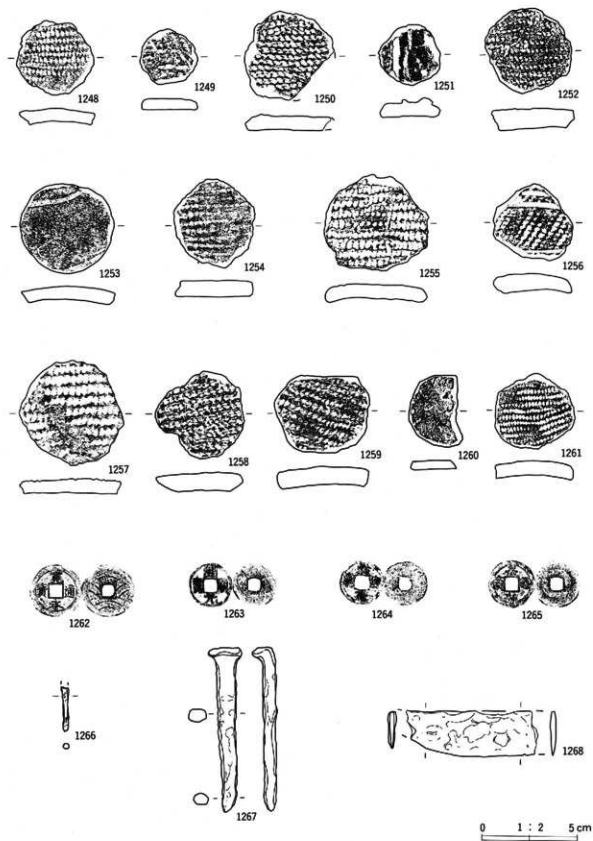
第157図 遺構外出土遺物（土製品⑤）



第158図 遺構外出土遺物（土製品⑥）



第159回 遺構外出土遺物 (土製品⑦)



第160図 遺構外出土遺物 (土製品⑧, 古銭, 鉄製品)

第4表 土器観察表

番号	番号	山・地名	L径mm	H径mm	器高mm	厚さmm	物	備	番号(時期)
	1	KA01 東山下西	220			7	漆鉢、甕形L.L.丸帯+縁、縁縁、扉状底、口縁部突起		大28a
1003	2	RA01 南		(65)		9	深鉢、L.L.縁、扉状底縁、内面ナデ		大47b
1007	3	MA01 北東		(53)		8	深鉢、L.L.縁、縁縁、扉状底縁、内面ナデ		大47b-8a
1008	4	MA01 北東		(42)		7	深鉢、丸形L.L.縁+沈線、口縁部突起、内面ナデ、割製痕あり		大47b
1006	5	MA01 北西		(57)		11	深鉢、L.L.縁、縁+沈線、口縁部突起部分		大28b
1004	6	MA01 北西		(50)		7	深鉢、L.L.縁、縁縁、口唇部突起の羽目、折り返し口縁、内面ナデ		内上c
1005	7	KA01 南西		(37)		5	深鉢、縁縁、扉状底縁		大28a
1001	8	RA01 南西		(138)		10	深鉢、L.L.縁、縁縁、内面ナデ		大28a ~ b
1002	9	RA01 南西		(110)		10	深鉢、L.L.縁、縁縁、扉状底縁		大28a
1009	10	RA01 北東		(47)		5	深鉢、L.L.縁+縁+沈線、口唇部突起、割製、割製?		大47b-8a
1011	11	RA01 ベルト		(55)		11	深鉢、L.L.縁、縁+沈線		大28a
1012	12	MA01 ベルト		(80)		7	深鉢、L.L.縁、縁形L.L.縁、割製、内面ナデ		大10
1013	13	RA01		(81)		7	深鉢、L.L.縁、口縁部突起、沈線、割製、内面ナデ		大47b-8a
1010	14	MA01 ベルト		(60)		8	深鉢、L.L.縁、縁+沈線		大28b
	2	RA02 東山下北	(274)			9	深鉢、L.L.縁、縁+沈線、内面ナデ		大28a
1015	22	RA02 北東		(62)		12	深鉢、縁縁、割製、羽目、内面ナデ		内上b
1017	23	RA02 北東		(43)		3	深鉢、L.L.縁、縁縁、口唇部突起		大28a
1024	24	RA02 北・南東		(190)		8	深鉢、L.L.縁+縁縁、割製		大47-8a
1018	25	RA02 ベルト		(111)		10	深鉢、L.L.縁、縁+沈線、縁縁孔有り、内面ナデ		大28b
1016	26	RA02 南東		(55)		6	深鉢、L.L.縁、縁+沈線		大28a
1019	30	MA03 地上		(51)		9	深鉢、L.L.縁、縁縁、内面ナデ		大28a
	4	KA05 埋土	62	(154)		5	深鉢、L.L.縁、沈線、沈線内入り溝し(?)		
	83	KA05	(84)	80		4	深鉢、L.L.縁、口縁部突起、内面ナデ		小型1番
	33	KA05 北西	(240)	(333)		6	深鉢、L.L.縁、沈線、突起(縁状突起?)有り		大10式(後期?)
	3	RA05 北西 ベルト	(206)	(265)		9	深鉢、L.L.縁、ナデ、内面ナデ		割製
	82	KA05		(160)	(120)	7	深鉢、L.L.縁、縁縁、口唇部突起		割製
1021	36	MA05 埋土		(50)		8	深鉢、L.L.縁+縁縁、割製		大10b-c
1023	37	RA05 ベルト		(61)		12	縁縁、口唇部突起		内上d
1026	38	MA05 米上		(76)		6	深鉢、甕形L.L.縁、扉状底縁、口縁部突起、内面ナデ(ミダキ?)		大47b
1024	39	MA05 北西		(91)		7	深鉢、L.L.縁、縁+沈線、内面ナデ、L.L.縁部中や再加工		大47b-8a
1022	40	MA05 米上		(142)		10	深鉢、L.L.縁+縁縁、縁+沈線		大28a
1020	41	RA05		(90)		6	深鉢、甕形L.L.縁、沈線、割製、口唇部突起、縁縁孔有り		大10
1025	42	RA05 ベルト		(188)		6	深鉢、L.L.縁		割製
	9	KA05 北東		(164)		7	深鉢、丸形L.L.縁、縁縁、扉状底縁、内面ナデ(?)		内上a
	7	KA05 北東	(260)	(149)		10	深鉢、L.L.縁、縁縁、割製、折り付き突起物あり、L.L.縁部外反		内上c
	5	KA05 北東	147	(113)		7	深鉢、L.L.縁、縁縁、内面ナデ、口唇部突起		大28a
	5	KA05 北東	296	(131)		9	深鉢、L.L.縁、縁+沈線、ナデ、口唇部突起(4単位)		大28a
	6	KA06 (P2)		14	(233)	10	深鉢、L.L.縁、内面ナデ(ナズリ?)		内製
	11	KA06 北西	(78)	(68)		7	深鉢、L.L.縁、ナデ?		割製
1027	54	MA06 北西		(137)		10	深鉢、丸形L.L.縁、沈線、扉状底縁、L.L.縁突起、内面ナデ		大47b-8a
1028	56	MA06 (P03)		(58)		9	深鉢、縁縁、割製		後期
1029	86	RA07		(77)		8	深鉢? 縁+沈線、羽目、L.L.縁部(縁状突起)、内面ナデ		大49-10
12	88	RA09 伊	(246)	198	292	5	深鉢、L.L.縁、沈線、内面ナデ、縁縁孔有り(ナズリ?)		内面ナデ
85	89	RA09 伊	(92)	36	196	5	深鉢、L.L.縁、沈線、割製、内面ナデ、縁縁孔有り		大47b
13	79	RA09 北内	(50)	(33)		5	小形深鉢、L.L.縁、縁縁、内面ナデ(ナズリ?)		内製
1030	71	MA09 伊		(96)		7	深鉢、L.L.縁、縁+沈線、内面ナデ、縁縁孔有り		大47b-8a
1031	72	MA09 ベルト		(47)		6	深鉢、甕形L.L.縁、扉状底縁、内面ナデ		大47-8
1033	74	RA09		(36)		5	割製、穴縁部突起		大49-10?
1032	75	RA09 伊		(37)		9	深鉢、L.L.縁、内面ナデ		割製
14	76	RA10 埋土	121	(94)		8	深鉢、L.L.縁、ナデ、縁部突起、縁縁部突起		割製
1042	77	RA10 伊		(90)		8	深鉢、L.L.縁、縁縁、内面ナデ、扉状底縁		大47-8?
1034	78	RA10		(42)		6	深鉢、L.L.縁、縁+沈線、扉状底縁、内面ナデ、口縁部突起		大28a
1041	79	RA10 伊		(49)		16	深鉢、割製、扉状底縁		内上a
1035	80	RA10		(50)		7	深鉢、L.L.縁、扉状底縁、口縁部突起		大27b
1030	81	RA10 埋土中		(42)		6	深鉢、L.L.縁、沈線、内面ナデ		大49
1036	82	RA10 埋土中		(65)		7	深鉢、甕形L.L.縁、縁縁、口唇部突起、内面ナデ、割製痕あり		大47b
1043	83	RA10 東東		(25)		10	深鉢? L.L.縁、縁縁、内面ナデ、折り返し口縁		割製
1037	84	RA10 埋土		(42)		12	深鉢、L.L.縁、縁縁、口縁部突起、内面ナデ		大28a
1038	85	MA10 埋土		(53)		6	L.L.縁部突起、内面ナデ		?
1040	86	RA10 伊		(55)		13	縁+沈線、口唇部突起、縁縁孔有り		? (大48?)
18	95	RA13 伊	112	(120)		10	深鉢? L.L.縁、扉状底縁、内面ナデ		割製
157	96	RA13 伊	122	73	251	8	深鉢、L.L.縁、縁縁、折り返しナズリ		割製
15	97	RA13 伊		(290)		8	深鉢、L.L.縁、縁縁、扉状底縁、割製痕あり		割製
16	98	RA13 伊	100	(256)		5	深鉢、L.L.縁、内面ナデ(ナズリ?)		内製
1045	99	RA13 伊 北中		(37)		6	深鉢、扉状底縁、内面ナデ		大47b
1044	100	RA13 伊		(75)		9	深鉢? 縁縁?		割製
1046	102	RA14 伊		(52)		7	深鉢、L.L.縁、ナデ、内面ナデ		割製
1047	105	RA15 埋土		(71)		6	深鉢、L.L.縁、縁+沈線、内面ナデ		大28a
19	106	RA15 伊	(106)	(238)		7	深鉢、L.L.縁+縁縁、沈線、内面ナデ、下部褐色		大49
96	107	RA15 埋土	82	(87)		8	L.L.縁、内面ナデ(ナズリ?)		割製
1053	108	RA15 ベルト		(70)		12	縁+沈線、内面ナデ?		大47b-8a
1052	109	RA15 北東		(116)		11	深鉢、L.L.縁、縁縁、扉状底縁、割製痕あり		大28b
1051	110	RA15 埋土上		(191)		7	深鉢、L.L.縁、内面ナデ+ナズリ		内製
1054	111	RA15 埋土上		(80)		7	深鉢? L.L.縁、縁縁、扉状底縁		大28a
20	112	RA16 北西	(300)	(326)		11	深鉢、L.L.縁、縁+沈線、割製、4単位、扉状底縁		大28a
23	113	RA20 伊	107	(76)		10	深鉢、木目状、口唇部突起、扉状底縁		割製
1058	114	RA20 北東		(57)		6	深鉢、縁+沈線、口唇部突起、縁縁孔有り		大47b
1036	115	KA20 埋土		(47)		9	深鉢、縁縁、羽目、口唇部突起、縁縁、扉状底縁		大47b
1039	116	RA20 東山下西		(72)		4	深鉢、L.L.縁、縁+沈線、縁縁工具による突起		大28b

産種呼	番号	山名地点	口径mm	底径mm	筒高mm	厚mm	特	備考(時期)
1035	117	RA20 埋土			(67)	7	探針、R.L.線、巻線、内面ナゲ、海面、日影器中外反	大木10
21	118	RA20 砂面側	(296)		(291)	6	探針、黒色土、巻、沈線、ナゲ	堀之内? 「埋内」?
24	121	RA21 砂	(180)	80	276	7	探針、R.L.線、沈線、鋼印状ナゲ(鑄状?)、蓋面網代板	大木10
97	122	RA21 埋土		77	11	58	ナゲ?	掘製
1060	123	RA31 瓦面中～土			(106)	10	探針、巻線、漆体沈線、三日月儀文、刻目、刺突	内上b
1061	124	RA31 瓦面中～土			(68)	6	探針、漆体沈線、三日月儀文、刺突、刺突	内上d
1062	125	RA22 埋土			(51)	7	L.R.線、巻、沈線	大木10
1229	126	RA22 埋土			(50)	8	探針、巻線R.L.線、沈線、刺突部有(鑄状?)	大木10?
1067	130	RA23 中～土			(50)	7	巻、沈線、内面ナゲ、口縁部突起部、蓋面網代板	大木8b
1065	131	RA23 埋土			(80)	10	探針、巻線R.L.線、沈線、口唇部ナゲ	大木9～10
1063	132	RA23 埋土			(61)	10	探針、巻線、口唇部突起、貫通孔有	大木10
1064	133	RA23 埋土			(73)	7	探針、沈線、刺突、やや外反巻線	大木10
1066	134	RA23 埋土	(52)		(22)	5	小型土器底、蓋面木蓋	?
1068	141	RA24 埋土			(27)	6	蓋物、漆体沈線	内上b
1069	142	RA25 砂土(29)			(50)	8	探針、R.L.線、巻線	大木7b
33	143	RA26 埋土		44	(60)	6	小型探針、L.R.線、沈線、ナゲ、内面網代板、蓋面網代板	大木9～10
31	146	RA26 埋土		60	(95)	6	探針? L.R.線、沈線、スリ消し、下縁ミガキ、内面ナゲ	大木9～10
35	147	RA26 埋土		94	(42)	10	探針、巻線R.L.線、巻線、R.L.線、スリ消し	大木10
30	148	RA26 埋土	(130)	46	151	6	探針、L.R.線、沈線、ナゲ、底状口縁、蓋面網代板、小型土器?	大木10
28	149	RA26 埋土	(165)		(149)	6	探針、R.L.線、内面ナゲ(ミガキ?)、口縁部外反	掘製
1073	150	RA26・RA23 埋			(30)	10	蓋物、刺突、漆体沈線、刺突、内面ナゲ	内上b
1072	151	RA26・RA23 埋			(96)	5	探針、R.L.線、巻、沈線、内面ナゲ、蓋面網代板	大木7b
1070	152	RA26 埋土			(80)	7	探針、R.L.線、巻線、底状口縁、外反、内面ナゲ	大木9～10
1240	153	RA26 埋土			(60)	6	探針、L.R.線、巻、沈線、刺突、内面ナゲ	大木10
96	154	RA26 埋土			(291)	9	蓋? R.L.線+巻+筒、巻、沈線、刺突部有	大木10
1074	155	RA26			(160)	4	沈線、無巻L?、沈線、内面ナゲ? 刺突部のみ残	大木10
1075	156	RA26 埋土			(81)	8	無巻L?	掘製
1071	157	RA26 埋土			(208)	9	探針、R.L.線、巻線、内面ナゲ	掘製
1076	171	RA27 埋土			(49)	9	R.L.線、沈線、刺突	大木8b?
1077	172	RA27 埋土			(23)	6	L.R.線? 漆体沈線、刺突部有、内面ナゲ	大木7b
1078	174	RA28 砂埋土			(45)	7	探針、巻、沈線、口唇部突起	大木7a
98	176	RA30 埋土			(114)	7	探針、R.L.線、巻、沈線、内面ナゲ(ミガキ)	大木8b
1079	177	RA30 埋土			(72)	7	探針、巻、沈線、刺突部有による文様	大木8b
1080	178	RA30 埋土			(78)	3	探針、巻線	掘製
100	184	RA31 埋土	173	62	22	5	探針、無巻L?、沈線、刺突、底状口縁	大木10
41	185	RA31 埋土	(100)		(118)	7	探針、R.L.線、巻線、ナゲ	大木10
43	186	RA31 埋土	(190)		(124)	7	探針、R.L.線、巻線、スリ消し、内面ナゲ	大木10
87	187	RA31		41	(42)	5	探針、巻線R.L.線、巻、沈線	小型土器
98	188	RA31		60	(26)	4	探針、巻線R.L.線、巻線、内面ミガキ?	小型土器
42	189	RA31 埋土	(188)		(96)	16	探針、R.L.線、巻線、刺突部有	掘製
38	190	RA31 埋土	(150)		(60)	184	探針、刺突、内面口縁部ナゲ	掘製
1081	191	RA31 埋土	(90)		(150)	12	内面ナゲ、底状口縁ナゲ(ミガキ?)	掘製
1082	192	RA31 埋土			(53)	10	巻、沈線、刺突部突起、刺突	大木7b
1060	193	RA31 埋土			(57)	6	探針、L.R.線、巻、沈線、内面ナゲ、口縁部外反、568と同一体	大木7b～8a
1067	194	RA31 埋土			(60)	6	口唇部突起部、巻、沈線、内面網代板有?	大木8a～b
1063	195	RA31 埋土			(72)	9	巻線R.L.線、巻、沈線、内面ナゲ(光沢あり)	大木8b
1082	196	RA31 埋土			(97)	8	探針、R.L.線、巻、沈線、刺突	大木8b
1083	197	RA31 埋土			(45)	10	探針、巻、沈線、刺突、内面ナゲ	大木8b
1066	198	RA31 埋土			(76)	10	探針、巻線文(R)、巻、沈線、刺突、貫通孔?	大木8b
1081	199	RA31 埋土			(105)	15	探針、巻、沈線、貫通孔有、口唇部突起、内面網代板	大木8a～b
1084	200	RA31 埋土			(57)	11	探針、巻、沈線、刺突、口唇部突起有?	大木8b
1089	201	RA31 埋土			(55)	10	探針? 巻線R.L.線、巻、沈線、刺突、内面ナゲ	大木10
44	217	RA32 埋土	(104)		(129)	11	探針、R.L.線、巻、沈線(新巻)、蓋面中や凸凹あり	?
45	218	RA32 埋土		46	(59)	4	小型探針、L.R.線、巻線?ナゲ?蓋面中や凸凹	?
1091	219	RA32 埋土			(47)	5	探針、R.L.線、巻線、刺突	大木9～10
89	220	RA32		32	(32)	3	刺突L、蓋面一部に木が存在	小型土器
1092	221	RA32			(77)	8	探針、L.R.線、巻線	大木7b
1094	222	RA32			(96)	7	探針、L.R.線?、巻、沈線	大木8a?掘
1093	223	RA32			(64)	6	探針、巻線R.L.線、巻線、刺突部有	大木8b
1095	224	RA32			(44)	5	探針、巻線R.L.線、刺突	大木8b～9
47	227	RA34 埋土		66	(94)	8	探針、R.L.線、巻、沈線、内面ナゲ	大木8b
58	228	RA34 (埋め物)	339	139	452	10	探針、L.R.線、巻線、スリ消し、蓋面網代板	大木8b
46	229	RA34		55	150	7	探針、R.L.線、巻線、刺突、刺突部有	内上d?
1102	230	RA34 埋土			(50)	13	探針、巻線、漆体沈線、貫通孔有?	大木8b
1096	231	RA34 埋土			(98)	9	探針、R.L.線、巻線、口唇部突起、内面ナゲ	大木8a
1098	232	RA34 埋土			(92)	8	探針、R.L.線、巻線、内面ナゲ	大木8a
1097	233	RA34 埋土			(85)	8	探針、L.R.線、巻、沈線、刺突	大木8b
1101	234	RA34 埋土			(51)	8	探針、巻線R.L.線、巻、沈線、貫通孔有?	大木8b
1103	235	RA34 埋土			(56)	6	探針、R.L.線、巻、沈線、口唇部突起、内面ナゲ	大木8b?
1099	236	RA34 埋土			(51)	9	探針、R.L.線、巻、沈線、内面ナゲ	大木8b
48	237	RA34 埋土			(120)	5	探針、R.L.線、巻、沈線、刺突、口唇部突起、内面ナゲ	大木8b
1100	238	RA34 埋土			(40)	8	探針、R.L.線、巻、沈線?漆体沈線	掘製
1105	248	RA35			(34)	7	探針R.L.線、巻、沈線、刺突	大木8b
1104	249	RA35 埋土			(60)	7	探針、R.L.線、巻線	大木8a～b
56	252	RA36 木蓋		86	(203)	6	探針、巻線R.L.線、巻、沈線、蓋面中や凸凹、内面ミガキ?	大木8b
1106	253	RA36 木蓋			(196)	7	探針、R.L.線、巻、沈線、刺突部有による刻目	大木8b
1107	254	RA36 埋土			(58)	11	刺突、貫通孔有?	?
80	257	RA37 埋土	(78)	34	82	4	探針、R.L.線、巻、沈線、内面ナゲ、底状口縁	小型土器
91	258	RA37 埋土		33	(24)	5	探針、R.L.線、巻線ナゲ?	小型土器
52	259	RA37 木蓋		80	(94)	7	探針? L.R.線、ナゲ、蓋面ミガキ?	掘製

収容号	番号	出土地点	口径	直径	器高	厚さ	特 徴	備考(時期)
40	260	RA37			(234)	8	厚鉢、L.L.製、底面塗灰、表面中ヤブつく	前期
51	261	RA37	84		(284)	8	厚鉢、L.L.製、内面ナデ	前期
1111	262	RA37	499	19	(13)	11	L.製突起部分、基部、厚底付、貫通孔有り	Ⅱ上b
1108	263	RA37	(85)	8			厚鉢、L.L.製? 底面、内面ナデ	Ⅱ上b
1110	264	RA37	(57)	8			厚鉢、厚底、厚底付、削突	Ⅱ下d
1109	265	RA37	(66)	6			厚鉢、L.L.製、沈積、内面ナデ	大木8a
53	267	RA38	24	(59)	3		小厚鉢、L.L.製、スリ筋、ナデ、底面孔有り	
1114	268	RA38		(47)	6		厚鉢、L.L.製?、溝・沈積、内面ナデ、19と同一個体?	大木7b~8a
1113	269	RA38		(56)	6		厚鉢、厚底文、沈積、内面ナデ	大木7b~8a
1112	270	RA38		(65)	5		厚鉢、L.L.製、厚・沈積、内面ナデ、底状口縁部分	大木8b
1115	271	RA38		(47)	6		厚鉢、L.L.製、厚・沈積	大木8b?
55	272	RA39	(334)	9			厚鉢、L.L.製、沈積、スリ筋、ナデ	大木10
92	273	RA39	36	(35)	5		厚底付L.L.製、底面、内面ナデ	小木土器
96	274	RA39	118	(113)	14		厚鉢、L.L.製、内面ナデ(ケズリ?)	前期
54	275	RA39(P104)	(292)	(291)	9		厚鉢、L.L.製、縁部文、内面ナデ・ミガキ	前期
57	276	RA39	97	(190)	9		厚鉢、L.L.製、内面ナデ	前期
1117	277	RA39		(74)	11		厚鉢、厚底、厚底付、内面ナデ	大木7b
1122	278	RA39(P10)		(69)	11		厚鉢、L.L.製、厚・沈積	大木9
1118	279	RA39		(55)	9		厚鉢、溝・沈積、厚底、内面ナデ?	大木8a~b
1116	280	RA39		(77)	16		厚鉢、口縁突起部分・内外面文様、溝・沈積	大木8a~b
1120	281	RA39		(37)	7		L.製突起部分、内外面文様、上下方向に貫通孔有り	大木8b
1119	282	RA39		(60)	6		口縁突起部分、溝・沈積、内面ナデ	大木8a~b
1121	283	RA39		(14)			底面突起文様	?
1122	294	RA40(P102)	258	128	380	10	厚鉢、L.L.製、削突、スス付、中々外反り	大木10
59	295	RA41	258	128	380	6	厚鉢、L.L.製・削突、溝・沈積、削突、口縁突起文様、内面ナデ	Ⅱ内Ⅰ
77	296	RA41	(74)	(179)	7		厚鉢、L.L.製	前期
1124	297	RA41		(130)	8		厚鉢、L.L.製、溝・沈積、内面ナデ(ミガキ?)	大木8b
1130	298	RA41		(52)	7		厚鉢、厚底付L.L.製?	小木土器
84	299	1号型穴状遺物	62	(52)	5		L.L.製、穴縁	小木土器
85	300	1号型穴状遺物	68	(54)	5		厚鉢、L.L.製、沈積、スリ筋、内面ナデ	小木土器
98	301	1号型穴状遺物	(316)	(431)	10		厚鉢、L.L.製、口縁部・内面ナデ	前期
37	302	1号型穴状遺物	(113)	(300)	11		厚鉢、L.L.製、表面少ヤブつく	前期
1238	303	1号型穴状遺物		(54)	11		厚鉢、溝・沈積、削突?、口縁突起	大木9~10?
1236	304	1号型穴状遺物		(86)	10		厚鉢、L.L.製、沈積、削突	大木9~10
1237	305	1号型穴状遺物		(50)	17		口縁突起部分、厚底付L.L.製、溝・沈積	大木8b
99	306	1号型穴状遺物	(190)	(119)	6		厚鉢、L.L.製+削突、沈積、ミガキ、貫通孔	大木10
1126	311	RD10		(57)	5		厚鉢、L.L.製、口縁突起	前期
1243	320	RD10	100	(38)	8		厚鉢、底面木炭灰	土器器
1242	321	RD10		(33)	4		ロクロ	土器器
1127	325	RD09		(24)	4		溝・沈積(L.筋部分?)	大木8a~b
1126	326	RD09		(70)	8		厚鉢、L.L.製、沈積、内面ナデ	前期
1109	327	RD11		(38)	6		厚鉢? L.L.製	前期
61	328	RD12	(277)	(287)	9		厚鉢、L.L.製、沈積、縁部、ナデ、底部に突起物有り	大木9~10
64	329	RD12		(79)	4		厚鉢、L.L.製+溝・沈積、内面ナデ・ミガキ?	大木9~10
102	330	RD12	150	64	262	5	厚鉢、L.L.製? 厚底、削突、底面木炭灰	?
62	331	RD12	(148)	(132)	5		厚鉢、L.L.製、厚底、削突、ナデ、内面突起有り	?
201	332	RD12	60	(95)	6		厚鉢? 厚底、内外面赤色顔料有り、内面ナデ	前期?
60	333	RD12	227	(295)	7		厚鉢、L.L.製?、内面口縁部ナデ	前期
63	334	RD12	(67)	(95)	10		厚底付、L.L.製、ナデ、底面木炭灰	?
1132	335	RD12		(40)	8		厚鉢、溝・沈積、口縁突起、底面黒褐色文の付け方	大木8a~b
1131	336	RD12		(56)	6		厚鉢、L.L.製?、沈積、内面ナデ、削突	大木10
1130	337	RD12		(24)	9		厚鉢、L.L.製	前期
1134	338	RD12	57	(29)	4		高杯、底面削突、内面ケズリ?	?
1135	339	RD12		(9)			高杯、底面削突	?
1132	340	RD12		(37)	7		厚鉢、底面削突、底面赤土	?
65	342	RD13	(281)	123	41		厚鉢、L.L.製、沈積、口縁部・内面ナデ	?
103	343	RD13	107	46	158	5	厚鉢、L.L.製、底面文様、内面突起物あり	?
66	344	RD13	152	50	245	5	厚鉢、L.L.製? 表面赤色顔料強い、口縁部突起(2等位?)	前期
1136	345	RD13		(70)	8		厚鉢、厚底付突起物、沈積	大木7a
1137	346	RD13		(29)	7		口縁(突起)突起部分、沈積	大木9~10
67	348	RD14	(232)	(284)	8		厚鉢、厚底付、沈積、削突、突起	大木10
1138	349	RD14		(60)	9		厚鉢、厚底付、削突、口縁突起、内面ナデ・ミガキ	Ⅱ下d
1140	350	RD14		(80)	7		厚鉢、厚底付L.L.製、沈積、内面ナデ	前期
1139	351	RD14		(56)	7		厚鉢?、厚底付?、沈積、内面ナデ	前期?
1141	352	RD15		(45)	9		厚鉢? 厚底、沈積、内面ナデ?、口縁突起部分	大木8a~b
1142	353	RD16		(48)	8		厚鉢? L.L.製、沈積、貫通孔縁部分	大木9~10
1143	355	RD17		(34)	10		厚鉢、口縁突起部分、厚底、厚底付、三日月文	Ⅱ上式?
1144	356	RD18		(40)	4		厚鉢、厚底文、沈積	?
1145	357	RD20		(160)	6		厚鉢、L.L.製、厚底、貫通孔縁部分	大木10
1146	358	RD20		(59)	8		厚鉢、厚底付、厚底、厚底付	Ⅱ下d
1147	361	RD23		(46)	5		厚底文? 溝・沈積、削突、内面ナデ	大木8b
104	362	RD25	(246)	(89)	8		厚鉢、L.L.製、厚底(網目文様あり)、ナデ、ケズリ	大木8b
1148	363	RD26		(40)	6		厚鉢、L.L.製	前期?
1149	364	RD26		(43)	9		厚鉢、L.L.製、沈積	大木9~10
1150	365	RD27		(58)	10		厚鉢、L.L.製、口縁突起部分(内外面文様) 外反、溝・沈積	大木8a~b
1151	366	RD27		(37)	9		厚鉢、L.L.製、溝・沈積、厚底付	不明
1152	367	RD27	119	(27)	11		厚底、底面削突・スリ筋	不明
1156	368	RD29・30		(85)	11		厚鉢、厚底、厚底付、内面ナデ? 三日月文	Ⅱ上b
1154	369	RD29・30		(67)	9		厚鉢、厚底付L.L.製?、沈積	大木8a
1153	370	RD29・30		(87)	8		厚鉢、厚底付、口縁突起部分・底面文様	大木7b~8a

図番号	番号	出土期・点	口径mm	底径mm	最高mm	厚さmm	特	産	備考(時期)	
1235	473	2号高脚中一下部			130	8	沈泥、底面黒漆		?	
1163	489	1号壺(P25a)			(75)	8	深鉢、L.L.底、沈泥、胴体灰褐色、内面ナデ?	渡状口縁部分	門上e	
1212	490	1号壺(P25a)			(40)	8	深鉢、L.L.底、沈泥、内面ナデ		大木b	
1213	491	1号壺(P25a)			(43)	11	深鉢、L.L.底、胴体灰、沈泥		大木b-10	
1162	492	1号壺(P25a)			(113)	8	深鉢、薄底L.L.底、口縁部ナデ		新製	
1164	493	1号壺(P25a)			(49)	9	深鉢、L.L.底、胴体灰		空陪	
1202	496	2号壺(P22)			(54)	10	口縁部突起、沈泥、胴灰、内面L.L.脚底		大木b?	
1210	496	2号壺(P22)			(50)	8	L.L.底、底、沈泥、内面ナデ、胴底		大木b-a-b	
1203	497	2号壺(P22)			(37)	7	深鉢? L.L.底、内面ナデ・胴底		新製	
1128	498	2号壺(P22)			(61)	8	深鉢、L.L.底?		新製	
1206	501	特大例(P22)			(79)	8	深鉢、胴灰、胴底		?	
1207	502	特大例(P22)			(60)	8	L.L.底、内面ナデ		?	
1201	504	PP17			(22)	8	L.L.底、内面ナデ、胴底		?	
1204	508	PP24			(97)	10	深鉢、胴底沈泥		門上d?	
1205	506	PP30			(51)	10	L.L.底		複製	
1204	507	PP35+36			(72)	9	深鉢、L.L.底、沈泥、内面L.L.付		大木b-10	
1209	508	PP35+36			(55)	9	深鉢、L.L.底、内面ナデ		複製	
1211	509	PP42			(62)	8	深鉢、胴底		大木b	
1214	511	PP100			(62)	11	深鉢、腹面L.L.付、底、沈泥、胴灰		大木b	
1215	512	PP100			(52)	8	L.L.底		複製	
1248	513	PP24			(143)	8	深鉢、L.L.底、胴底、内面ナデ		複製	
2801	514	H 10日土層			(54)	9	深鉢、L.L.底、底、沈泥、胴灰、内面ナデ、SLSと同一産地?		大木b	
2802	515	H 10日土層			(40)	10	深鉢、胴体灰、底、沈泥、胴灰?	内面ナデ?	大木b	
571	516	H 11日土層	220		(302)	4	浅鉢、L.L.底、底、沈泥、内面ナデ、口縁部突起		大木b	
618	517	H 10日土層	405		(553)	8	深鉢、L.L.底、胴底+胴体灰、L.L.脚底		大木b?	
550	518	H 10日土層	(153)		(140)	7	深鉢、L.L.底、沈泥、内面ナデ、口縁部突起、胴灰付突起	胴灰	大木b?	
546	519	H 10日土層	(202)		(117)	10	深鉢、L.L.底、平軸竹管による胴突起、口縁部突起		大木?	
638	520	H 10日土層	(427)		(182)	9	深鉢、L.L.底+底、胴底、内面ナデ		大木?	
840	521	H 10日土層		85	(218)	7	深鉢、胴底突起、沈泥、胴灰		大木a? 門下?	
559	522	H 11日土層			(118)	(141)	7	深鉢、L.L.底、胴底、内面ナデ、胴底ナデ		?
572	523	H 11日土層	136		92	10	深鉢、L.L.底(?)、L.L.とL.L.底なし		作陪	
535	524	H 10日土層	(178)		(199)	9	深鉢、L.L.底+底、胴底、L.L.付、胴底付突起		大木?	
596	525	H 10日土層	180		(69)	7	深鉢、L.L.底+底、胴底、内面ナデ		大木b	
579	526	H 11日土層	(544)		(415)	11	深鉢、L.L.底、底、沈泥、胴体灰、口縁部突起		大木1 門前	
527	527	H 10日土層	(314)		(334)	8	深鉢、L.L.底、底、沈泥、内面ナデ		大木1-a	
642	528	H 10日土層	(146)		(459)	6	深鉢、L.L.底、底、沈泥		大木1-b	
565	529	H 10日土層	(180)		(229)	6	深鉢、L.L.底、胴体灰、L.L.脚底突起(4単位?)		?	
523	530	H 10日土層	(178)	134	256	8	深鉢、L.L.底、底、沈泥、胴底L.L.付		大木1-b?	
604	531	H 11日土層		83	(72)	2	深鉢、L.L.底、底、沈泥、胴底(胴底なし)、内面ナデ		大木b?	
526	532	H 10日+10日土層		40	(66)	8	深鉢、小径L.L.底、L.L.底、底、沈泥、胴底L.L.付?		大木b-a	
631	533	H 10日			(191)	(197)	7	深鉢、L.L.底+底、胴底、底、沈泥、口縁部突起		大木b-a
549	534	H 10日+10日土層			(192)	(285)	10	深鉢、L.L.底、胴底、内面胴体灰、L.L.脚底突起		大木b (門上c?)
525	535	H 10日土層			(140)	(177)	6	深鉢、腹面L.L.付、沈泥、底状口縁、内面口縁部ナデ		大木a
2701	536	H 10日土層			(51)	5	深鉢? 底、沈泥、内面ナデ		大木2a	
2702	537	H 10日土層			(51)	12	厚体口縁、口縁部突起		大木b	
2704	538	H 10日土層			(88)	13	深鉢、L.L.底、底、沈泥、胴底突起		大木?	
2705	539	H 11日土層			(41)	7	深鉢、沈泥、内面ナデ		大木?	
2701	540	H 10日土層			(289)	7	深鉢、L.L.底+底、胴底、胴体灰		大木?	
2706	541	H 10日土層			(36)	9	深鉢、沈泥、内面ナデ		大木?	
2708	542	H 10日土層			(140)	7	深鉢、L.L.底+底、胴底、胴底、口縁部突起		大木?	
2707	543	H 11日土層			(41)	9	深鉢、胴底、胴底、胴底(平軸竹管による)		大木?	
2709	544	H 11日土層			(52)	8	深鉢、沈泥、口縁部突起、内面ナデ		大木?	
2710	545	H 11日土層			(34)	7	深鉢、L.L.底、胴底突起、内面ナデ		大木?	
2712	546	H 10日土層			(37)	8	深鉢、底、沈泥、胴体灰、L.L.脚底突起		大木?	
2713	547	H 10日土層			(36)	8	深鉢、底、沈泥、胴体灰、口縁部突起		大木?	
3401	548	P 10日土層			(28)	8	深鉢、胴体灰、内面ナデ		大木b?	
3417	549	H 11日土層			(40)	7	L.L.底、沈泥、内面ナデ		大木b?	
3418	550	H 11日土層			(44)	6	深鉢、胴体灰、内面ナデ、内面黒色		大木b-a	
3412	551	H 10日土層			(41)	12	沈泥、内面ナデ		大木b?	
3435	552	H 10日土層			(65)	8	深鉢、L.L.底、胴底、胴底突起、胴底、内面ナデ		大木b?	
532	553	H 10日土層	(291)		(116)	10	7	浅鉢、底、胴底付有、内面ナデ		大木b?
643	554	H 10日土層	(112)	60	137	6	深鉢、L.L.底+底、底、沈泥、内面ナデ+ケズリ?		大木a?	
539	555	H 10日土層一部	203		(196)	5	深鉢、L.L.底、底、沈泥、口縁部突起、胴底		大木b	
536	556	H 10日土層	(284)		(340)	8	深鉢、L.L.底(底?)、胴底、胴底付有、内面ナデ		大木a	
614	557	H 11日土層	(120)		(113)	6	深鉢、L.L.底、胴底、胴底突起		大木b-a-b	
599	558	H 10日土層			(187)	(108)	5	深鉢、腹面L.L.付、底、沈泥、渡状口縁、小径L.L.付		大木b
513	559	G 17			(87)	(88)	5	深鉢、小径L.L.底、L.L.底、底、沈泥、渡状口縁、内面ナデ		大木b
615	560	H 11日土層	(213)		(72)	8	深鉢、L.L.底、底、沈泥		大木a?	
382	561	H 11日土層	153		(232)	6	深鉢、L.L.底+底、底、沈泥、口縁部突起、胴底+胴底、胴底		大木b-a-b	
602	562	H 11日土層	123		188	6	深鉢、L.L.底(?)、底、沈泥、口縁部突起		大木a	
646	563	H 10日土層	(230)		(232)	7	深鉢、L.L.底(L.L.底?)、底、沈泥、口縁部突起		大木a	
314	564	G 13日土層		60	(71)	6	深鉢、L.L.底、底(胴底なし)、底面内凸有		大木a?	
335	565	H 10日土層	(118)		(170)	5	深鉢、腹面L.L.付、底、沈泥、内面ナデ+ミギキ		大木b	
554	566	H 10日土層	(117)	48	121	4	深鉢、腹面L.L.付、底、渡状口縁(2単位)、小径L.L.付		大木b	
363	567	H 10日土層			(97)	5	深鉢、L.L.底、底、沈泥、口縁部突起		大木b	
363	568	H 10日土層一部上			(87)	6	深鉢、L.L.底、底、沈泥、底状口縁、内面ナデ、小径L.L.付		大木b	
389	569	H 11日土層			188	9	深鉢、底、沈泥、底、沈泥(胴底なし)、内面ナデ		大木b?	
628	570	H 10日土層	145		(197)	5	深鉢、L.L.底、底、沈泥、内面ナデ(L.L.底?)、L.L.底内反		大木?	
622	571	H 10日土層	(467)		(258)	10	深鉢、L.L.底、底、沈泥、口縁部突起(渡状)		大木a	
637	572	H 10日土層			(319)	(291)	7	深鉢、L.L.底、底、沈泥、口縁部突起(4単位)		大木b

仮番号	番号	出土地点	Li7mm	底径mm	断面mm	厚さmm	特徴	備考(図説)	
2856	633	H 目05日層			(50)	7	深鉢、R.L.線、雫・沈線、刺突、内面ナデ	大木a (～b?)	
2854	654	H 目05日層			(79)	13	口縁突起部分、深鉢、貫通孔あり、C字型文様	大木b?	
2857	655	H 目05日層			(54)	14	深鉢、R.L.線、雫・沈線、口縁突起部、内面ナデ	大木b?	
2858	656	H 目05日層			(46)	7	深鉢、R.L.線、雫・沈線、口唇部に刺突あり、雫?	大木b?	
2859	657	H 目05日層			(53)	11	深鉢、R.L.線、口唇部刻削、刺突文様、内面ナデ、突縁	大木a? b?	
3410	658	H 目06日層			(80)	11	深鉢、R.L.線、雫・沈線、刺突	大木a～b	
3421	659	H 目06日層			(57)	12	深鉢、口縁突起部分、R.L.線、雫・沈線	大木a～b	
3436	660	H 目06日層			(75)	8	深鉢、R.L.線、雫・沈線、刺突、内面ナデ	大木a～b	
3426	661	H 目06日層			(92)	10	深鉢、雫・沈線、貫通孔あり、口縁突起部分	大木a～b	
3429	662	H 目06日層			(91)	12	深鉢、R.L.線、雫・沈線、刺突	大木a～b	
2813	663	F 目12日層(埋土中)			(96)	6	深鉢、R.L.線、雫・沈線、刺突、口縁突起部、口唇部隆状	大木b	
2812	664	H 目05日層			(63)	6	深鉢、R.L.線、雫・沈線、刺突、口唇部突起、口唇部隆状	大木b	
2814	665	F 目15日層(土中)			(71)	8	深鉢、口縁突起部分、雫・沈線、刺突、貫通孔あり	大木b	
2815	666	F 目14日層			(89)	6	深鉢、R.L.線、雫・沈線、口縁突起部、口唇部隆状、内面ナデ	大木b	
2816	667	G 目05日層			(66)	6	深鉢、R.L.線、雫・沈線、刺突、口唇部突起	大木b	
2817	668	G 目03日層			(52)	7	口縁突起部分、深鉢、貫通孔あり、雫・沈線、刺突、内面ナデ	大木b	
2818	669	G 目03日層			(58)	6	口縁突起部分、深鉢、貫通孔あり、雫・沈線、刺突、内面ナデ	大木b	
2819	670	G 目07日層			(140)	9	深鉢、R.L.線、雫・沈線、口縁突起部分あり	大木b	
2820	671	G 目07日層			(157)	3	深鉢、R.L.線、雫・沈線、刺突、口唇部突起、内面ナデ	大木b	
2828	672	H 目07日層			(157)	7	深鉢、R.L.線、雫・沈線、口縁突起部、内面ナデ	大木b	
2829	673	H 目07日層			(147)	6	深鉢? R.L.線、雫・沈線、刺突、口唇部突起、内面ナデ	大木b	
2827	674	H 目06日層			(82)	4	深鉢、R.L.線、雫・沈線、刺突、内面ナデ	大木b	
2831	675	H 目12日層			(55)	9	深鉢、R.L.線、雫・沈線、刺突	大木b	
2830	676	H 目15日層			(323)	7	深鉢、R.L.線、雫・沈線、刺突、口唇部突起、内面ナデ	大木b	
2832	677	H 目01日層			(84)	4	深鉢、雫・沈線、沈線列文、突起あり	大木b	
2833	678	H 目01日層			(114)	5	深鉢、埋土中、R.L.線、雫・沈線、口唇部突起、内面ナデ、光沢あり	大木b	
2869	679	H 目06日層			(254)	8	深鉢、埋土中、R.L.線、雫・沈線、刺突、内面ナデ	大木b	
2834	680	F 目15日層			(83)	9	深鉢? R.L.線、雫・沈線、刺突、内面ナデ、光沢あり	大木b	
2825	681	F 目09日層			(100)	10	深鉢? R.L.線、雫・沈線、刺突、内面ナデ、光沢あり	大木b	
2861	682	H 目04日層			(118)	8	深鉢、R.L.線、雫・沈線	大木b	
2826	683	不明			(75)	5	深鉢、R.L.線、雫・沈線、刺突、内面ナデ、口唇部突起	大木b	
3421	684	H 目05日層			(60)	10	深鉢、二輪突起部分、雫・沈線、刺突、内面ナデ	大木b	
3424	685	H 目06日層			(419)	10	深鉢、R.L.線、雫・沈線、刺突、口唇部突起、内面ナデ	大木b	
2821	686	G 目08・09日層			(78)	6	小型深鉢? R.L.線、雫・沈線、内面ナデ(光沢あり?)	大木b	
2822	687	H 目03日層			(81)	6	深鉢、雫・沈線、口唇部突起、刺突、内面ナデによる光沢	大木b	
2823	688	H 目03日層			(84)	7	深鉢、R.L.線、雫・沈線、貫通孔あり、刺突あり	大木b	
2826	689	H 目06日層			(70)	5	深鉢、R.L.線、雫・沈線、内面ナデ(光沢あり?)	大木b	
2825	690	H 目06日層			(136)	9	深鉢、R.L.線、雫・沈線、刺突、内面突起、口縁突起	大木b	
3423	691	H 目06日層			(81)	7	深鉢、R.L.線、雫・沈線、刺突	大木b	
3424	692	H 目06日層			(54)	7	R.L.線、雫・沈線、刺突、口唇部突起、内面ナデ	大木b	
3428	693	H 目01日層			(50)	6	R.L.線、雫・沈線、口唇部突起(前方に貫通孔あり)	大木b	
3431	694	H 目09日層			(75)	8	深鉢、雫・沈線、口唇部突起、内面ナデ	大木b	
3432	695	H 目09日層			(61)	5	深鉢、R.L.線、雫・沈線、口唇部突起、内面ナデ	大木b?	
3433	696	H 目09日層			(100)	10	深鉢、R.L.線、雫・沈線	大木b?	
3434	697	H 目09日層			(71)	13	雫・沈線、貫通孔あり、刺突あり	大木b	
851	698	F 目06日層			50	72	深鉢、R.L.線、雫・沈線、刺突、内面ナデ	大木? (10?)	
3001	699	F 目07日層			(58)	7	深鉢、R.L.線、雫・沈線、口唇部突起、内面ナデ	大木?	
3002	700	F 目11日層			(76)	6	深鉢、R.L.線、雫・沈線、刺突、内面ナデ、口唇部突起	大木? (10?)	
3003	701	F 目16日層			(131)	7	深鉢、雫・沈線(外見)、R.L.線? 沈線、内面ナデ・雫色	大木? (10?)	
3004	702	G 目02日層(土中)			(44)	6	深鉢、R.L.線、雫・沈線、内面ナデ、貫通孔あり	大木? (10?)	
3005	703	G 目07日層			(54)	11	深鉢、雫・沈線、刺突、口唇部突起、刺突、内面ナデ	大木?	
3007	704	G 目12日層			(52)	7	深鉢、沈線、刺突	大木?	
3008	705	H 目12日層			(58)	6	深鉢、刺突	大木?	
3009	706	H 目09日層			(58)	10	深鉢、R.L.線、雫・沈線、刺突、内面ナデ、口唇部突起	大木?	
3006	707	G 目13日層			(96)	10	深鉢、R.L.線、雫・沈線、内面ナデ、口唇部突起	大木? (10?)	
603	708	J 目03日層			50	(117)	6	深鉢、R.L.線、雫・沈線、刺突、内面ナデ	大木?～10
301	709	H 目01日層(土中)	2901		(200)	37	深鉢、R.L.線、雫・沈線、刺突、内面ナデ	大木?	
390	710	H 目01日層			225	92	6	深鉢、R.L.線、雫・沈線、刺突、口唇部突起、内面ナデ	大木?
303	711	H 目01日層			48	(96)	4	深鉢、R.L.線、雫・沈線、刺突、口唇部突起、内面ナデ、口唇部突起	大木?
605	712	J 目06日層			180	(251)	4	深鉢、R.L.線、雫・沈線、刺突、口唇部突起(3条付)、口唇部突起	大木?
538	713	H 目05日層(土中)	254		(232)	7	深鉢、R.L.線、雫・沈線、刺突、光沢あり	大木?	
3102	714	G 目04日層				(65)	7	口唇部突起、R.L.線、雫・沈線	大木?
634	715	H 目01日層			(82)	(133)	7	深鉢、R.L.線、雫・沈線、刺突、内面ナデ	大木?
3127	716	H 目01日層			(131)	6	深鉢、R.L.線、雫・沈線、刺突、内面ナデ、口唇部突起	大木?	
3165	717	H 目01日層			(122)	6	深鉢、R.L.線、雫・沈線、刺突、内面ナデ、口唇部突起	大木?	
3161	718	F 目01日層			(133)	13	深鉢、R.L.線、雫・沈線、刺突、内面ナデ	大木?	
3162	719	H 目14日層			(69)	7	深鉢? 雫・沈線、刺突、口唇部突起(雫色?)	大木?	
3164	720	H 目14日層			(41)	6	深鉢、刺突、雫・沈線、刺突	大木?	
514	721	H 目09日層			116	(308)	6	深鉢、刺突、口唇部突起、内面ナデ	内面ナデ d?
573	722	J 目12日層(一部)			112	(194)	9	深鉢、口唇部突起、内面ナデ	内面ナデ d?
592	723	J 目01日層			163	(173)	10	深鉢、刺突、口唇部突起	内面ナデ d?
591	724	J 目01日層			(128)	(200)	10	深鉢、木目状突起文(1)、刺突	内面ナデ d?
591	725	J 目01日層			174	(113)	23	深鉢、木目状突起文(1)、刺突、口唇部突起、刺突あり	内面ナデ d?
2065	726	H 目06日層			(178)	8	深鉢、木目状突起文、雫・沈線、刺突、内面ナデ	内面ナデ d?	
2061	727	H 目06日層			(86)	11	深鉢、木目状突起文、雫・沈線、刺突、内面ナデ	内面ナデ d?	
2066	728	H 目06日層			(106)	8	深鉢、木目状突起文、雫・沈線、刺突、内面ナデ	内面ナデ d?	
2062	729	H 目06日層			(77)	9	深鉢、木目状突起文、雫・沈線、刺突、内面ナデ	内面ナデ d?	
2067	730	H 目06日層			(77)	9	深鉢、木目状突起文、雫・沈線、刺突、内面ナデ	内面ナデ d?	
2064	731	H 目06日層			(72)	9	深鉢、木目状突起文、雫・沈線、刺突、内面ナデ	内面ナデ d?	
2065	732	H 目06日層			(52)	10	深鉢、木目状突起文、雫・沈線、刺突、内面ナデ	内面ナデ d?	

図番	番号	出土地点	11径mm	底径mm	最大径mm	厚3mm	特 徴	備考(時期)
2008	723	H 1109日層			(109)	10	深鉢、胎元凸状残文、隆線、脚巻残片	内陶下層d?
2009	734	H 1109日層			(56)	11	深鉢、胎元凸状残文、隆線、厚体片	内陶下層d?
2010	735	H 1109日層			(46)	8	深鉢、胎元凸状残文、削い隆線、厚体片	内陶下層d?
2011	736	H 1109日層			(58)	11	深鉢、胎元凸、隆線、厚体片	内陶下層d?
2012	737	H 1109日層			(81)	11	深鉢、胎元凸、隆線、厚体片、刺突	内陶下層d?
2013	738	H 1109日層			(72)	9	深鉢、胎元凸状残文、隆線、厚体片、刺突、刻目	内陶下層d?
2014	739	H 1109日層			(63)	8	深鉢、胎元凸状残文、隆線、厚体片、刺突、720と同一體性?	内陶下層d?
2015	740	H 1109日層			(45)	8	深鉢、胎元凸状残文、隆線、厚体片、刺突	内陶下層d?
612	741	I 112日層		120	(591)	9	深鉢、L形底、隆線、厚体片、底面刺突	内陶下層a?
574	742	I 112日層	(206)		(165)	7	深鉢、L形底、隆線、厚体片、内面ナデ	内陶下層a?
578	743	I 112日層	(167)		(92)	7	深鉢、L形底、隆線(1.5径)、内面ナデ	内陶下層a?
639	744	H 1109日層	(188)		(218)	7	深鉢、胎元凸状残文、隆線、厚体片	内陶下層a?
565	745	I 112日層			(542)	9	深鉢、胎元凸状残文、隆線、厚体片	内陶下層b?
547	746	H 1109日層			(422)	12	深鉢、胎元凸状残文、隆線、厚体片	内陶下層b?
379	747	I 112日層一拵	(248)	104	361	8	深鉢、羽状残文、隆線、厚体片(跡高文)	内陶下層b
250	748	I 112日層一拵			(130)	41	深鉢、L形底+L形底、隆線、厚体片、内面ナデ	内陶下層b
545	749	H 1109日層一拵	249		(175)	8	深鉢、L形底、沈線、刺突、口縁部外反、突起あり	内陶下層c
966	750	I 1108日層	(202)	(116)	(253)	10	深鉢、凸状残文、隆線、刺突、口縁部突起、厚体片	内陶下層c
2101	751	G 113日層			(81)	11	深鉢、胎元凸、厚体片(口縁部凸)、内面ナデ+ケズリ	内陶下層c
2102	752	G 113日層			(81)	8	深鉢、L形底、厚体片、内面ナデ	内陶下層a
1130	753	H 1109日層			(70)	8	深鉢、胎元凸、沈線、厚体片、口縁部突起	内陶下層a
2104	754	H 1109日層			(28)	6	深鉢、胎元凸、沈線、厚体片(圧縮)	内陶下層a
2105	755	H 1109日層			(51)	8	深鉢、厚体片、刺突、内面ナデ(突起あり)、口縁部内反	内陶下層a
2106	756	H 1107日層			(57)	8	深鉢、厚体片、口縁部突起	内陶下層a
2107	757	H 1109日層			(97)	8	深鉢、胎元凸、厚体片、内面ナデ? 788と同一體性?	内陶下層a
2108	758	H 1109日層			(70)	10	深鉢、胎元凸、厚体片、内面ナデ(突起あり)	内陶下層a
2109	759	H 1113日層			(56)	8	深鉢、胎元凸、厚体片、内面ナデ(突起あり)、刺突あり	内陶下層a
7110	760	I 115日層			(56)	9	深鉢、厚体片	内陶下層a
7111	761	I 115日層			(66)	8	深鉢、L形底、厚体片、内面ナデ	内陶下層a
7112	762	I 1105日層			(99)	9	深鉢、胎元凸、厚体片、内面ナデ?	内陶下層a
2113	763	I 1105日層			(68)	10	深鉢、胎元凸、厚体片、内面ナデ?	内陶下層a
2115	764	I 1101日層			(51)	10	深鉢、胎元凸、厚体片、口縁部突起(圧縮)	内陶下層a
2116	765	H 1108日層			(131)	10	深鉢、L形底、厚体片、隆線、内面ナデ	内陶下層a
2116	766	H 1109日層			(128)	8	深鉢、L形底、厚体片、隆線、内面ナデ、1層部外反	内陶下層a
2117	767	H 1109日層			(73)	6	深鉢、胎元凸、厚体片	内陶下層a
2118	768	H 1109日層			(78)	9	深鉢、胎元凸、厚体片、275と同一體性?	内陶下層a
2119	769	H 1109日層			(62)	7	深鉢、胎元凸、厚体片	内陶下層a
2120	770	H 1109日層			(47)	6	深鉢、胎元凸、厚体片	内陶下層a
2201	771	H 1109日層			(118)	8	深鉢、胎元凸(跡高しい)、羽目片残文、口縁部突起	内陶下層b
2202	772	H 1109日層			(67)	9	深鉢、胎元凸、半凸状突起による突起、内面ナデ	内陶下層b
2203	773	I 112日層			(147)	10	深鉢、L形底、厚体片、厚体片、内面ナデ+ケズリ、二日月残文	内陶下層b
2204	774	I 112日層			(52)	9	深鉢、胎元凸、厚体片、二日月残文	内陶下層b
2205	775	I 112日層			(92)	9	深鉢、胎元凸、厚体片、二日月残文、刺突あり	内陶下層b
2206	776	I 112日層			(56)	11	深鉢、胎元凸、厚体片、二日月残文	内陶下層b
2207	777	H 1109日層			(90)	12	深鉢、胎元凸、厚体片、二日月残文	内陶下層b
2208	778	H 1109日層			(62)	6	深鉢、胎元凸、厚体片、二日月残文	内陶下層b
2209	779	H 1109日層			(58)	6	深鉢、胎元凸、厚体片、内面突起(?), 口縁突起	内陶下層b
2302	780	H 1101日層			(40)	7	深鉢、胎元凸、厚体片、貫通孔?	内陶下層c
2301	781	H 1116日層			(41)	10	深鉢、胎元凸、厚体片、刺突、貫通孔あり	内陶下層c
2302	782	H 1117日層上1/2位			(49)	10	深鉢、胎元凸、厚体片(羽目片)、沈線、貫通孔あり	内陶下層c
2304	783	I 1106日層			(119)	10	深鉢、胎元凸、厚体片、刺突、内面ナデ	内陶下層c
2306	784	I 1101日層			(126)	8	深鉢、羽状残文、隆線に厚体片、刺突、内面ナデ、外反	内陶下層c
2305	785	I 112日層			(89)	8	深鉢、胎元凸+沈線、刺突	内陶下層c
2307	786	H 1105日層			(53)	10	深鉢、胎元凸、厚体片、刺突、刺突短し	内陶下層c
2401	787	F 1115日層上~中			(76)	6	深鉢、胎元凸、厚体片	内陶下層d
2402	788	H 1101日層			(104)	7	深鉢、胎元凸に厚体片、羽目片、内面ナデ、底状口縁外反	内陶下層d
2502	789	I 1104日層			(154)	9	深鉢、L形底+L形底、沈線	内陶下層e
2503	790	H 1104日層			(82)	6	深鉢、胎元凸、厚体片、沈線、内面ナデ、口縁部突起	内陶下層e
2503	791	I 112日層			(196)	8	深鉢、胎元凸、厚体片、羽目片、口縁部突起、内面ナデ	内陶下層e
2507	792	I 1108日層			(73)	8	深鉢、L形底、胎元凸に厚体片、1層部突起+外反、内面ナデ	内陶下層e
3425	793	H 1105日層			(65)	8	深鉢、胎元凸、厚体片、内面ナデ	内陶下層e
2505	794	H 1105日層			(86)	8	深鉢、L形底、胎元凸に厚体片、内面ナデ、1層部突起	内陶下層e
3414	795	I 115日層			(94)	7	深鉢、口縁部突起、L形底、隆線、1層部厚体片	内陶下層e
2508	796	H 1105日層			(132)	8	深鉢、胎元凸、厚体片、貫通孔あり、口縁部突起	内陶下層e
2506	797	I 1101日層			(81)	7	深鉢、胎元凸、厚体片、刺突	内陶下層e
2504	798	I 1115日層			(128)	27	深鉢、胎元凸、厚体片、口縁部突起、内面突起	内陶下層e
690	799	I 1105日層	(103)		(162)	7	胎元凸+L形底+厚体片、隆線、突起あり(準胎元)	1層内f
611	800	H 1112日層	366		(57)	12	深鉢、胎元凸+L形底、隆線、口縁部突起(準胎元?)	1層内f
619	801	I 1105日層	307		(272)	5	胎元凸+L形底+厚体片、隆線、突起あり(準胎元?)	1層内f
809	802	F 1116日層(セルト)		61	87	5	重、胎元凸、胎元凸に厚体片(準胎元)、小柄土	1層内f
633	803	I 1101日層			(190)	(11)	胎元凸? 胎元凸+厚体片(西向き面+底)	1層内f
3003	804	H 112日層			(82)	6	深鉢、L形底、胎元凸、内面ナデ	1層内f
3202	805	H 112日層			(95)	7	深鉢、胎元凸、厚体片、刺突、折り返し口縁	1層内f
635	806	I 1101日	(271)		324	6	深鉢、L形底、沈線、刺突、口縁部突起	壺之内? 1層内f?
3205	807	I 112日			(36)	7	深鉢、胎元凸、厚体片、口縁部突起	1層内f
3207	808	I 1105日層			(73)	7	深鉢、胎元凸、厚体片、内面ナデ、口縁部突起(上下方向)	1層内f
3204	809	I 112日層			(111)	9	深鉢、胎元凸、厚体片、沈線、内面ナデ+ケズリ	1層内f
3208	810	I 1105日層			(57)	6	深鉢、胎元凸、厚体片、沈線	1層内f
3209	811	F 1115日層			(57)	6	深鉢、胎元凸+L形底、厚体片、刺突	1層内f
3206	812	I 1105日層			(94)	6	深鉢、胎元凸+L形底、厚体片、刺突、口縁部突起	1層内f

標高	方位	出土地点	口径mm	底径mm	高さmm	厚さmm	特徴	備考(時期)
395	813	I 1104日層	(150)		(121)	7	深鉢、浅口直上し長し縁縁、刺突、口縁部突起あり	土層内I?
394	814	H 1112日層			(205)	7	深鉢、刺突なし、長し縁縁、刺突	土層内I?
436	815	H 1113日層		(154)	484	9	深鉢、長し縁縁、縁縁、刺突なし、底面木炭痕	浅鉢
556	816	H 1113日層	(90)		(73)	5	深鉢、縁縁なし、縁縁、刺突(縁縁)、小形土器	土層内I
454	817	H 1108日層	(51)	57	100	4	蓋? 小形土器、L長紋、浅鉢	浅鉢
212	818	G 1103日層			(92)	4	小形土器、L長紋+刺、ナデ?	浅鉢?
380	819	G 1105日層			(44)	7	深鉢? 縁縁突起、内面ナデ、内外面一部割溝	浅鉢?
3603	820	H 1112日層			(56)	11	縁縁突起、内面ナデ+ケズリ?	浅鉢
504	821	H 1113日層			(28)	5	深鉢、刺突、内面ナデ	浅鉢
3006	822	H 1113日層			(94)	7	深鉢、L長紋、L長紋、刺突、内面ナデ	浅鉢
2502	823	G 1108日層			(49)	5	深鉢、縁縁、縁縁突起、内面ナデ	浅鉢?
3942	824	H 1105日層			(32)	4	深鉢? L長紋、縁縁(刺突)、浅鉢片、口縁部外凸、内面ナデ	浅鉢
857	825	H 1113日層			(51)	8	深鉢、縁縁、刺突、口縁部突起	浅鉢
3008	826	I 1112日層			(70)	7	深鉢、浅鉢、L縁縁山形突起+赤皮	浅鉢
3009	827	I 1112日層			(52)	6	深鉢? 浅鉢(片型文様)、内面ナデ+朱塗り?	土層内I
3511	828	J 1103日層			(76)	8	深鉢、L長紋、縁縁、浅鉢、L縁縁突起、内面ナデ	浅鉢
1010	829	J 1103日層			(56)	9	深鉢、L長紋+L長紋、口縁部突起、内面ナデ、赤刺傷	浅鉢
7515	830	I 1105日層			(51)	6	深鉢、縁縁、刺突、内面ケズリ、口縁部山形突起	浅鉢
1843	831	J 1104			(51)	4	浅鉢? 浅鉢、明窓、口縁部突起	浅鉢
3719	832	I 1105日層			(129)	7	深鉢、縁縁突起、文様、縁縁、刺突	土層内I?
3519	833	H 1104日層			(46)	7	縁縁、刺突、縁縁突起あり、赤塗りケズリ	浅鉢
9512	834	J 1104日層			(22)	8	浅鉢、内面ナデ+ミガキ? (文様あり?)	浅鉢
1022	835	不明			(80)	8	深鉢、L長紋、浅鉢、内面ナデ+ミガキ、折り直した口(??)	浅鉢
3621	836	C区武庫			(49)	7	縁片文様、内面ナデ	浅鉢
3516	837	I 1105日層			(77)	4	深鉢、縁縁、L縁縁突起、内面ナデ、磨けり	土層内I
3218	838	H 1113日層			(103)	6	深鉢、縁縁なし、浅鉢、刺突、内面ナデ	浅鉢
3517	839	I 1105日層			(96)	5	深鉢、縁縁、刺突、L縁縁突起	土層内I
3801	840	G 1103日層			(86)	5	縁? L長紋、浅鉢、口縁部突起	浅鉢
3703	841	H 1113日層		101	(21)	10	底面木炭痕、内面ナデ	
3702	842	G 1103日層		116	(24)	8	L長紋、底面木炭痕	
3704	843	I 1112日層		89	(16)	4	底面木炭痕、内面ナデ+ケズリ	
3701	844	F II + G II		84	(14)	4	底面木炭痕	
3705	845	I 1105		118	(21)	6	底面木炭痕	
3706	846	I 1105日層		(86)	(15)	4	底面木炭痕	
3731	847	F II 11日層		(90)	(36)	7	底面木炭痕、朱塗り	
3708	848	F II 08日層		35	(15)	8	底面木炭痕	
3707	849	H 1104日層		90	(32)	8	L長紋、底面木炭痕、内面ナデ	
427	850	I 1105日層		45	(43)	5	文様、底面木炭痕、底面木炭痕、小形土器	刺突
3709	851	E 1104日層		108	(30)	7	L長紋、底面木炭痕、内面ナデ?	
3746	852	I 1105日層		351	(47)	15	縁縁なし、底面木炭痕	
3714	853	H 1114日層		86	(43)	8	L長紋、底面木炭痕	
3715	854	I 1112		(114)	(16)		底面木炭痕	
3712	855	H 1113日層		(118)	(52)	12	縁縁突起、底面木炭痕、内面ケズリ	
3710	856	F II 11日層		137	(23)	8	L長紋+刺、底面木炭痕	
3719	857	表層		108	(39)	8	L長紋、底面木炭痕、内面ナデ	
3713	858	H 1113日層		109	(41)	9	L長紋、底面木炭痕、内面ナデ	
3711	859	F II 12日層		(126)	(34)	8	L長紋、底面木炭痕、内面ケズリ	
3717	860	I 1101日層		(122)	(23)	10	底面木炭痕、縁片/L長紋、内面ケズリ	
3718	861	H 1109日層		(142)	(26)	11	底面木炭痕	
624	862	I 1105日層		(70)	(65)	8	縁縁なし? 縁縁突起あり、底面木炭痕	刺突(中期)?
3730	863	H 1101日層		(70)	(11)	4	底面木炭痕	
3729	864	H 1103 + 04日層		(150)	(18)	7	底面木炭痕	
3726	865	H 1113日層		109	(31)	8	L長紋、底面木炭痕、底面木炭痕(複製?)	
3725	866	G 1109日層		99	(40)	7	L長紋、底面木炭痕(複製?)	
3722	867	F II 12日層		75	(20)	4	底面木炭痕(複製?)	
3723	868	F II 12日層		58	(28)	5	L長紋、底面木炭痕(複製?)	
3721	869	F II 12日層		66	(23)	6	底面木炭痕(複製?)	
3727	870	I 1102日層		(64)	(16)	6	底面木炭痕(複製?)	
3728	871	E 1108日層		(120)	(13)	7	底面木炭痕(複製?)	
3720	872	F II 12日層埋土		125	(36)	10	縁縁なし? L長紋? 底面木炭痕(複製?)	
3724	873	G 1103日層		140	(58)	10	縁縁なし? L長紋、底面木炭痕? 内面ナデ	
362	874	F II 08日層		30	(52)	6	小形土器、L長紋、底面木炭痕	刺突(中期)
504	875	F II 11日層		(87)	(41)	7	深鉢、L長紋、底面木炭痕	刺突(中期)
503	876	F II 11日層		(122)	(30)	7	深鉢、L長紋、L長紋、内面ナデ+ケズリ	刺突(中期)
505	877	F II 11日層		(126)	(24)	11	深鉢、L長紋、底面木炭痕	刺突(中期)
507	878	F II 11日層		123	(142)	14	深鉢、L長紋、内面ナデ	刺突(中期)
506	879	F II 11日層	(188)		(166)	7	深鉢、L長紋、浅鉢	刺突(中期)
508	880	F II 12日層		102	(137)	6	深鉢、縁縁なし、内面木炭痕+ケズリ	刺突(中期)
510	881	F II 10日層		(126)	(286)	11	深鉢、L長紋+縁縁+刺突、内面ナデ	刺突(中期)
511	882	G 1103日層埋土+中		78	(36)	7	縁縁なし、L長紋、底面木炭痕	刺突(中期)
516	883	G 1114日層		180	(52)	7	深鉢、L長紋、底面木炭痕	刺突(中期)
524	884	H 1103日層	(166)	89	261	7	深鉢、L長紋、底面木炭痕	刺突
515	885	G 1115日層		112	568	10	深鉢、L長紋、底面木炭痕(L)、底面木炭痕	刺突
530	886	H 1105日層		79	(60)	6	深鉢、L長紋、底面木炭痕、内面ナデ	刺突
544	887	I 1106日層		121	(315)	5	深鉢、L長紋、内面ナデ、底面木炭痕(スリ溝)	刺突(中期)
542	888	H 1104日層		80	(95)	5	深鉢、L長紋、内面ナデ、小形土器	刺突
561	889	I 1104日層		60	(74)	7	縁縁なし? L長紋、底面木炭痕	刺突?
567	890	I 1108日層			(270)	7	深鉢、L長紋+縁縁+内面ナデ	刺突(中期)
569	891	I 1112日層	(304)		(416)	8	深鉢、縁縁なし? 口縁部ナデ?	刺突(中期)
375	892	I 1112日層埋土		115	(122)	8	深鉢、L長紋、内面ナデ+ミガキ	刺突(中期)

調査号	番号	出土地点	口径mm	底径mm	総高さmm	厚さmm	特 徴	備考(時期)
583	893	I 1 13 日層	159		2183	6	深鉢、R.L.線+部、内面ナデ	複製(中期)
385	894	I 1 15 日層		60	1385	5	浅鉢? R.L.線、浅鉢、口縁部ナデ(ミガキ?)	複製(中期)
385	895	I 1 15 日層		61	1395	4	無文、底面文様、内面ミガキ?	複製(中期)
381	896	I 1 15 日層		83	1529	3	深鉢、R.L.線、底面網代文	複製
297	897	I 1 08 日層		90	1653	6	深鉢、R.L.線? 底面木葉文	複製(中期)
507	898	I 1 02 日層		96	1471	11	深鉢、R.L.線、底面網代文	複製(中期)
608	899	I 1 04 日層	(134)	64	69	5	浅鉢、底面文様、内面ナデ?	複製?
806	900	I 1 08 日層	(318)		2922	12	深鉢、R.L.線	複製
609	901	I 1 04 日層		105	1321	8	深鉢底? R.L.線+部、底面網代文	複製?
610	902	I 1 04		64	530	4	R.L.線、底面木葉文	複製
821	903	I 1 05 日層	(120)		1350	10	深鉢、R.L.線、底面網代文、胴部部分少し	複製(中期)
611	904	I 1 12 日層	304		1511	7	深鉢、R.L.線	複製(中期)
630	905	I 1 05 日層		90	137	8	深鉢底? R.L.線、底面文様	複製?
623	906	I 1 05 日層	(242)		11363	7	深鉢、R.L.線、浅鉢	複製、複製?
629	907	I 1 05 日層		79	1883	7	深鉢底? R.L.線	複製?
632	908	I 1 01 日層		99	1243	7	深鉢、R.L.線、底面文様(木葉文?)	複製
641	909	H 1 09 日層	112		1822	6	深鉢、R.L.線、内面網代文	複製(中期)
649	910	H 1 01 日層	(128)		1106	7	深鉢、R.L.線、内面ナデ	※911と同一個体
648	911	H 1 01 日層	68		539	7	深鉢、R.L.線、内面ナデ	※910と同一個体
632	912	F 1 06 日層	116		1422	9	深鉢底部? R.L.線、底面網代文、内面ナデ?	複製?
543	913	H 1 06 日層	50		147	6	深鉢? R.L.線、底面文様、内面ナデ? 小型土器	複製(中期)
653	914	R 1 01 日層		87	1114	8	深鉢底、R.L.線、底面網代文、内面ナデ?	複製
527	915	H 1 07 日層	(311)		1363	10	深鉢、R.L.線? 内面ナデ	複製(中期)
521	916	H 1 02 日層			1233	5	深鉢、R.L.線、底面網代文	複製(中期)
538	917	H 1 07 日層	543		326	8	深鉢、底面文(R.L.線)?、底面口縁(3 唇位)	複製(中期)
644	918	H 1 01 日層	(281)		1316	8	深鉢、R.L.線、内面ナデ? 口縁部ミガキ?	※919と同一個体
645	919	H 1 01 日層		115	1197	8	深鉢、口縁部? 底面網代文	※919と同一個体
331	920	H 1 06 日層		45	146	4	深鉢? 底面文(R.L.線)?、内面ナデ?、小型土器	複製
613	921	I 1 12 日層	160		2029	8	深鉢、R.L.線、底面突出、底面網代文	複製
600	922	H 1 01 日層	104		1681	7	深鉢? R.L.線、底面網代文、内面網代文	複製
625	923	I 1 05 日層	175		659	10	深鉢底? R.L.線、底面突出、底面木葉文	複製
555	924	H 1 11 日層		87	145	8	R.L.線、底面文様(木葉文?)	複製
628	925	I 1 05 日層	(56)		156	6	深鉢、R.L.線、底面網代文、小型土器	複製
577	926	I 1 12 日層 物	(83)		173	6	深鉢、(R.L.線)? 底面文様	複製
520	927	H 1 16		(76)	130	6	深鉢? R.L.線?、底面木葉文	複製?
617	928	I 1 05 日層	52		127	5	深鉢? R.L.線、底面文様、小型土器	複製
318	929	H 1 12 日層		42	133	5	小型土器、R.L.線、底面木葉文	複製
616	930	I 1 12 日層		54	146	4	小型土器、R.L.線、口縁部ナデ	複製
655	931	I 1 06 日層下部	(120)	74	1343	8	内外面コナデ?、内面木葉文	複製
3801	932	I 1 04 日層			53	4	口縁部	土器部
3804	933	I 1 05 日層			126	4	口縁部内面ナデ	土器部
3802	934	I 1 01 日層			154	11	内外面ヘラナデ	土器部
3806	935	I 1 05 日層			127	6	口縁部? 内面ナデ?、ミガキ	土器部
3805	936	I 1 05 日層			169	9	内外面ヘラナデ	土器部
3812	937	I 1 05 日層		46	117	5	底面網代文	土器部
3408	938	I 1 04 日層			145	3	ナデ、底面、内面ナデ	土器部
3811	939	I 1 05 日層			130	3	ナデ、底面、内面ナデ	土器部
3863	940	I 1 01 日層			129	5	口縁部、内面ミガキ、底面網代文	土器部
3809	941	I 1 04 日層			122	4	口縁部、内面ナデ?、底面網代文	土器部
3819	942	I 1 05 日層			134	4	口縁部?、底面網代文、底面網代文	土器部
3807	943	I 1 01 日層(複製品)	(60)		17	7	底面網代文	土器部
3901	944	H 1 03 - 04 日層			132	9	クサキ	底面網代文
3902	945	I 1 07 日層			130	9	クサキ	底面網代文
3903	946	I 1 05 日層			127	8	クサキ	底面網代文
3904	947	I 1 12 日層			140	7	クサキ	底面網代文
4001	948	E 1 16 日層		(199)	139	9	内面網代文	複製?

第5表 石器・石製品一覧表

図録号	番号	出土地点・層位	種	寸法	重量	材質	技法	備考
				長(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)		
2	15	RA01 (床北西)	石鏃	70	16	2.8	0.6	貫背
17	16	RA01	石鏃	25	11	4.5	1.8	貫背
1007	17	RA01	突頭鏃	45	18	8.8	5.1	貫背
32	18	RA01	石鏃	35	27	11.0	5.2	貫背
1224	19	RA01	削・鏃類その他	44	30	9.2	11.2	貫背
2291	27	RA02	凹石	130	63	48.0	589.6	砂岩
1601	28	RA02	砥石	162	93	53.0	616.9	燧石
2302	29	RA02	石製品	32	28	18.0	11.4	貫背
31	43	RA05	石鏃	36	13	5.2	1.5	貫背
1225	44	RA05	削・鏃類その他	35	20	8.8	5.2	貫背
1001	57	RA06	突頭鏃	58	14	4.5	3.8	貫背
1203	58	RA06	削・鏃類その他	42	44	12.0	3.8	貫背
1202	59	RA06	削・鏃類その他	53	24	17.0	16.6	貫背
1228	60	RA06	削・鏃類その他	50	47	15.0	49.6	砂岩
2001	61	RA06	磨製石斧	81	47	16.0	104.2	貫背
1302	62	RA06	磨り石	130	43	34.0	276.7	砂岩
1501	63	RA06	磨り石	122	85	70.8	903.4	燧山岩
2202	64	RA06	凹石	184	32	35.0	234.8	砂岩
4	82	RA10	石鏃	34	18	5.9	2.5	貫背
25	88	RA10	石鏃	33	15	7.7	3.9	貫背
3	89	RA10	石鏃	28	13	6.2	1.7	貫背
1204	89	RA10	削・鏃類その他	29	32	9.5	8.4	貫背
1244	91	RA10	削・鏃類その他	27	44	16.0	17.7	貫背
1242	92	RA10	削・鏃類その他	48	35	9.8	13.2	貫背
2209	93	RA10	凹石	91	69	44.0	384.7	砂岩
2002	104	RA12	磨製石斧	(54)	45	25.0	95.3	砂岩
20	103	RA14	石鏃	36	14	5.6	2.1	貫背
1206	127	KA22	削・鏃類その他	44	27	9.5	8.9	貫背
1207	128	KA22	削・鏃類その他	81	58	13.0	92.5	貫背
2401	129	KA22	石鏃	(203)	250	64.0	2326.6	燧山岩
1101	128	RA23	石鏃	43	27	8.4	9.8	貫背
1209	126	RA23	削・鏃類その他	48	35	6.3	7.7	貫背
1208	127	RA23	削・鏃類その他	55	43	11.0	28.4	貫背
2204	128	RA23	凹石	90	55	33.0	241.1	砂岩
2303	129	KA23	凹石	94	76	44.0	441.9	砂岩
1002	143	RA25	突頭鏃	57	15	8.1	4.9	貫背
1210	144	KA25	削・鏃類その他	59	32	11.0	17.4	貫背
54	138	RA26	石鏃	41	25	6.8	5.5	貫背
1251	129	KA26	削・鏃類その他	53	29	14.0	15.4	貫背
1211	160	RA26	削・鏃類その他	44	55	11.0	23.4	貫背
1503	161	RA26	磨り石	(74)	93	54.0	921.0	燧山岩
1505	162	RA26	磨り石	47	42	32.0	81.2	砂岩
1701	163	KA26	磨り石	56	66	53.0	187.1	燧山岩
1301	164	KA26	石鏃	(100)	121	106.0	3752.6	燧山岩
1806	165	KA26	砥石	70	95	33.0	136.7	燧山岩(磨納)
1235	179	RA30	削・鏃類その他	60	63	14.0	43.7	貫背
21	202	RA31	石鏃	33	14	6.3	1.9	貫背
8	203	RA31	石鏃	39	13	4.2	2.2	貫背
61	204	KA32	石鏃	38	36	6.3	3.9	貫背
1102	205	RA31	石鏃	40	18	6.3	3.6	貫背
1108	206	RA31	石鏃	56	22	6.7	5.9	貫背
1212	207	RA31	石鏃(複製品)	68	47	14.0	33.3	貫背
1236	208	RA31	削・鏃類その他	47	28	9.1	9.1	貫背
1248	209	KA31	削・鏃類その他	32	30	6.7	3.5	貫背
1401	210	RA31	平頭鏃(複製品)	279	174	63.0	2920.0	砂岩
1702	211	KA31	磨き石	86	60	74.0	4	燧山岩
1703	212	KA31	磨き石	65	37	24.0	60.9	燧山岩
1901	213	RA31	石斧	192	34	13.0	196.9	貫背
29	225	KA32	石鏃	33	11	5.6	1.3	貫背
16	226	KA33	石鏃	27	11	5.2	1.4	貫背
1103	229	RA34	石鏃	69	67	12.0	46.3	貫背
1221	240	RA34	削・鏃類その他	30	47	6.7	4.4	ホルンフェルス
2207	241	RA34	凹石	105	97	58.0	791.6	砂岩
2206	242	RA34	凹石	67	69	32.0	269.5	砂岩
1303	243	RA34	石鏃	(79)	37	(85.0)	(74.9)	燧山岩
1802	244	RA34	砥石	138	118	58.0	678.7	燧山岩(磨納)
1809	245	RA34	砥石	44	43	15.0	7.7	輝石
30	250	KA35	石鏃	12	13	3.5	0.5	燧山岩
1522	266	RA37	磨り石	51	42	29.0	56.3	燧山岩(磨納)
22	284	RA39	石鏃	31	13	5.6	1.7	貫背
23	285	RA39	石鏃	35	15	5.2	1.7	貫背
1237	286	RA39	削・鏃類その他	77	38	11.0	23.2	貫背
2005	287	RA39	磨製石斧	83	42	20.0	119.9	貫背
2103	288	KA39	凹石	286	178	86.0	5772.4	砂岩
7	307	1号層穴状遺物	石鏃	30	11	5.6	1.9	貫背
1234	308	1号層穴状遺物	削・鏃類その他	67	52	11.0	35.0	貫背
2205	320	1号層穴状遺物	凹石	113	88	45.0	693.2	砂岩
1801	311	1号層穴状遺物	砥石	161	109	65.0	642.9	燧山岩(磨納)
12	322	RD08	石鏃	27	12	4.5	0.5	貫背

収容番号	品番	出土地点・層位	原形	長(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	技法	備考
1513	323	MI08	磨り石	43	42	28.8	96.4	玄武岩	表羽山脈 新石器代	
1512	324	MI08	磨り石	96	66	54.9	406.1	砂岩	北上山地 古石器代	
2303	547	RD15	石製品	36	34	30.9	49.9	ホルンフェルス	北上山地	
1247	354	MI05	磨・擦磨その他	53	26	11.0	14.0	頁岩	奥羽山脈 削片の半規形鋸歯型刃削にHDの加工	
1248	369	RD20	磨・擦磨その他	31	34	11.0	11.0	頁岩	HHP 奥羽山脈	
1249	360	MI03	磨・擦磨その他	57	24	11.0	5.9	頁岩	奥羽山脈 両面加工磨削の成形加工削片	
13	377	RD32	石製品	38	13	5.2	1.9	頁岩	SMP 奥羽山脈 IHPの製品	
1232	384	MI05	磨・擦磨その他	42	43	9.8	15.3	頁岩	奥羽山脈 素材は両面加工磨削の成形加工削片?	
1235	385	RD35	磨・擦磨その他	33	25	10.9	9.8	頁岩	HMP 奥羽山脈 (石製品不審品?) 打痕は新取りで加工	
1248	386	RA35	磨り石	98	38	43.9	345.7	角閃岩 (緑紋)	奥羽山脈	
1509	387	RD35	磨り石	151	66	22.0	471.6	頁岩	北上山地 古~中石器代	
2210	397	MI03	磨り石	133	59	32.6	330.8	砂岩	北上山地 古石器代	
26	398	MI04	石製品	24	19	6.3	1.9	頁岩	SMP 奥羽山脈	
2301	399	RF04	石製品	47	36	36.0	73.0	両成岩	奥羽山脈 新石器代	
14	404	MI09	石製品	28	12	3.5	0.6	砂岩	IIHP	
15	422	RF22	石製品	20	13	3.5	0.4	頁岩	HHP 奥羽山脈 HPの製品	
1106	426	MI05	石製品	81	36	8.4	14.5	頁岩	SD 奥羽山脈	
1006	437	RI03	尖頭錐	49	18	13.0	9.7	頁岩	HMP 奥羽山脈	
1803	438	MI03	磨り石	103	55	71.0	320.8	両成岩 (磨岩)	奥羽山脈 新石器代	
1065	440	RF03	尖頭錐	49	25	12.0	16.5	頁岩	HMP 北上山地北部 古~中石器代	
1230	442	RF02	磨・擦磨その他	28	43	10.0	11.2	頁岩	HD 奥羽山脈	
1000	474	2号溝	尖頭錐	82	31	14.0	14.1	頁岩	奥羽山脈	
1104	475	2号溝	石製品	49	66	10.0	28.9	頁岩	SD 奥羽山脈 素材製錬と加工は同じハンマーの可塑性あり	
1238	472	2号溝	磨・擦磨その他	36	36	11.0	9.4	頁岩	IIHP 奥羽山脈 両成岩(石製品の成形加工削片)の可塑性あり	
1255	477	2号溝	芯石(尖頭錐)	38	18	8.4	4.9	頁岩	HHP 奥羽山脈	
1222	478	2号溝	磨・擦磨その他	64	37	20.0	24.4	頁岩	HHP 奥羽山脈 右側辺は平規形鋸歯	
1527	479	2号溝	磨り石	61	54	44.0	195.5	両成岩	北上山地 中石器代	
2182	480	2号溝	石製品	163	115	42.0	1014.2	砂岩	北上山地 古~中石器代	
1302	481	2号溝中央	石製品	173	128	89.0	2875.2	両成岩	奥羽山脈	
2200	494	1号坑(P01a)	磨り石	148	103	97.0	1261.6	砂岩	北上山地 古石器代	
1290	499	2号溝溝跡	磨・擦磨その他	42	28	8.8	7.5	頁岩	奥羽山脈	
1810	519	PI04	磨り石	69	52	43.0	45.2	火山岩 (磨岩)	奥羽山脈 新石器代	
113	949	H I 12日層	石製品	23	11	3.8	0.6	頁岩	SHP 奥羽山脈	
124	950	H I 07日層	石製品	23	13	3.8	0.9	頁岩	HMP 奥羽山脈	
139	951	H 08日層	石製品	24	13	4.9	0.9	両成岩	IIHP 不明	
107	952	G 03日層	石製品	28	14	6.3	1.8	頁岩	SMP 奥羽山脈	
102	953	H 08日層	石製品	39	23	5.0	4.1	頁岩	SMP 奥羽山脈	
1303	954	H 02日層	石製品	25	17	3.5	1.7	頁岩	HHP 奥羽山脈 素材はフラーフレイキングの削片	
134	955	H I 08日層	石製品	34	13	4.9	2.0	頁岩	HMP 奥羽山脈	
142	956	H 09日層	石製品	38	14	9.5	4.3	頁岩	HMP 北上山地	
122	957	H 11日層	石製品	46	17	9.1	4.8	頁岩	HMP 奥羽山脈	
110	958	H I 12日層	石製品	66	16	10.0	4.7	頁岩	HMP 奥羽山脈	
112	959	H I 12日層	石製品	22	14	3.8	0.7	頁岩	SHP 奥羽山脈	
123	960	H 14日層	石製品	25	13	4.5	0.6	頁岩	SMP 奥羽山脈	
117	961	H 04日層	石製品	24	18	2.8	0.5	頁岩	HMP 奥羽山脈	
108	962	H I 12日層	石製品	25	19	4.2	1.1	頁岩	SMP 奥羽山脈 後期資料	
119	963	H 10日層	石製品	32	19	7.4	3.5	頁岩	IIHP 奥羽山脈	
263	964	H I 08日層	尖頭錐	49	18	9.8	7.0	頁岩	HMP 奥羽山脈 201と同じ製作技術	
261	965	F 13日層	尖頭錐	48	24	10.0	9.2	頁岩	HMP 奥羽山脈 205と同じ製作技術	
263	966	H I 14日層	尖頭錐	54	18	8.8	6.5	頁岩	HI 奥羽山脈	
202	967	H 10日層	尖頭錐	50	22	8.8	13.0	頁岩	IIHP 奥羽山脈	
206	968	H I 09日層	尖頭錐	48	26	15.0	18.5	頁岩	無し 奥羽山脈	
601	969	H I 12日層	石製品	25	18	4.5	1.4	頁岩	HHP 奥羽山脈 断面の折れ目は新取り加工の可能性あり	
602	970	H 13日層	石製品	27	19	5.9	1.9	頁岩	IIHP 奥羽山脈 断面の折れ目は新取り加工の可能性あり	
603	971	H I 12日層	石製品	49	29	9.1	5.3	頁岩	HHP 奥羽山脈	
302	972	H 02日層	石製品	58	52	11.0	21.2	頁岩	HMP 奥羽山脈 素材削片の打痕は5 mm	
308	973	H 09日層	石製品	58	77	11.0	31.4	頁岩	HMP 北上山地北部 古~中石器代	
304	974	H I 08日層	石製品	74	26	13.0	14.5	頁岩	HMP 奥羽山脈	
307	975	J I 03日層	石製品	49	29	5.6	5.8	頁岩	SHP 奥羽山脈	
302	976	H 02日層	石製品	77	25	10.0	15.6	頁岩	HMP 奥羽山脈	
305	977	F 03日層	石製品	124	45	18.0	70.9	頁岩	SD 奥羽山脈 素材はフラーフレイキング 真正の削片ではない	
703	978	H 13日層	石製品	92	47	16.0	70.1	頁岩	SD 北上山地北部 古~中石器代	
702	979	J I 04日層	石製品	92	37	18.6	98.3	ホルンフェルス	HD 北上山地	
526	980	J I 04日層	磨・擦磨その他	66	39	21.0	32.7	頁岩	北上山地	
415	981	H 03日層	磨・擦磨その他	26	23	5.0	3.0	頁岩	奥羽山脈 新石器代	
624	982	H 13日層	磨・擦磨その他	32	25	6.0	4.6	頁岩	北上山地	
439	983	H 09日層	磨・擦磨その他	40	18	4.0	3.6	頁岩	奥羽山脈	
479	984	H I 16日層	磨・擦磨その他	40	18	7.0	3.4	頁岩	奥羽山脈	
509	985	J I 08日層	磨・擦磨その他	40	21	6.0	3.6	頁岩	北上山地	
421	986	H 09日層	磨・擦磨その他	38	18	3.0	2.9	頁岩	奥羽山脈	
485	987	G 03日層	磨・擦磨その他	32	29	8.0	7.2	頁岩	奥羽山脈	
457	988	G 09日層	磨・擦磨その他	39	22	7.0	4.4	頁岩	奥羽山脈	
519	989	F 02日層	磨・擦磨その他	36	43	7.0	4.0	頁岩	北上山地	
422	990	J I 06日層	磨・擦磨その他	27	38	6.0	9.2	頁岩	奥羽山脈	
434	991	F 12日層	磨・擦磨その他	36	28	11.0	10.6	頁岩	奥羽山脈	
431	992	J I 05日層	磨・擦磨その他	39	37	8.0	11.9	頁岩	奥羽山脈	
552	993	J I 06日層	磨・擦磨その他	34	39	11.0	12.0	頁岩	北上山地	
419	994	J I 06日層	磨・擦磨その他	33	30	7.0	7.7	頁岩	奥羽山脈	
403	995	G 04日層	磨・擦磨その他	39	34	6.0	5.4	頁岩	奥羽山脈	
498	996	J I 16日層	磨・擦磨その他	29	34	9.0	12.7	頁岩	奥羽山脈	

図番号	番号	出土地点・部位	群 属	長8mm	幅mm	厚mm	重量g	石 質	技法	備 考
486	997	H 11611層	形・磨蝕その他	(28)	45	7.0	10.5	燧石質		北上山地北部 古~中生代
528	998	H 110911層	形・磨蝕その他		39	35	8.0	頁岩		北上山地
529	999	F 111611層	形・磨蝕その他	44	30	9.0	7.7	頁岩		北上山地
426	1000	F 111511層	形・磨蝕その他	47	26	13.0	11.2	頁岩		奥羽山脈
534	1001	H 111411層	形・磨蝕その他	51	28	10.0	10.7	頁岩		北上山地
422	1002	I 110511層	形・磨蝕その他	33	51	11.0	20.0	頁岩		奥羽山脈
428	1003	I 111211層	形・磨蝕その他	47	26	10.0	9.0	頁岩		奥羽山脈
414	1004	H 110211層	形・磨蝕その他	46	35	7.0	16.8	頁岩		奥羽山脈
525	1005	H 110311層	形・磨蝕その他	42	28	9.0	12.5	砂岩		北上山地
520	1006	H 111311層	形・磨蝕その他	47	35	11.0	13.2	頁岩		北上山地
407	1007	H 11211層	形・磨蝕その他	52	23	11.0	9.8	珪質頁岩		北上山地北部 古~中生代
541	1008	H 110911層	形・磨蝕その他	37	50	11.0	15.9	頁岩		北上山地
462	1009	B 匠穴群	形・磨蝕その他	38	62	13.0	21.6	頁岩		奥羽山脈
427	1010	I 111211層	形・磨蝕その他	45	36	13.0	18.5	頁岩		奥羽山脈
409	1011	H 111611層	形・磨蝕その他	64	23	11.0	10.2	頁岩		奥羽山脈
516	1012	F 110711層	形・磨蝕その他	51	29	16.0	20.7	頁岩		北上山地
418	1013	I 110311層	形・磨蝕その他	56	39	12.0	23.2	頁岩		奥羽山脈
416	1014	H 110511層	形・磨蝕その他	49	47	8.0	17.0	頁岩		奥羽山脈
426	1015	I 110411層	形・磨蝕その他	48	38	10.0	17.4	頁岩		奥羽山脈
430	1016	I 110511層	形・磨蝕その他	42	53	13.0	15.4	頁岩		奥羽山脈
463	1017	B 匠穴北トレンチ	形・磨蝕その他	35	64	13.0	22.0	頁岩		奥羽山脈
405	1018	G 111311層	形・磨蝕その他	68	26	11.0	12.7	頁岩		奥羽山脈
441	1019	G 110211層	形・磨蝕その他	59	50	11.0	30.0	頁岩		奥羽山脈
536	1020	I 110111層	形・磨蝕その他	74	30	15.0	21.7	頁岩		北上山地
433	1021	I 110511層	形・磨蝕その他	53	50	9.0	21.7	頁岩		北上山地北部 古~中生代
418	1022	H 110611層	形・磨蝕その他	53	32	14.0	25.6	頁岩		奥羽山脈
492	1023	I 111511層	形・磨蝕その他	12	24	67.0	24.5	頁岩		奥羽山脈
401	1024	F 110711層	形・磨蝕その他	53	59	10.0	26.8	頁岩		奥羽山脈
473	1025	F 110411層	形・磨蝕その他	58	42	11.0	22.0	頁岩		奥羽山脈
445	1026	G 110911層	形・磨蝕その他	49	78	12.0	41.6	頁岩		奥羽山脈
3912	1027	H 111311層	磨蝕石片	111	59	35.0	352.8	砂岩		北上山地 古生代
3902	1028	F 110711層	磨蝕石片	100	30	25.0	188.3	砂岩		北上山地 古生代
3901	1029	F 110411層	磨蝕石片	53	28	12.0	30.0	砂岩		北上山地 中生代
3925	1030	G 110311層	磨蝕石片	88	30	14.0	57.8	頁岩		北上山地北部 古~中生代
3917	1031	H 110911層	磨蝕石片	92	42	30.0	210.5	頁岩(凝灰)		北上山地 古生代
4295	1032	H 111611層	磨蝕石片	(107)	42	30.0	227.0	頁岩(凝灰)		北上山地 中生代
3928	1033	I 110411層	磨蝕石片	88	41	30.0	157.8	左端部磨蝕		北上山地
3919	1034	H 110911層	磨蝕石片	90	49	26.0	172.8	砂岩		北上山地 古生代
3909	1035	H 111311層	磨蝕石片	(70)	33	21.0	91.1	頁岩		北上山地北部 古~中生代
3910	1036	H 111311層	磨蝕石片	(48)	32	11.0	32.6	燧石質(凝灰)		北上山地 中生代
3920	1037	E 1116	磨蝕石片	(52)	48	(29.0)	129.4	花崗閃緑岩		北上山地 中生代
3201	1038	I 1107	磨り石	109	87	68.0	919.8	閃緑岩(凝灰)		奥羽山脈
3203	1039	I 111211層	磨り石	148	30	37.0	324.4	砂岩		北上山地 古生代
3222	1040	H 110111層	磨り石	109	(70)	49.0	511.5	アゾライト		奥羽山脈 中生代
3212	1041	F 111411層	磨り石	162	55	29.0	419.5	砂岩		北上山地 古~中生代
3200	1042	F 110811層	磨り石	46	(143)	91.0	674.5	安山岩		奥羽山脈 中生代
3220	1043	H 111611層	磨り石	71	23.0	419.2	砂岩		北上山地 古~中生代	
3226	1044	H 110911層	磨り石	111	87	61.0	850.5	砂岩		北上山地 古生代
3227	1045	H 111311層	磨り石	62	74	37.0	185.2	砂岩		北上山地 古~中生代
3237	1046	F 111611層	磨り石	(80)	69	51.0	493.0	砂岩		北上山地 古生代
3236	1047	奥匠	磨り石	120	40	28.0	235.7	砂岩		北上山地 古~中生代
3239	1048	G 111411層	磨り石	104	52	39.0	275.6	砂岩		北上山地 古~中生代
4081	1049	G 110411層	凹石	100	91	37.0	866.0	砂岩		北上山地 古生代
4082	1050	F 110411層	凹石	129	84	58.0	1009.9	閃緑岩(凝灰)		北上山地 古生代
4086	1051	H 11611層	凹石	131	84	37.0	1017.9	砂岩		北上山地 古~中生代
4083	1052	F 111411層	凹石	50	62	30.0	101.5	安山岩(凝灰)		奥羽山脈 中生代
4087	1053	H 11611層	凹石	130	67	21.0	299.0	砂岩		北上山地 古~中生代
4013	1054	H 110511層	凹石	82	93	64.0	569.7	安山岩		奥羽山脈 中生代
4012	1055	H 111311層	凹石	108	83	46.0	604.2	砂岩		北上山地 古~中生代
4019	1056	I 110511層	凹石	115	92	42.0	377.4	安山岩(磨蝕)		奥羽山脈 中生代
4015	1057	I 110911層	凹石	106	79	47.0	527.9	閃緑岩(凝灰)		北上山地 中生代
4028	1058	I 110111層	凹石	118	82	68.0	679.9	砂岩		奥羽山脈 中生代
4023	1059	I 110511層	凹石	159	72	36.0	565.1	砂岩		北上山地 古生代
4025	1060	H 110911層	凹石	133	75	35.0	252.6	砂岩		北上山地 古~中生代
4026	1061	H 110911層	凹石	102	90	63.0	960.1	閃緑岩(凝灰)		北上山地 中生代
4029	1062	B 匠穴群	凹石	88	67	31.0	273.0	砂岩		北上山地 古~中生代
4031	1063	I 111311層	凹石	134	64	30.0	358.5	砂岩		北上山地 古生代
3502	1064	H 110111層	磨き石	161	76	28.0	544.2	砂岩		北上山地 古生代
3504	1065	H 111211層	磨き石	50	45	44.0	169.9	砂岩		北上山地 古生代
3503	1066	I 110511層	磨き石	121	82	40.0	485.2	閃緑岩(凝灰)		北上山地 中生代
3506	1067	I 110111層	磨き石	156	73	37.0	453.3	砂岩		北上山地 古生代
3509	1068	I 110511層	磨き石	81	72	57.0	497.7	花崗凝結		北上山地 古生代
3507	1069	I 110511層	磨き石	73	51	41.0	292.0	砂岩		北上山地 古生代
3510	1070	H 110111層	磨き石	105	45	90.0	345.1	砂岩		北上山地 古生代
4201	1071	I 110511層	石鏝	69	111	20.0	183.6	砂岩		北上山地 古生代
3202	1072	H 111611層	石鏝	210	188	36.0	1536.6	砂岩		北上山地 古生代
3910	1073	I 110511層	石鏝	184	110	26.0	770.9	燧石質		奥羽山脈 中生代
3912	1074	I 110911層	石鏝	74	78	39.0	112.6	燧石質		奥羽山脈
3905	1075	I 111311層	石鏝	190	185	38.0	2979.9	砂岩		北上山地 古生代
3204	1076	I 110411層	磨り石	204	186	39.0	1657.6	アゾライト		北上山地 中生代

図号	番号	出土地点・層位	器種	長さ(mm)	幅(mm)	高さ(mm)	容量(L)	材質	技法	備考
3601	1077	F 1113日層	石碗	115	113	76.6	345.7	雲母質 (磨製)	丸山窯 (磨製)	丸山窯 新生代
3906	1078	F 1113日層	水石	202	228	57.0	5500.1	アブライト	丸山窯	中生代
3907	1079	F 1113日層	盆石	291	234	40.8	3376.4	アブライト	丸山窯	中生代
3101	1080	F 1116日層	石鉢	(66)	48	36.0	136.2	安山岩	丸山窯	新生代
3100	1081	F 1116日層	石鉢	(137)	45	39.0	420.4	流紋岩	丸山窯	新生代
3108	1082	F 1116日層	石鉢	(131)	57	46.0	832.4	流紋岩	丸山窯	新生代
3102	1083	F 1116日層	石鉢	(139)	72	65.0	750.4	流紋岩	丸山窯	新生代
3110	1084	F 1116日層	石鉢	(139)	61	46.0	483.2	流紋岩	丸山窯	新生代
4101	1085	F 1116日層	石製品	35	23	24.0	31.3	凝灰岩	丸山窯	新生代
4117	1086	F 1117日層	石製品	46	39	33.0	98.7	ハートイ管	丸山窯	中生代
4103	1087	G 1117日層	石製品(円筒状)	42	43	11.0	28.0	砂岩	丸山窯	中生代
4104	1088	G 1117日層	石製品	41	35	22.0	23.0	砂岩	丸山窯	新生代
4107	1089	H 1115日層	石製品	44	38	33.0	71.3	丸融岩	若手町北山崎	中生代
4105	1090	H 1115日層	石製品	42	39	37.0	80.8	砂岩	北上山崎古生代	
4110	1091	F 1112日層	石製品	(48)	48	35.0	99.2	砂岩	丸山窯	新生代
4112	1092	F 1116日層	石製品	30	29	21.0	21.8	砂岩	北上山崎 古生代	
4113	1093	F 1116日層	石製品(円筒状)	44	41	15.0	28.8	安山岩	丸山窯	新生代
4115	1094	F 1116日層	石製品(円筒状)	32	26	7.0	7.1	凝灰岩	丸山窯	新生代
4108	1095	F 1116日層	石製品	48	38	36.0	84.2	砂岩	北上山崎 古生代	
4120	1096	H 1112日層	石製品(円筒状)	69	111	19.0	93.7	安山岩	北上山崎 古生代	
4321	1097	E 1116	流紋岩	11.4	22	18.0	62.1	貫岩	北上山崎	
5003	1099	RA10	水石	70	40	29.0	108.6	水石	北上山崎 中生代	■遺物と真のみ模範
201	1270	F 1114日層	尖頭器	63	21	13.0	15.4	貫岩	丸山窯	■遺物と真のみ模範
207	1271	表面	尖頭器	64	24	12.0	17.9	貫岩	丸山窯	■遺物と真のみ模範
109		H 1117日層	石鉢	28	16	4.0	1.0	貫岩	丸山窯	
308		H 1116日層	甬・縁部その他	36	40	15.0	16.8	貫岩	北上山崎	
4118		H 1113日層	石製品	44	36	28.0	69.2	砂岩	北上山崎	
6		RA27	石鉢	(14)	(11)	3.0	0.4	貫岩	丸山窯	
9		RA32	石鉢	(29)	13	8.0	2.7	貫岩	丸山窯	
11		RA33	石鉢	(32)	16	7.0	2.8	貫岩	丸山窯	
16		2号溝	石鉢	(30)	13	7.0	2.6	貫岩	丸山窯	
18		RA1	石鉢	27	13	7.0	1.4	貫岩	丸山窯	
19		RA09	石鉢	32	17	7.0	3.4	貫岩	丸山窯	
24		KA02	石鉢	28	16	5.0	1.6	貫岩	丸山窯	
27		KA33	石鉢	(27)	15	4.0	1.8	貫岩	丸山窯	
28		RA23	石鉢	(23)	14	4.0	1.2	貫岩	丸山窯	
33		KA15	石鉢	(22)	12	4.0	0.7	貫岩	丸山窯	
1008		RA33	尖頭器	64	29	13.0	20.1	貫岩	丸山窯	
1201		RA06	甬・縁部その他	(24)	(20)	10.0	6.0	貫岩	丸山窯	
1213		KA33	甬・縁部その他	37	23	8.0	5.2	貫岩	丸山窯	
1214		RA33	甬・縁部その他	(22)	(19)	5.0	1.6	貫岩	丸山窯	
1218		KA33	甬・縁部その他	29	38	10.0	7.9	貫岩	丸山窯	
1219		RA33	甬・縁部その他	(34)	29	6.0	4.8	貫岩	丸山窯	
1220		KA33	甬・縁部その他	36	20	9.0	8.1	貫岩	丸山窯	
1223		RA01	甬・縁部その他	(31)	19	5.0	3.8	貫岩	丸山窯	
1228		RA06	甬・縁部その他	48	29	13.0	10.8	貫岩	丸山窯	■上部に付着物あり
1227		RA06	甬・縁部その他	(20)	35	9.0	5.2	貫岩	丸山窯	
1229		RA24	甬・縁部その他	(20)	16	4.0	1.4	貫岩	丸山窯	
1240		KA01	甬・縁部その他	50	24	15.0	8.2	貫岩	丸山窯	
1243		RA19	甬・縁部その他	34	33	8.0	7.4	貫岩	丸山窯	
1245		RA20	甬・縁部その他	32	22	8.0	4.8	貫岩	丸山窯	
1250		KA20	甬・縁部その他	45	14	5.0	3.6	貫岩	丸山窯	
1251		KA23	甬・縁部その他	(38)	54	15.0	41.6	貫岩	丸山窯	
1252		KA26	甬・縁部その他	22	41	10.0	19.0	貫岩	丸山窯	
1253		KA26	甬・縁部その他	27	46	7.0	5.1	貫岩	丸山窯	
1254		KA24	甬・縁部その他	62	33	12.0	12.9	貫岩	丸山窯	
1256		RA01	甬・縁部その他	(21)	20	3.0	1.1	貫岩	丸山窯	
1257		RA23	甬・縁部その他	60	46	12.0	22.4	貫岩	丸山窯	
1258		RA33	甬・縁部その他	9	15	2.0	0.3	貫岩	丸山窯	
1259		KA24	甬・縁部その他	19	20	7.0	2.1	貫岩	丸山窯	
1261		2号縁部 P2	甬・縁部その他	(27)	(18)	5.0	2.7	貫岩	丸山窯	
1262		KA23	甬・縁部その他	39	32	14.0	16.4	貫岩質	丸山窯	
1803		RA10	縁石					安山岩 (磨製)	丸山窯	新生代
1807		RA10	縁石					安山岩 (磨製)	丸山窯	新生代
1808		2号溝	縁石					安山岩 (磨製)	丸山窯	新生代
401		F 1114(磨製)日層	石鉢	(31)	18	6.0	2.6	貫岩	丸山窯	
303		F 1114日層	石鉢	37	14	5.0	2.1	貫岩	丸山窯	
304		G 1113日層	石鉢	24	11	6.0	1.4	流紋岩質	北上山崎北部	古~中生代
305		G 1113日層	石鉢	(30)	14	5.0	1.8	貫岩	丸山窯	
306		G 1113日層	石鉢	(24)	13	8.0	2.1	貫岩	丸山窯	
117		H 1112日層	石鉢	32	9	3.0	0.8	貫岩	丸山窯	
114		H 1112日層	石鉢	34	13	5.0	1.7	貫岩	丸山窯	
115		H 1111日層	石鉢	37	20	9.0	6.0	貫岩	丸山窯	
116		H 1111日層	石鉢	(23)	15	3.0	0.7	貫岩	丸山窯	
118		H 1112日層	石鉢	(43)	16	8.0	4.2	貫岩	丸山窯	
426		H 1112日層	石鉢	35	13	5.0	2.0	貫岩	丸山窯	
121		H 1112日層	石鉢	(30)	12	7.0	2.0	貫岩	丸山窯	
125		F 1116日層	石鉢	(25)	13	3.0	1.1	貫岩	丸山窯	
126		F 1112日層	石鉢	27	9	4.0	0.8	貫岩	丸山窯	

製造番号	番号	山上地点・層位	器種	長さmm	幅mm	厚Dmm	重量g	心質	技法	備考
127	I 1101日層	石鏡	49	19	12.0	7.8	質甲	奥羽山脈		
128	I 1121日層	石鏡	130	17	3.0	0.5	質乙	奥羽山脈		
129	F 1151日層	石鏡	23	24	9.8	4.6	質甲	奥羽山脈		
130	H 1151日層	石鏡	23	14	2.0	0.6	質乙	奥羽山脈		
131	H 1109日層	石鏡	(19)	12	3.6	0.5	質甲	奥羽山脈		
132	H 1112日層	石鏡	34	16	7.9	2.9	質乙	奥羽山脈		
133	I 1108日層	石鏡	30	16	8.9	4.7	質甲	奥羽山脈		
135	I 1108日層	石鏡	44	13	8.0	2.0	質甲	奥羽山脈		
136	I 1109日層	石鏡	(31)	15	6.0	2.5	質甲	奥羽山脈		
137	I 1104日層	石鏡	(21)	17	4.0	0.9	堆積層	北上山地北麓 古〜中生代		
138	I 1104日層	石鏡	46	14	5.0	3.0	質乙	奥羽山脈		
140	H 1101日層	石鏡	(34)	15	9.0	5.2	質甲	北上山地		
141	I 1161日層	石鏡	(21)	14	5.8	1.7	砂質頁岩	北上山地		
143	I 1108日層	石鏡	(26)	16	5.6	1.8	質甲	奥羽山脈		
144	G 1141日層	石鏡	(20)	16	5.6	1.7	質乙	奥羽山脈		
301	H 1101日層	石鏡	30	27	11.9	7.7	質甲	奥羽山脈		
305	J 1103日層	石鏡	64	13	12.0	5.0	質乙	奥羽山脈		
309	H 1115日層	石鏡	52	27	8.5	8.1	質甲	奥羽山脈		
404	G 1111日層	部・雑器その他	28	13	4.0	0.8	質甲	奥羽山脈		
405	H 1112日層	部・雑器その他	28	30	12.0	8.8	質甲	奥羽山脈		
408	H 1116日層	部・雑器その他	30	20	7.0	4.1	質甲	奥羽山脈		
410	H 1110日層	部・雑器その他	67	70	13.0	60.1	質甲	奥羽山脈		
411	H 1101日層	部・雑器その他	43	35	8.0	4.1	堆積層	北上山地北麓 古〜中生代		
412	H 1101日層	部・雑器その他	43	35	15.0	18.9	質乙	奥羽山脈		
413	H 1101日層	部・雑器その他	45	41	9.0	24.0	質甲	奥羽山脈		
417	H 1105日層	部・雑器その他	50	23	12.0	8.0	質乙	奥羽山脈		
420	H 1125日層	部・雑器その他	97	85	16.0	118.5	質甲	北上山地北麓 古〜中生代		
423	H 1131日層	部・雑器その他	68	49	17.0	46.3	質甲	奥羽山脈		
424	H 1113日層	部・雑器その他	59	53	18.0	61.8	質甲	奥羽山脈		
425	H 1115日層	部・雑器その他	40	26	4.0	4.6	質甲	奥羽山脈		
429	I 1105日層	部・雑器その他	35	32	8.0	8.9	質甲	奥羽山脈		
435	F 1115日層	部・雑器その他	40	35	13.0	12.8	質甲	奥羽山脈		
437	F 1112日層	部・雑器その他	(53)	80	17.0	49.7	質甲	奥羽山脈		
438	H 1105日層	部・雑器その他	28	14	5.0	1.4	質甲	奥羽山脈		
440	F 1111日層	部・雑器その他	45	28	6.0	5.6	質甲	奥羽山脈		
442	I 1103日層	部・雑器その他	34	16	4.0	2.4	質甲	奥羽山脈		
443	H 1131日層	部・雑器その他	73	31	9.0	6.6	質乙	奥羽山脈		
444	出土地点不明	部・雑器その他	35	18	6.0	3.2	質甲	奥羽山脈		
445	J 1104日層	部・雑器その他	44	18	8.0	4.2	質甲	奥羽山脈		
447	H 1116日層	部・雑器その他	24	23	5.0	3.0	質甲	奥羽山脈		
448	I 1116日層	部・雑器その他	19	23	9.0	3.4	堆積層	北上山地北麓 古〜中生代		
449	F 1114日層	部・雑器その他	47	17	8.0	5.5	質乙	奥羽山脈		
450	G 1141日層	部・雑器その他	79	35	23.0	49.9	質甲	奥羽山脈		
451	F 1113日層	部・雑器その他	39	47	14.0	17.5	質甲	奥羽山脈		
452	F 1104日層	部・雑器その他	45	20	14.0	13.1	質甲	奥羽山脈		
453	H 1117日層	部・雑器その他	31	32	(10.0)	8.5	質甲	奥羽山脈		
454	G 1104日層	部・雑器その他	43	27	12.0	14.3	質甲	奥羽山脈		
455	F 1102日層	部・雑器その他	44	23	5.0	3.4	質甲	奥羽山脈		
456	J 1107日層	部・雑器その他	25	23	5.0	3.1	質乙	奥羽山脈		
458	H 1109日層	部・雑器その他	23	17	4.0	1.6	質甲	奥羽山脈		
459	H 1109日層	部・雑器その他	48	27	6.0	9.8	質甲	奥羽山脈		
460	I 1108日層	部・雑器その他	53	20	7.0	4.2	質甲	奥羽山脈		
461	I 1108日層	部・雑器その他	36	27	7.0	5.0	質甲	奥羽山脈		
464	I 1106日層	部・雑器その他	30	49	12.0	16.7	質乙	北上山地		
465	G 1141日層	部・雑器その他	20	28	8.0	2.4	質甲	奥羽山脈		
466	G 1103日層	部・雑器その他	62	42	10.0	28.4	質甲	北上山地北麓 古〜中生代		
467	F 1103日層	部・雑器その他	22	30	9.0	5.4	質甲	奥羽山脈		
468	G 1103日層	部・雑器その他	46	30	7.0	10.7	質甲	奥羽山脈		
469	G 1104日層	部・雑器その他	54	39	9.0	12.5	質甲	奥羽山脈		
470	G 1104日層	部・雑器その他	36	20	16.0	4.0	堆積層	北上山地北麓 古〜中生代		
471	G 1114日層	部・雑器その他	45	36	16.0	13.7	質甲	奥羽山脈		
472	F 1101日層	部・雑器その他	22	22	5.0	2.2	質甲	奥羽山脈		
474	G 1103日層	部・雑器その他	56	40	12.0	21.0	質甲	奥羽山脈		
475	G 1103日層	部・雑器その他	31	27	7.0	4.1	質甲	奥羽山脈		
476	H 1112日層	部・雑器その他	27	19	6.0	3.0	質甲	奥羽山脈		
477	H 1112日層	部・雑器その他	41	38	12.0	17.6	質甲	奥羽山脈		
478	H 1116日層	部・雑器その他	38	20	5.0	2.6	質甲	奥羽山脈		
480	H 1112日層	部・雑器その他	38	18	11.0	6.0	質甲	奥羽山脈		
481	H 1112日層	部・雑器その他	35	35	14.0	14.0	質甲	奥羽山脈		
482	H 1112日層	部・雑器その他	47	20	13.0	12.5	質甲	奥羽山脈		
483	I 1105日層	部・雑器その他	38	30	6.0	5.0	質乙	奥羽山脈		
484	G 1103日層	部・雑器その他	29	22	6.0	2.6	質甲	奥羽山脈		
485	G 1103日層	部・雑器その他	25	26	4.0	3.1	質甲	奥羽山脈		
487	I 1102日層	部・雑器その他	38	36	10.0	11.6	質乙	奥羽山脈		
488	I 1101日層	部・雑器その他	39	24	6.0	3.4	質甲	奥羽山脈		
489	I 1101日層	部・雑器その他	39	20	7.0	10.4	質甲	奥羽山脈		
490	I 1101日層	部・雑器その他	30	26	6.0	5.6	質甲	奥羽山脈		
491	I 1101日層	部・雑器その他	(22)	22	10.0	4.8	質甲	奥羽山脈		
492	I 1112日層	部・雑器その他	13	49	37.0	17.5	質乙	奥羽山脈		
494	I 1101日層	部・雑器その他	10	18	21.0	3.6	質甲	奥羽山脈		

区番号	番号	出土地点・層位	部 類	長さmm	幅mm	厚さmm	重量g	石 質	技法	備 考
495	G 1104日層	削・擦跡その他	32	34	7.0	8.5	頁岩			奥羽山脈
496	I 1105日層	削・擦跡その他	28	23	7.5	4.4	頁岩			奥羽山脈
497	I 1121日層	削・擦跡その他	(27)	37	7.0	9.4	頁岩			奥羽山脈
499	I 1121日層	削・擦跡その他	40	30	16.0	19.0	頁岩			奥羽山脈
500	I 1104日層	削・擦跡その他	37	27	8.0	5.9	頁岩			北上山地
501	I 1121日層	削・擦跡その他	31	20	6.9	3.5	頁岩			北上山地
502	I 1121日層	削・擦跡その他	30	47	8.6	7.3	頁岩			北上山地
503	H 1121日層	削・擦跡その他	(26)	18	6.0	2.3	頁岩			北上山地
504	H 1121日層	削・擦跡その他	43	24	9.0	7.2	頁岩			北上山地
505	H 1121日層	削・擦跡その他	(20)	(28)	10.0	4.5	頁岩			北上山地
506	I 1104日層	削・擦跡その他	33	16	6.0	2.2	頁岩			北上山地
507	I 1104日層	削・擦跡その他	35	24	6.0	4.1	頁岩			北上山地
510	I 1121日層	削・擦跡その他	45	24	4.0	3.4	頁岩			北上山地
511	I 1104日層	削・擦跡その他	42	19	5.0	2.7	頁岩			北上山地
513	I 1105日層	削・擦跡その他	24	16	4.0	1.5	頁岩			北上山地
514	F 1103日層	削・擦跡その他	34	15	4.0	1.6	頁岩			北上山地
515	F 1104日層	削・擦跡その他	37	24	3.0	3.7	頁岩			北上山地
517	F 1107日層	削・擦跡その他	35	28	8.0	9.5	頁岩			北上山地
518	F 1107日層	削・擦跡その他	33	36	5.0	7.2	頁岩			北上山地
521	F 1107日層	削・擦跡その他	35	24	6.0	4.9	頁岩			北上山地
522	H 1106日層	削・擦跡その他	36	38	4.0	6.0	頁岩			北上山地
523	H 1113日層	削・擦跡その他	37	33	10.0	7.3	頁岩			北上山地
525	H 1114日層	削・擦跡その他	40	27	3.0	4.9	頁岩			北上山地
526	H 1106日層	削・擦跡その他	39	32	7.0	4.7	頁岩			北上山地
527	H 1116日層	削・擦跡その他	34	20	3.0	2.6	頁岩			北上山地
530	H 1101日層	削・擦跡その他	28	23	5.0	3.1	地層質頁岩			北上山地
531	H 1113日層	削・擦跡その他	25	21	6.0	2.4	頁岩			北上山地
532	H 1113日層	削・擦跡その他	31	33	14.0	18.0	頁岩			北上山地
533	I 1105日層	削・擦跡その他	44	43	10.0	22.0	頁岩			北上山地
534	I 1105日層	削・擦跡その他	44	26	5.0	6.2	頁岩			北上山地
537	H 1109日層	削・擦跡その他	31	30	5.0	4.3	頁岩			北上山地
539	H 1109日層	削・擦跡その他	22	36	13.0	8.0	頁岩			北上山地
540	H 1109日層	削・擦跡その他	37	30	8.0	5.9	頁岩			北上山地
542	H 1109日層	削・擦跡その他	45	39	8.0	10.4	頁岩			北上山地
543	H 1109日層	削・擦跡その他	30	52	14.0	17.6	頁岩			北上山地
544	H 1109日層	削・擦跡その他	34	33	6.0	7.2	頁岩			北上山地
545	H 1109日層	削・擦跡その他	59	25	4.0	8.6	頁岩			北上山地
546	F 1112日層	削・擦跡その他	(27)	32	8.0	9.1	頁岩			北上山地
547	E 1108日層	削・擦跡その他	38	39	12.0	18.6	頁岩			北上山地
548	D 1101	削・擦跡その他	28	34	13.0	6.6	頁岩			北上山地
549	D 1101	削・擦跡その他	52	36	15.0	22.2	赤色弾丸質頁岩			北上山地
550	I 1121日層	削・擦跡その他	27	20	5.0	2.5	頁岩			北上山地
551	I 1105日層	削・擦跡その他	38	32	12.0	12.2	頁岩			北上山地
553	H 1105日層	削・擦跡その他	40	28	4.0	5.2	頁岩			北上山地
555	I 1105日層	削・擦跡その他	(33)	23	9.0	9.2	頁岩			北上山地
556	I 1121日層	削・擦跡その他	30	47	12.0	8.7	頁岩			北上山地
604	I 1104日層	石核	54	16	6.0	4.8	頁岩			奥羽山脈
9103	F 1112日層	石核	(134)	55	42.0	519.4	花崗岩			奥羽山脈 新牛代
9104	H 1107日層	心礎	(99)	71	45.0	401.1	花崗岩			磐前北山脈 中牛代
9105	H 1113日層	石核	(90)	68	51.0	193.5	花崗岩			奥羽山脈 新牛代
9107	I 1105日層	心礎	(118)	55	32.0	276.7	花崗岩			奥羽山脈 新牛代
9109	E 1116日層	石核	(98)	98	57.0	757.0	閃緑岩 (輝緑)			北上山地 中牛代
9111	I 1113日層	石核	(167)	128	(58.0)	1843.0	安山岩			奥羽山脈 新牛代
9112	D 1101	石核	(78)	48	46.0	259.8	花崗岩			奥羽山脈 新牛代
9113	F 1111日層	石核	(81)	68	39.0	402.2				北上山地 中牛代
9114	F 1107日層	心礎	(106)	56	32.0	314.6	頁岩			北上山地 新牛代 古一牛代
9302	J 1 08	磨り石	87	62	46.0	341.3	砂岩			北上山地 古一牛代
9304	I 1105日層	磨り石	(106)	70	56.0	754.1	安山岩			奥羽山脈 新牛代
9305	I 1101日層	磨り石	88	71	53.0	495.8	砂岩			北上山地 古牛代
9306	H 1113日層	磨り石	(48)	38	25.0	62.7	砂岩			北上山地 古牛代
9310	F 1108日層	磨り石	53	95	71.0	498.1	花崗岩類			北上山地 牛牛代
9311	H 区 7	磨り石	(191)	80	50.0	923.2	砂岩			北上山地 古一牛代
9312	F 1111	磨り石	61	47	37.0	132.5	アズライト			北上山地 牛牛代
9314	G 1103日層	磨り石	44	67	82.0	743.2	閃緑岩 (輝緑)			北上山地 牛牛代
9315	G 1103日層	磨り石	(90)	72	6.0	593.5	安山岩			奥羽山脈 新牛代
9316	G 1113日層	磨り石	(99)	34	51.0	416.5	花崗岩			奥羽山脈 新牛代
9317	H 1101日層	磨り石	(90)	70	35.0	348.1				北上山地 中牛代
9319	H 1112日層	磨り石	122	85	68.0	1955.1	花崗岩			磐前北山脈 新牛代
9321	H 1116日層	磨り石	103	88	57.0	766.9	アズライト			北上山地 中牛代
9324	H 1102日層	磨り石	(86)	(83)	(49.0)	183.7	花崗岩類			北上山地 中牛代
9325	H 1105日層	磨り石	63	47	43.0	179.4	安山岩			奥羽山脈 新牛代
9328	I 1115日層	磨り石	209	69	53.0	956.1	安山岩			奥羽山脈 新牛代
9329	I 1101日層	磨り石	(64)	29	24.0	74.2	砂岩			北上山地 古一牛代
9330	I 1108日層	磨り石	(57)	76	47.0	294.7	砂岩			北上山地 古一牛代
9332	G 1103日層	磨り石	(47)	(50)	(25.0)	65.1	花崗岩			奥羽山脈 新牛代
9333	H 1112日層	磨り石	60	(64)	91.0	388.3	安山岩			奥羽山脈 新牛代
9401	H 1107日層	磨り石	(75)	(51)	12.0	50.3	輝緑岩			奥羽山脈 新牛代
9403	H 1101日層	磨り石	157	47	38.0	291.6	砂岩			北上山地 古牛代
9505	I 1101日層	磨り石	(123)	74	35.0	473.1	砂岩			北上山地 古牛代
9508	J 1101日層	磨り石	93	87	59.0	896.5	砂岩			北上山地 古牛代

標識号	番号	出土地点・層位	形種	長さ(mm)	幅(mm)	高さ(mm)	重量(g)	材質	出所	備考
3602	I 1105H層	横石	(118)	(110)	(55.0)	285.0		奥羽山脈(新成)	奥羽山脈 新成代	
3603	G 1109H層	横石	(54)	(52)	12.0	22.8		奥羽山脈(新成)	奥羽山脈 新成代	
3604	F 1104H層	横石	(67)	73	45.0	21.9		奥羽山脈(新成)	奥羽山脈 新成代	
3605	H 1106H層	横石	(45)	(57)	(16.0)	30.1		奥羽山脈(新成)	奥羽山脈 新成代	
3606	H 1109H層	横石	50	35	30.0	9.9		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
3608	H 1106H層	横石	(65)	(40)	25.0	36.8		奥羽山脈(新成)	奥羽山脈 新成代	
3603	F 1108H層	磨製石斧	(73)	40	21.0	91.0		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
3604	G 1109H層	磨製石斧	(69)	40	16.0	65.3		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
3605	H 1112H層	磨製石斧	(63)	42	24.0	95.1		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
3607	I 1101H層	磨製石斧	(54)	25	17.0	40.7		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
3608	H 1105H層	磨製石斧	(41)	33	24.0	44.3		奥羽山脈(新成)	奥羽山脈 新成代	
3611	I 1113H層	磨製石斧	(110)	44	(14.0)	81.5		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
3612	I 1104H層	磨製石斧	(72)	54	27.0	202.8		奥羽山脈(新成)	奥羽山脈 新成代	
3614	J 1101H層	磨製石斧	(51)	35	25.0	63.9		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
3615	J 1101H層	磨製石斧	(85)	40	24.0	156.4		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
3616	I 1104H層	磨製石斧	(86)	(41)	(19.0)	37.4		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
3618	H 1109H層	磨製石斧	(69)	38	26.0	94.4		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
3621	H 1110H層	磨製石斧	(49)	38	15.0	39.8		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
3623	H 1113H層	磨製石斧	(71)	(30)	(9.0)	43.1		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
3623	I 1112H層	磨製石斧	(165)	(52)	17.0	137.4		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
3624	A 区3センチ	磨製石斧	(47)	38	25.0	68.8		奥羽山脈(新成)	奥羽山脈 新成代	
3626	C 1109H層	磨製石斧	(70)	53	(28.0)	171.9		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
3627	I 1104H層	磨製石斧	(70)	39	19.0	48.2		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
3601	H 1116H層	台石	190	134	50.0	1085.0		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
3904	I 1105H層	台石	208	200	58.0	3916.2		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
3908	H 1101H層	台石	191	121	29.0	1043.8		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
3909	H 1106H層	台石	(259)	107	(44.0)	1701.4		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
3911	I 1102H層	石皿	(88)	66	24.0	130.3		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
3912	F 1111H層	石皿	(56)	82	16.0	103.1		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
4004	F 1116H層	凹石	34	83	65.0	662.3		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
4005	I 1112H層	凹石	(113)	58	25.0	233.7		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
4008	H 1101H層	凹石	65	50	33.0	152.7		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
4009	H 1106H層	凹石	(180)	81	32.0	705.8		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
4010	H 1106H層	凹石	(105)	74	24.0	263.5		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
4011	H 1106H層	凹石	(85)	48	24.0	115.0		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
4011	I 1107H層	凹石	196	70	31.0	616.5		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
4016	I 1112H層	凹石	144	58	36.0	519.4		奥羽山脈(新成)	奥羽山脈 新成代	
4017	I 1101H層	凹石	(141)	53	39.0	241.4		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
4018	I 1112H層	凹石	128	49	39.0	324.1		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
4021	I 1101H層	凹石	(76)	43	26.0	189.5		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
4022	I 1101H層	凹石	108	47	29.0	454.3		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
4024	H 1109H層	凹石	126	80	42.0	527.7		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
4027	H 1108H層	凹石	196	70	21.0	420.8		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
4028	D 1101	凹石	(105)	77	42.0	684.9		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
4029	表層	凹石	108	68	48.0	480.6		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
4032	I 1104H層	凹石	71	64	36.0	196.7		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
4106	H 1113H層	石製品	43	39	36.0	82.3		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
4111	I 1106H層	石製品	38	(31)	(21.0)	40.8		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
4114	H 1101H層	石製品	63	53	50.0	252.6		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	
4116	F 1111H層	石製品	45	45	49.0	188.6		奥羽山脈	奥羽山脈 新成代	

第6表 土製品一覧表

番付号	本番号	出土地点	名 称	長8mm	幅mm	厚8mm	重量g	備 考	
	1	20	RA01	内股状土製品	27	33	6	6.9	
	7	45	RA05 埴土	板状土板	(90)	(22)	14	21.6	
	11	46	RA05	ミニチュア土器	(13)	19	4	5.1	編=真珠
	19	47	RA05 床面上	内股状土製品	46	49	11	24.5	
	9	48	RA05 埴土	内股状土製品	38	37	7	10.3	
	2	65	RA06	内股状土製品	38	36	12	24.1	
	39	67	KA07	ミニチュア土器	(22)	22	4	20.7	編=真珠
	3	75	RA07	内股状土製品	40	40	8	14.5	
	25	84	RA07 埴土	内股状土製品	36	33	14	15.0	
	18	104	RA14 埴土上	ミニチュア土器	46	22	5	26.3	編=真珠
	12	119	RA26 床土	内股状土製品	46	48	7	19.7	
	14	120	RA26 床土	内股状土製品	44	46	11	24.8	
	36	140	RA23 中	内股状土製品	40	40	6	13.7	
	61	166	RA26 埴土	ミニチュア土器	(21)	24	3	11.7	編=真珠
	6	167	RA26 埴土	土器の脚?	22	23	(11)	9.6	
	55	168	RA26 埴土	内股状土製品	38	36	8	14.5	
	4	169	RA26 埴土上	内股状土製品	40	39	8	15.6	
	35	170	RA26 埴土	内股状土製品	41	39	10	18.5	
	53	173	RA27 埴土下位	内股状土製品	43	39	6	12.2	
	56	175	RA28 埴土	内股状土製品	42	45	8	18.0	
	31	180	RA29 埴土	内股状土製品	41	42	6	12.5	
	32	181	RA30 埴土	内股状土製品	33	31	10	10.7	
	33	182	RA30 埴土	内股状土製品	38	36	12	16.8	
	30	183	RA30 埴土	内股状土製品	42	43	9	15.8	
	34	214	RA31	内股状土製品	41	44	9	19.3	
	48	215	RA31 埴土下位	内股状土製品	39	41	9	15.3	
	41	216	RA31 埴土	内股状土製品	32	33	9	22.6	
	52	246	RA34 埴土	内股状土製品	50	41	9	17.9	
	46	247	RA34 埴土	内股状土製品	39	41	6	11.3	
	10	251	RA35	ミニチュア土器	(25)	17	3	7.8	編=真珠
	29	255	RA36 埴土	片状土製品	(40)	35	19	28.5	
	28	256	RA36 埴土	内股状土製品	45	44	10	22.0	
	38	289	RA39	内股状土製品	46	52	10	25.5	
	50	290	RA39 埴土	内股状土製品	49	38	7	14.1	
	45	291	RA39 埴土	内股状土製品	31	48	9	12.2	
	47	282	RA39 埴土	内股状土製品	46	34	8	25.6	
	40	293	RA39 埴土	内股状土製品	42	44	10	18.7	
	62	311	1号型穴状遺構	ミニチュア土器	28	22	5	13.8	編=真珠
	49	312	1号型穴状遺構	内股状土製品	30	48	8	20.6	
	42	315	1号型穴状遺構	内股状土製品	36	33	9	10.3	
	51	314	1号型穴状遺構	内股状土製品	38	49	7	11.4	
	39	315	1号型穴状遺構	内股状土製品	41	44	10	21.1	
	44	316	1号型穴状遺構	内股状土製品	45	42	8	13.6	
	43	317	1号型穴状遺構	内股状土製品	41	(40)	7	6.2	
	57	318	1号型穴状遺構	内股状土製品	39	40	9	15.8	
	19	341	RD13 埴土	内股状土製品	47	46	10	25.9	
	16	378	KI02 埴土	ミニチュア土器	(27)	26	6	25.4	編=真珠
	38	380	RI03 埴土	ミニチュア土器	(18)	29	3	15.3	編=真珠
	37	388	KI05	(ミニチュア)土器の一部	34	5	9.1		
	26	437	RF23	内股状土製品	48	48	9	20.5	
	54	433	RF31 埴土	土器の脚?	(32)	(27)	17	9.1	
	13	443	RF60	内股状土製品	46	45	9	30.3	
	27	456	1号埴土	内股状土製品	49	(23)	8	9.1	
	20	482	2号埴土	内股状土製品	44	45	7	15.6	
	23	483	2号埴土	内股状土製品	49	35	7	9.8	
	24	484	2号埴土	内股状土製品	49	42	12	19.8	
	22	485	2号埴土	内股状土製品	48	44	13	25.5	
	21	486	2号埴土	内股状土製品	41	44	7	13.2	
	5	487	2号埴土下位	内股状土製品	42	41	7	15.3	
	6	488	2号埴土中下位	内股状土製品	32	36	7	11.3	
	17	500	2号埴土(P33)	ミニチュア土器	(18)	(28)	5	7.4	編=真珠
	69	503	板穴門(P33)	ミニチュア土器	(30)	24	5	15.2	編=真珠
	269	1098	F 1 101日層	ミニチュア土器	(12)	22	2	9.9	編=真珠
	151	1099	F 1 112日層	ミニチュア土器	(25)	(22)	6	33.9	編=真珠
	152	1100	F 1 112日層	ミニチュア土器	(21)	24	3	9.4	編=真珠
	319	1101	F 1 112日層	ミニチュア土器	(23)	34	7	24.8	編=真珠
	271	1102	F 1 113日層	ミニチュア土器	62	(20)	5	40.8	編=真珠
	507	1103	F 1 114日層	ミニチュア土器	39	22	5	36.8	編=真珠
	268	1104	F 1 108日層	ミニチュア土器	(20)	28	4	17.4	編=真珠
	162	1105	F 1 101日層	ミニチュア土器	(13)	33	3	15.5	編=真珠
	166	1106	F 1 101日層	ミニチュア土器	(23)	28	3	16.7	
	115	1107	F 1 104	ミニチュア土器	(18)	21	3	6.3	編=真珠
	167	1108	F 1 101日層	ミニチュア土器	(27)	21	4	11.6	
	169	1109	F 1 112日層	ミニチュア土器	27	27	5	45.6	
	163	1110	F 1 101日層	ミニチュア土器	(40)	35	2	12.8	編=真珠 真珠
	168	1111	F 1 112日層	土器	31	22	13.2		
	143	1112	F 1 116日層	土器	(40)	(38)	(32)	17.9	
	123	1113	G 104日層	板状土板	(21)	(43)	(10)	7.7	一部
	112	1114	F 1 113日層	耳輪9	58	59	16	38.3	

図番	水番号	出土地点	名称	長さmm	幅mm	厚さmm	重量g	備考
117	1115	H 116日層	土塊	(47)	(34)	16	25.5	体部
111	1116	H 101日層	貝割り	50	51	25	55.1	
125	1117	H 101日層	骨状土製品	(78)	(59)	16	51.0	発掘物、割裂による文様形成
116	1118	H 101日層	骨状土製品	(85)	65	22	58.6	発掘物、割裂による文様形成、底面→側面に貫通孔
177	1119	H 113日層	骨状土製品	(67)	(60)	16	77.6	発掘物、割裂による文様形成
120	1120	H 113日層	骨状土製品	(46)	71	11	37.3	下部 没線により文様形成?
121	1121	G 1105日層	骨状土製品	(199)	(75)	26	223.0	発掘物、割裂による文様形成、底面→側面に貫通孔
109	1122	G 1105日層(ヘッド位)	装飾品?	(17)	46	15	10.5	
185	1123	H 1109日層	?	16	21	26	5.0	
175	1124	H 113日層	ミニチュア土器	(33)	(30)	(14)	9.4	
186	1125	H 1109日層	ミニチュア土器	(46)	(23)	(31)	15.5	
184	1126	H 1113日層	装飾品?	(23)	(27)	75	8.0	
174	1127	F 1101日層	骨状土製品?	(53)	(86)	8	19.5	
202	1128	G 1104日層	骨状土製品	(33)	35	16	15.2	貫通孔あり
201	1129	F 1105日層	?	(28)	(28)	9	7.1	
122	1130	H 116日層	スプーン型土製品	82	39	8	42.6	
250	1133	E 1108日層	円筒状土製品	34	32	9	10.6	貫通孔あり、没線とL状発掘物(?)による文様形成
200	1131	I 118日層	骨状土製品	(55)	39	22	43.2	
251	1132	E 1108日層	円筒状土製品	38	34	9	15.7	
240	1134	F 1136日層	円筒状土製品	41	29	8	15.2	
149	1135	F 1104日層	円筒状土製品	41	43	7	13.9	
241	1136	F 1101日層	円筒状土製品	48	48	12	29.9	
219	1137	F 1101日層	円筒状土製品	32	37	7	7.7	
252	1138	F 1101日層	円筒状土製品	41	(23)	9	13.4	
233	1139	F 1107日層	円筒状土製品	33	34	4	6.0	
239	1140	F 1107日層	円筒状土製品	38	40	8	16.1	
245	1141	F 1107日層	円筒状土製品	46	45	8	16.9	
247	1142	F 1107日層	円筒状土製品	37	44	12	23.8	
244	1143	F 1107日層	円筒状土製品	34	36	9	34.7	
246	1144	F 1107日層	円筒状土製品	34	36	9	31.2	
235	1145	F 1108日層	円筒状土製品	35	32	6	9.6	
236	1146	F 1108日層	円筒状土製品	36	34	4	8.4	
131	1147	F 1119日層	円筒状土製品	35	39	8	14.3	
243	1148	F 1111日層	円筒状土製品	(82)	41	9	13.0	
242	1149	F 1111日層	円筒状土製品	51	(46)	10	22.6	
237	1150	F 1112日層	円筒状土製品	27	25	8	6.3	
238	1151	F 1112日層	円筒状土製品	41	40	6	14.1	
234	1152	F 1116日層	円筒状土製品	45	48	9	22.7	
231	1153	F 1116日層	円筒状土製品	54	53	8	30.2	
332	1154	F 1116日層	円筒状土製品	45	43	7	13.7	
332	1155	F 1116日層	円筒状土製品	38	49	7	12.5	
254	1156	F 1116日層	円筒状土製品	74	80	9	62.1	
204	1157	G 1103日層	円筒状土製品	(35)	47	6	12.8	
207	1158	G 1103日層	円筒状土製品	44	44	9	20.2	
208	1159	G 1103日層	円筒状土製品	47	47	9	25.0	
217	1160	G 1103日層	円筒状土製品	42	35	8	11.1	
210	1161	G 1103日層	円筒状土製品	50	54	7	22.2	
221	1162	G 1103日層	円筒状土製品	49	49	7	34.4	
223	1163	G 1103日層	円筒状土製品	44	45	10	29.5	
226	1164	G 1103日層	円筒状土製品	28	35	10	12.8	
227	1165	G 1103日層	円筒状土製品	33	37	9	22.9	
228	1166	G 1103日層	円筒状土製品	34	30	9	11.8	
229	1167	G 1103日層	円筒状土製品	35	35	7	9.5	
212	1168	G 1103日層	円筒状土製品	49	30	10	27.7	
211	1169	G 1103日層	円筒状土製品	61	69	9	36.7	
222	1170	G 1103日層	円筒状土製品	37	45	7	13.2	
203	1171	G 1103日層 下段	円筒状土製品	41	45	8	17.9	
206	1172	G 1103日層	円筒状土製品	27	34	9	9.4	
213	1173	G 1103日層	円筒状土製品	37	36	7	9.4	
225	1174	G 1104日層	円筒状土製品	48	57	10	33.1	
219	1175	G 1104日層	円筒状土製品	33	36	7	8.3	
264	1176	B 経線層	円筒状土製品	46	50	9	23.4	
134	1177	G 1113日層	円筒状土製品	35	43	5	10.2	
142	1178	G 1113日層	円筒状土製品	36	37	6	9.5	
127	1179	G 1114日層	円筒状土製品	40	39	6	12.0	
140	1180	G 1114日層	円筒状土製品	41	44	8	17.2	
187	1181	H 1121日層	円筒状土製品	42	43	8	16.7	
260	1182	H 1101+04日層	円筒状土製品	41	44	9	15.9	
164	1183	H 1105日層	円筒状土製品	46	42	7	19.4	底面
165	1184	H 1105日層	円筒状土製品	34	36	7	11.1	
170	1185	H 1106日層	円筒状土製品	31	34	5	7.8	
259	1186	H 1107日層	円筒状土製品	40	52	5	18.1	
133	1187	H 1112日層	円筒状土製品	45	44	6	17.2	
150	1188	H 1112日層	円筒状土製品	63	60	9	44.0	
253	1189	H 1112日層	円筒状土製品	39	40	7	15.3	
154	1190	H 1112日層	円筒状土製品	35	38	6	10.1	
151	1191	H 1112日層	円筒状土製品	29	29	6	6.7	
182	1192	H 1109日層	円筒状土製品	33	36	10	10.4	
183	1193	H 1109日層	円筒状土製品	36	42	9	16.3	
138	1194	H 1114日層	円筒状土製品	38	40	6	13.8	

编号	本编号	出土地点	名称	长9mm	宽mm	厚9mm	重量g	备注
147	1195	H 1116日層	内藏状土製品	42	42	10	20.4	
139	1196	H 1116日層	内藏状土製品	39	29	7	7.0	
148	1197	H 1116日層	内藏状土製品	40	40	9	15.7	
146	1198	H 1116日層	内藏状土製品	41	44	10	22.9	
149	1199	H 1116日層	内藏状土製品	37	42	6	19.4	
102	1200	H 1113日層	内藏状土製品	44	46	8	18.9	
170	1201	H 1113日層	内藏状土製品	30	40	8	14.3	
176	1202	H 1113日層	内藏状土製品	43	43	7	22.2	
101	1203	H 1113日層	内藏状土製品	51	53	11	32.1	
179	1204	H 1113日層	内藏状土製品	36	41	8	16.1	
180	1205	H 1113日層	内藏状土製品	53	54	9	35.0	
161	1206	H 1114日層	内藏状土製品	46	44	8	18.4	
122	1207	H 1114日層	内藏状土製品	27	28	6	6.7	
144	1208	H 1114日層	内藏状土製品	40	32	10	15.0	
118	1209	H 1114日層	内藏状土製品	33	33	7	9.4	
110	1210	H 1114日層	内藏状土製品	41	47	9	16.7	
135	1211	H 1114日層	内藏状土製品	34	31	6	8.5	
119	1212	H 1114日層	内藏状土製品	33	36	7	10.4	
141	1213	H 1114日層	内藏状土製品	42	37	9	14.2	
171	1214	H 1114日層	内藏状土製品	48	44	8	22.6	
173	1215	H 1114日層	内藏状土製品	47	47	6	18.9	
270	1216	H 1114日層	内藏状土製品	66	63	10	45.0	
188	1217	H 1114日層	内藏状土製品	37	35	6	8.8	
172	1218	H 1114日層	内藏状土製品	53	35	6	10.7	
106	1219	H 1114日層	内藏状土製品	38	40	7	13.0	
126	1220	H 1114日層	内藏状土製品	32	31	6	8.0	
136	1221	H 1114日層	内藏状土製品	30	30	6	6.7	
107	1222	H 1114日層	内藏状土製品	38	39	6	14.2	
132	1223	H 1114日層	内藏状土製品	28	31	6	6.0	
140	1224	H 1114日層	内藏状土製品	36	40	7	10.7	
168	1225	H 1114日層	内藏状土製品	44	44	5	12.2	
137	1226	H 1114日層	内藏状土製品	43	45	6	15.5	
190	1227	H 1114日層	内藏状土製品	52	56	10	35.3	
192	1228	H 1114日層	内藏状土製品	30	41	10	17.2	
197	1229	H 1114日層	内藏状土製品	33	39	8	13.2	
198	1230	H 1114日層	内藏状土製品	39	41	10	16.0	
113	1231	H 1114日層	内藏状土製品	43	41	8	20.3	
114	1232	H 1114日層	内藏状土製品	33	34	9	12.4	
115	1233	H 1114日層	内藏状土製品	32	32	7	25.1	
128	1234	H 1114日層	内藏状土製品	39	40	8	14.7	
191	1235	H 1114日層	内藏状土製品	47	42	7	15.5	
193	1236	H 1114日層	内藏状土製品	31	29	7	7.7	
194	1237	H 1114日層	内藏状土製品	33	31	9	10.8	
195	1238	H 1114日層	内藏状土製品	35	40	7	12.9	
196	1239	H 1114日層	内藏状土製品	43	45	7	19.6	
209	1240	H 1114日層	内藏状土製品	33	30	8	8.0	
215	1241	H 1114日層	内藏状土製品	40	43	10	17.3	
256	1242	H 1114日層	内藏状土製品	50	56	9	33.4	
258	1243	H 1114日層	内藏状土製品	48	55	6	20.7	
257	1244	H 1114日層	内藏状土製品	38	37	7	11.9	
105	1245	H 1114日層	内藏状土製品	41	35	8	14.2	
104	1246	H 1114日層	内藏状土製品	30	35	6	9.6	
263	1247	H 1114日層	内藏状土製品	35	35	7	12.4	
266	1248	H 1114日層	内藏状土製品	38	40	7	13.5	
267	1249	H 1114日層	内藏状土製品	29	30	6	6.0	
261	1250	H 1114日層	内藏状土製品	47	45	7	17.2	
263	1251	H 1114日層	内藏状土製品	32	32	7	8.7	
262	1252	H 1114日層	内藏状土製品	45	45	10	22.7	
103	1253	H 1114日層	内藏状土製品	48	49	7	20.1	
263	1254	H 1114日層	内藏状土製品	45	42	9	19.4	
214	1255	H 1114日層	内藏状土製品	51	54	8	25.8	
216	1256	H 1114日層	内藏状土製品	40	41	9	15.6	
218	1257	H 1114日層	内藏状土製品	56	54	8	26.8	
220	1258	H 1114日層	内藏状土製品	47	46	9	20.0	
221	1259	H 1114日層	内藏状土製品	41	49	9	21.9	
236	1260	H 1114日層	内藏状土製品	39	(25)	4	7.8	
199	1261	H 1114日層	内藏状土製品	40	41	8	15.9	
153		H 1112日層	粘土塊				5.3	
156		H 1112日層	粘土塊				54.3	
157		H 1112日層	粘土塊				30.2	
158		H 1112日層	粘土塊				17.7	
159		H 1112日層	粘土塊				50.7	
160		H 1112日層	粘土塊				77.4	
161		H 1112日層	粘土塊				36.2	
178		H 1113日層	粘土塊				110.4	

第7表 金属器一覧表

図案号	水溝号	出土地点	名称	径(Ormm)	幅(mm)	厚(Ormm)	重量(g)	備考
1	1262	H 1101	古銭	日輪	27	27	1	寛永通宝
2	1263	I H05	古銭	日輪	23	23	1	開元通宝
3	1264	J 104	古銭	日輪	23	23	1	
4	1265	J 104	古銭	日輪	25	25	1	
5	1266	J 104	釘?	日輪	23	3	1	
7	1267	同層付産	釘	日輪	33	8	10	
6	1268	J 104	刀?	日輪	70	27	3	ナイフか?

第8表 骨・貝類一覧表

番号	写真番号	地点・遺構	層位	種名	部位名	数	備考・その他
31	1272	貝塚		カワシメジョガイ		多数	
32	1273	貝塚		マツカサガイ?	壳	1	表面全体にヒダがある。
18	1274	R008(1号溝東側F)		ウマ	左上肋骨	1	図 No.24, 近位端欠損。骨質層付産に動物による咬み痕と思われる痕跡有り。
17	1275	R008		イヌ	右上顎C	1	
1		RA01 ベルト内		不明		少量	ほ乳頭と思われ、いずれも熱を受けている? 図 No.10
2		RA10 乳大部分(肉離)		不明		少量	大型ほ乳頭の四肢骨の一端と思われ、腐化が著しい。ボロボロ。
3		RA16 (SP)		シカ?	臼歯片	少量	
4		RA13		不明		少量	ほ乳頭と思われ、いずれも熱を受けている? 図 No.14
5		RA18		不明		6	ほ乳頭と思われ、いずれも熱を受けている。図 No.7
6		RA21 甲		不明		1	ほ乳頭? 骨片
7		RA28 甲		不明		2	ほ乳頭とおもわれる。
8		RA20 (II層上位層)		不明		少量	ほ乳頭と思われ、いずれも熱を受けている? 図 No.11
9		RA32 中位層(甲)		不明		少量	ほ乳頭と思われ、いずれも熱を受けている。歯子骨? 1点を含む。図 No.8
10		RA35		不明		2	ほ乳頭と思われ、いずれも熱を受けている。図 No.1
11		RA38 甲		イノシシ	臼歯片	少量	部状等不明。
12		RA39 甲		不明		少量	ほ乳頭と思われ、いずれも熱をうけている。図 No.4
13		RD64 埋土中		日馬		多数	近位端欠損のほ乳頭と思われ、熱を受けている。歯子骨? 1点を含む。図 No.11
14		RT06		不明		多数	ほ乳頭と思われ、いずれも熱を受けている? 図 No.18
15		RD66		不明	椎肋骨	1	
16		RD66		不明	中足骨?	1	ツキノワグマ? 層5中足骨産出層?
19		RD64(1号溝東側F)		不明		1	
20		RD13		不明		2	ほ乳頭。熱をうけている。中手骨等の関節部分か?
21		RF04 埋土中		不明		1	
22		RF12		不明		5	ほ乳頭と思われ、いずれも熱を受けている? 図 No.20
23		RF14		不明	臼歯片	少量	シカ?
24		RH05		不明		2	ほ乳頭と思われ、いずれも熱を受けている? 図 No.21
25		1号溝 P02a		不明		少量	ほ乳頭と思われ、いずれも熱を受けている? 図 No.13
26		PF94		不明		少量	
27		H層		イヌ?	左上顎 M3	1	
28		H層		イヌ?	右上顎 PM3	1	
29		H層		小形	臼歯? 歯槽部	1	
30		貝塚		不明		多数	種不明の骨片多数。大型ほ乳頭の四肢骨を含む。
33		貝塚		不明		1	巻貝の殻部。陸産貝か?

VI. まとめと考察

全調査区のうちA区・B区北端部・C区南端部は表土除去後礫層となり、遺構・遺物の存在は確認されなかった。調査区全域の土層状況については前述した通り、II層が含まれているB区中央部～C区にかけて遺構・遺物の存在が確認されている。なお、紙面の関係で「まとめと考察」については検出された竪穴住居跡と貝について以下に述べる。

1. 竪穴住居跡について

竪穴住居跡38棟中、出土遺物や重複関係などにより時代・時期が明確なものは32棟ある(第10表)。このうち、縄文時代中期中葉に属すると考えられるのは10棟前後と全体の1/4程度を占める。この点から、縄文時代中期中葉に調査区中央部分を中心として生活圏が確立するが縄文時代中期後葉になると何らかの要因によって生活圏の中心が移動し、縄文時代中期末葉から縄文時代後期初頭にかけて再び生活圏の拡大に伴って住居が構築されたと考えられる。今回の調査における検出された遺物をも、粗製土器を別にと大木8a～b式(縄文時代中期中葉)、大木10式(縄文時代末葉)、十腰内I式(縄文時代後期)に属すると思われる土器の出土量が多く、大木9式(縄文時代中期後葉)に属すると考えられる土器は端的に少ない点から先に述べたことが裏付けることができる。今回の調査では、礫層を掘りこんで構築された住居が検出され、RA03、06、07、08、09、12、16の7棟が該当する。このうち5棟は縄文時代中期末葉～後期初頭、C区南側の古館川寄りに住居が形成されており、縄文時代の魚介類は検出されていないが、調査区内における住居跡の検出地点から河川を利用していった可能性は高いと考えられる。この7棟は礫層を掘り込んで形成された住居であるが、これらの住居の床面からは大小の礫が入り込んでおり、貼り床などは検出されていない。住居の炉は30棟が石囲炉、複式炉を持つものが3棟、他にも土器埋設炉、地床炉を伴うものがあげられる。炉内には焼土が存在せず炉石の表面に焼跡だけがある炉を持つものや、焼土が薄く焼土としての発達が不鮮明な炉を持つ住居跡が数多く確認されている。加えて、検出した住居跡は削平を受けたものや重複関係が激しく範囲が不明確なものも多い。例えばRH03・RF24とPP42・PP109・PP110・PP111に住居を構成する炉跡・柱穴と捉えることが可能であるが、住居としての範囲が不明確である上、住居としての床面に疑問が残るなど住居跡と断定する条件が困難なため、ここでは住居としての可能性があったという形での報告にとどめておきたい。

このような点から、今回調査した秋浦II遺跡における検出された住居は、長期間定住し炉を使用したというよりは、ある一定の期間、例えば河川で魚介類が多く得られる時期に住居や炉を使用したものと思われる。

2. 貝について

高橋昭治氏の「岩手町遺物出土表」(1965)によると、秋浦地区において縄文時代中期末から縄文時代後期初頭の土器片と共に淡水産貝片が確認されており、縄文時代の貝層(貝塚)が存在すると考えられていた。

今回の調査においてはC区1号溝跡上位に貝層が確認された。但し、貝層の下から鉄滓が検出されている点から少なくとも貝層は縄文時代のものではないことがいえる。また、貝層内に細かな灰を伴って検出されている点から、調理した後捨てられた可能性が強いと考えられる。検出された貝の分析・鑑定結果から大半がカワシソウガイであることは前述したが、カワシソウガイは北海道、青森、岩手、秋田、福島、栃木、新潟、長野、岐阜、岡山、広島、島根、山口の各都道府県に分布が及んでおり、カワシソウガイの名

称も「カワシュウリ」、「サヤマキ」、「ヤチケッコ」、「カタケエ」、「マギジャケッコ」、「セキケッコ」、「カラスガイ」、「アメフリガイ」など多岐に及ぶ。清冽な水域に生息するカワシンジュガイは戦後の食糧難による乱獲や河川改修やダム建設、道路改装工事などにより住み難い環境となり、減少の一途をたどっているという報告が成されている。

カワシンジュガイの利用については軟体部を食用とした他、釣りの餌として、また殻を鍋の揚げ落としとして、粟の穂ちぎりとして利用した報告も成されており、食用や薬用、道具として日常的、普遍的に用いられたことがうかがえる。岩手県内においても縄文時代の遺跡の中からカワシンジュガイが確認された報告があり、縄文時代にまで遡るなら岩手県のほぼ全域にわたって分布しており、縄文時代人の重要な淡白源として利用されていたものと考えられる。野外調査を行っていた時、秋浦地区の地元作業員の中にも幼少の頃カワシンジュガイを食した人が数名おり、普段カワシンジュガイの身は固いため美味とはいえないが、1年のうちのある時期になると身が柔らかくなり食するのに適するということがあった。第9表には検出されたカワシンジュガイ1388個体のうち、計測可能なものをまとめたものである。残存状況が思わしくなく、計測可能なものはわずかであった。

右		左	
殻高 mm	殻長 mm	殻高 mm	殻長 mm
39	91	30	66
33	78	29	
30	65	29	64
34		25	
36		23	
23		28	
22		40	90
27		27	
24		39	
30	62	28	62
29		24	55
28		31	
22		34	75
24		27	
32		31	66
36		33	75
30		32	
28		24	
26		22	
29		30	
31		28	
26		30	
24			
32	72		
30	68		
29			
31			
34	72		
30	65		
33			

第9表 カワシンジュガイ計測値

第10表 住居・竪穴状遺構一覧表

遺構名	規模 (m)	平面形	炉形態	時代時期	備考
RA01	—	—	石囲炉	縄文中期末葉～	貼床
RA02	4.0×?	楕円形	石囲炉	縄文中期後葉～	
RA03	2.94×2.3	不整楕円形	石囲炉	縄文中期中葉	出入口
RA04	3.7×?	円形?	石囲炉	縄文中期後葉	RP03
RA05	3.7×3.5	円形? 隅丸方形?	石囲炉	縄文中期中葉～末葉	
RA06	8.2×5.4	隅丸方形	石囲炉	縄文後期初頭	周溝
RA07	3.9×?	円形	—	縄文後期初頭～	
RA08	3.4×(3.0)	円形	石囲炉	縄文中期末葉	
RA09	2.3×?	—	石囲炉	縄文後期初頭～	
RA10	—	—	複式炉	縄文中期後葉～末葉	
RA12	(4.2)×(4.2)	円形	石囲炉	—	
RA13	—	—	石囲炉	縄文中期末葉?～?	複式炉? RP01
RA14	3.8×3.0	楕円形	石囲炉	～縄文中期中葉	
RA15	—	円形	石囲炉	縄文中期中葉	
RA16	3.9×?	円形	土器埋設炉	縄文中期末葉	焼失住居?
RA18	2.6×2.6	円形? 楕円形?	石囲炉	縄文中期	焼失住居?
RA19	(4.0)×4.3	楕円形	石囲炉	縄文中期中葉	出入口?
RA20	4.5×?	楕円形	石囲炉	縄文中期末葉	壁溝
RA21	2.7×2.6	円形	石囲炉	縄文中期末葉	焼失住居?
RA22	4.6×?	楕円形	石囲炉	縄文中期末葉～	
RA23	3.9×?	円形	石囲炉	縄文中期後葉～末葉	
RA24	3.5×?	円形	石囲炉	縄文中期末葉～	
RA25	3.2×2.8	円形	地床炉	縄文中期中葉	
RA26	(2.4)×?	—	石囲炉	縄文中期後葉～末葉	
RA27	—	—	石囲炉	—	
RA28	—	—	石囲炉	縄文中期	
RA30	5.5×?	—	石囲炉	縄文中期中葉	粘土
RA31	(5.1)×6.4	楕円形	複式炉	縄文中期後葉～末葉	
RA32	(4.0)×?	円形	石囲炉	縄文中期中葉～後葉	
RA33	(3.0)×?	—	石囲炉	縄文中期前葉～中葉	
RA34	8.0×7.1	楕円形	石囲炉	縄文中期中葉	
RA35	—	—	—	縄文中期中葉～	
RA36	—	—	石囲炉	縄文中期中葉	
RA37	—	—	—	縄文中期中葉	
RA38	(3.4)×(2.0)	楕円形	石囲炉	縄文中期中葉	
RA39	5.4×5.3	隅丸方形	複式炉	縄文中期末葉	
RA40	—	—	石囲炉	縄文中期中葉	
RA41	—	—	石囲炉	縄文後期初頭	
1号竪穴住居状遺構	4.5×4.1	円形状隅丸方形	—	縄文中期末葉～	旧 RA29
2号竪穴住居状遺構	3.2×3.6	楕円形	—	—	旧 RA11

第11表 土坑一覧表

遺 構 名	規模(cm)	深さ(cm)	平面形	断面形	備 考
RD01	(105)×100	52	楕円形	ビーカー状	
RD02	(110)×115	30	不整円形	皿状	
RD03	(90)×80	50	楕円形	逆台形状	
RD04	150×75	26	長楕円形	ビーカー状	
RD05	(60)×70	20	楕円形	皿状	
RD06	175×(100)	40	円形	皿状	
RD07	113×65	14	長楕円形	皿状	
RD08	220×220	22	円形	皿状	
RD09	240×140	32	長楕円形	皿状	
RD10					2号掘立礎 P08
RD11	140×138	34	不整円形	皿状	
RD12	(185)×160	70	隅丸方形	逆台形状	
RD13	(250)×130	44	長楕円形	逆台形状	
RD14	180×95	22	不整楕円形	皿状	
RD15	(80)	40		ビーカー状? フラスコ状?	
RD16	320×200	36	不整楕円形	皿状	
RD17	135×85	26	楕円形	皿状	
RD18	(60)×65	30	楕円形	皿状	
RD19	145×145	14	不整円形	皿状	
RD20	170×100	74	長楕円形	ビーカー状	
RD21	115×80	18	楕円形	逆台形状?	
RD22	55×50	30	円形	ビーカー状	
RD23	85×70	44	円形	逆台形状	
RD24	90×85	50	円形	ビーカー状	
RD25	140×135	34	不整円形	逆台形状	
RD26	80×75	26	円形	皿状	
RD27	85×75	26	円形	皿状	
RD28	115×90	36	不整円形	逆台形状	
RD29	(80)×85	32	楕円形	皿状	
RD30	185×160	78	不整円形	フラスコ状	
RD31	80×60	48	楕円形	ビーカー状	
RD32	247×218	76	不整円形	皿状	
RD33	192×145	14	楕円形	皿状	
RD34					1号掘立礎 P05a
RD35	290×160	36	楕円形	皿状	

参考引用文献

- 岩手県(1975):『北上山系開発地域 土地分類基本調査 沼宮内』
- 岩手県(1970):『北上山系開発地域 土地分類基本調査 元本』
- 岩手町教育委員会(1993):『町内遺跡発掘調査報告書Ⅰ 桜遺跡、南山彩小学校裏遺跡』
- 岩手町教育委員会(1994):『町内遺跡発掘調査報告書Ⅱ 秋浦Ⅱ遺跡』
- 岩手町教育委員会(1995):『町内遺跡発掘調査報告書Ⅲ 高梨遺跡』
- 岩手町教育委員会(1997):『町内遺跡発掘調査報告書Ⅴ 黒内Ⅸ遺跡』
- 縄岩手県埋蔵文化財センター(1994):『黒内Ⅷ・黒内ⅩⅢ 遺跡発掘調査報告書』
- 縄岩手県埋蔵文化財センター(1994):『倍田Ⅳ遺跡発掘調査報告書』
- 縄岩手県埋蔵文化財センター(1999):『山王山遺跡第9次発掘調査報告書』
- 縄岩手県埋蔵文化財センター(1985):『川口Ⅱ遺跡発掘調査報告書』
- 縄岩手県埋蔵文化財センター(1984):『川口Ⅰ遺跡発掘調査報告書』
- 鈴木道之助:『図録 石器入門【縄文】』 柏書房
- 高橋昭治(1965):『考古学資料 岩手町遺物出土表』
- 柳澤清一(1987):『東北縄文中・後期編年の諸問題 その1 中期中葉の編年上』
『古代 第84号』 早稲田大学考古学会
- 佐竹邦彦・沢田邦久・大畑康夫:『岩手県における縄文時代以降のカワシンジュガイ(イシガイ目、二枚貝綱)の衰退について 岩手県立博物館研究報告 第2号』
- 永峯光一(1981):『縄文土器大成2 中期』
- 野口義麿(1981):『縄文土器大成3 後期』
- 小林逸雄 他(1989):『縄文土器大観 1』 小学館
『縄文土器大観 4』 小学館
- 戸沢充則(1994):『縄文時代研究辞典』 東京堂出版

VII. 分析・鑑定

1. 秋浦II遺跡出土炭化材の樹種

高橋 利彦 (木工舎「ゆい」)

<1> 試料

試料は縄文時代中期のものとする竪穴住居址(7遺構)から検出されたもの8点(NO.1~7・9)と、奈良~平安時代?のものとする貝塚から検出されたもの1点(NO.8)の計9点である(表1参照)。

<2> 方法

試料を室内で自然乾燥させたのち木口・柾目・板目の3断面を複製、実体顕微鏡と走査型電子顕微鏡(加速電圧10kV)で観察・同定した。同時に電子顕微鏡写真図版(図版1)も複製した。電子顕微鏡観察に当たっては韓ニッチェツ・ファイン・プロダクツ釜石試験分析センターのご協力をいただいた。記して感謝致します。なお、ネガ・フィルムに残った炭化材は木工舎「ゆい」に保管されている。

<3> 結果

試料はコナラ属コナラ亜属コナラ節の一種(2点)とクリ(6点、類似種1点を含む)に同定された。NO.7は試料の大半が七で、わずかに10mm×7mm×2mmほどの破片が得られ検査したが、樹皮であったため種類は特定できなかった。試料の主な解剖学的特徴や一般的な性質は次のようなものである。なお、各 Taxono 科名・学名・和名およびその配列は「日本の野生植物 木本I・II」(佐竹ほか 1989)にしたがい、一般的性質などについては「木の事典 第1巻~第17巻」(平井 1979~1982)も参考にした。

・コナラ属コナラ亜属コナラ節の一種 (*Quercus* subgen. *Quercus* sect. *Prinus* sp.)

ブナ科 NO.1, 4

環孔材で孔圏部は1~2列、孔圏外で急激に管径を減じたのち漸減しながら火炎状に配列する。大道管は横断面では円形~楕円形、小道管は横断面では多角形、ともに単独。単穿孔をもち、壁孔は交互状に配列、放射組織との間では櫛状~網目状となる。放射組織は同性、単列、1~20細胞高のものや複合組織よりなる。柔組織は周閉状および短接線状。年輪界は明瞭。

コナラ節はコナラ亜属(落葉ナラ類)の中で果実(いわゆるドングリ)が1年目に熟するウループで、カシワ(*Quercus dentata*)・ミズナラ(*Q. crispula*)・コナラ(*Q. serrata*)・ナラガシワ(*Q. aliena*)といくつかの変・品種を含む。ミズナラ・カシワ・コナラは北海道・本州・四国・九州に、ナラガシワは本州(岩手・秋田県以南)・四国・九州に分布する。このうち平野部で普通に見られるのはコナラである。コナラは樹高20mになる高木で、古くから炭化材として利用され、植栽されることも多かった。材は重硬で、加工は困難・器具・機械・櫛材などの用途がしられ、薪炭材としてはクスギ(*Q. acutissima*)に次ぐ優良材である。

・クリ(*Castanea crenata*) ブナ科 NO.2, 3, (5), 6, 8, 9

環孔材で孔圏部は1~4列またはそれ以上、孔圏外でやや急激に管径を減じたのち漸減しながら火炎状に配列する。大道管は単独、横断面では楕円形~円形、小道管は単独および2~3個が斜(放射)方向に複合、

横断面では角張った楕円形～多角形。道管は単穿孔をもち、壁孔は交互状に配列、放射組織との間では棚状～網目状となる。放射組織は同性、単列、1～15細胞高。柔組織は周囲状および短接線上。年輪界は明瞭。NO. 5 は試料が孔周囲で割れて1年に満たないものであったため類似種としたが、クリであることはほぼ確実と思う。

クリは北海道南西部・本州・四国・九州の山野に自生し、また植栽される落葉高木である。材はやや重硬で、強度は大きく、加工はやや困難であるが耐朽性が高い。土木・建築・器具・家具・薪炭材、櫓木や海苔粗朶などの用途が知られている。

以上の同定結果を検出遺構とともに一覧表で示す(表1)。

表1 秋浦Ⅱ遺跡出土炭化材の樹種

試料番号	検出遺構	種名
1	RA08	コナラ属コナラ亜属コナラ節の一種
2	RA10	クリ
3	RA10 伊東側	クリ
4	RA22 床直上	コナラ属コナラ亜属コナラ節の一種
5	RA18	クリ類似種
6	RA35	クリ
7	RA24	樹皮
8	I I 16 中央部	クリ
9	RA21	クリ

〈4〉考察

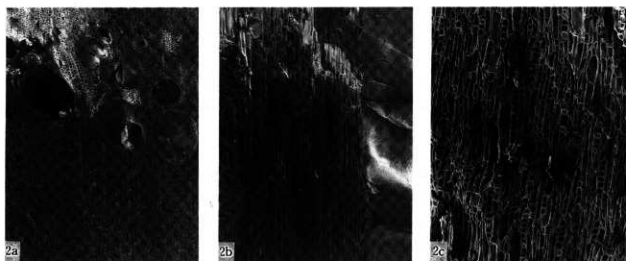
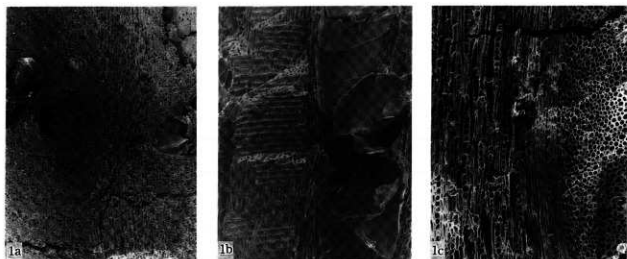
縄文時代中期のものとする住居址7遺構から検出された炭化材はクリ(5点、類似種1点を含む)とコナラ節(2点)に同定された。隣接する秋浦Ⅰ遺跡から検出された同時期の竪穴住居址4遺構から出土した炭化材は、クリ(5点)とケヤキ(1点)に同定されている1)。

〈注〉

- 1) 既報の「秋浦Ⅰ遺跡出土炭化材樹種同定報告書」(木工舎「ゆい」1998)を参照のこと。

引用文献

- 平井 信二 1979～1982 「木の事典 第1巻～第17巻」、かなえ書房。
 佐竹 義輔・原 寛・亘理 俊次・富成 忠夫(編) 1989 「日本の野生植物 大木Ⅰ・Ⅱ」、平凡社321, 305pp.



図版1 1. コナラ属コナラ亜属コナラ節の一種 No.4

2. クリ No.2

a : 木口 $\times 40$ b : 柁目 $\times 100$ c : 板目 $\times 100$

2. 秋浦II遺跡の自然化学分析

パリオ・サーヴェイ株式会社

はじめに

秋浦II遺跡は、岩手県北部、北上川上流部の岩手町の低位段丘上に立地する。今回の発掘調査により、縄文時代中期の遺構検出面の下位に、テフラに由来すると考えられる軽石のブロック状堆積物が検出されている。今回の自然化学分析調査では、このブロック状の堆積物を対象に、テフラ分析および屈折率測定、重鉱物分析、火山ガラス比分析を行い、テフラの特徴を促え、その同定を行う。

<1> 試料

試料は、「AU II-98 C区南側黒褐色土上火山灰」とされる、暗褐色砂混りシルトである。

<2> 分析方法

(1) テフラ分析・屈折率測定

試料は、適量を蒸発皿に取り、水を加え、超音波洗浄装置により分散、上澄みを流し去る。この操作を繰り返すことにより泥分を除去する。得られた砂分を実体顕微鏡および偏光顕微鏡下で観察し、テフラの本質物質であるスコリア・火山ガラス・軽石の産状をしらべる。さらに火山ガラスの屈折率の測定を行う。以上の観察および屈折率の測定結果からテフラの同定を行う。なお、屈折率の測定は、古澤(1995)に示された温度変化型屈折率測定装置を用いて行う。

(2) 重鉱物分析

試料約40gに水を加え超音波洗浄装置により分散、250メッシュの分析篩を用いて水洗し、粒径1/16mm以下の粒子を除去する。乾燥の後、篩別し、得られた粒径1/4mm-1/8mmの砂分をポリタングステート(比重約2.96に調整)により重液分離、重鉱物を偏光顕微鏡下にて250粒に達するまで同定する。同定の際、不透明な粒については、斜め上からの落斜光下で黒色金属光沢を呈するもののみを「不透明鉱物」とする。「不透明鉱物」以外の不透明粒および変質等で同定の不可能な粒子は「その他」とする。

(3) 火山ガラス比分析

重鉱物分析の処理により得られた軽鉱物分を偏光顕微鏡下にて観察、火山ガラスとそれ以外の碎屑物を250粒計数し、碎屑物中における火山ガラスの量比を求める。火山ガラスは、便宜上軽鉱物に含め、その形態によりバブル型・中間型・軽石型の3タイプに分類した。各型の形態は、バブル型は薄手平板状、中間型は表面に気泡の少ない厚手平板上あるいは破砕片状などの塊状ガラスであり、軽石型は小気泡を非常に多く持った塊状および気泡の長く伸びた繊維束状のものとする。

<3> 結果

(1) テフラ分析・屈折率測定

試料中には、中砂～極粗砂径で発泡が良好～やや良好の白色～灰褐色の軽石が中量含まれる。軽石の中には、繊維束状に発泡した軽石も認められる。また、0.8mm以下の黒色の黒曜石片が、微量認められる。さら

に、少量の細砂〜極細砂径の無色透明の火山ガラスが含まれる。火山ガラスの形態は、スポンジ状に発泡した軽石型火山ガラスおよび発泡の長く伸びたものが集まった繊維束状のものも認められる。火山ガラスの屈折率は、平均値1.5115、最小値1.5049、最大値1.5142であった。

(2) 重鉱物分析

結果を表1・図1に示す。試料中の重鉱物は、斜方輝石が最も多く、次に不透明鉱物、単斜輝石を含む。

(3) 火山ガラス比分析

結果を表1・図1に示す。試料中には、軽石型火山ガラスが比較的多く含まれる。

表1 重鉱物・火山ガラス比分析結果

試料名	カンラン石	斜方輝石	単斜輝石	角閃石	不透明鉱物	その他	合計	バブル型火山ガラス	中間型火山ガラス	軽石型火山ガラス	その他	合計
C区南側黒褐色土上火山灰	2	127	43	2	72	4	250	1	0	100	149	250

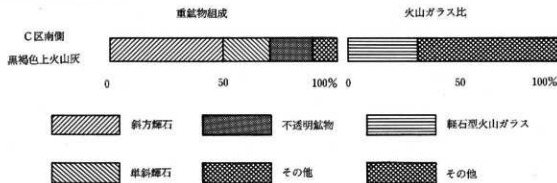


図1 重鉱物組成および火山ガラス比

〈4〉考察

今回の分析結果と、町田ほか (1984)、Hayakawa, Y. (1985)、Arai et al. (1986)、町田・新井 (1992) 等の記載および検出層準から、本試料中の軽石や火山ガラスは約5500年前に十和田カルデラより噴出した、To-Cuに由来すると考えられる。本試料が縄文時代中期の遺構検出面の下位から検出されたことは、推定されているTo-Cuの降灰年代とも整合する。

引用文献

Arai, F., Machida, H., Okumura, K., Miyauchi, T., Soda, T., and Yamagata, K. (1986) Catalog for Late Quaternary Marker-Tephtras in Japan II - Tephtras occurring in Northeast Honshu and Hokkaido-. Geographical of Tokyo Metropolitan University, 21, p.223-250.

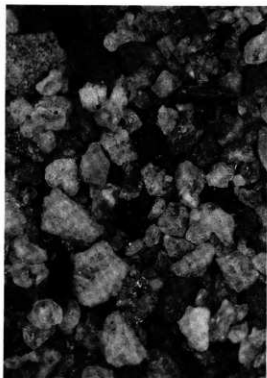
古澤 明 (1995) 火山ガラスの屈折率測定および形態分類とその統計的な解析に基づくテフラの識別。地質

学雑誌101, p123-133.

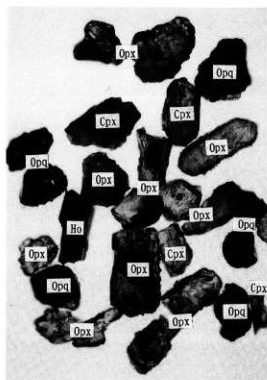
Hayakawa, Y. (1985) Pyroclastic Geology of Towada Volcano. Bull. Earthq. Res. Inst., Univ. Tokyo, 60, 507-592.

町田 洋・新井 房夫 (1984) 火山灰アトラス, 276p, 東京大学出版会.

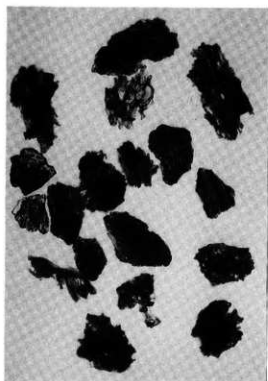
町田 洋・新井 房夫・小田 静夫・遠藤 邦彦・杉原 重夫 (1984) テフラと日本考古学—考古学研究と関係するテフラのカタログ—. 渡辺 直経編「古文化材に関する保存科学と人文・自然科学」, p.865-928.



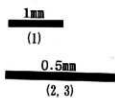
1. To-Cu 軽石



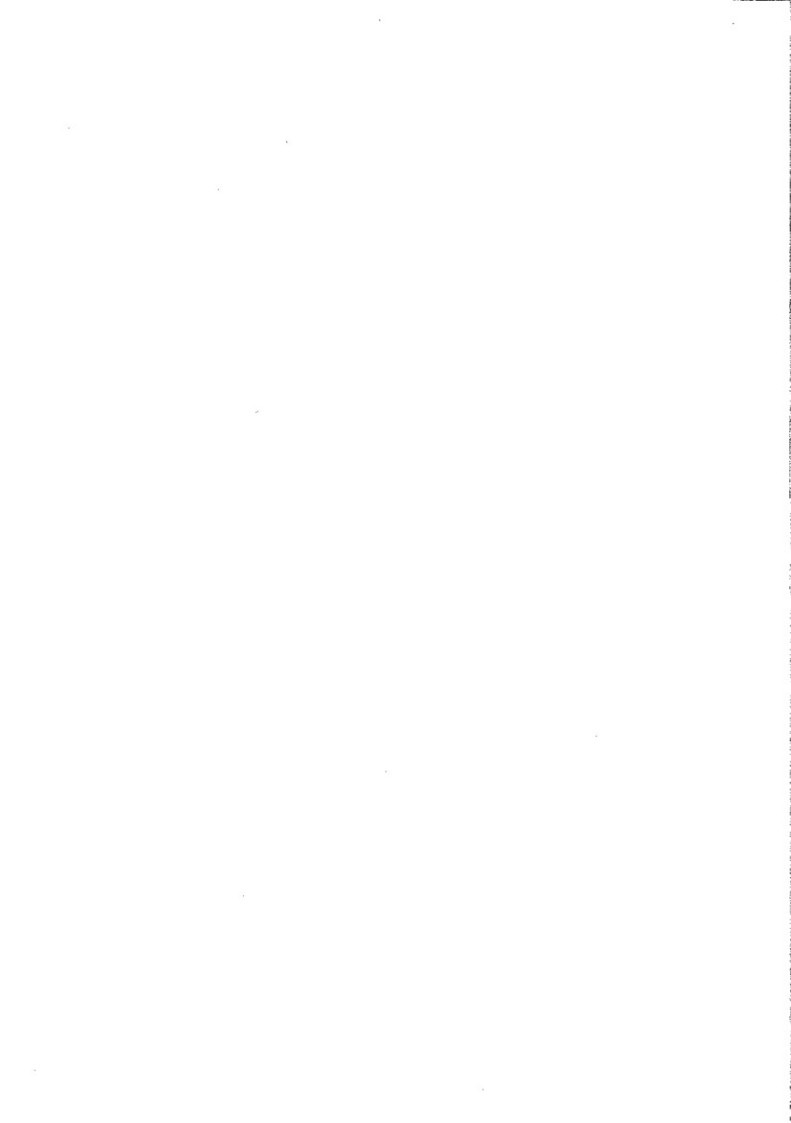
2. 重鉱物



3. 火山ガラス



Opx:斜方輝石. Cpx:単斜輝石. Ho:角閃石. Opq:不透明鉱物.



写 真 图 版



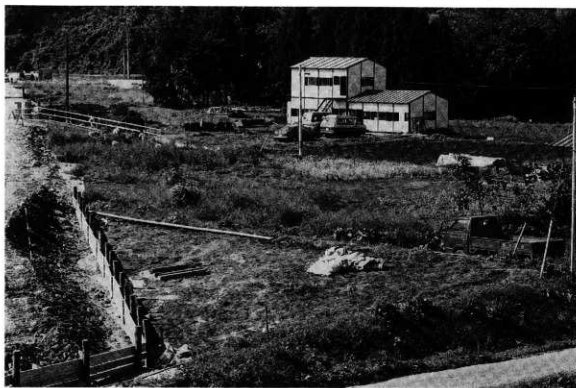


道跡遺景



調査区全景

写真図版1 調査風景



調査前風景



第2トレンチ



B区深掘り



第9トレンチ



基本土層

写真図版2 調査前風景・土層断面



RA01 全景



RA01 断面



RA01 炉 全景



RA01 炉 断面

写真図版 3 RA01住居跡



RA02 全景



RA02 断面



RA02 炉 全景



RA02 炉 断面

写真図版 4 RA02住居跡



RA03 全景



RA03 断面



RA03 炉 全景



RA03 炉 断面

写真図版 5 RA03住居跡



RA04 全景



RA04 断面

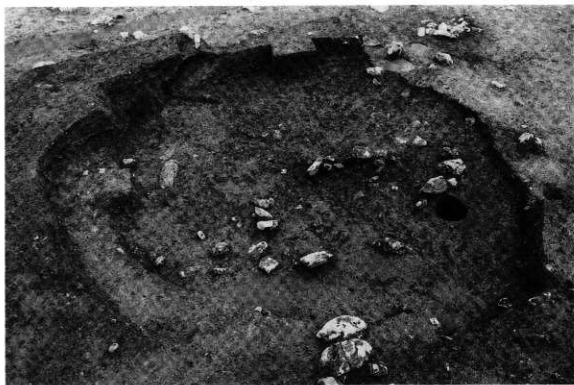


RA04 炉 全景



RA04 炉 断面

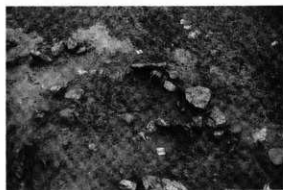
写真図版 6 RA04住居跡



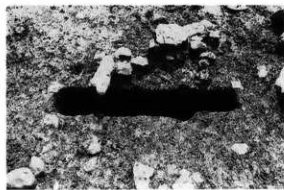
RA05 全景



RA05 断面

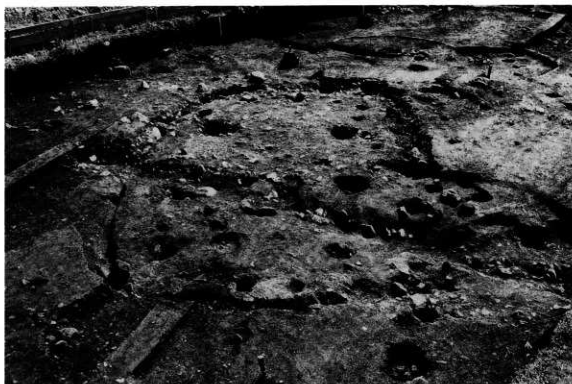


RA05 炉 全景



RA05 炉 断面

写真图版7 RA05住居跡



RA06 全景



RA06 断面



RA06 炉 全景



RA06 炉 断面

写真図版 8 RA06住居跡



RA06内P04 全景



RA06内P02 土器出土状況



RA07 全景



RA07 断面

写真図版9 RA06・07住居跡



RA08 全景



RA08 断面



RA08 炉 全景



RA08 炉 断面

写真図版10 RA08住居跡



RA09 全景



RA09 断面



RA09 炉 全景



RA09 炉 断面

写真图版11 RA09住居跡



RA10 全景



RA10 炉 完攝



RA10 炉 全景



RA10 炉 断面

写真図版12 RA10住居跡



RA12 全景



RA12 断面

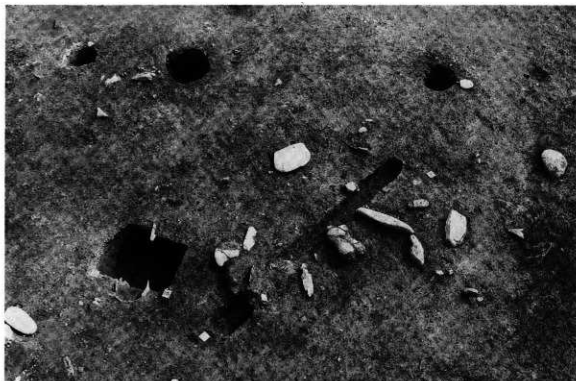


RA12 炉 全景



RA12 炉 断面

写真図版13 RA12住居跡



RA13 全景



RA13 炉 全景(南)

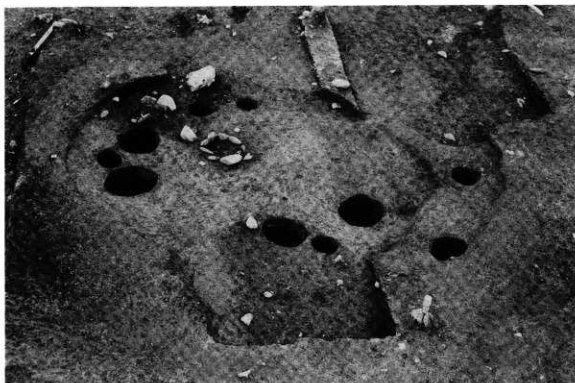


RA13 炉 全景(北)



RA13 炉 断面

写真図版14 RA13住居跡



RA14 全景



RA14 断面

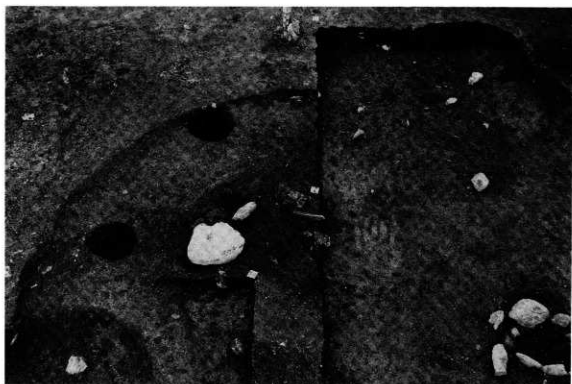


RA14 炉 全景



RA14 炉 断面

写真図版15 RA14住居跡



RA15 全景



RA15 断面



RA15 炉 全景



RA15 炉 断面

写真图版16 RA15住居跡



RA16 全景



RA16 断面



RA16 炉 全景



RA16 炉 断面

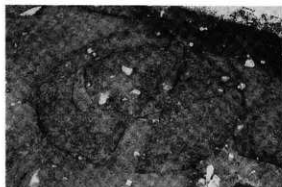
写真图版17 RA16住居跡



RA18 全景



RA18 断面



RA18 烧土炭化物检出状况



RA18 炉 断面

写真图版18 RA18住居跡



RA19 全景



RA19 断面



RA19 炉 全景



RA19 炉 断面

写真図版19 RA19住居跡



RA20 全景



RA20 断面



RA20 炉 全景



RA20 炉 断面

写真図版20 RA20住居跡



RA21 全景



RA21 断面



RA21 炉 断面

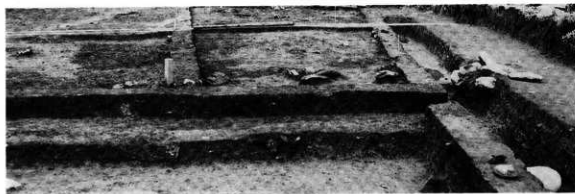


RA21 炉 土器出土状況

写真図版21 RA21住居跡



RA22 全景



RA22 断面



RA22 炉 断面

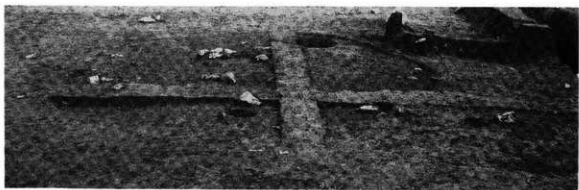


RA22 石皿出土状況

写真図版22 RA22住居跡



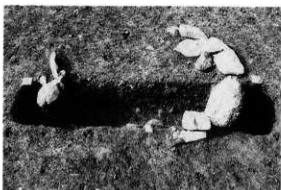
RA23 全景



RA23 断面



RA23 炉 全景



RA23 炉 断面

写真图版23 RA23住居跡



RA24 全景

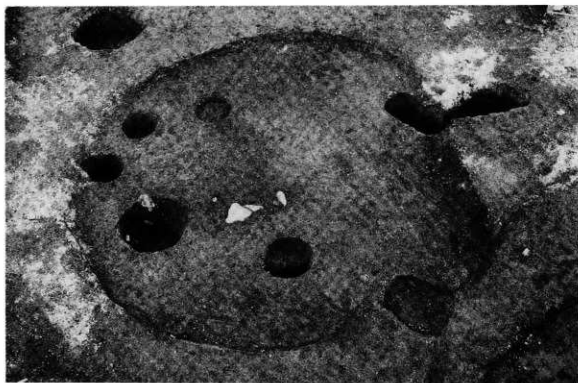


RA24 断面



RA24 炉 断面

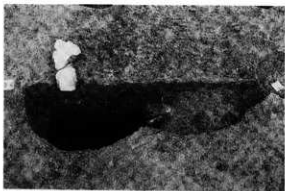
写真图版24 RA24住居跡



RA25 全景

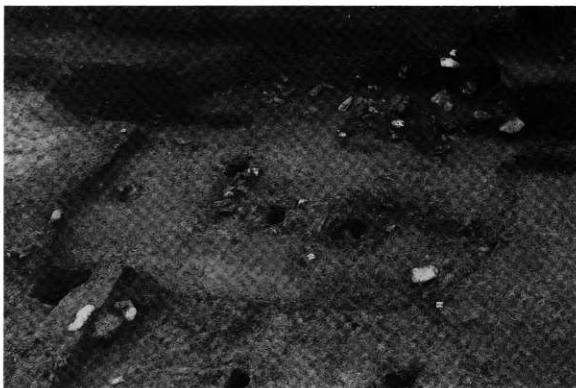


RA25 断面



RA25 炉 断面

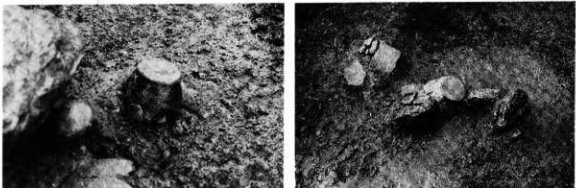
写真图版25 RA25住居跡



RA26 全景



RA26 断面



RA26 内土器出土状況

写真図版26 RA26住居跡



RA27 全景



RA27 断面



RA27 炉 全景



RA27 炉 断面

写真图版27 RA27住居跡



RA28 全景



RA28 炉 全景



RA28 炉 断面

写真图版28 RA28住居跡



RA30 全景



RA30 全景完備

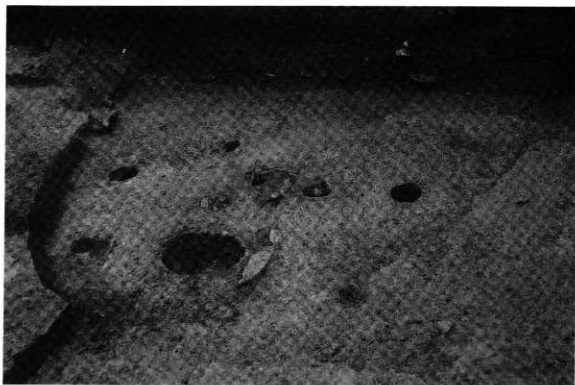


RA30 炉 全景



RA30 炉 断面

写真図版29 RA30住居跡



RA31 全景



RA31 断面

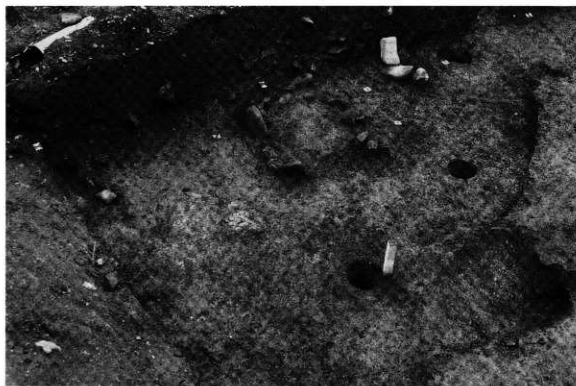


RA31 炉 断面



RA31 土器出土状況

写真図版30 RA31住居跡



RA32 全景



RA32 断面

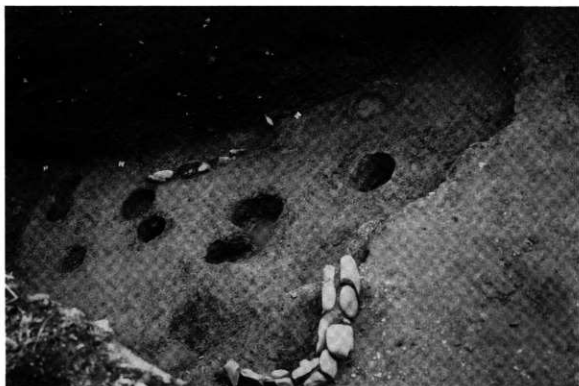


RA32 炉 全景



RA32 炉 断面

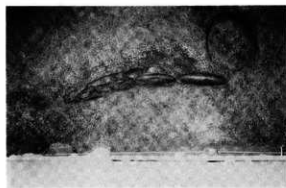
写真图版31 RA32住居跡



RA33 全景



RA33 断面



RA33 炉 全景



RA33 炉 断面

写真图版32 RA33住居跡



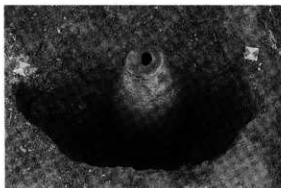
RA34 全景



RA34 断面



RA34 炉 断面



RA34 埋め墓 断面

写真図版33 RA34住居跡



RA35 全景

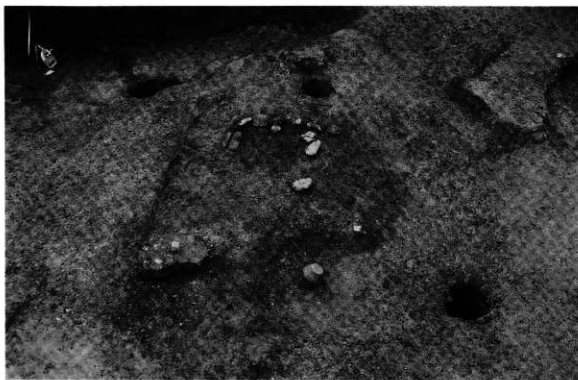


RA35 断面



RA35, RD33 東西断面

写真図版34 RA35住居跡



RA36 全景



RA36 断面



RA36 炉 断面



RA36 土器出土状況

写真図版35 RA36住居跡



RA37 全景

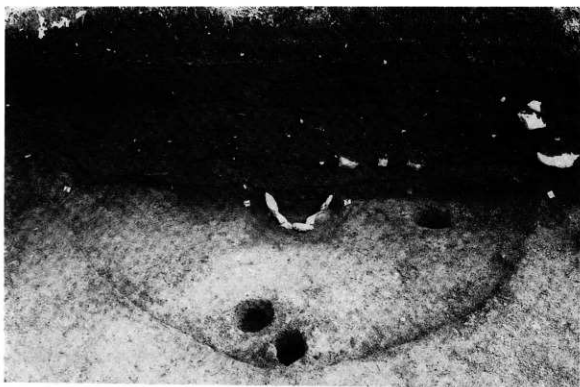


RA37 断面



RA37 土器出土状況

写真図版36 RA37住居跡



RA38 全景



RA38 断面



RA38 炉 全景

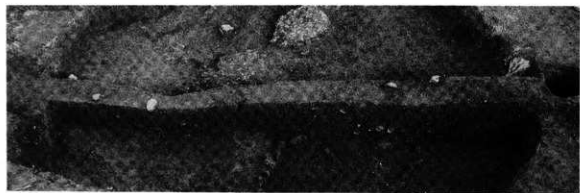


RA38 炉 断面

写真図版37 RA38住居跡



RA39 全景



RA39 断面

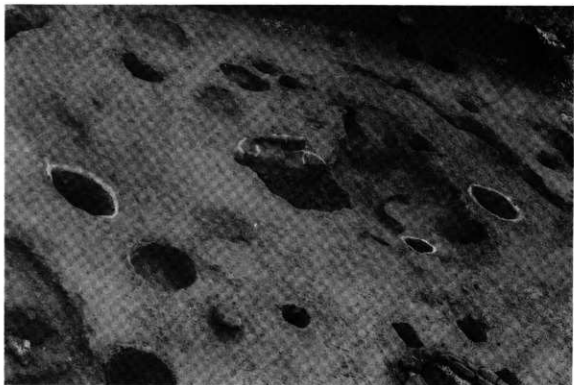


RA39 炉 全景

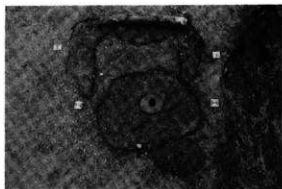


RA39 炉 断面

写真图版38 RA39住居跡



RA40 全景



RA34 埋め籠検出、RA40 炉 全景

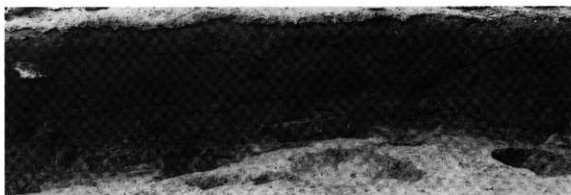


RA40 炉 断面

写真図版39 RA40住居跡



RA41 全景



RA41 断面



RA41 炉 全景



RA41 炉 断面

写真図版40 RA41住居跡



1号壑穴状遺構 全景

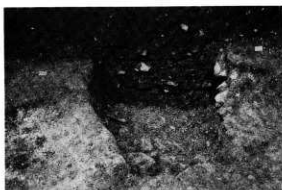


2号壑穴状遺構 全景

写真図版41 1号・2号壑穴状遺構



RD01 全景



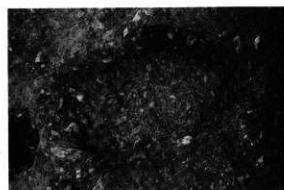
RD01 断面



RD02、03 全景



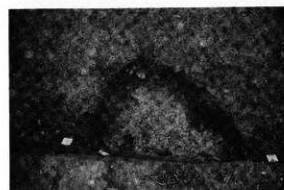
RD02、03 断面



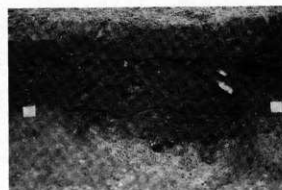
RD04 全景



RD04 断面



RD05 全景



RD05 断面

写真図版42 RD01~05土坑



RD06 全景



RD06 断面



RD07 全景



RD07 断面



RD08 全景

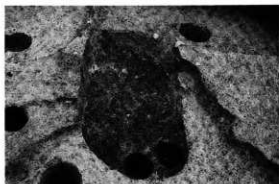


RD08 断面



RD08 骨出土状況

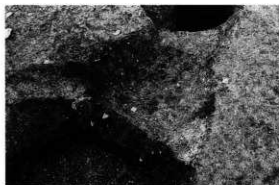
写真図版43 RD06~08土坑



RD09 全景



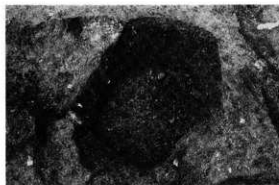
RD09 断面



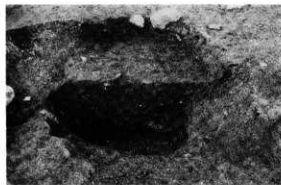
RD11 全景



RD11 断面



RD12 全景



RD12 断面



RD13 全景



RD13 断面

写真图版44 RD09・11~13土坑



RD14 全景



RD14 断面



RD15 全景



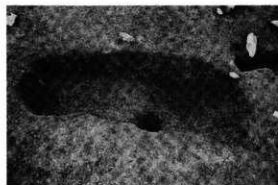
RD15 断面



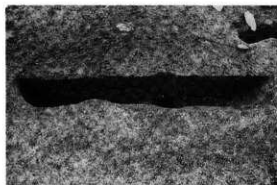
RD16 全景



RD16 断面

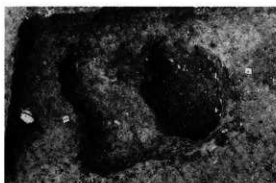


RD17・18 全景

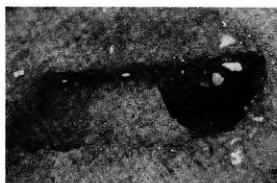


RD17・18 断面

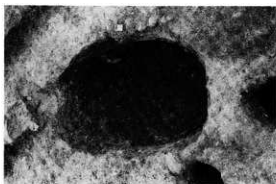
写真図版45 RD14~18土坑



RD19 全景



RD19 断面



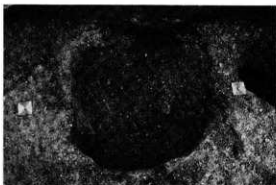
RD20 全景



RD20 断面



RD21 断面

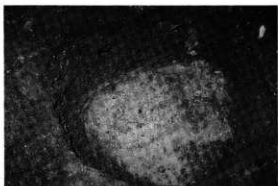


RD22 全景

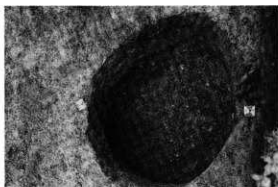


RD22 断面

写真図版46 RD19~22土坑



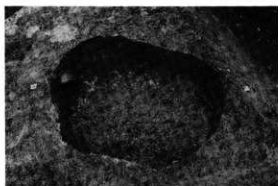
RD23 全景



RD24 全景



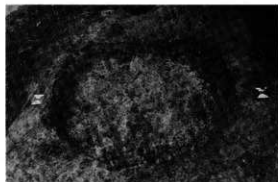
RD24 断面



RD25 全景



RD25 断面

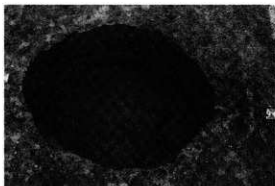


RD26 全景



RD26 断面

写真図版47 RD23~26土坑



RD27 全景



RD27 断面



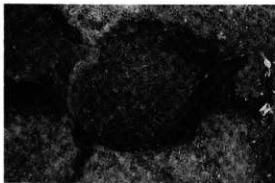
RD28 全景



RD29・30 全景



RD29・30 断面

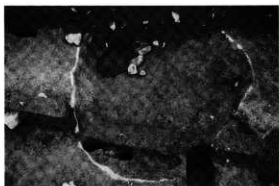


RD31 全景



RD31 断面

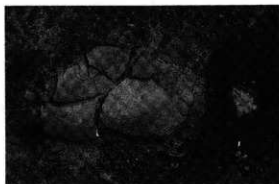
写真図版48 RD27~31土坑



RD32 全景



RD32 断面



RD32 土器出土状况



RD33 全景



RD33 断面



RD35 全景



RD35 断面

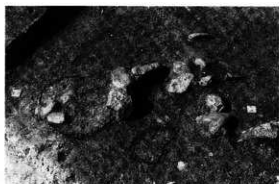
写真图版49 RD32・33・35土坑



RF01 全景



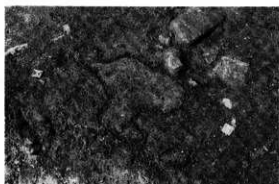
RF01 断面



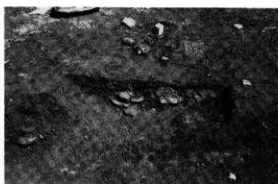
RF02 全景



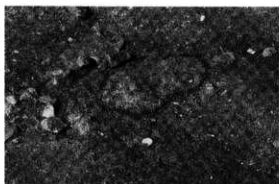
RF02 断面



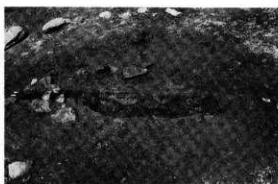
RF03 全景



RF03 断面



RF04 全景



RF04 断面

写真図版50 RF01~04炉・烧土



RF05・06 全景



RF05・06 断面



RF07 全景



RF07 断面



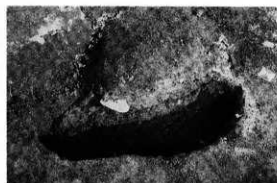
RF08 全景



RF08 断面



RF09 全景



RF09 断面

写真図版51 RF05～09炉・焼土



RF10・11 全景



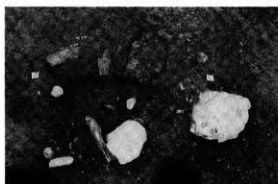
RF10・11 断面



RF12 全景



RF12 断面



RF13 全景



RF13 断面

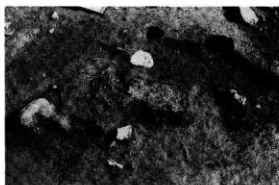


RF14 全景



RF14 断面

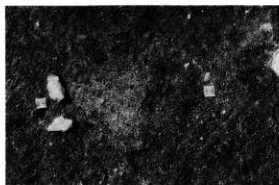
写真図版52 RF10~14炉・焼土



RF15 全景



RF15 断面



RF16 全景



RF16 断面



RF17 全景



RF17 断面



RF18 全景

写真図版53 RF15~18炉・焼土



RF19 全景



RF19 断面



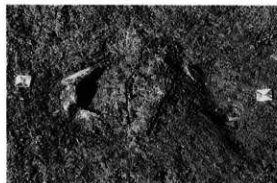
RF20 断面



RF21 全景



RF21 断面



RF22 全景



RF22 断面

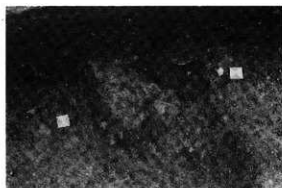
写真図版54 RF19~22炉・焼土



RF23 全景



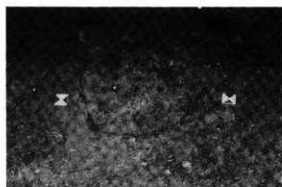
RF23 断面



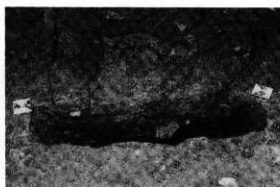
RF24 全景



RF24 断面



RF25 全景



RF25 断面



RF26 全景



RF26 断面

写真図版55 RF23~26炉・焼土



RF27 全景



RF27 断面



RF29 断面



RF30 断面



RF31 全景



RF31 断面



RF32 断面

写真図版56 RF27・29～32伊・焼土



RH01 全景



RH01 断面



RH03 全景



RH03 全景



RH04 全景



RH04 断面



RH05 断面

写真図版57 RH01・03~05集石・配石



RP01 全景



RP01 断面



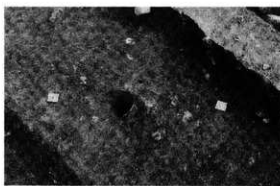
RP02 全景



RP02 断面



RP03 断面

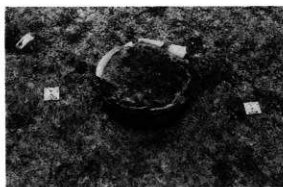


RP04 全景



RP04 断面

写真図版58 RP01~04埋設土器



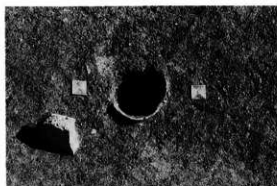
RP05 全景



RP05 断面



RP05 断面



RP06 全景



RP07 全景



RP07 断面

写真図版59 RP05~07埋設土器



貝層範圍



貝層断面



1号溝全景



1号溝断面



2号溝全景



2号溝断面



作業風景

写真図版60 貝層, 1号溝・2号溝



EII-16 垂飾り出土状況



HII-07 調査区東側土器出土状況



HII-07 土器出土状況



HII-11 土器出土状況



III-12 土器出土状況



III-05 板状土偶出土状況



III-05 土器出土状況

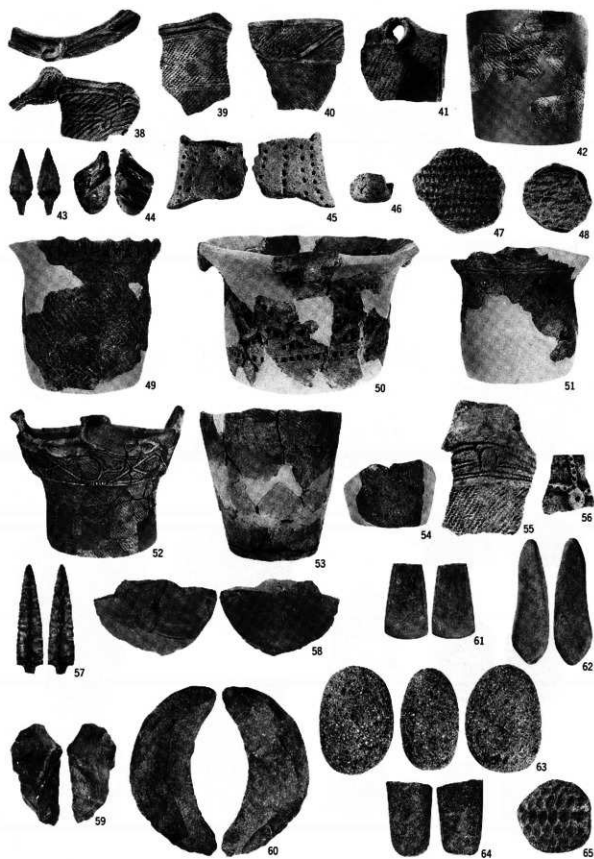


JII-01 土器出土状況

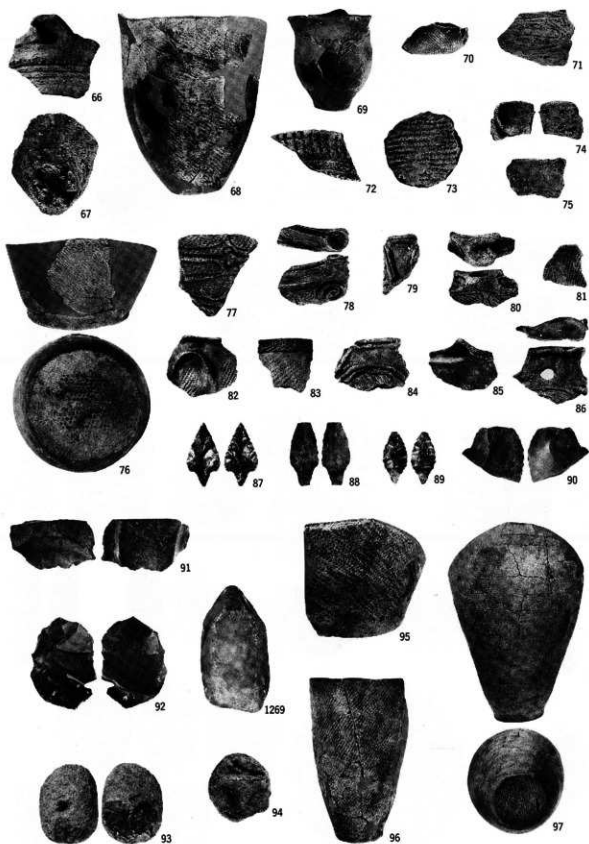
写真図版61 遺物出土状況



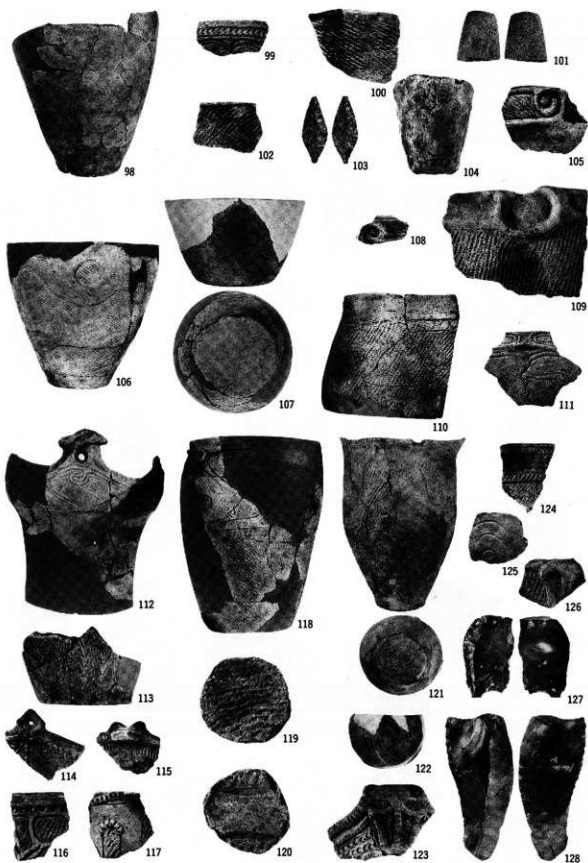
写真図版62 遺構内出土遺物 1



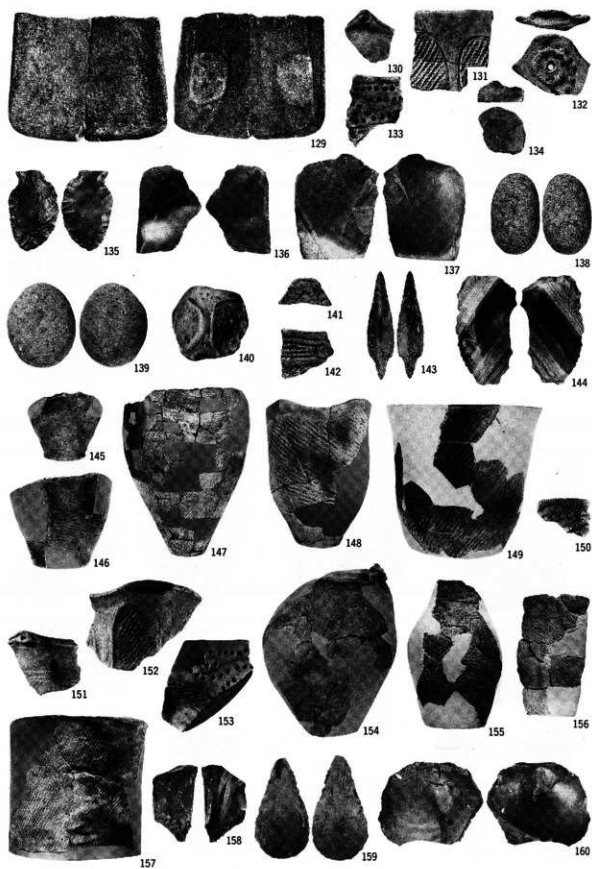
写真図版63 遺構内出土遺物 2



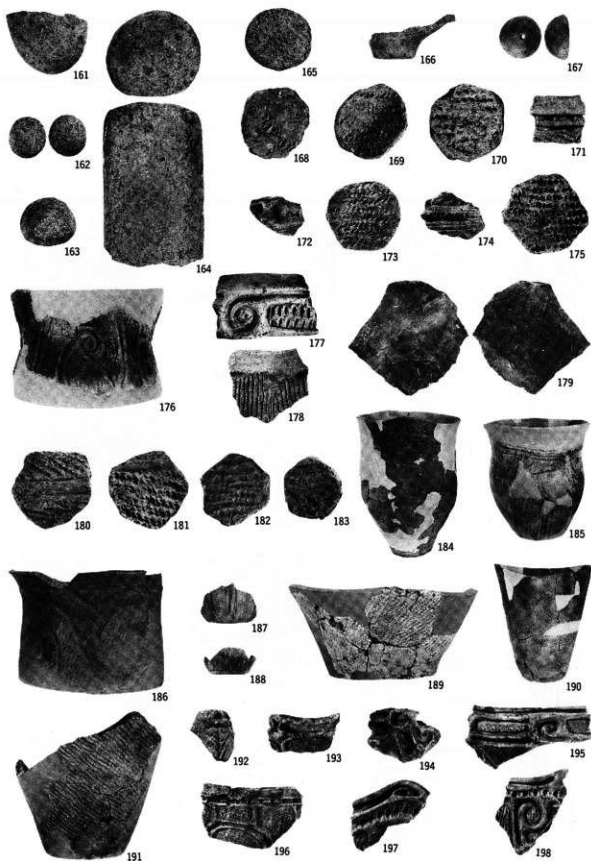
写真図版64 遺構内出土遺物 3



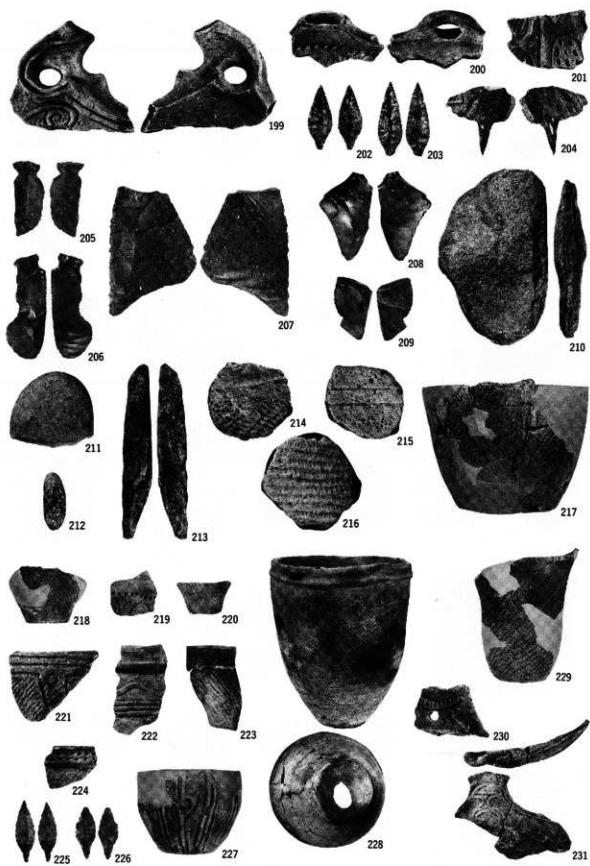
写真図版65 遺構内出土遺物 4



写真図版66 遺構内出土遺物 5



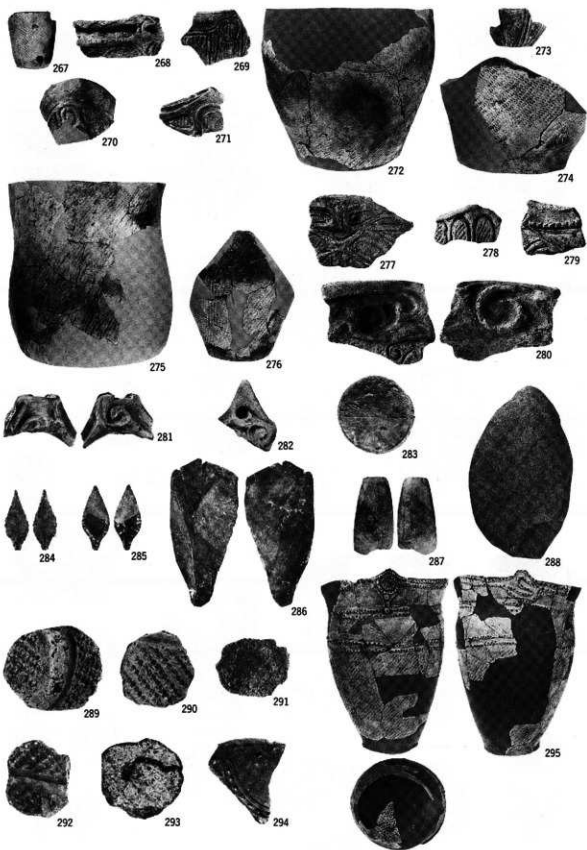
写真図版67 遺構内出土遺物 6



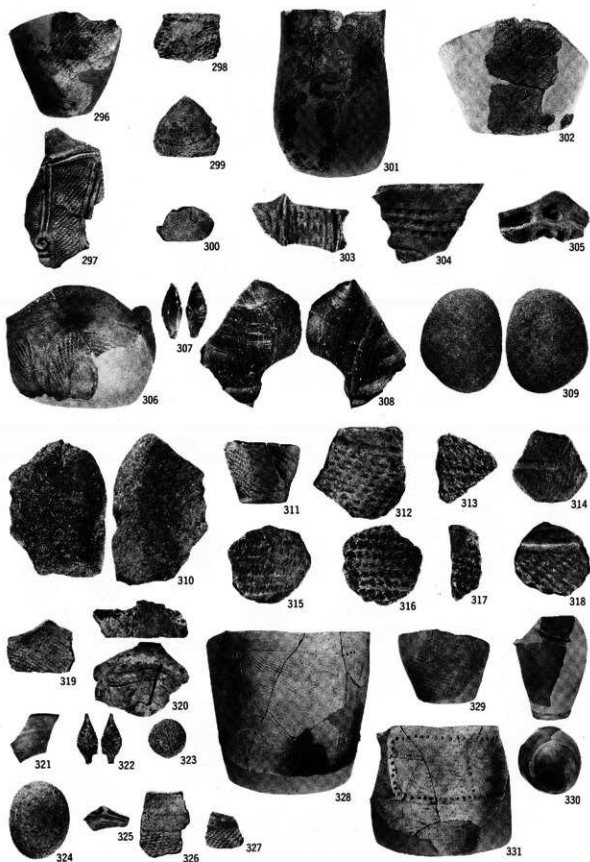
写真図版68 遺構内出土遺物 7



写真図版69 遺構内出土遺物 8



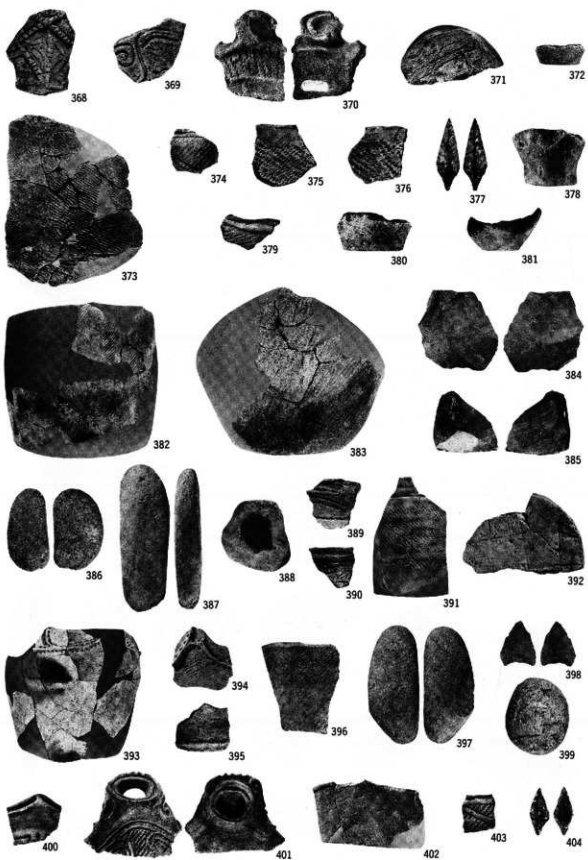
写真図版70 遺構内出土遺物 9



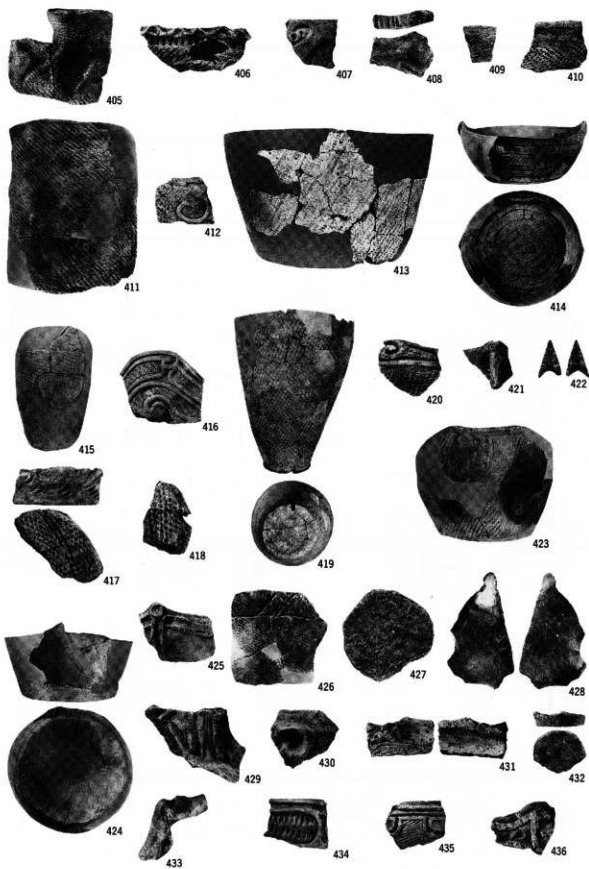
写真図版71 遺構内出土遺物10



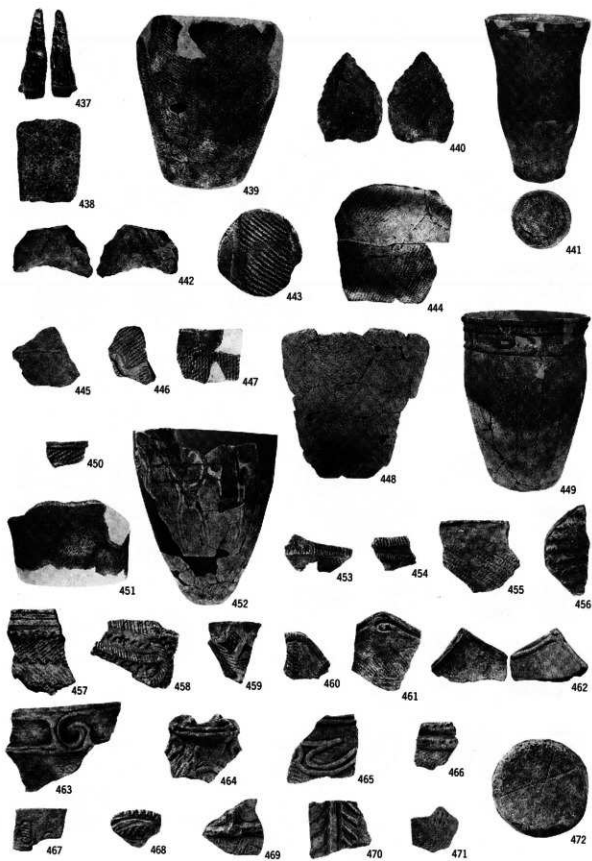
写真図版72 遺構内出土遺物11



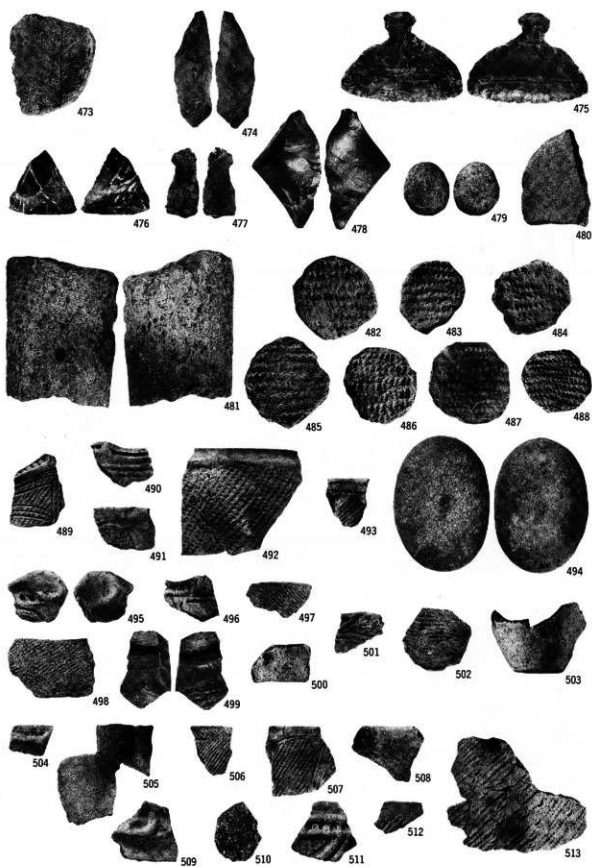
写真図版73 遺構内出土遺物12



写真図版74 遺構内出土遺物13



写真図版75 遺構内出土遺物14



写真図版76 遺構内出土遺物15



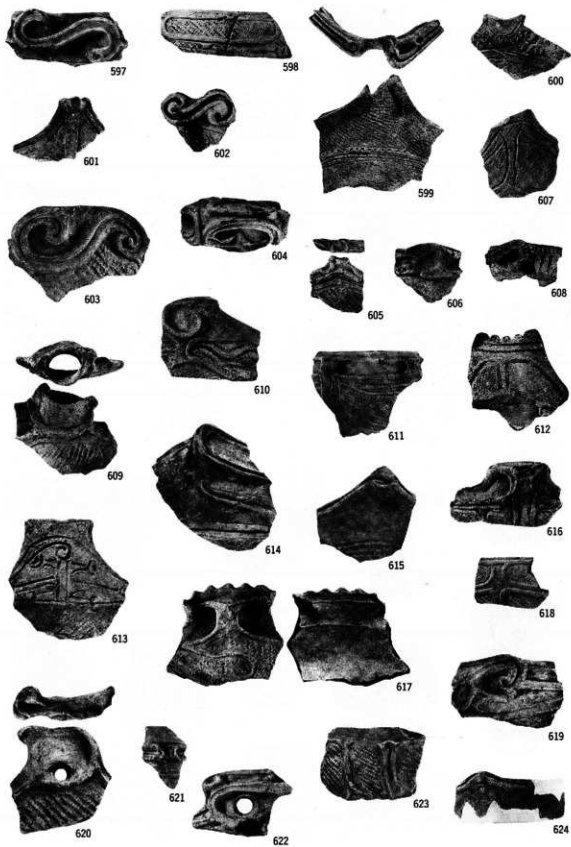
写真図版77 遺構外出土遺物（土器①）



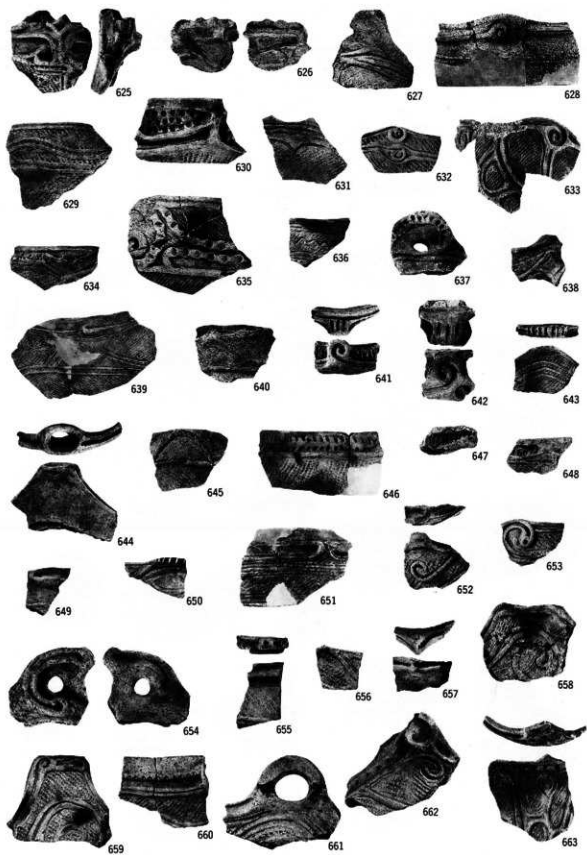
写真図版78 遺構外出土遺物（土器②）



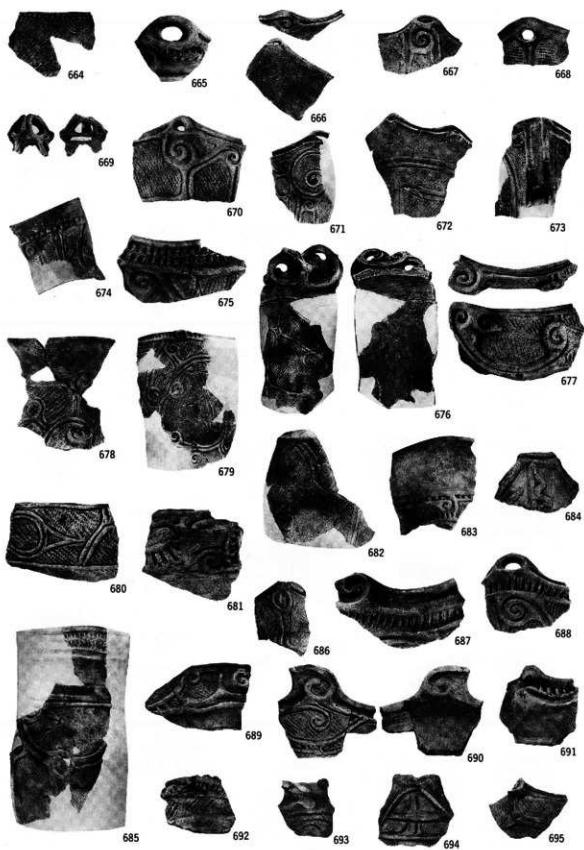
写真図版79 遺構外出土遺物（土器③）



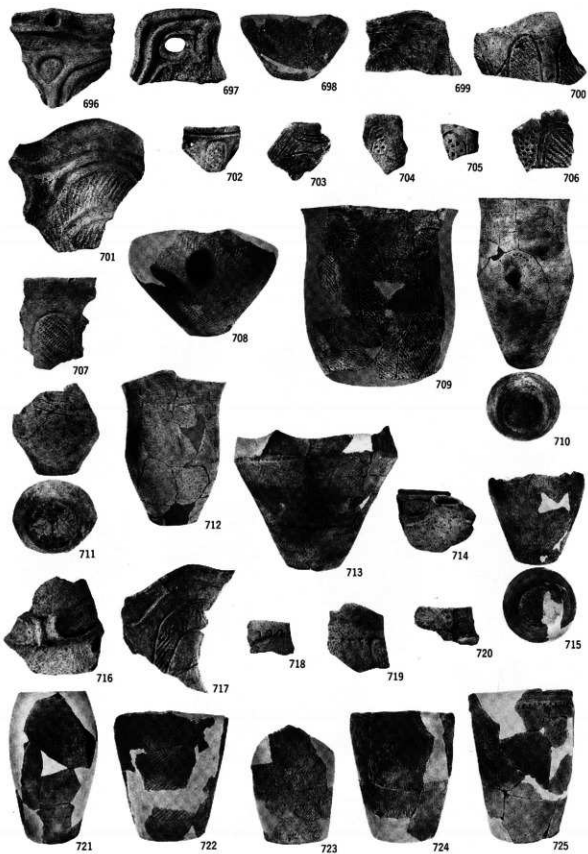
写真図版80 遺構外出土遺物(土器④)



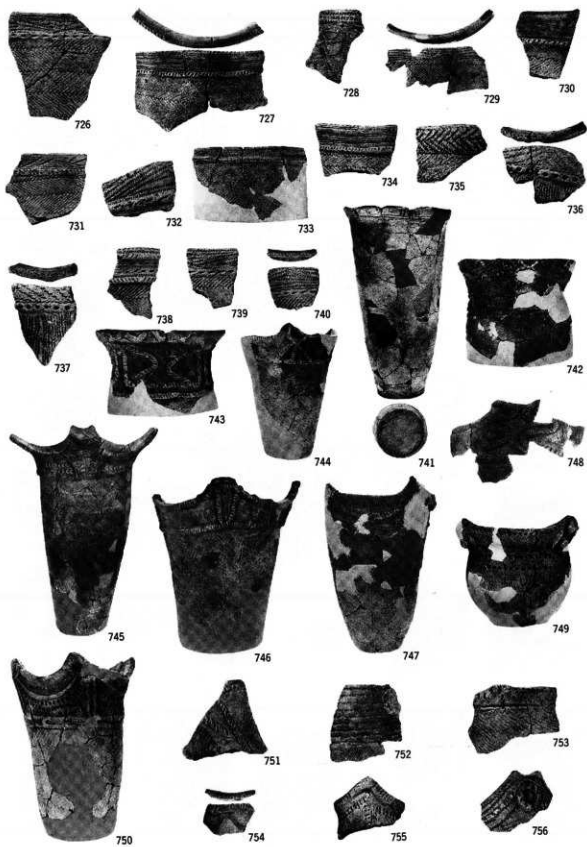
写真図版81 遺構外出土遺物（土器⑤）



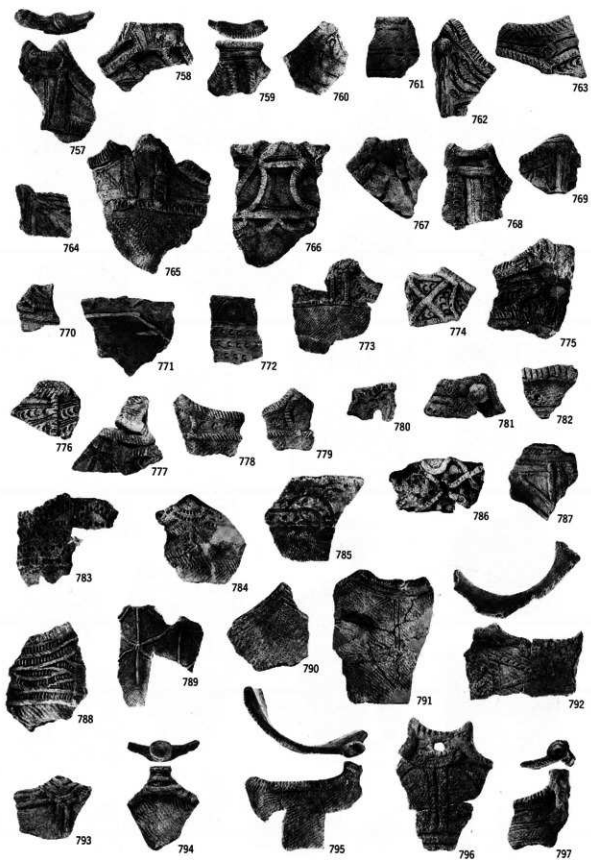
写真図版82 遺構外出土遺物（土器⑤）



写真図版83 遺構外出土遺物（土器⑦）



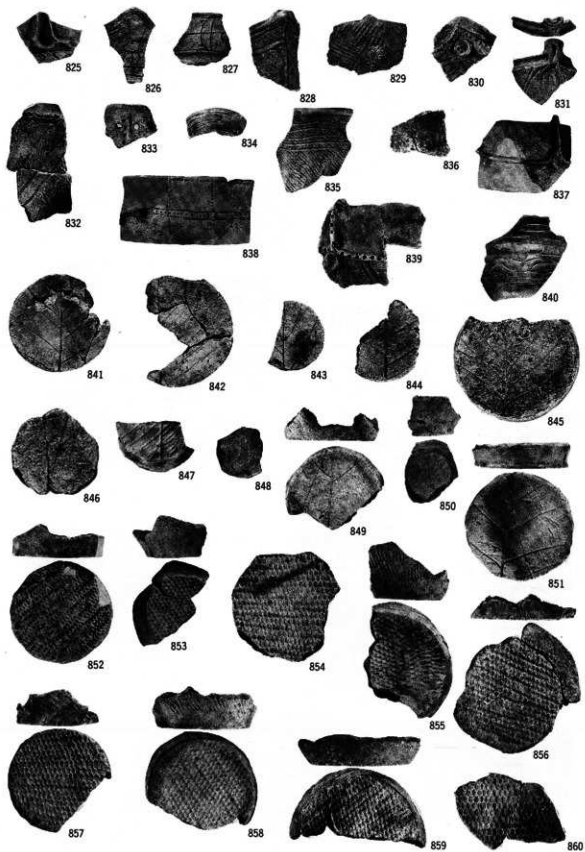
写真図版84 遠構外出土遺物（土器⑧）



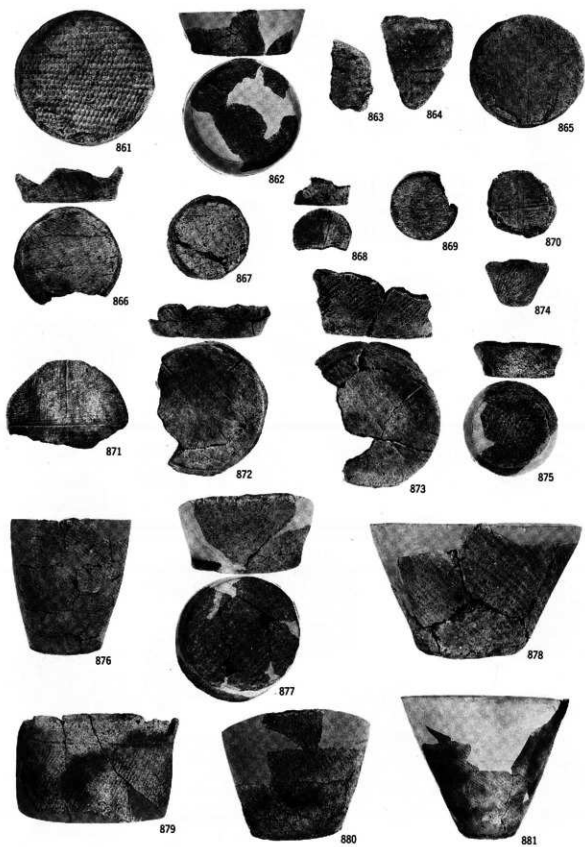
写真図版85 遺構外出土遺物（土器⑨）



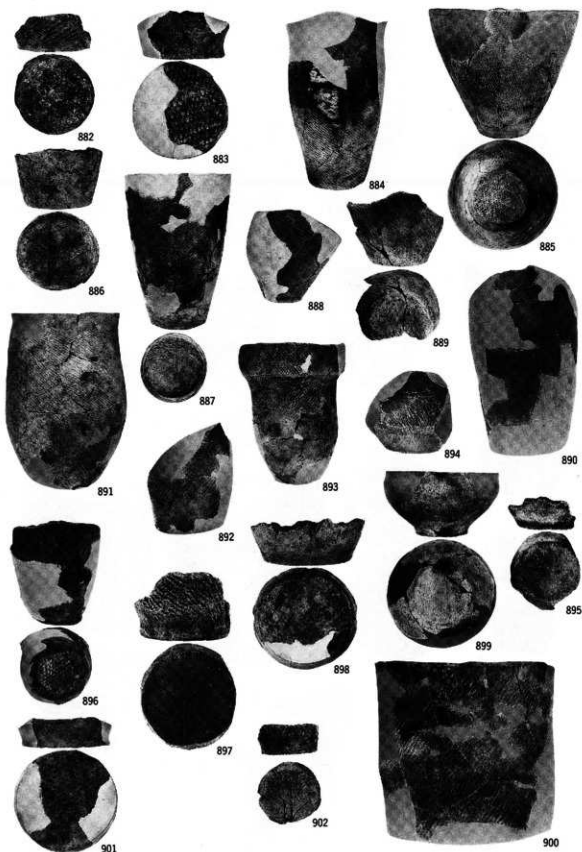
写真図版86 遺構外出土遺物 (土器⑨)



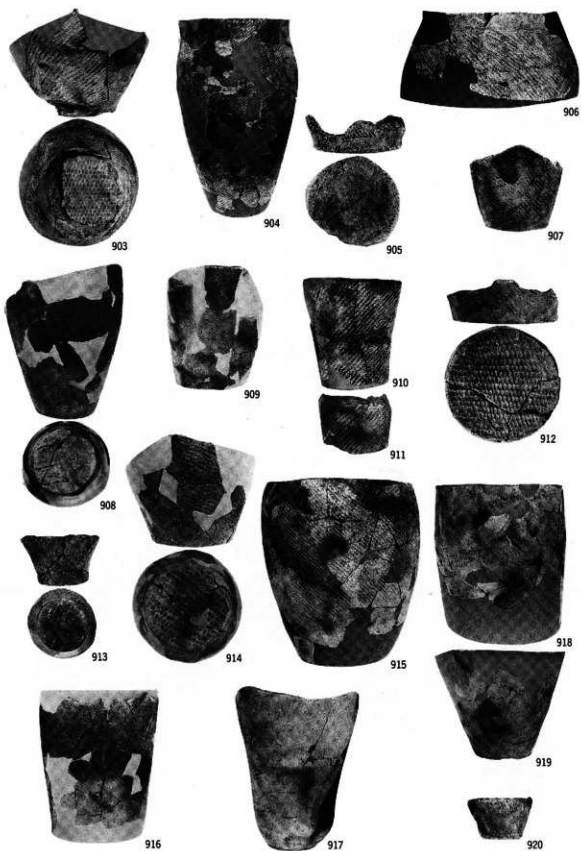
写真図版87 遺構外出土遺物（土器①）



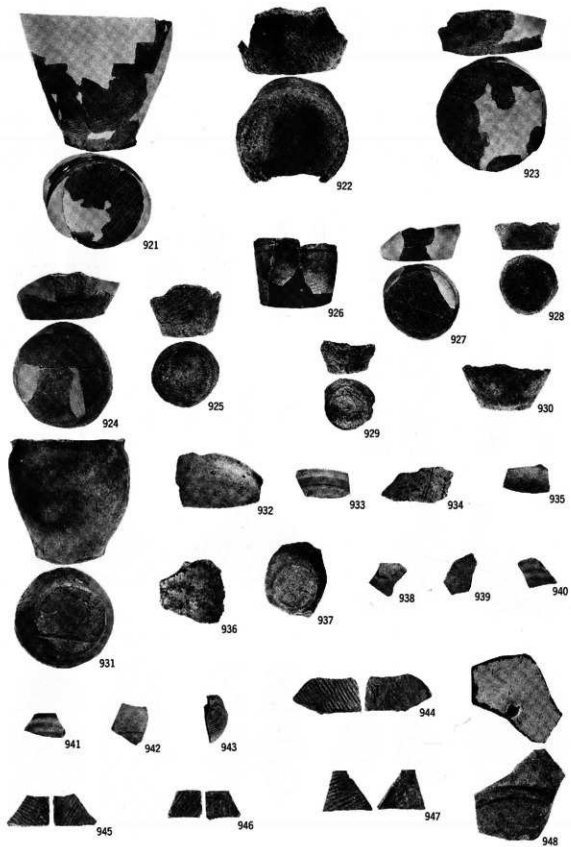
写真図版88 遺構外出土遺物 (土器⑫)



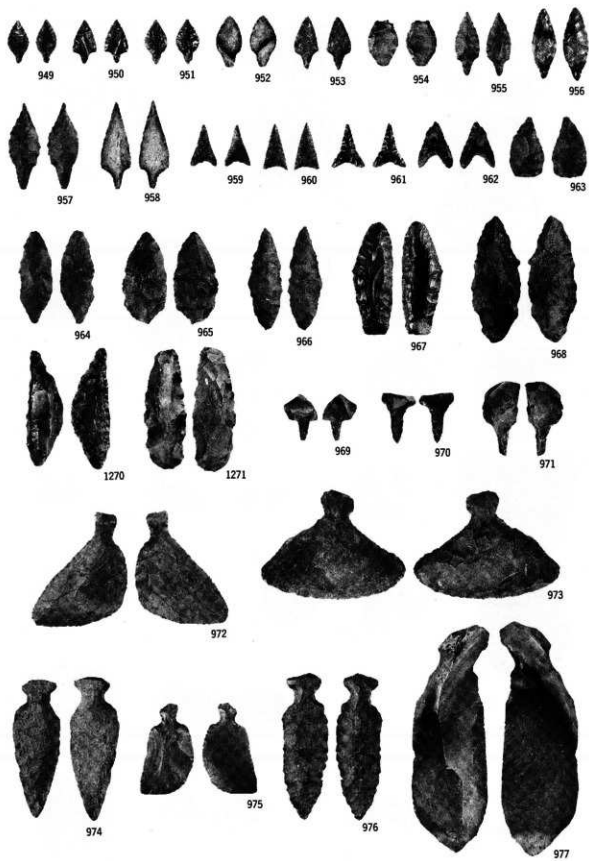
写真図版89 遺構外出土遺物（土器⑬）



写真図版90 遺構外出土遺物 (土器⑬)



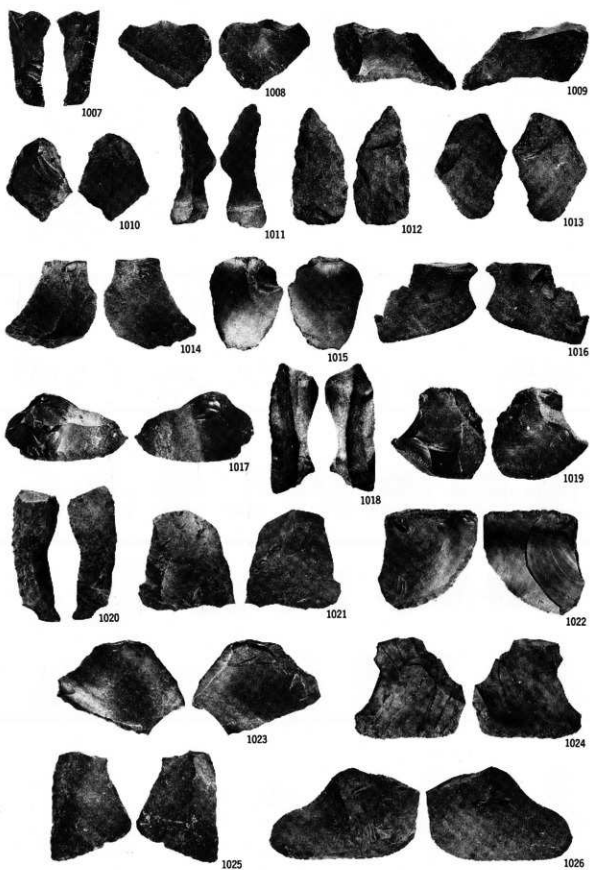
写真図版91 遺構外出土遺物（土器⑮）



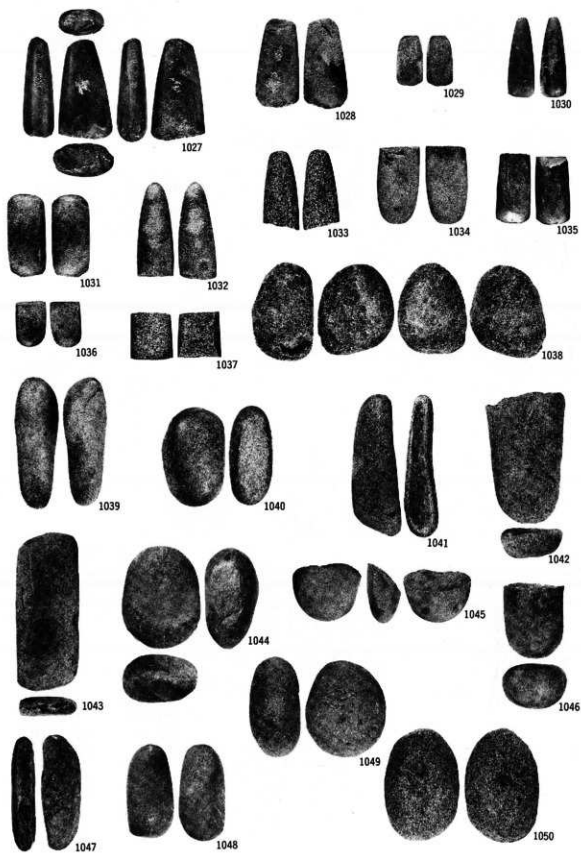
写真図版92 遺構外出土遺物（石鏃，尖頭器，石鏃，石匙）



写真図版93 遺構外出土遺物（石筲，異形石器，削・搔器①）



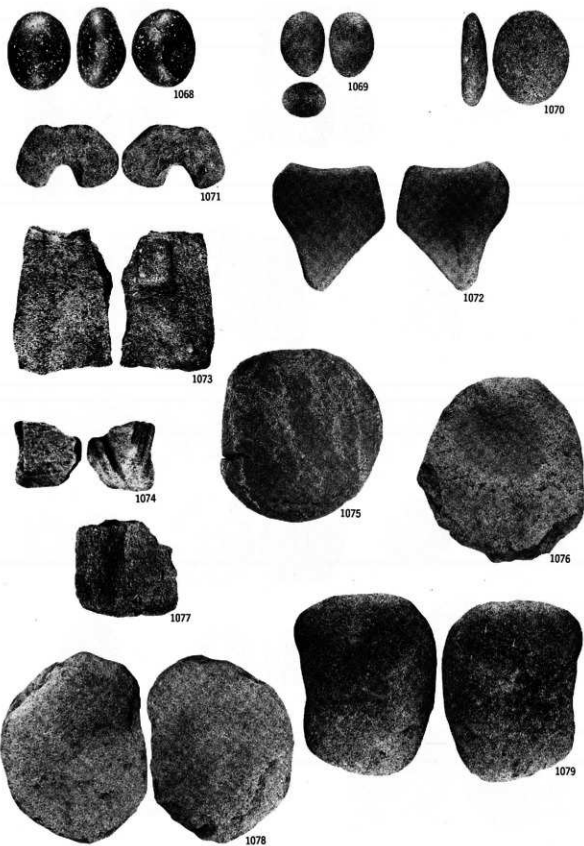
写真図版94 遺構外出土遺物（削・掻器②）



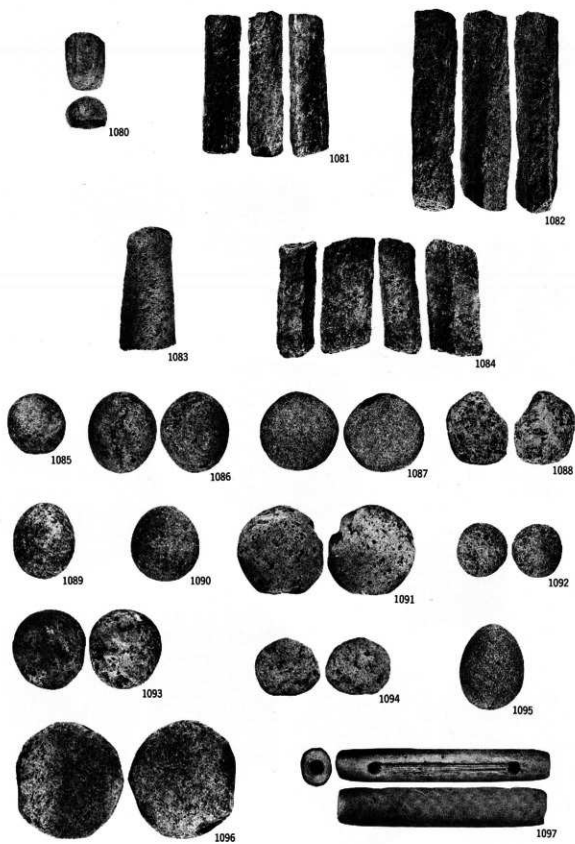
写真図版95 遺構外出土遺物（磨製石斧，磨石①）



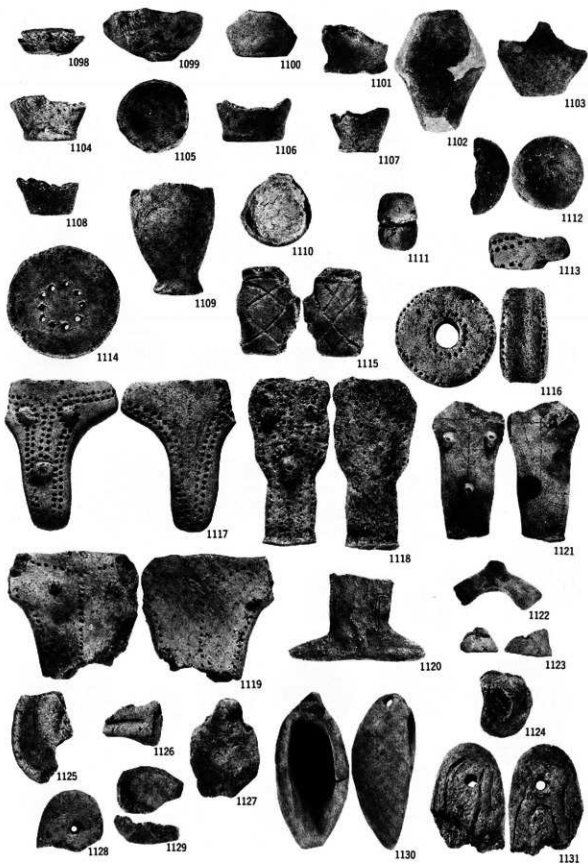
写真図版96 遺構外出土遺物（磨石②，凹石，敲石①）



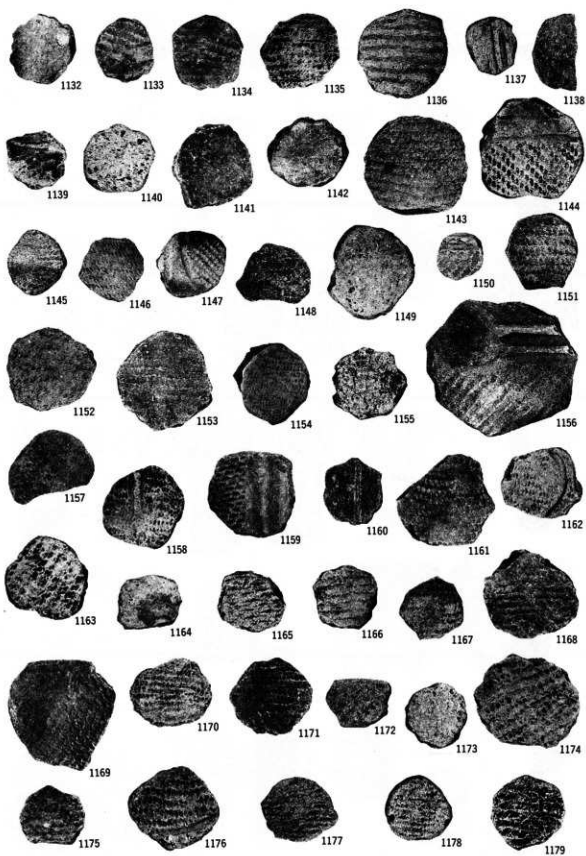
写真図版97 遺構外出土遺物 (敲石②, 石錘, 石皿)



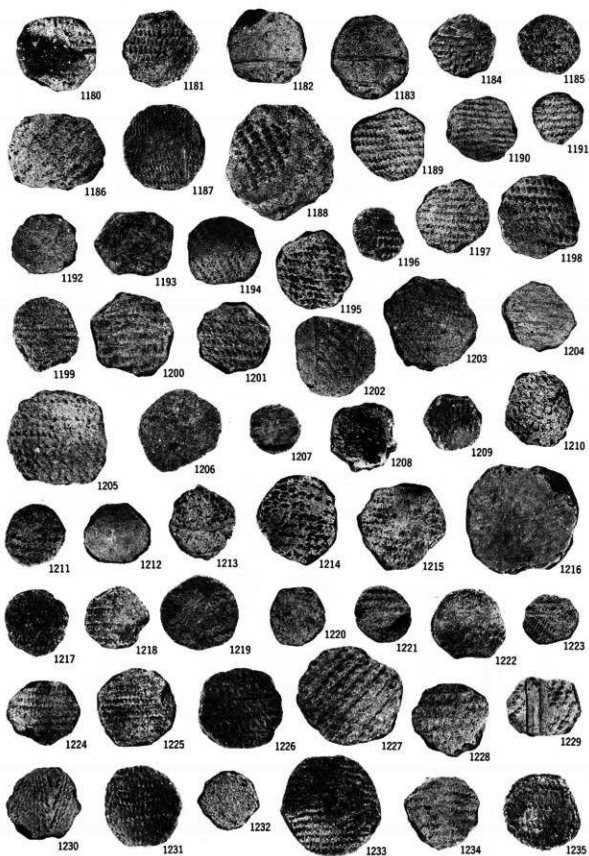
写真図版98 遺構外出土遺物 (石棒, 石製品)



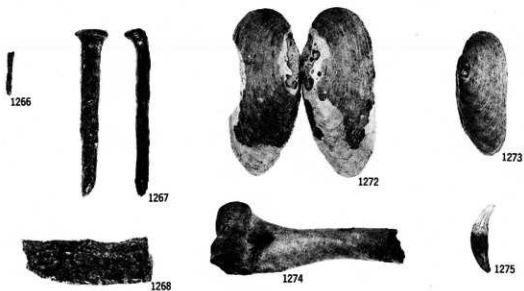
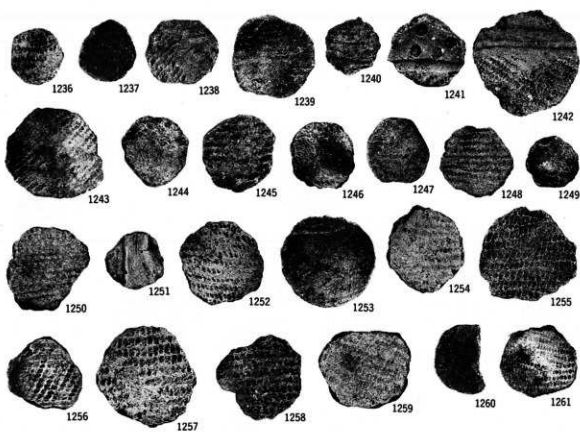
写真図版99 遺構外出土遺物 (土製品①)



写真図版100 遺構外出土遺物（土製品②）



写真図版101 遺構外出土遺物（土製品③）



写真図版102 遺構外出土遺物(土製品④, 古銭, 鉄製品, 骨貝類)

報告書抄録

ふりがな	あきうらにいせきはつくつちようさほうこくしょ							
書名	秋浦II遺跡発掘調査報告書							
副書名	東北新幹線盛岡・八戸間鉄道建設工事関連遺跡発掘調査							
巻次								
シリーズ名	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第347集							
編著者名	佐々木 琢							
編集機関	鉾野手県文化振興事業団埋蔵文化財センター							
所在地	〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11-185 TEL (019)638-9001 FAX (019)638-8563							
発行年月日	西暦 2000年10月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号					
あきうらに 秋浦II遺跡	岩手県岩手郡 岩手町大字川 口第21地割字 高無47番3		KE38- 0131	39° 55' 8"	141° 12' 55"	19980817~ 19981127	2,680m ²	東北新幹線 建設工事に 伴う緊急発 掘調査
収蔵遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
秋浦II遺跡	集落跡	縄文時代	竪穴住居跡 竪穴状遺構 土坑 炉・灰土 集石・配石遺構 埋設土器 柱穴 溝	38棟 2棟 33基 31基 4基 7基 115基 2基	縄文土器(中・後期) 石器(石鏃・石匙・凹石 他) 土製品(円盤状土製品・ 土偶他) 石製品 貝			

財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター職員

所長 伊藤民也
副所長 櫻田次男

[管理課]

管理課長 川浪清徳
管理課長 川崎善光
管理課長 佐佐木多志夫
主任 立花加志夫
主事 日影睦夫

嘱託 千葉芳夫
 藤島恵子
 新田トヨ重
 佐々木光

[調査第一課]

課長 佐々木 勝文
課長補佐 佐々木 清文
主任文化財 小山内 透
専門調査員 赤石 登
 吉田 充一
 小原 眞健
 小笠原 健一郎
 金野 進人
 烏居 達人
 金東海 淳彦
 阿部 勝美
 小野寺 直人
 菅原 靖之
 長瀧 克二
 菊池 浩二
 村本 準一郎
 北山 昭治
 丸山 敬
 小林 弘卓
 江藤 敦徳
 藤原(賢退) 賢
 藤原(6) 池上 賢介
 菊井 上又 信介
 川吉 田真由美
 北田 博義

期限付
専門職員

[調査第二課]

課長 高橋 與右衛門
課長補佐 中川 重紀
主任文化財 高橋 義介
専門調査員 金子 佐知子
 中田 迪
 工藤 孝身
 古部 道貞
 阿松 眞芳
 松尾 幸微
 工藤 徹計
 前田 悟宏
 岩瀬 由紀夫
 早安 大晃
 高木 晃彦
 千葉 正一
 佐藤 淳彦
 半澤 昭太郎
 杉中 直美
 中星 雅美
 鈴木 聰
 吉北 徹
 吉原 和
 齋藤 里美
 島原 津子
 藤原 麻紀
 島原 弘征

期限付
専門職員

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第347集

秋浦II遺跡発掘調査報告書

東北新幹線盛岡・八戸間建設工事関連遺跡発掘調査

印刷 平成12年10月25日

発行 平成12年10月31日

発行 財団法人 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

〒020-0853 岩手県盛岡市下飯阿11-185

TEL (019) 638-9001

FAX (019) 638-8563

印刷 山口北州印刷株式会社

〒020-0133 盛岡市青山4丁目10-5

TEL (019) 641-0585

